

# MazDA MPV

“Zoom-Zoom” …

それは英語で「ブー、ブー」という車の走行音をあらわす、子供言葉です。

誰でも、子供の頃は、動くことに対するあこがれがありました。

車のエンジン音が響くと、ドキドキする感じ。

カラダがビュンビュン流れる時の、快感。

めまいがするよううれしさ。

きっと、みんな知っていたはずです。

でも、大人になると、ちょっと忘れていたりする。

それを、マツダは忘れません。

それが、私たちの“Zoom-Zoom”の意味。

小さい時に知っていた、

ウズウズするような走る喜びを忘れていない皆様のために、

素晴らしいクルマを作り続けます、という

私たちの新しいブランド・パーソナリティのコア・エッセンスです。

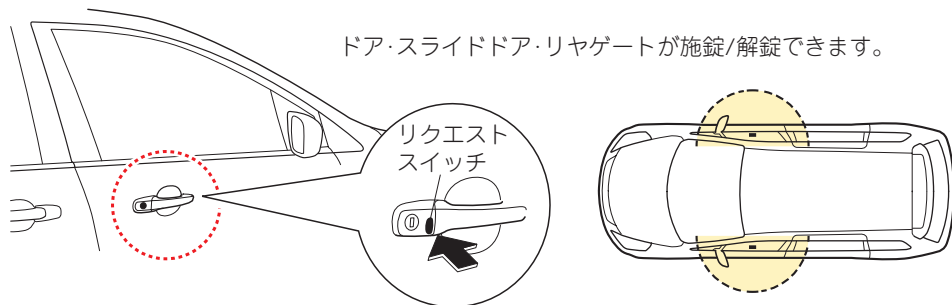
# ドアの施錠・解錠

## アドバンストキーでの操作方法

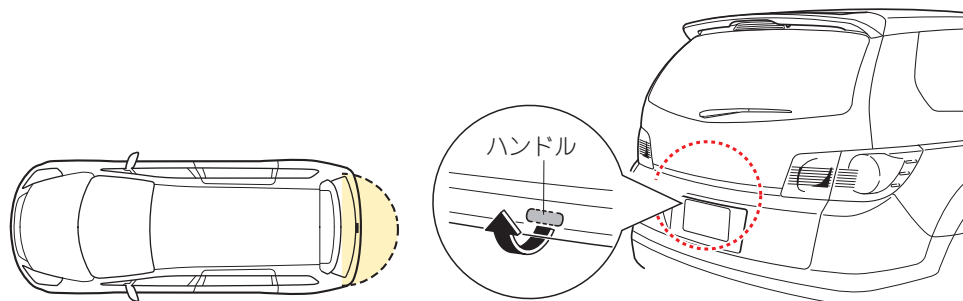
### ● ドアの施錠/解錠

アドバンストキーを携帯し、●の範囲内で下記の操作ができます。

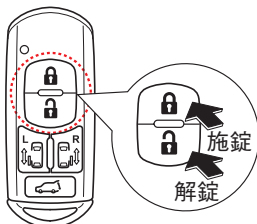
#### ① リクエストスイッチによる施錠/解錠



#### ② リヤゲートのみの解錠



#### ③ リモートコントロール機能での施錠/解錠



ドア・スライドドア・リヤゲートが施錠/解錠できます。  
※イラストは代表例です。

①～③の操作の際、下記の合図があります。

施錠時: 非常点滅灯1回+チャイム1回

解錠時: 非常点滅灯2回+チャイム2回

## ● 使用時の注意点

アドバンストキーは必ず運転者が携帯してください。

解錠後、約30秒以内にドア・スライドドア・リヤゲートを開けなかった場合は、自動的に施錠されます。

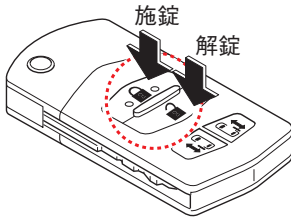
## ● アドバンストキーのカスタマイズ機能

アドバンストキーにはカスタマイズ機能があります。

※詳しくは、取扱書の「操作と取り扱い」をご参照ください。

## リトラクタブルタイプキーでの操作方法

### ● ドアの施錠/解錠



リトラクタブルタイプキー本体のスイッチを押してください。ドア・スライドドア・リヤゲートが施錠/解錠できます。

施錠/解錠の際、確認用の合図があります。

施錠時: 非常点滅灯1回

解錠時: 非常点滅灯2回

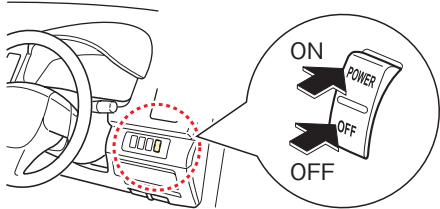
## ● 使用時の注意点

スイッチを押して解錠した後、約30秒以内にドアまたはリヤゲートを開けなかった場合、自動的に施錠されます。

# 電動スライドドアの開閉

## 事前準備

- メインスイッチをONにする



ONの状態：電動で開閉できます。

OFFの状態：電動で開閉できません。  
手動でのみ開閉できます。

## 開閉操作方法

下記の方法で電動開閉できます。

▽アドバンストキー/リトラクタブルタイプキーのスイッチ

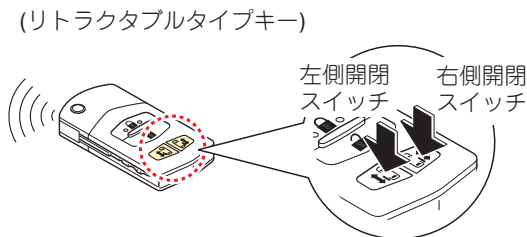
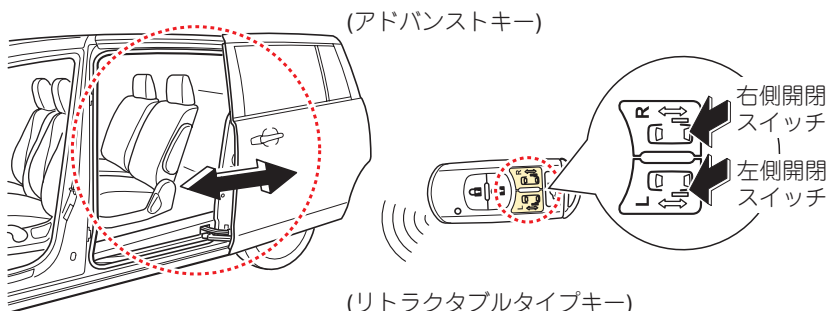
▽運転席スイッチ

▽後席スイッチ

▽ドアハンドル

いずれかの方法で開閉操作を行うと、ブザーが鳴った後自動で全開閉します。

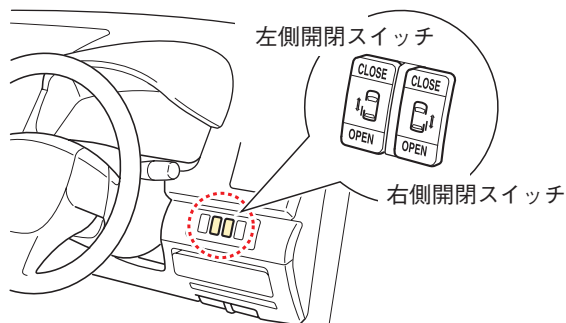
- アドバンストキー/リトラクタブルタイプキーのスイッチでの操作





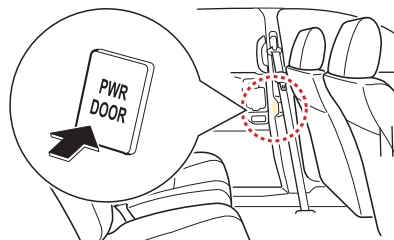
# 電動スライドドアの開閉

## ● 運転席からの操作



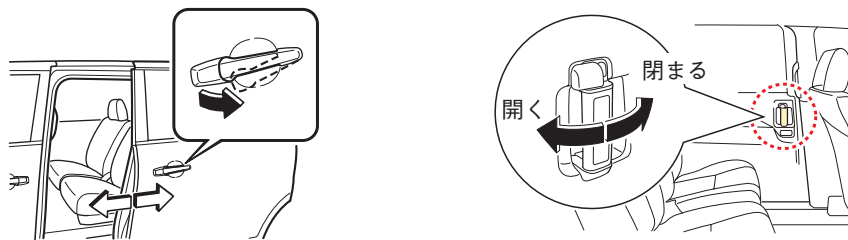
## ● 後席からの操作

※イラストは助手席側です。運転席側にも同様の機能が付いています。



## ● ドアハンドルでの操作

※イラストは助手席側です。運転席側にも同様の機能が付いています。



## もしもの時には

### ● 緊急停止操作

開閉作動中のスライドドアを停止させる場合は、各スイッチ、アドバンスキー/リトラクタブルタイプキーまたはドアハンドルを操作してください（メインスイッチをOFFにすることも停止します）。


※はさみ込み防止機構

スライドドアの電動開閉中に、人や異物などにより異常を検知すると、その位置から自動的にドアは反対方向に動きます。

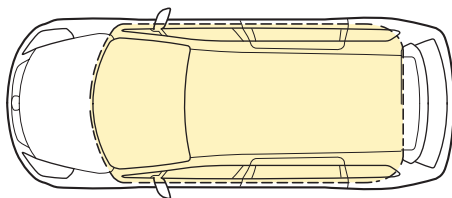
# アドバンストキーでのエンジン始動

## 操作方法

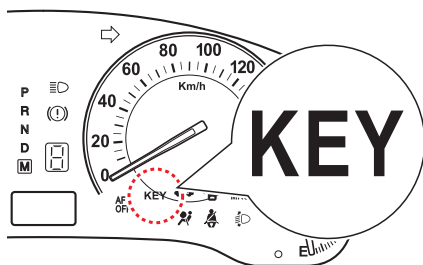
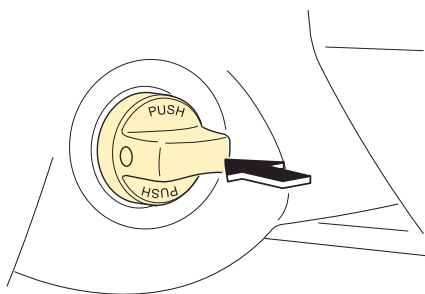
### ● 始動方法

アドバンストキーを携帯した状態で、 の範囲内で下記の手順を行うことでエンジンを始動できます。

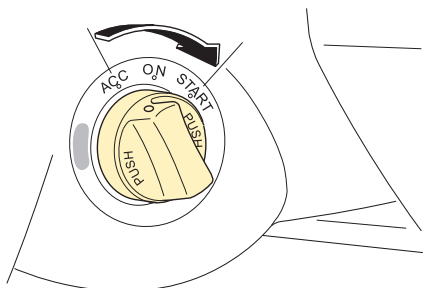
※作動範囲は荷室を除くほぼ全域です。



- ①セレクトレバーがPの位置にあることを確認してください。
- ②ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。
- ③スタートノブをゆっくりと奥まで押し込んでください。
- ④メーター内のKEY表示灯(緑)が点灯するのを確認してください。



- ⑤アクセルペダルを踏まずにスタートノブを「START」まで回してください。エンジンがかかります。

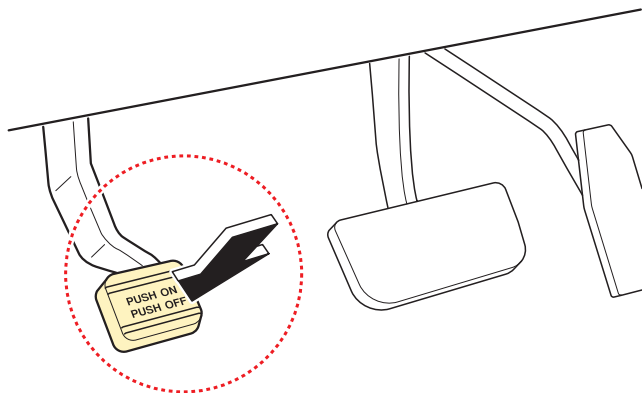


# パーキングブレーキの操作

## 操作方法

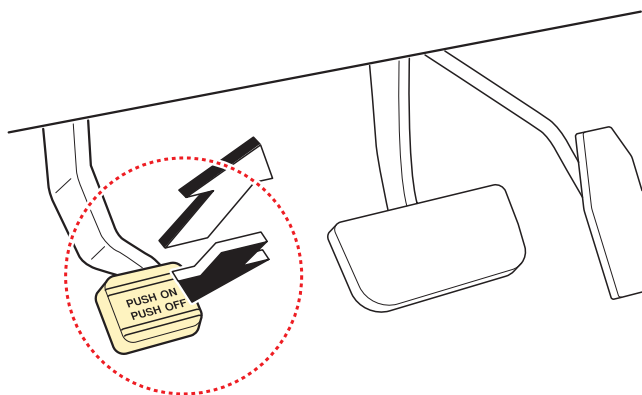
### ● パーキングブレーキをかける

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱい踏み込みます。



### ● パーキングブレーキを解除する

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏み、ゆっくりと離します。



## 警告機能


### ● パーキングブレーキもどし忘れチャイム

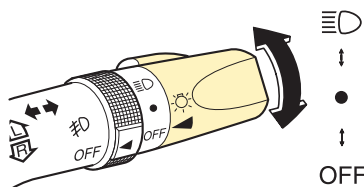
パーキングブレーキをかけたままで車速が約5km/h以上になると、チャイムが鳴り続け、パーキングブレーキのもどし忘れをお知らせいたします。

# ヘッドランプ・フォグランプの操作

## ヘッドランプの操作方法


### ● 標準タイプの点灯/消灯

ランプスイッチをまわすと、各ランプが点灯/消灯します。  
ランプが点灯している時は、メーター内の表示灯「」が点灯します。



	スイッチの位置		
	OFF		
ヘッドランプ	消灯	消灯	点灯
車幅灯・尾灯・番号灯	消灯	点灯	点灯

### ● オートライト機能付きタイプの点灯/消灯

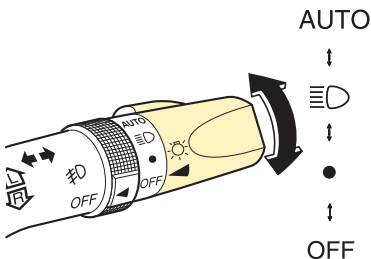
手動か自動での点灯/消灯が選べます。  
ランプが点灯している時は、メーター内の表示灯「」が点灯します。

#### ① 手動で使うとき

上記標準タイプの操作方法と同様です。

#### ② 自動 (オート) で使うとき

電源ポジションがONの位置でのみ使用できます。  
ランプスイッチを「AUTO」の位置にすると、周囲の明るさに応じて自動で点灯/消灯します。





	周囲の明るさ		
	明るい	薄暗い	暗い
ヘッドランプ	消灯	消灯	点灯
車幅灯・尾灯・番号灯	消灯	点灯	点灯

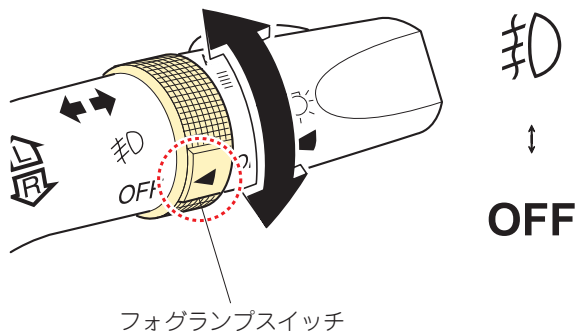
長いトンネルなど周囲が暗い状態が数分間続くと、ライトセンサーが夜間と判断し周囲が明るくなってもすぐに消灯しない場合があります。この場合はランプスイッチをOFFにすれば消灯できます。


# ヘッドランプ・フォグランプの操作

## フォグランプの操作方法

### ● フォグランプの点灯

ランプスイッチが「●」または「≡D」の位置で使用できます。  
フォグランプスイッチを「」の位置にすると、フォグランプが点灯します。  
フォグランプが点灯している時は、メーター内の表示灯「」が点灯します。



		ヘッドランプスイッチの位置			
		OFF	●	≡D	AUTO
フォグランプスイッチ	OFF	消灯	消灯	消灯	消灯
		消灯	点灯	点灯	AUTO

### ● フォグランプの消灯

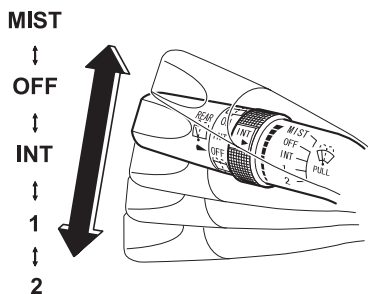
フォグランプスイッチを「OFF」の位置にする、またはランプスイッチを「OFF」の位置にすると消灯します。

# フロントワイパーの操作

## 標準タイプの操作方法

### ● 作動方法・作動状態

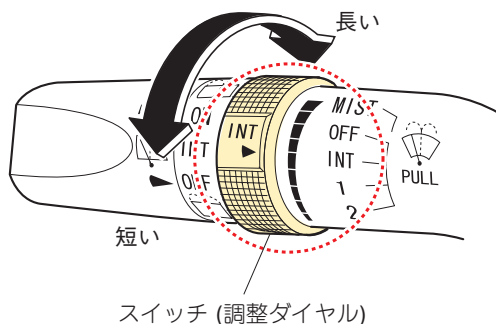
電源ポジションがONのとき作動します。



レバー位置	作動状態
MIST	レバーを押し上げている間作動
OFF	停止
INT	間欠作動
1	低速作動
2	高速作動

### ● 間欠作動時間の調整方法

間欠作動の時、スイッチ (調整ダイヤル) を回すと間欠作動時間を調整できます。

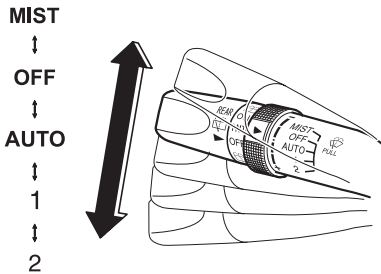


# フロントワイパーの操作

## オートワイパー機能付きタイプの操作方法

### ● 作動方法・作動状態

電源ポジションがONのとき作動します。



レバー位置	作動状態
MIST	レバーを押し上げている間作動
OFF	停止
AUTO	オートワイパー機能作動
1	低速作動
2	高速作動

### ● オートワイパー機能の操作方法

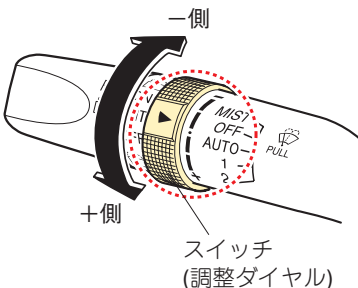
「AUTO」の時、ワイパーが自動で作動します。  
雨量に応じて、ワイパーの作動状態が変わります。

雨量	作動状態
少ない	間欠作動
普通	低速作動
多い	高速作動

### ● オートワイパー機能の調整方法

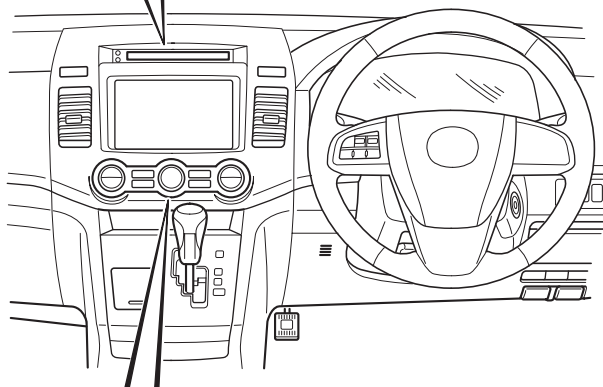
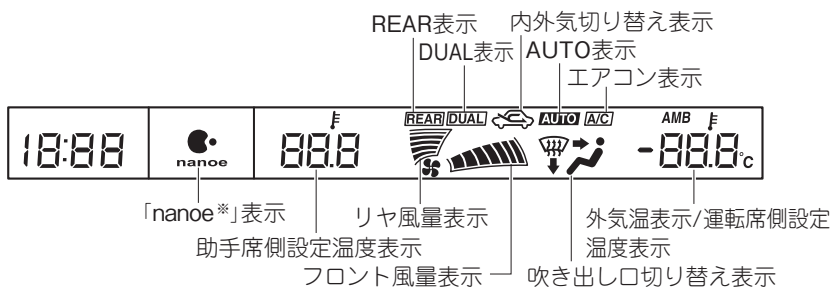
スイッチ（調整ダイヤル）を回すと  
雨に反応する感度を調整できます。

スイッチの位置	感度
－側	雨に反応しにくい
＋側	雨に反応しやすい

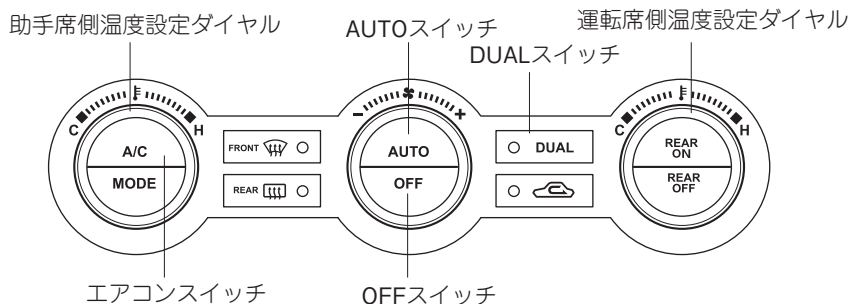



# フルオートエアコンの操作

## インフォメーションセンターディスプレイ



## フロント操作パネル



※「nanoe」及び  は、パナソニック (株) の登録商標です。



# フルオートエアコンの操作

## フルオートエアコンの操作方法

風量、吹き出し口が自動的に調整され、設定した温度になります。

### ● 基本操作

- ①AUTOスイッチを押します。
- ②温度設定ダイヤルで希望の温度を設定します。
- ③OFFスイッチを押すと作動を停止できます。

### ● 独立モード/連動モード

運転席、助手席の温度をそれぞれ設定できます。

DUALスイッチを押すごとに、独立モード、連動モードが切り替わります。

- ①AUTOスイッチを押します。
- ②DUALスイッチを押して独立モードにします。
- ③運転席側と助手席側それぞれ、温度設定ダイヤルで希望の温度を設定します。
- ④インフォメーションセンターディスプレイの右側に運転席、左側に助手席の設定温度が表示されます。

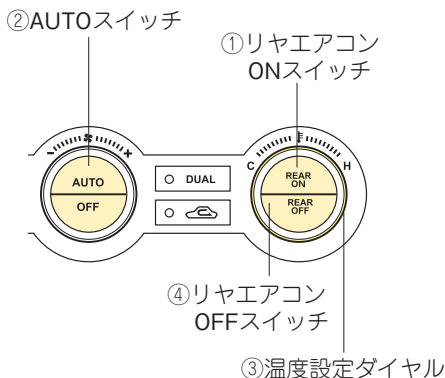
DUALスイッチ	モード	作動状態
<input checked="" type="radio"/> DUAL 点灯	独立モード	運転席と助手席の温度を独立して設定できます。
<input type="radio"/> DUAL 消灯	連動モード	運転席と助手席の温度が連動した設定になります。

# フルオートエアコンの操作

## リヤフルオートエアコンの操作方法

フロントエアコン作動中に前席または後席から別々に操作をすることができます。

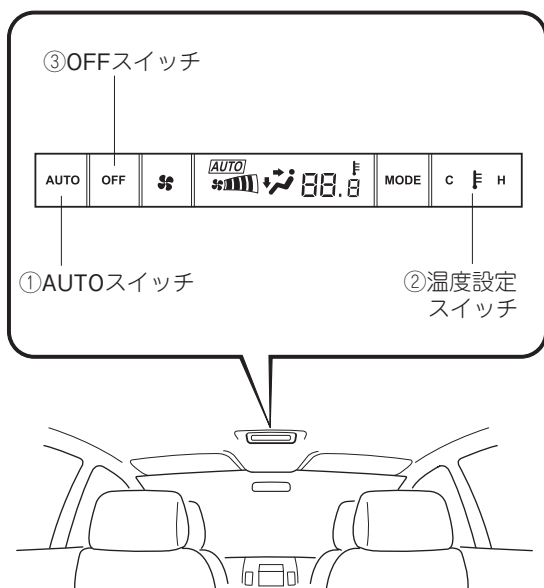
### ● 前席からの操作



- ①リヤエアコンONスイッチを押します。インフォメーションセンターディスプレイに“REAR”の表示が点滅し、リヤモードになります。
- ②“REAR”点滅中にAUTOスイッチを押します。
- ③温度設定ダイヤルで希望の温度を設定します。
- ④リヤエアコンOFFスイッチを押します。インフォメーションセンターディスプレイの“REAR”の表示が消灯し、リヤエアコンの作動を停止します。

※ “REAR”の表示が点滅しているとき何も操作しない状態が8秒間続くと、フロントエアコンの設定にもどります。

### ● 後席からの操作

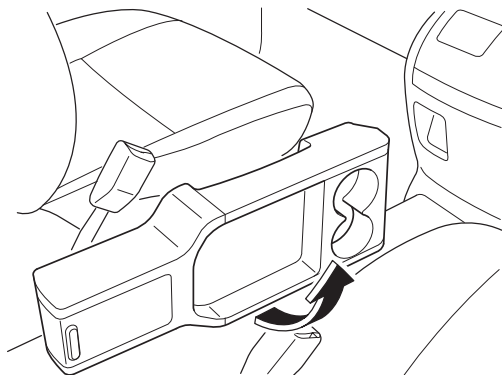


- ①AUTOスイッチを押します。
- ②温度設定スイッチを操作して希望温度にあわせます。
- ③作動を停止したいときは、OFFスイッチを押します。

# 格納式センターテーブルの操作

## 操作方法

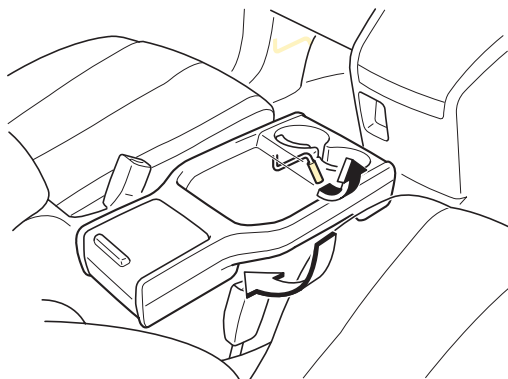
### ● テーブルを取り出すとき



- ① テーブルを引き上げます。
- ② テーブルが確実にロックされていることを確認します。

### ● テーブルを収めるとき

- ① テーブル下のレバーを引き上げたまま、テーブルを下方に倒します。
- ② テーブルが確実にロックされていることを確認します。

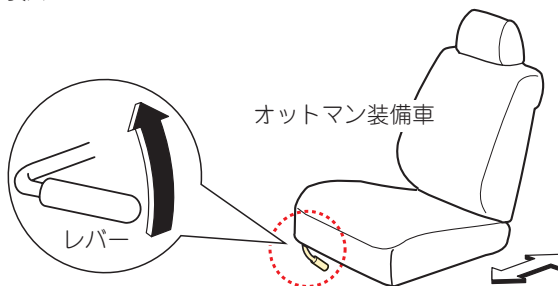


# セカンドシート の 操作

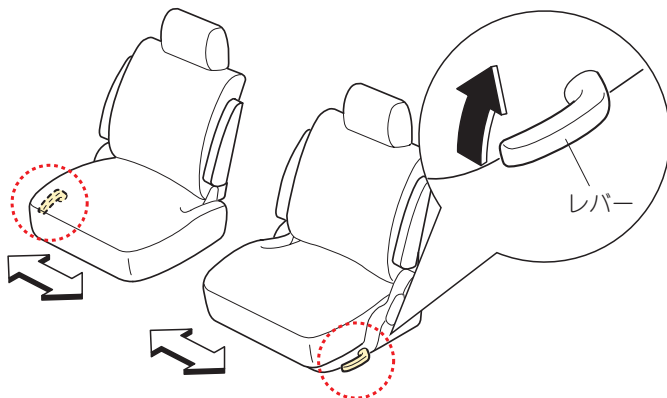
(左側シートで説明)

## スライディング方法

### ● 前後調節 (スライディング) 方法



### ● 左右スライディング方法

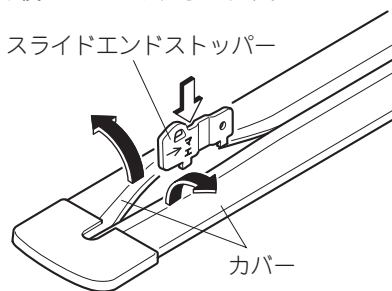


### ● 前後ロングスライド方法

サードシートへの乗員がない場合は後ろへロングスライドが可能となります。

- ①シートスライドレール後端のスライドエンドストッパーをすべて外します。(※)
- ②外したスライドエンドストッパーを収納ケースに収納し、ツールボックスなどに保管します。
- ③上記の左右スライディング方法により、シートを中央に横スライドさせます。
- ④上記の前後調節 (スライディング) 方法により、シートを後ろにスライドさせます。

※サードシートに乗車するときは、すべてのスライドエンドストッパーを必ず取り付けてください。



# セカンドシートの操作

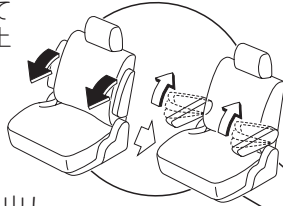
## 各部の調整方法

### ● 各部の調整方法

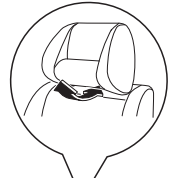
足をのばして楽な姿勢をとることができます。

#### ①アームレストの角度調整

いちばん下の位置にして  
好みの位置まで引き上  
げるとロックされます。

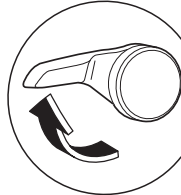


#### ②ヘッドレストの角度調整



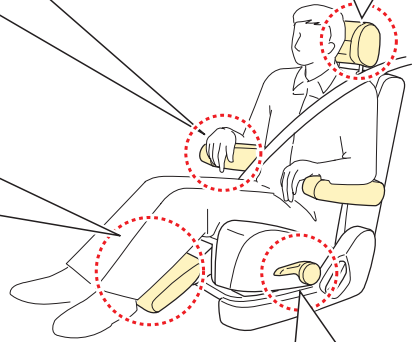
#### ③オットマンの取り出し

レバーを引き上げると  
オットマンが押し出さ  
れます。



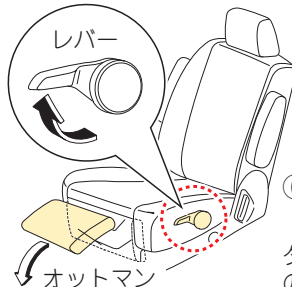
#### ④オットマンの 角度調整

レバーを引き上げたまま、足でオットマン  
を押し下げて調整します。好みの角度に  
なったら、レバーから手を離します。



#### ⑤オットマンの格納

レバーを引き上げたまま、  
格納位置まで足でオット  
マンを押し下げて、レバー  
から手を離してください。



#### ⑥シートクッションの 角度調整

ダイヤルをまわすと、シートクッション  
の前部が上下します。

※走行するときは、背もたれを起こしてください。

# 警告灯・警告音・表示灯

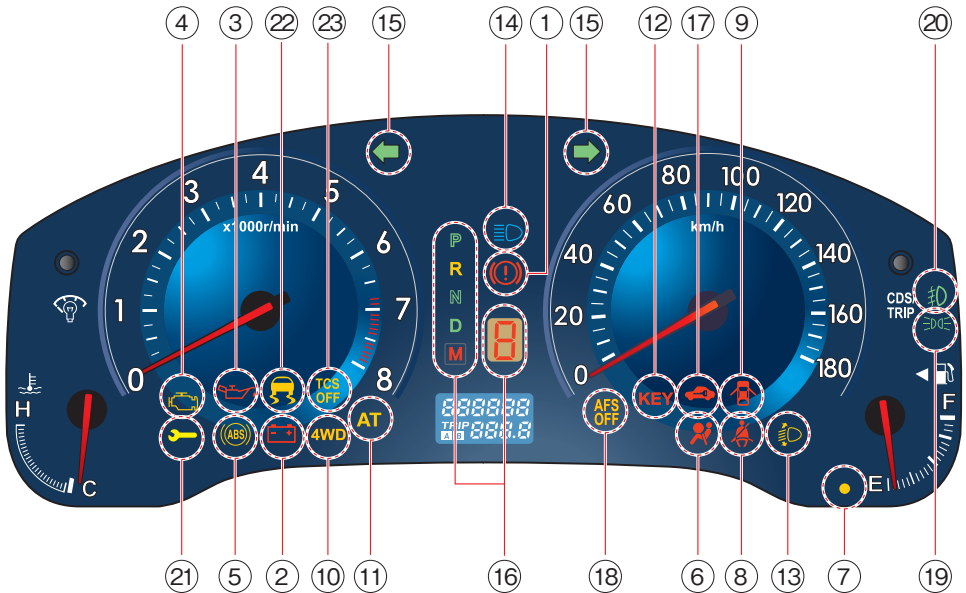
## 各種名称と位置

### ● 警告灯/表示灯一覧

警告灯/表示灯	点灯/点滅するとき	配置
ブレーキ警告灯	「パーキングブレーキをかけているとき」、「ブレーキ液が不足しているとき」、「ブレーキ装置 (電子制御制動力配分システム) に異常があるとき」に点灯	①
充電警告灯	充電装置に異常があると点灯	②
油圧警告灯	エンジンオイルの圧力が低下すると点灯	③
エンジン警告灯	エンジン制御システムに異常があると点灯	④
ABS警告灯	システムに異常があると点灯	⑤
エアバッグ警告灯 プリテンショナー警告灯	システムに異常があると点灯	⑥
燃料残量警告灯	燃料が少なくなると点灯	⑦
シートベルト警告灯	運転席シートベルトを着用していないと点灯 また、車速が20km/h以上になるとしばらくの間点滅	⑧
半ドア警告灯	ドアが確実に閉まっていないと点灯	⑨
4WD警告灯 (4WD車)	4WDシステムに異常があると点灯/点滅	⑩
オートマチックトランス ミッション警告灯	システムに異常があると点灯	⑪
KEY 警告灯 (赤) (アドバンストキー装備車)	点灯: アドバンストキーレス機能に故障が発生したとき 点滅: スタートノブがACCにまわせないとき 電源ポジションをOFFにせずに、アドバンストキーを車外に持ち出したとき	⑫
KEY 表示灯 (緑) (アドバンストキー装備車)	点灯: スタートノブをACCにまわすことができることを知らせます。 点滅: アドバンストキーの電池容量が残り少なくなっていることを知らせます。	
ヘッドランプ オートレベリング警告灯	ヘッドランプオートレベリング機能に異常があると点灯	⑬
ヘッドランプ上向き表示灯	ヘッドランプを上向き (ハイビーム) にすると点灯	⑭
方向指示/非常点滅表示灯	方向指示灯/非常点滅灯を作動させると点滅	⑮
セレクトレバー位置表示灯	使用中のセレクトレバーのセット位置を示します。	⑯
セキュリティ表示灯	イモビライザーシステム作動中は点滅	⑰
AFS OFF表示灯 (アダプティブフロント ライティングシステム装備車)	AFS (アダプティブフロントライティングシステム) を解除すると点灯	⑱
車幅灯表示灯	車幅灯、尾灯を点灯させると点灯	⑲
フォグランプ表示灯	フォグランプを点灯させると点灯	⑳
故障警告表示灯	ブレーキスイッチに異常があると点灯	㉑
TCS/DSC作動表示灯	TCSまたはDSCが作動すると点滅	㉒
TCS OFF表示灯	TCSを解除すると点灯	㉓

# 警告灯・警告音・表示灯

## ● 警告灯/表示灯配置図



## ● 警報音一覧

警報音	作動条件
キー抜き忘れ防止チャイム	キーまたは補助キーを抜き忘れているとき
ランプ消し忘れ防止チャイム	ランプを点灯させたまま、キーまたは補助キーを抜いて（アドバンストキーレス機能使用時は、電源ポジションをOFFにして）、運転席ドアを開けたとき
電動スライドドアブザー	作動するとき、または故障したとき 全閉していない状態で走行したとき
パワーリヤゲートブザー (パワーリヤゲート装備車)	作動するとき、またはパワーリヤゲートが全閉でない状態で走行したとき
パーキングブレーキ もどし忘れチャイム	パーキングブレーキをかけたまま走行したとき
シートベルト着用忘れ チャイム	運転席シートベルトを着用していないまま、車速が約20km/h以上になったとき
アドバンストキーレス警報 (アドバンストキー装備車)	アドバンストキーレス機能を誤って使用したときや、使用上の注意が必要なとき ※詳しくは、取扱書の「操作と取り扱い」をご参照ください。

# 盗難防止システム

## イモビライザーシステム

### ● イモビライザーシステムとは

---

イモビライザーシステムはキー（アドバンストキー）に信号発信機を内蔵し、あらかじめ登録されたキー（アドバンストキー）以外ではエンジンを始動できないようにした車両盗難防止装置です。

### ● システム作動

---

電源ポジションをONからACCまたはOFFにするとシステムが作動し、セキュリティ表示灯が点滅します。



### ● システム解除

---

登録されたキー（アドバンストキー）で電源ポジションをONにするとシステムが解除され、表示灯が約3秒間点灯した後消灯します。表示灯が消灯せず点灯または点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。



# 目次

イラスト目次	2 ページ
詳細目次	8 ページ

<b>1 必読！安全ドライブのために</b>	13 ページ
------------------------	--------

安全のために知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことをま  
とめております。よく読んでお守りください。

<b>2 安全装備</b>	41 ページ
---------------	--------

シートベルト、SRSエアバッグシステムなど安全装備の操作と取り扱い

<b>3 操作と取り扱い</b>	97 ページ
------------------	--------

各部の開閉や調節、運転装置の取り扱いなどお車の基本操作と取り扱い

<b>4 快適カーライフのために</b>	213 ページ
----------------------	---------

ドライブをより快適にする装備の操作と取り扱い

<b>5 万ーのときは</b>	243 ページ
-----------------	---------

車が故障したとき、事故にあったときの処置

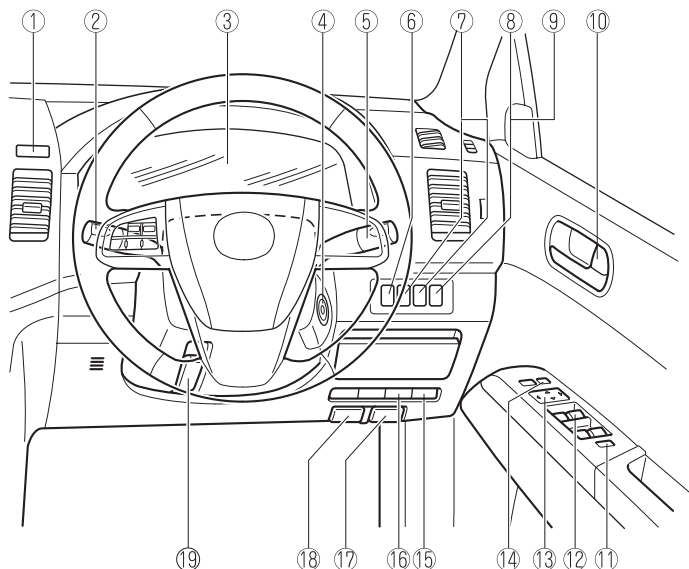
<b>6 車との上手なつきあいかた</b>	289 ページ
-----------------------	---------

手入れの方法、真冬の取り扱いなど

サービスデータ	318 ページ
---------	---------

さくいん	327 ページ
------	---------

## ハンドルまわり

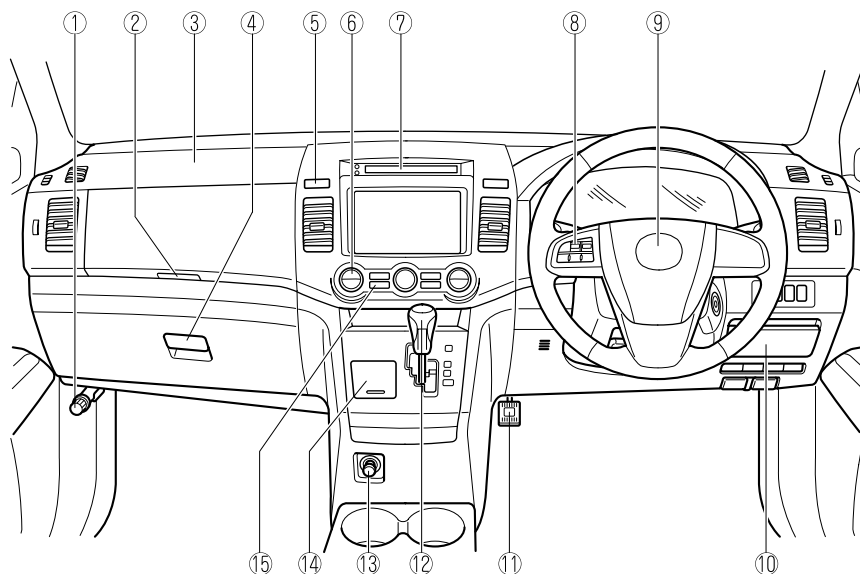


① 非常点滅灯スイッチ .....	187
② ワイパー/ ウォッシャースイッチ .....	181
③ メーター .....	158
④ エンジンスイッチ .....	188
⑤ ランプスイッチ .....	176
⑥ パワーリヤゲートスイッチ .....	136
⑦ 電動スライドドアスイッチ .....	127
⑧ パワーリヤゲートメイン スイッチ .....	136
⑨ 電動スライドドアメイン スイッチ .....	127
⑩ ドアロック .....	123
⑪ パワーウインドーロック スイッチ .....	144
⑫ パワーウインドースイッチ .....	141
⑬ ドアミラー調節スイッチ .....	155

⑭ ドアミラー格納スイッチ .....	156
⑮ AFS* OFFスイッチ .....	178
⑯ TCS OFFスイッチ .....	94
⑰ フューエルリッドオープナー .....	146
⑱ ボンネットオープナー .....	147
⑲ ハンドル調節レバー .....	155

\* AFS (アダプティブフロントライティングシステム)

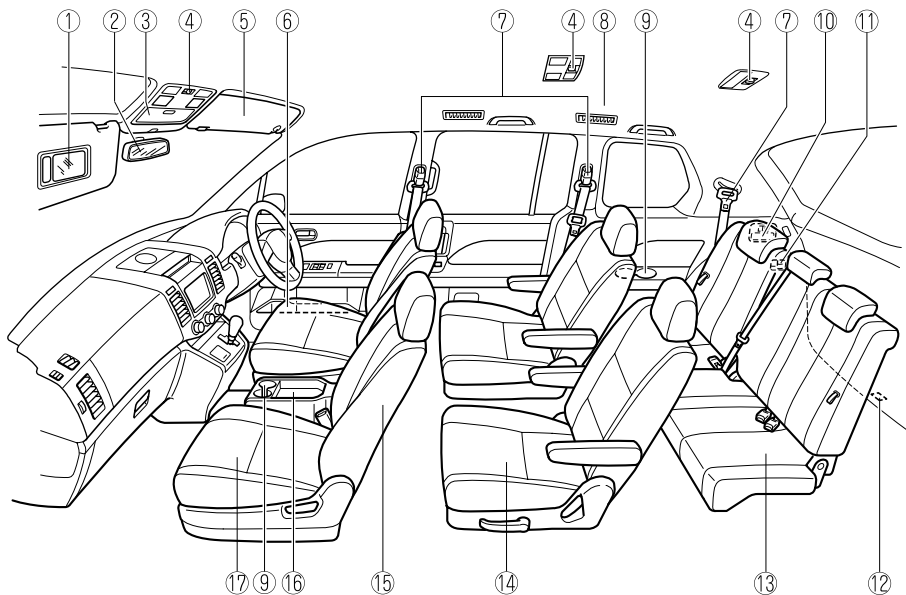
## 運転席まわり



- |                         |     |                 |     |
|-------------------------|-----|-----------------|-----|
| ① 発炎筒 .....             | 246 | ⑮ リヤウインドーデフォグガー |     |
| ② アップーグローブボックス .....    | 239 | スイッチ .....      | 185 |
| ③ 助手席エアバッグ .....        | 85  |                 |     |
| ④ グローブボックス .....        | 238 |                 |     |
| ⑤ AMB (外気温表示) ボタン ..... | 233 |                 |     |
| ⑥ エアコン .....            | 214 |                 |     |
| ⑦ インフォメーションセンター         |     |                 |     |
| ディスプレイ .....            | 232 |                 |     |
| ⑧ オーディオリモートコントロー        |     |                 |     |
| ルスイッチ .....             | 228 |                 |     |
| ⑨ 運転席エアバッグ .....        | 85  |                 |     |
| ⑩ コインボックス .....         | 238 |                 |     |
| ⑪ パーキングブレーキ .....       | 190 |                 |     |
| ⑫ セレクトレバー .....         | 192 |                 |     |
| ⑬ シガーライター .....         | 234 |                 |     |
| ⑭ 灰皿 .....              | 234 |                 |     |

# イラスト目次

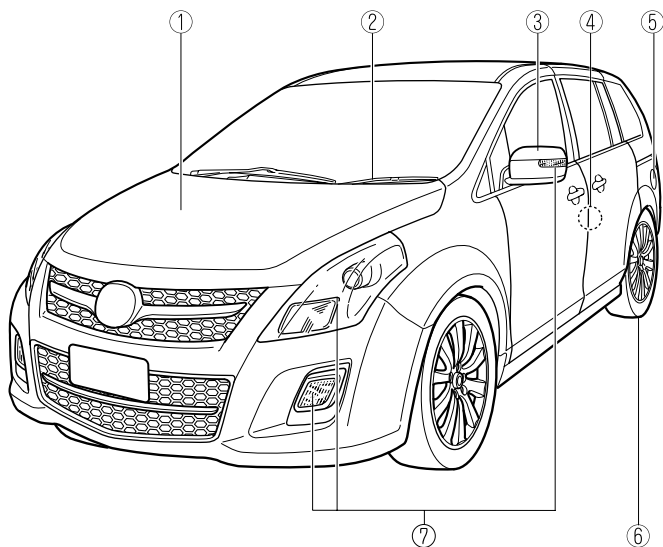
## 室内



① バニティミラー .....	229
② ルームミラー .....	157
③ オーバーヘッドコンソール .....	238
④ ルームランプ .....	230
⑤ サンバイザー .....	229
⑥ ボトルホルダー .....	237
⑦ シートベルト .....	63
⑧ カーテンエアバッグ .....	85
⑨ カップホルダー .....	236
⑩ ラゲッジルームランプ .....	231
⑪ 電動復帰機構付シートスイッチ (荷室を作るとき) .....	54
⑫ リヤゲートクローズスイッチ (パワーリヤゲート) .....	136
⑬ サードシート .....	54
⑭ セカンドシート .....	47
⑮ サイドエアバッグ .....	85

⑯ 格納式センターテーブル .....	235
⑰ フロントシート .....	44

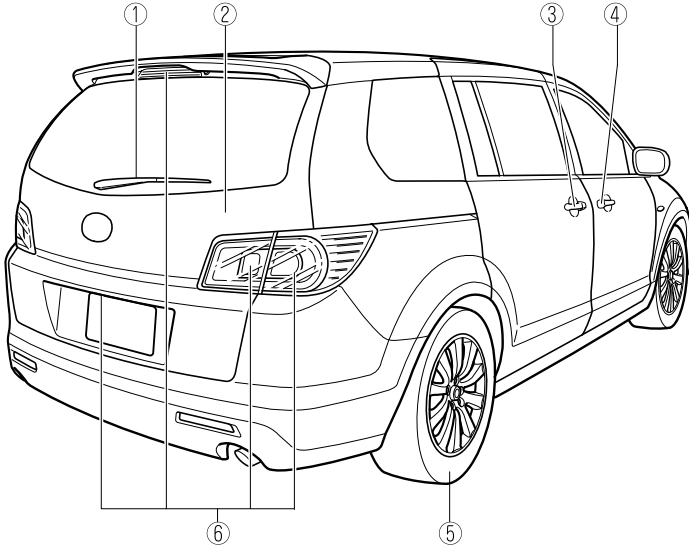
## フロント外観



① ボンネット .....	147
② フロントワイパー .....	182
③ ドアミラー .....	155
④ チャイルドプルーフ .....	126
⑤ 燃料補給口 .....	145
⑥ タイヤ .....	326
⑦ 電球 (バルブ) .....	325

# イラスト目次

## リヤ外観



① リヤワイパー .....	185
② リヤゲート .....	133
③ スライドドア .....	124
④ ドア .....	122
⑤ タイヤ .....	326
⑥ 電球 (バルブ) .....	325

# MEMO

# 詳細目次

## 1 必読！安全ドライブのために

お出かけ前に	14
お子さまを乗せるとき	19
安全装備について	22
運転するとき	25
運転装置について	29
駐停車するとき	33
こんなことにも注意	35

## 2 安全装備

シート	42
正しい運転姿勢	42
フロントシート	44
セカンドシート	47
サードシート	54
シートアレンジ	58
ヘッドレスト	61
シートベルト	63
正しい着用のしかた	63
シートベルトの種類	66
3点式シートベルト	67
お子さまの安全	72
お子さま専用シートについて	72
チャイルドシートを固定するとき	78
SRSエアバッグシステム	80
SRSエアバッグシステムについて	80
ABS	91
ABSについて	91
トラクションコントロールシステム (TCS)	93
TCSについて	93
ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC)	95
DSCについて	95



## 3 操作と取り扱い

### アドバンストキー 98

アドバンストキーについて .....	98
アドバンストキーレスの機能を使 っての操作 .....	104
アドバンストキーレスの機能を使 わない操作 .....	110
アドバンストキー一時停止機能 .....	113
警報 .....	113
設定変更 (カスタマイズ機能) .....	115
こんなときは .....	116

### 各部の開閉 117

キー .....	117
キーレスエントリーシステム (リトラクタブルタイプキー装備 車) .....	118
フロントドア .....	122
スライドドア .....	124
パワードアロック .....	131
リヤゲート .....	133
パワーウインドー .....	141
燃料補給口 .....	145
ボンネット .....	147

### 盗難防止システム 150

イモビライザーシステム (アドバンストキー装備車) .....	150
イモビライザーシステム (アドバンストキー非装備車) .....	152

### 各部の調節 155

ハンドル .....	155
ドアミラー .....	155
ルームミラー .....	157

### メーター、警告灯、表示灯の 見方 158

メーター .....	158
警告灯、表示灯 .....	162
警報音 .....	174

### スイッチの使いかた 176

ランプスイッチ .....	176
方向指示器 .....	180
フォグランプスイッチ .....	181
ワイパー/ウォッシャースイッチ .....	181
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ .....	185
ホーン .....	186
非常点滅灯スイッチ .....	187

### 運転装置の使いかた 188

電源ポジション (エンジンスイッチ) .....	188
エンジンの始動 .....	189
エンジンの停止 .....	190
ブレーキ .....	190
オートマチックトランス ミッション .....	192
オートマチック車を運転すると き .....	198
4WD .....	201
カメラ .....	203

## 4 快適カーライフ のために

### 空調 214

エアコンを上手に使用していただ くために .....	214
フロント吹き出し口 .....	216
フロントフルオートエアコン .....	218
リヤ吹き出し口 .....	223
リヤフルオートエアコン .....	225

<b>オーディオ</b>	<b>228</b>
アンテナ .....	228
オーディオリモートコントロール スイッチ .....	228

<b>室内装備</b>	<b>229</b>
サンバイザー .....	229
室内照明 .....	229
インフォメーションセンターディ スプレイ .....	232
シガーライター .....	234
灰皿 .....	234
格納式センターテーブル .....	235
カップホルダー .....	236
ボトルホルダー .....	237
収納 .....	238

## 5 万一のときは

<b>故障したとき</b>	<b>244</b>
路上で故障したとき .....	244
踏切内で動けなくなったとき .....	245

<b>緊急用具の取り扱い</b>	<b>246</b>
発炎筒 .....	246
工具、ジャッキ .....	247
ジャッキの取り扱い .....	249
スペアタイヤ .....	252
タイヤ交換 .....	253

<b>パンクしたとき</b>	<b>256</b>
タイヤパンク応急修理キット .....	256

<b>オーバーヒートしたとき</b>	<b>262</b>
オーバーヒートについて .....	262

<b>バッテリーがあがったとき</b>	<b>264</b>
バッテリーあがりについて .....	264

<b>ヒューズ切れ、電球切れのとき</b>	<b>267</b>
ランプ類、電気装置が作動しない とき .....	267
ヒューズの受け持つ装置 .....	278

<b>けん引について</b>	<b>283</b>
けん引してもらうとき .....	283
故障車をけん引するとき .....	285

<b>万一事故が起きたとき</b>	<b>287</b>
-------------------	------------

## 6 車との上手なつきあいかた

<b>点検、整備</b>	<b>290</b>
点検整備について .....	290
定期点検 .....	290
日常点検 .....	291

<b>車の手入れ</b>	<b>299</b>
外装の手入れ .....	299
内装の手入れ .....	303
その他の手入れ .....	305

## 積雪、寒冷時の取り扱い 307

冬にそなえて .....	307
運転する前に .....	308
走行するときは .....	309
駐車するときは .....	310
タイヤチェーンの取り付け .....	310
寒冷地用ワイパーブレードについて .....	311

## こんなときは 312

夏期の取り扱い .....	312
雨の日の運転 .....	312

## 環境保護のために 313

経済的な運転 .....	313
廃棄物を処理するときは .....	316

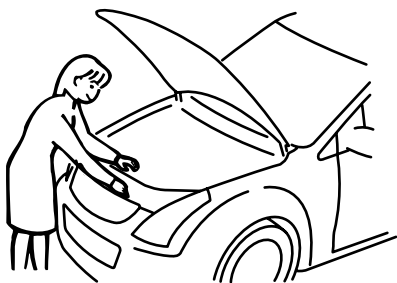
# MEMO

# 1 必読！安全ドライブのために

安全のために知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことをまとめております。よく読んでお守りください。

お出かけ前に	14
お子さまを乗せるとき	19
安全装備について	22
運転するとき	25
運転装置について	29
駐停車するとき	33
こんなことにも注意	35

## 点検は必ず実施する



安全で快適な運転をするために、日常点検整備および定期点検整備を実施することが法律で義務づけられています。

点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

いつもと違う点に気づいたら、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

## バッテリーがあがりやすいときはマツダ販売店で点検を受ける

バッテリーがあがりやすいときは、バッテリーの性能が低下しているおそれがあります。このような状態でエンジンを始動すると、破裂（爆発）につながるおそれがあり危険です。バッテリーがあがりやすいときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

また、交換は必ずマツダ販売店にご相談ください。

## 日常点検としてタイヤを定期的に点検する

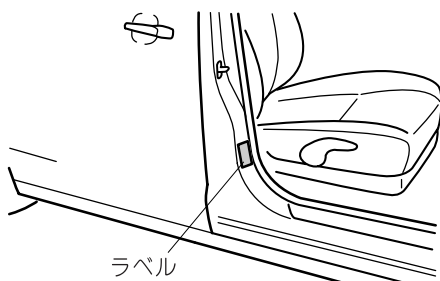
タイヤの点検は法律で義務付けられていません。

タイヤは以下の点検をしてください。

- タイヤの空気圧
- タイヤのき裂・損傷
- タイヤの溝の深さ、異常摩耗

点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

## タイヤの空気圧は必ず指定空気圧に調整する



タイヤの空気圧が不足したままで走行しないでください。タイヤの空気圧が不足していると車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗したりします。また、タイヤの空気圧が不足したままで高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

適正空気圧は、運転席ドアを開けたボディ側に貼付されているラベルで確認してください。

## タイヤの側面などにき裂や損傷のあるタイヤを装着しない

- 異常があるタイヤを装着しないでください。
  - 異常があるタイヤを装着すると、走行中にハンドルがとられたり、異常な振動を感じる場合があります。また、パンクやバースト（破裂）などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。走行中、異常な振動を感じた場合はマツダ販売店で点検を受け、正常なタイヤと交換してください。
  - 異常のあるタイヤを装着していると、車の性能（燃費・走行安定性・制動距離など）が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、部品に悪影響をあたえるなど、故障の原因になるおそれがあります。
- 道路の路肩などにタイヤの側面を接触させたり、凹凸やわだちの乗り越しは避けてください。タイヤの損傷、き裂などをまねくおそれがあります。

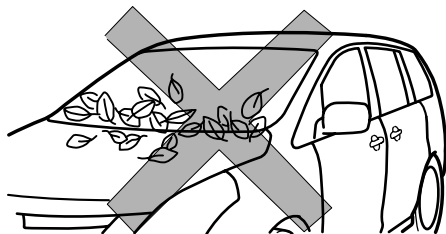
## 摩耗限度をこえたタイヤは装着しない

タイヤの溝の深さが少ないタイヤや摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が現れているタイヤを使用しないでください。そのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロプレーニング現象※により、ハンドル操作ができなくなったり、タイヤがバースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。摩耗限界表示が現れたらすみやかに正常なタイヤと交換してください。

→295ページ「タイヤの点検」

※ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、ハンドルやブレーキが効かなくなる現象。

## 外気取り入れ口をふさがない



フロントガラス前部の外気取り入れ口が、雪や落ち葉などでふさがっているときは取り除いてください。外気が導入できないため、車内の換気が十分できなくなるおそれがあります。

## 指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しない

- 指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しないでください。  
→318ページ「燃料」  
有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、軽油、高濃度アルコール含有燃料を補給すると次のような悪影響をおよぼします。
  - ・ エンジンや燃料系部品が損傷したり、最悪の場合車両火災につながるおそれがあります。
  - ・ エンジンの始動性が悪くなるおそれがあります。
  - ・ ノッキングが発生したり、エンジンの出力が低下するおそれがあります。
- バイオ燃料混合ガソリンをお使いになることもできます。  
→145ページ「燃料補給口」

## 燃料補給時の注意

- 必ずエンジンを止めてください。火災につながるおそれがあります。
- 燃料を補給するときは、必ず次の点を守ってください。身体に静電気を帯びたまま作業をすると、放電による火花で燃料に引火、爆発し重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ 燃料補給作業は必ず一人で行ない、補給口に他の人を近づけないでください。
  - ・ 静電気を除去するため、フューエルキャップを開ける前には、車体または給油機などの金属部分に触れてください。
  - ・ 静電気の放電を防ぐため、フューエルキャップの開閉は必ずツマミ部分を持って行ってください。
  - ・ 再帯電を防ぐため、燃料を補給する人は給油中に車内のシートに座らないでください。
- 補給口にはタバコなどの火気を近づけないでください。火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ差し込んでください。給油ノズルが確実に差し込まれていないと、オートストップの作動が遅れ、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルのオートストップ作動後は、追加給油しないでください。オートストップ作動後に追加給油すると、燃料があふれ出るおそれがあります。
- フューエルキャップを開けるときは、ゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まってから取りはずしてください。急に開けると、燃料が噴き出すことがあるため火災につながったり、目や皮膚に付着すると傷害につながるおそれがあります。



- フューエルキャップは、確実に閉めてください。キャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料がもれ、火災につながるおそれがあります。
- 純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。燃料装置や排出ガス発散抑止装置などの故障につながるおそれがあります。
- ドアや窓を必ず閉めて燃料を補給してください。火災になった場合、室内に燃え広がるおそれがあります。
- 気化した燃料を吸い込まないように注意してください。人体に有害な成分を含んでいる燃料があります。特にアレルギー体質の方は、注意してください。

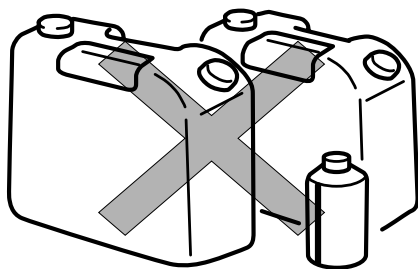
## 荷物を積むときは固定する



荷物を積むときは、そのまま置いたり積み重ねたりせず、確実に固定してください。走行中に荷物が移動したりくずれたりしてけがや思わぬ事故につながるおそれがあります。

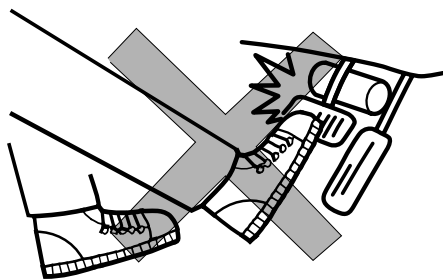
また、シート背もたれの高さを越えないようにしてください。後方、側面の視界が悪くなるため危険です。

## 可燃物、危険物は積まない



燃料のはいった容器やスプレー缶は積まないでください。爆発、火災につながるおそれがあり危険です。

## 運転席足元には物を置かない

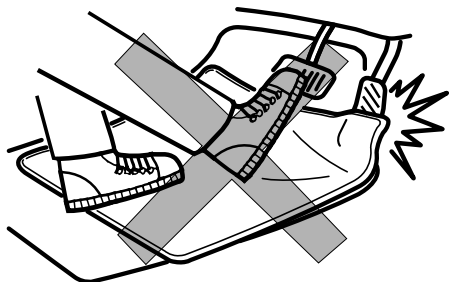


運転席足元にあき缶などの物を置かないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまったりすると、ブレーキやアクセルペダルが正しく操作できなくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 収納スペース使用時の注意

フタのついていない収納スペースに物を入れるときは、収納のしかたに注意してください。収納の状態により、急加速時に内部の物が飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

## フロアマットは車に合ったものを使用する



車に合ったものを、フロアカーペットの上をしっかり固定して使用してください。

フロアマットを敷くときは次の点を守ってください。フロアマットがすべったり、ブレーキペダルやアクセルペダルにフロアマットが引っかかるなど、ペダル操作のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

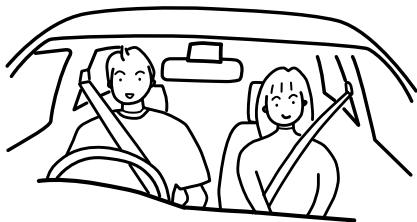
- 大きすぎるフロアマットは使用しない
- フロアマットは重ねて使用しない

## 正しい運転姿勢に調節する

走行前には、シート、ヘッドレスト、ハンドルの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節してください。

→42ページ「正しい運転姿勢」

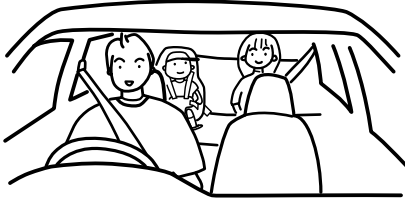
## シートベルトは全員着用する



走行する前に運転者はもちろん同乗者にも必ずシートベルトを正しく着用させてください。シートベルトを着用していないと、急ブレーキ時や衝突時などに身体が拘束されないため車内の物に打ちつけられたり、車外に放りだされ、重大な傷害につながるおそれがあります。

→63ページ「正しい着用のしかた」

## お子さまはリヤシートに乗せる

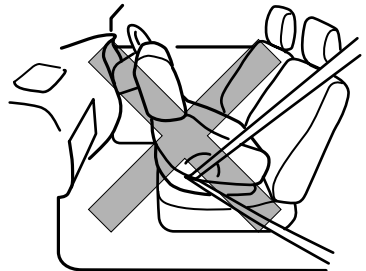


お子さまはリヤシートに乗せるほうが安全です。助手席に乗せるとお子さまの動作が気になったり、お子さまが運転装置などにさわって、運転のさまたげになることがあります。

## お子さまにもシートベルトを着用させる

- お子さまはできるだけリヤシートに座らせ、必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いたり、ひざの上に乗せたりすると、急ブレーキ時や衝突時に十分に支えることができず、お子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトが首や顔などに当たったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートを使用しないと、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。
- お子さまがエアバッグの前に立っていたり、正しい姿勢で座っていなかったりすると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

## チャイルドシートは正しく取り付ける



# お子さまを乗せるとき

警告ラベル

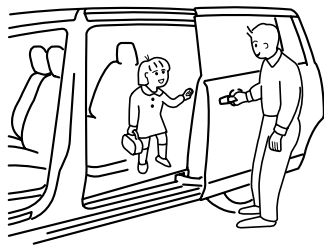


- エアバッグの作動可能な助手席には、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。

助手席エアバッグ装備車には図のような警告ラベルが貼付されています。この警告ラベルは、助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けてはいけないということを示しています。

- ベビーシート、チャイルドシートを取り付けたときは、確実に取り付けられていることを確認してください。取り付けかたは、それぞれの商品に付属している取扱説明書に従って取り付けてください。またチャイルドシート固定ロアアンカレッジで固定するタイプのチャイルドシートをお持ちのお客様は78ページの「ISOFIX対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジ&トップテザーアンカレッジ」もあわせてお読みください。
- ISOはInternational Organization for Standardization (国際標準化機構)の略です。

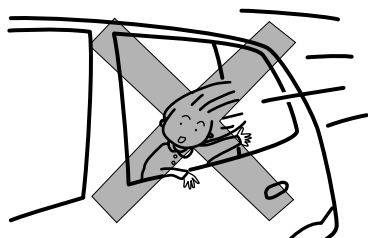
## ドア、窓ガラスの開閉は大人が操作する



お子さまにはドア、窓ガラスの開閉をさせないでください。手、足、首などをはさんだりして重大な傷害につながるおそれがあります。

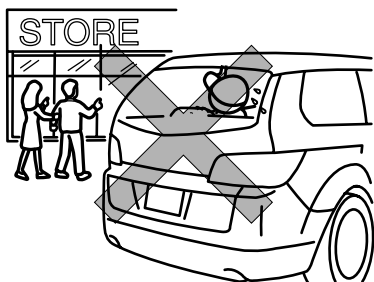
- パワーウインドーロックスイッチはロックの位置にしてください。  
→141ページ「パワーウインドー」
- ドアを閉めたあとは必ず施錠してください。
- チャイルドブーフは施錠側にしておいてください。  
→126ページ「チャイルドブーフ」
- アームレストを使用するときは注意してください。  
→46ページ「アームレスト」  
→52ページ「アームレスト」

## 窓から手や顔を出させない



走行中はお子さまが窓から手や顔を出さないよう注意してください。車外の物に当たったり、急ブレーキを踏んだとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

## 車から離れるときはお子さまも一緒に連れていく



車から離れるときはお子さまだけを車内に残さないでください。

- お子さまのいたずらにより、装置の作動、車の発進、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 炎天下の車内はたいへん高温になり、お子さまが脱水症状を起こすおそれがあります。症状がひどくなると脳に障害が残ったり、最悪の場合死に至るなどお子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

## SRSエアバッグシステム の注意

80ページの「SRSエアバッグシステム」をよくお読みください。

### お車に乗る前に

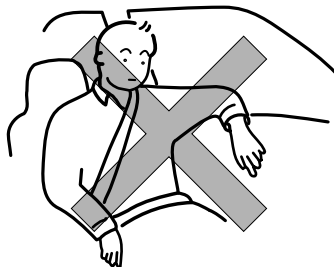
SRSエアバッグシステムはシートベルトの働きに加えて乗員を保護する装置であり、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。

### 用品の交換、取り付けなどについて

- ハンドルを交換しないでください。また、パッド部にステッカーなどを貼り付けたりしないでください。万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
- インstrumentパネル上部にステッカーを貼り付けたり、芳香剤、アクセサリ用品、手荷物などの物を置いたりしないでください。また、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

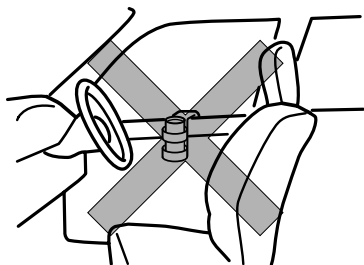
## サイドエアバッグについて

- フロントシート背もたれの外側部分に手、足、顔を近づけた姿勢で座らないでください。フロントシートに座ったときは、フロントドアにもたれかかったり、窓から腕を出したりしないでください。また、リヤシートに座ったときはフロントシートの背もたれを抱えないでください。サイドエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



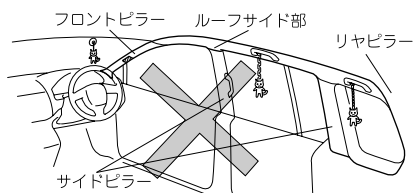
- フロントシートにシートカバーを使用するときは、この車専用のサイドエアバッグ対応純正品を使用してください。純正品以外のものを使用するとサイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。ご購入の際は、マツダ販売店にご相談ください。

- フロントドアやフロントシート付近にカップホルダーなどのアクセサリ用品を取り付けしないでください。サイドエアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



## カーテンエアバッグについて

- ドアにもたれかかったり、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部などに近づかないようにして座ってください。カーテンエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
- フロント窓ガラス、リヤ窓ガラス、フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部、アシストグリップなどカーテンエアバッグ展開部周辺にアクセサリ、ハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



- アシストグリップやコートフックなどには重たいものやとがったものをかけないでください。服などをかけるときはハンガーを使わないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

## メンテナンスについて

次のような作業が必要なときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。これらの作業を行なうとエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRSエアバッグの取りはずし、取り付け、分解、修理
- ハンドルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- インストルメントパネルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- フロントシートの交換、取りはずし、取り付け、分解、修理
- 車両前部または側部の修理
- フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部の修理
- オーディオなど用品の取りはずし、取り付け



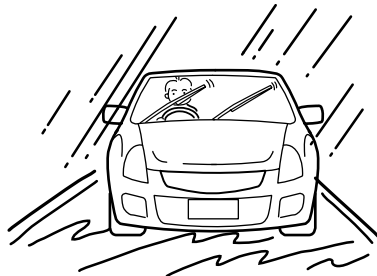
## 走行中はエンジンを止めない

走行中にエンジンを止めると、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 坂道ではエンジンブレーキを使う

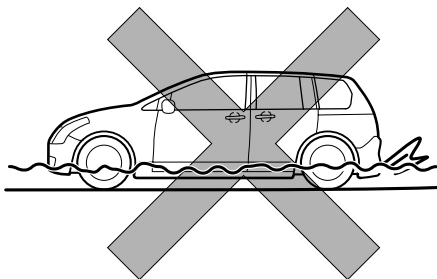
ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、効きが悪くなることがあります。下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用してください。また、ぬれた路面や積雪路、凍結路では急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。スリップするおそれがあります。エンジンブレーキとは、走行中アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力で低速ギヤほどよく効きます。

## すべりやすい路面では慎重に運転する



ぬれた路面や凍結路、積雪路などのすべりやすい路面では、急加速や急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキを避け、スピードをひかえめにして運転してください。ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態（ハイドロプレーニング現象）になるおそれがあります。

## 冠水した道路を走行しない

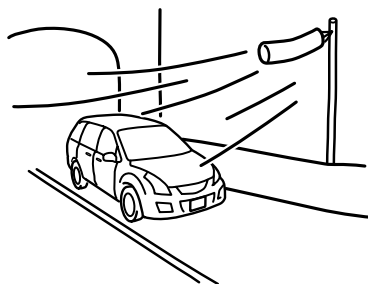


冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んだエンジンの破損など、車両に悪影響をおよぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。

## 水たまり走行後や洗車後は ブレーキの効きを確認する

水たまりを走行したあとや洗車後は、ブレーキパッドがぬれているため、ブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方のブレーキだけが効いて、ハンドルをとられるおそれがあり危険です。ブレーキの効が悪いときは、低速で走りながら、効きが回復するまでブレーキペダルを軽く数回踏んでブレーキを乾かしてください。

## 横風が強いときは慎重に 運転する



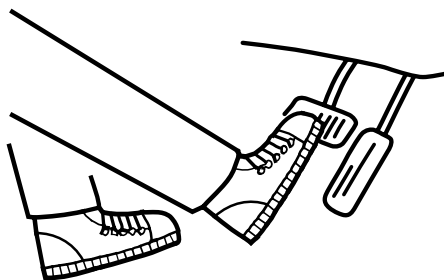
横風が強く、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に落としてください。トンネルの出口、橋の上、山を削った切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。走行安定性を失い、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ブレーキペダルに足をの せたまま走行しない

ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。

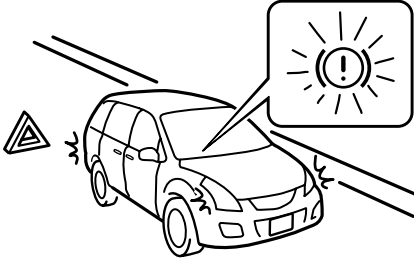
- ブレーキの部品が早く摩耗します。
- ブレーキが過熱し、効きが悪くなるおそれがあります。

## ブレーキ操作は右足で



- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。慣れない左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど、適切な操作ができないおそれがあります。
- アクセルペダルの操作でブレーキペダルに靴が接触することがないように、運転に適した靴で運転してください。

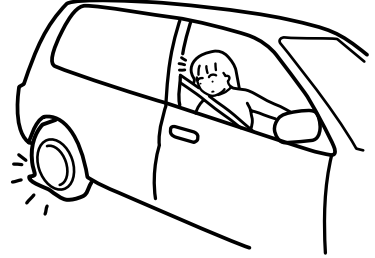
## 警告灯が点灯/ 点滅したら車を止める



走行中に警告灯が点灯/点滅したときは、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置を行なってください。警告灯の点灯/点滅を無視して運転を続けるとエンジンなどを損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

→162ページ「警告灯、表示灯」

## パンクやバースト (破裂) してもあわてない



走行中タイヤがパンクやバースト (破裂) したときは、ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけスピードを落としてください。

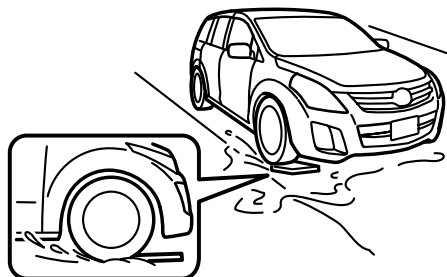
急ブレーキをかけるとハンドルをとられるおそれがあります。

次のようなときはパンクやバースト (破裂) が考えられます。

- ハンドルがとられるとき。
- 異常な振動があるとき。
- 車両が異常に傾いたとき。

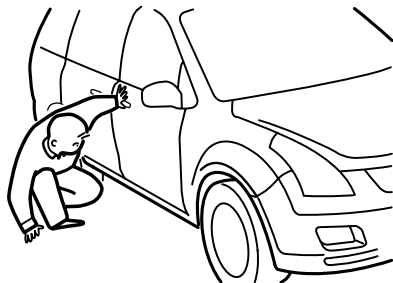
## スタックした状態から脱出するときは注意する

ぬかるみ、砂地、深雪路などで駆動輪が空転したり、埋まり込んで動けなくなることをスタックといいます。



- 周囲の安全を十分に確認してください。脱出直後に車両が突然動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤ前後の土や雪を取り除くが、タイヤの下に木や石をあてがい、セレクトレバーをDまたはRにいれて、アクセルペダルを軽く踏みます。セレクトレバー操作中はアクセルペダルを踏まないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。また、車両の周辺に人がいないことを確認してください。あてがった木や石が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。
- タイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト（破裂）したり、異常過熱するため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセルを過度に空ぶかししたり、タイヤを空転させないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。

## 床下に衝撃を受けたら下まわりを点検する



安全な場所に停車して、車の下にブレーキ液や燃料の漏れがないか、また各部に損傷がないか確認してください。

異常があったときは、マツダ販売店に連絡してください。

そのまま走行すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 異常を感じたときはマツダ販売店で点検を受ける

次のようなときは、車が故障しているおそれがあります。そのまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

マツダ販売店で点検を受けてください。

- 普段と違う音や臭い、振動がするとき。
- ハンドル操作に異常を感じる時。
- ブレーキ液が不足しているとき。
- 車の下に油のあとが残っているとき。

## オートマチック車を運転するとき

### オートマチック車の特性

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り替えを自動化した車で、その分操作の負担が軽くなります。運転は楽になりますが、安易に運転することは禁物です。

オートマチック車の特性を理解し、正しい操作をする習慣をつけてください。

→192ページ「オートマチックトランスミッション」

### クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP、N以外にはいと、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。この現象をクリープ現象といいます。

- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルをしっかり踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなりクリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでおいてください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用すると、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節できます。

### キックダウン

走行中、セレクトレバーがDのときアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、急加速させることができます。

この操作をキックダウンといいます。

- 追い越しや高速道路での合流など、加速が必要なときに行ないます。
- すべりやすい路面やカーブを走行するときは、急激なアクセル操作はしないでください。

### エンジンをかける前に

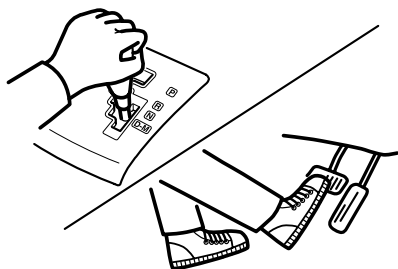
正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。

ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。

### エンジンをかけるときは

安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPにいれ、ブレーキを効かせた状態でエンジンをかけてください。

## 発進するとき



- アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。車が急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなり、クリーブ現象が強くなります。
- マニュアル車では発進時の速度をクラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車ではアクセル操作のみで行ないますので、アクセル操作は慎重に行なってください。

## 走行するとき

- 走行中はセレクトレバーをNにいれないでください。トランスミッションの故障につながります。また、エンジンブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 停車するとき

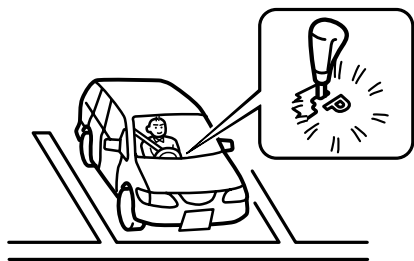
- 停車中、むやみにアクセルペダルを踏まないでください。セレクトレバーがP、N以外にはいつているとき、誤ってアクセルペダルを踏むと急発進するため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 停車後、再発進するときはセレクトレバーの位置に思い違いがないよう確認してください。意に反して車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でセレクトレバーを前進位置にいれ、アクセルをふかしながら停車しないでください。トランスミッションが過熱し、故障につながるおそれがあります。

## 後退するとき

- 後退時は身体を後ろにひねった姿勢になります。ブレーキペダルを確実に踏めるよう注意してください。
- 少し後退したときなどはセレクトレバーをRにいれたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーをNにもどし、発進時にはセレクトレバーの位置を確認してください。

## 駐車するときは

- 駐車するときは、セレクトレバーをPにいい、パーキングブレーキをかけてください。パーキングブレーキをかけただけや、セレクトレバーをPにいいただけで駐車していると、車が勝手に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンをかけたまま駐車しないでください。万一セレクトレバーがP以外にはいっていた場合、クリーブ現象で車が勝手に動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- セレクトレバーをPにいれるときは、車を完全に止めてから行なってください。車が完全に止まる前にセレクトレバーをPにいれると、トランスミッションに無理な力がかかり故障につながるおそれがあります。



## そのほかに気をつけること

坂道などで、セレクトレバーを前進位置に入れたまま後退したり、後退位置に入れたまま前進することは行わないで下さい。エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 4WD車を運転するとき

### 4WD車の特性

4WDは、積雪路、砂地、ぬかるみ、急な坂などすべりやすい路面ですぐれた走行性を発揮します。

→201ページ「4WD」

オフロード走行やラリー走行を目的に作られた万能車ではありません。凸凹や岩を乗り越えたり、川を渡ったりしないでください。

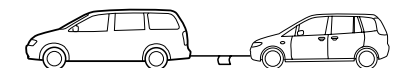
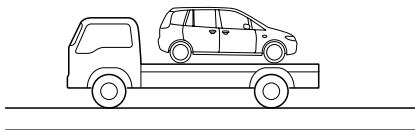
4WD車であっても、アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行ない、常に安全運転を心がけてください。

## タイヤについて

タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。また、駆動系部品に悪影響をあたえないために、次の点を守ってください。

- タイヤを交換するときは前後輪を同時に交換してください。
- 前後輪とも指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。特にスノータイヤなどの冬用タイヤを装着するときは注意してください。
- 摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。
- タイヤの空気圧は定期的に点検し、タイヤ間で空気圧の差が著しくならないように規定値に調節してください。  
適正空気圧は運転席ドアを開けたボデー側に貼付されているラベルで確認してください。
- 前後輪とも必ず指定されたサイズの純正ホイールを装着してください。
- タイヤチェーンは前輪に取り付けてください。
- タイヤチェーンを装着したときは、30 km/h以上で走行しないでください。
- 積雪路、凍結路以外では、タイヤチェーンを装着して走行しないでください。

## けん引してもらうときは



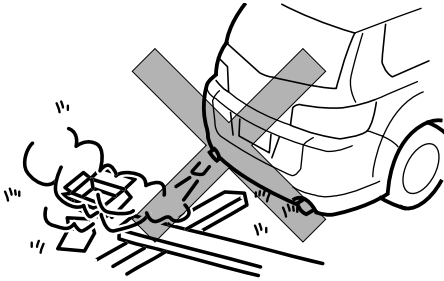
4WD車のけん引は、前後輪すべてを持ち上げるか、前後輪接地の状態で搬送してください。駆動装置の故障時はトレーラーなどに搭載して搬送してください。

前輪または後輪だけを持ち上げた状態でけん引すると、駆動装置が破損したり、車輪が台車から飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

→283ページ「けん引してもらうとき」



## 燃えやすい物のそばに車を止めない



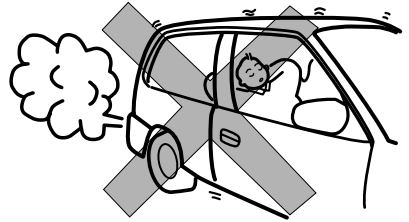
車を止める時には、次の点を守ってください。

- 走行したあとは排気管が高温になっているため、枯れ草など、燃えやすいものがそばにあると火災につながるおそれがあります。
- 壁やベニヤ板などが後方にある場合は、間隔を十分とってから停車してください。排気ガスにより変色、変形したり、そのまま放置しておくとも火災につながるおそれがあります。

## ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けると、パワーステアリング装置を損傷するおそれがあります。

## 仮眠するときはエンジンを止める



エンジンをかけたままで仮眠しないでください。無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込み車が発進したり、エンジンや排気管の異常過熱による火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

また、排気管が損傷していたり、換気の悪い場所では、知らない間に排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

→38ページ「一酸化炭素中毒に気をつける」

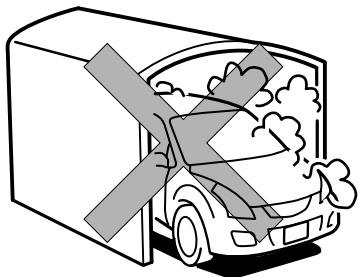
## 長時間停車するときは空調を外気導入にする

エンジンをかけたまま長時間停車するときは、空調を手動で外気導入にしてください。空調を内気循環にすると、車内の圧力が下がり排気ガスが入り易くなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

→38ページ「一酸化炭素中毒に気をつける」

→214ページ「エアコンを上手に使用していただくために」

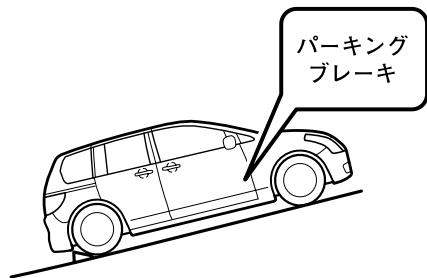
## 換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない



換気の悪い場所ではエンジンをかけたままにしないでください。ガレージの中や積雪した場所、その他周囲が囲まれた換気の悪い場所では、排気ガスが行き場を失い車内へはいりやすくなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

→38ページ「一酸化炭素中毒に気をつける」

## 坂道駐車はパーキングブレーキをしっかりかける



坂道での駐車は、パーキングブレーキをしっかりかけ、セレクトレバーをPにいらしてください。

急な坂道ではさらに輪止めをしてください。輪止めをしないと車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 車の移動はエンジンをかける

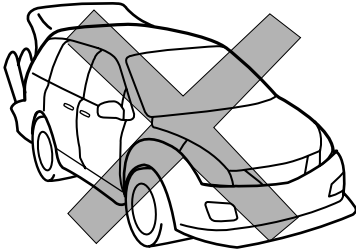
車を少し移動させるときでも、必ずエンジンをかけてください。下り坂などで傾斜を利用して移動させると、ハンドルがロックされたり、ブレーキの効きが悪いため思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 車から離れるときは必ずパーキングブレーキをかけ、施錠する



車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

## 違法改造はしない



車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自分でエンジン調整や配線などをしないでください。故障や、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、国土交通省に届け出た部品以外を装着すると違法改造になることがあります。部品の装着をするときは、マツダ販売店にご相談ください。

## タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する

- ホイール、ホイールナットは純正品以外を装着しないでください。純正品以外のものを装着すると車の性能が十分に発揮できないばかりでなく、走行中にナットがゆるみホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、駆動系部品に悪影響をおよぼしたり、違法改造になることがあります。
- タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。また、駆動系部品に悪影響をあたえないために、次の点を守ってください。
  - ・ 前後輪とも指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。特にスノータイヤなどの冬用タイヤを装着するときは注意してください。
  - ・ タイヤサイズは、運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。  
くわしくはマツダ販売店にご相談ください。
  - ・ 摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。
- タイヤはゴム製品のため、長期間使用すると徐々に劣化していきます。安全な走行状態を確保するために、使用開始後5～7年を目安にマツダ販売店で点検を受けてください。

### タイヤバルブキャップは 純正品を使用する

タイヤバルブキャップは純正品以外を使用しないでください。純正品以外を使用するとバルブの損傷により、適正空気圧にならないおそれがあります。そのまま走行すると空気圧が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ディスチャージヘッドランプ バルブを交換するときは マツダ販売店に相談する

ディスチャージヘッドランプのバルブ・コネクタ・電源回路・光軸（ヘッドランプの照らす方向）調整部分を分解したり、取りはずしたりしないでください。

ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。ディスチャージヘッドランプの交換・修理をするときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。

### 部品の取り付け、交換は マツダ販売店に相談する

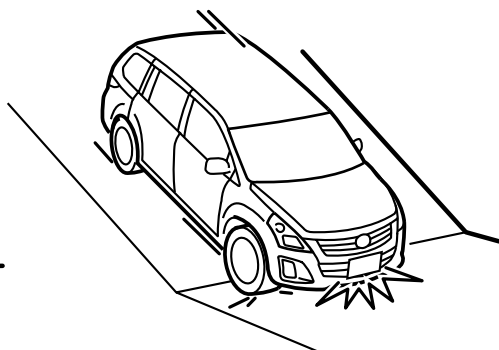
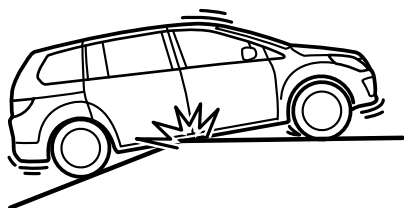
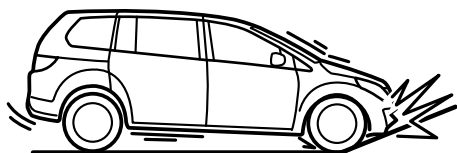
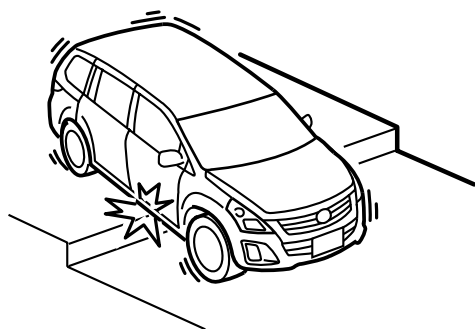
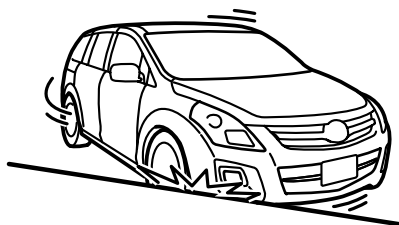
電話、無線、オーディオなど電気部品や電子部品を取り付けるときは、電子機器類に悪影響がでるおそれがありますので、マツダ販売店にご相談ください。

また、不適当な部品を取り付けたり、取り付け方法を誤ると、ブレーキ（ABS）、エアバッグの誤作動、エンジン不調、車両火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 路面などと車両との干渉に注意する

次のようなとき、バンパーやマフラーなど車体の下部を損傷するおそれがありますので、十分注意してください。

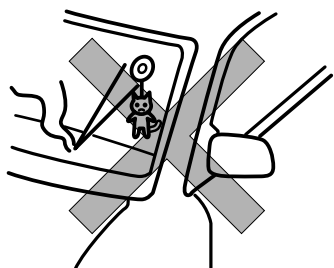
- 車止めのある場所への駐車
- 路肩に沿っての駐車
- 路肩など段差のある場所への乗り降り
- 駐車場など急な坂道への出入り
- 凸凹やわだちのある道路の走行



## ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

ナンバープレートを勝手に取りはずしたり、位置を変えないでください。ナンバープレートは正しい位置に確実に取り付けることが義務付けられています。

## アクセサリを取り付けない



窓ガラスやその周辺にアクセサリを取り付けると、運転のさまたげになったり、吸盤がレンズの働きをして、火災が起こるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 一酸化炭素中毒に気をつける

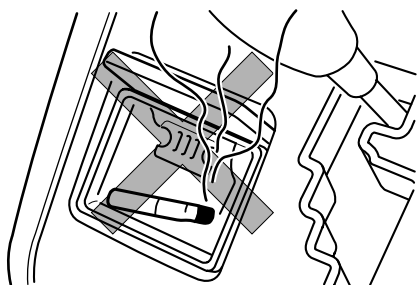
自動車から出る排気ガスには、一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素は、無色/無臭の有毒な気体です。体内に入ると、一酸化炭素中毒を起こします。

一酸化炭素中毒の初期症状は、目まい/吐き気/頭痛などの体調不良ですが、症状が進むと意識不明になって動けなくなります。また、症状によっては死亡に至ることがあります。

万一、排気管などに腐食や損傷があったり、排気音に異常を感じたときは、マツタ販売店で点検を受けてください。また、車内で排気ガスの臭いがしたときは、すべての窓を全開にするか、空調を手動で外気導入にして新鮮な外気をとり入れてください。

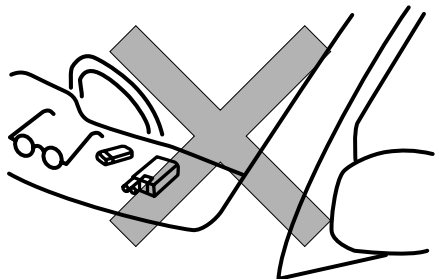
そのまま走行すると、排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

## タバコの吸いがらは火を消す



タバコ、マッチなどは完全に火を消してから灰皿に入れ、使用後は確実に閉めてください。開けたまま放置すると火災につながるおそれがあります。

## ライターやメガネを車内に放置しない



炎天下に駐車するときは、車内にメガネやライターを放置しないでください。車内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

## エンジンルーム内のファンやベルトに気をつける

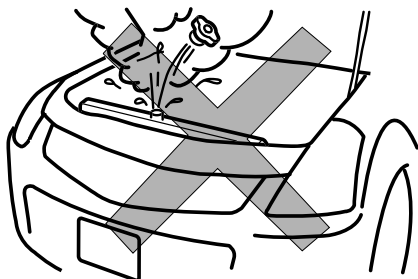


エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れないようにしてください。特に、エンジンルームが高温のときは、エンジンが止まってもファンが回転することがあるため、手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

## エンジンルーム内に物を置き忘れない

エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ラジエーターが熱いときはキャップをはずさない



エンジンが十分に冷えるまではラジエーターとリザーバータンクのキャップを開けないでください。エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

## 発進時には安全を十分確認する

発進時は周囲の状況に十分注意してください。

- 信号待ちなどで停車したときや、駐車後に発進するときは、周囲の安全を十分確認してから発進してください。
- 後退するときに十分な視界を得られないときは、車から降りて後方の安全を確認してください。

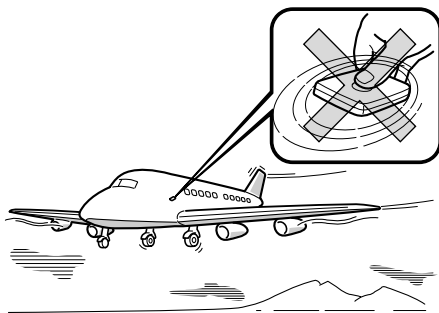
運転中は携帯電話を使用しない



運転しながらハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

航空機内ではアドバンストキー/  
リモートコントローラー  
を操作しない

航空機内ではアドバンストキー/リモートコントローラーを操作しないでください。アドバンストキー/リモートコントローラーを航空機内へ持ち込むことは可能ですが、操作すると航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。また、かばんやポケットなどで保管する場合は、アドバンストキー/リモートコントローラーのスイッチが容易に押されないように注意して下さい。





## 2 安全装備

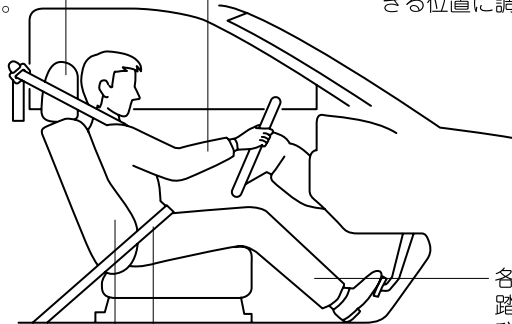
<b>シート</b>	<b>42</b>
正しい運転姿勢 .....	42
フロントシート .....	44
セカンドシート .....	47
サードシート .....	54
シートアレンジ .....	58
ヘッドレスト .....	61
<b>シートベルト</b>	<b>63</b>
正しい着用のしかた .....	63
シートベルトの種類 .....	66
3点式シートベルト .....	67
<b>お子さまの安全</b>	<b>72</b>
お子さま専用シートについて .....	72
チャイルドシートを固定するとき .....	78
<b>SRSエアバッグシステム</b>	<b>80</b>
SRSエアバッグシステムについて .....	80
<b>ABS</b>	<b>91</b>
ABSについて .....	91
<b>トラクションコントロールシステム (TCS)</b>	<b>93</b>
TCSについて .....	93
<b>ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC)</b>	<b>95</b>
DSCについて .....	95

## 正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節してください。

ヘッドレストの中央が、  
耳の上部と同じ高さ  
になるように調整します。

ひじがわずかに曲がり、  
ハンドル操作が楽にで  
きる位置に調整します。



シートに深く腰かけた  
ときに、背もたれと背中  
が離れない位置に調整します。

シートベルトが  
正しく着用できる  
位置に調整します。

各ペダルを  
踏み込んだときに、  
ひざがわずかに  
曲がる位置に  
調整します。



### 警告

■ シート各部の調節は、必ず走行前に行なってください。

走行中に行なうと、運転姿勢が不安定になったり、前方不注意になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 背もたれと背中の中にクッションなどを入れないでください。

正しい運転姿勢が取れないばかりか、衝突時にシートベルトなど拘束装置の効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 背もたれは必要以上に倒さないでください。

急ブレーキ時や衝突時に、体がシートベルトの下に滑り込み、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートの下に物を置かないでください。

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 注意

シートを調整する際は、調整する人やまわりの人が手や足などをはさまれないように注意してください。

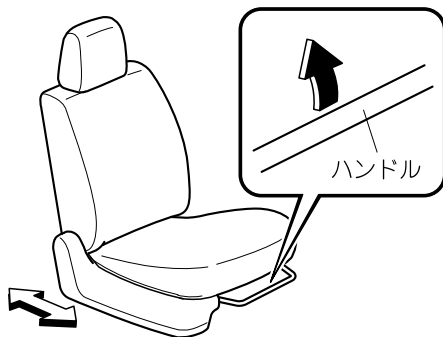
## フロントシート

### 警告

■操作後は確実にロックされていることを確認してください。  
走行中シートが不意に動くくと運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

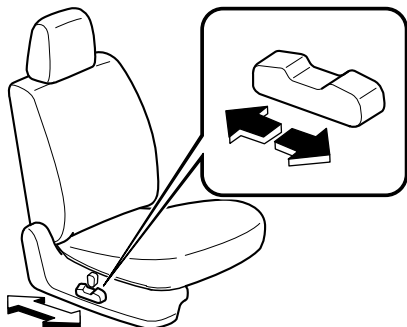
### 前後調節 (スライディング)

#### 手動式



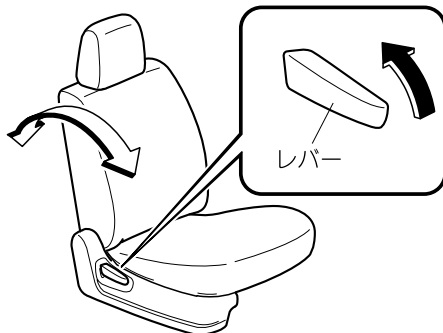
調節後はシートを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

#### 電動式 (運転席のみ)



### 角度調節 (リクライニング)

#### 手動式

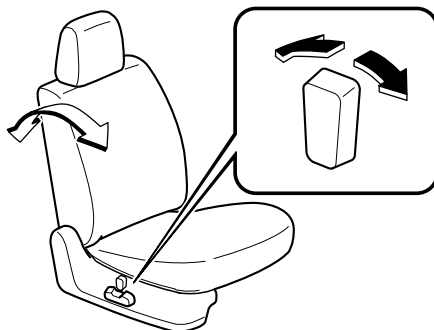


調節後は背もたれを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

### 注意

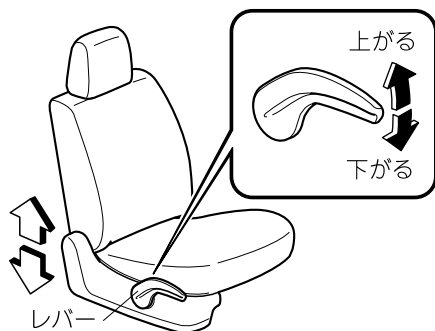
後ろに倒した背もたれをもとにもどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。

#### 電動式 (運転席のみ)

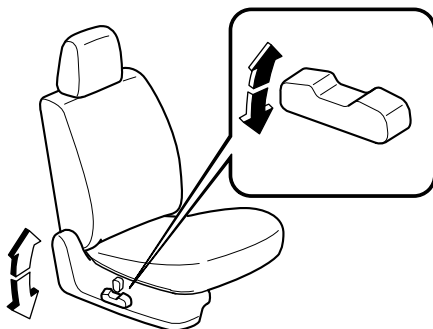
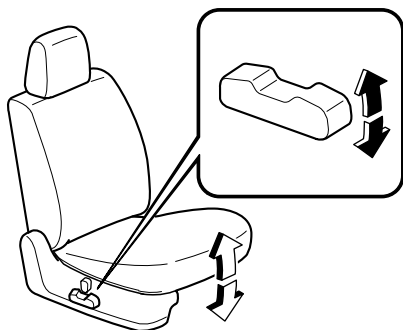
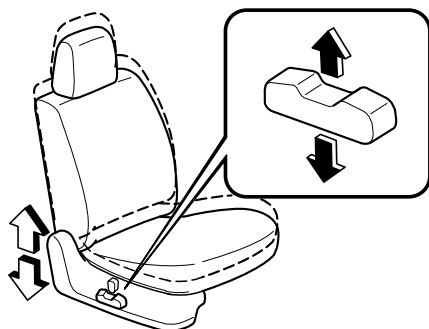


## 高さ調節 (運転席のみ)

### 手動式

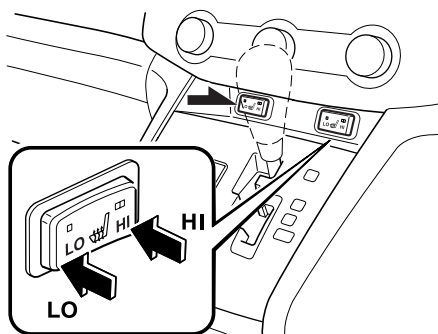


### 電動式



## シートヒーター☆

シートを温めることができます。



電源ポジションがONのとき、HIまたはLOを押すとスイッチの表示灯が点灯し、シートをあたためることができます。温度を高めを設定したい時はHI側を、低めに設定したい時はLO側を押してください。使用にならないときはスイッチの位置をOFF (中立) にしてください。

## ⚠ 注意

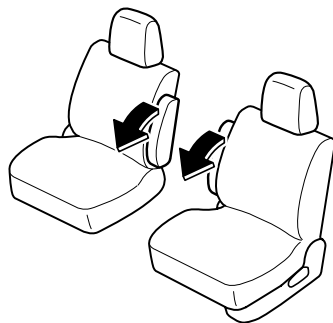
- 次のような方がご使用になる場合は、熱すぎたり、低温やけどを起こしたりするおそれがありますので、十分注意をしてください。
  - ・ 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な方
  - ・ 皮膚の弱い方
  - ・ 疲労の激しい方
  - ・ 深酒やねむけをさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を使用された方
- 毛布や座布団など保温性のよいものかけた状態で使用しないでください。シートが異常加熱し、低温やけどをするおそれがあります。
- 仮眠するときは使用しないでください。シートが異常加熱し、低温やけどをするおそれがあります。
- 突起のある重量物をシートの上に置いたり、針金やピン等でシートクッションをつきささないでください。シートが異常加熱し、低温やけどをするおそれがあります。
- シートの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。ヒーターやシートの表面を損傷するおそれがあります。

## 📖 知識

- エンジン回転中に使用してください。また、連続して長時間使用しないでください。
- シート温度はサーモスタットで自動的に制御されています。温度の調整はできません。

## アームレスト

### 使用するとき



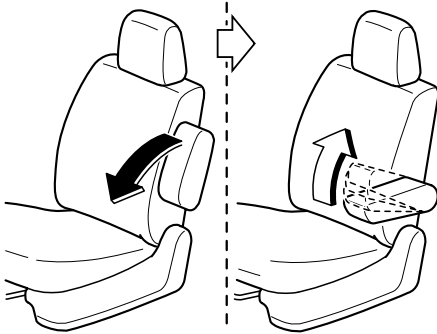
## ⚠ 警告

- シートベルトはアームレストの下を通して使用してください。上に通している、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。
- アームレストの取り付け部周辺に、手や指を置かないでください。シートとアームレストの間に手や指がはさまり、けがをするおそれがあります。

### 角度調節するとき

シート背もたれの角度に合わせて、アームレストの角度を調節することができます。

調節するときはいちばん下の位置にして、お好みの位置まで引き上げロックさせます。もう一度調節したいときは、アームレストをいったん格納してから、再度いちばん下の位置にします。



調節後はアームレストを軽く下に押し、確実にロックされていることを確認してください。

### 知識

アームレストをロックさせると、下に動かすことができません。もう一度調節したいときは、アームレストをいったん格納してから、再度いちばん下の位置にしてください。

## セカンドシート

### 警告

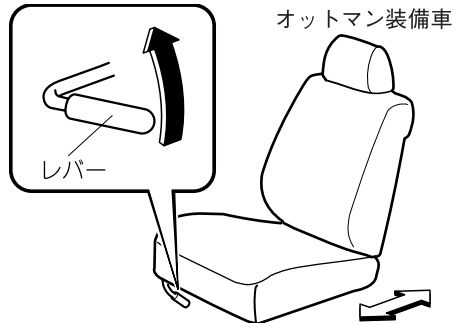
■ 操作後は確実にロックされていることを確認してください。  
走行中シートが不意に動くと姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 注意

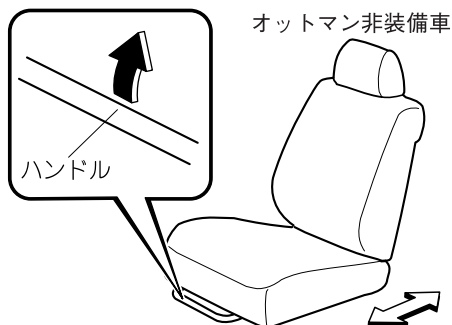
走行するときは、セカンドシートの背もたれを起こしてください。背もたれが前に倒れているときは、シートが固定されていないため、シートが不意に動いて、手や足などをはさむおそれがあります。

### 前後調節(スライディング)

→48ページ「オットマン」

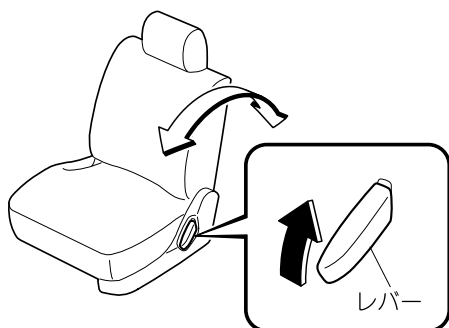


## 2.安全装備 シート



調節後はシートを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

### 角度調節 (リクライニング)



調節後は背もたれを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

### ⚠ 注意

後ろに倒した背もたれをもとにもどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。

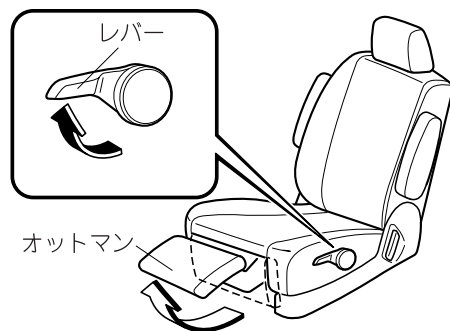
### オットマン☆

足を伸ばして楽な姿勢をとることができません。  
シート下部に格納されています。



### 使用するとき

レバーを引き上げるとオットマンが押し出されます。



### 角度調節するとき

- 1 レバーを引き上げたまま、オットマンを足で押し下げます。
- 2 お好みの角度になったら、レバーから手を離します。



## 知識

フロントシートとの間隔が狭く、オットマンを使用しにくい場合はセカンドシートを後ろへスライドさせてください。  
→47ページ「前後調節(スライディング)」

### オットマンを格納するとき

レバーを引き上げたまま、格納位置まで足でオットマンを押し下げます。

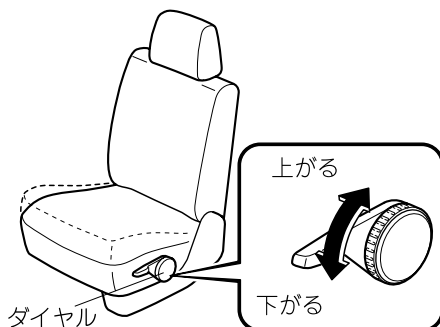
オットマンが、クッションの格納位置まで押し下げられた状態のままで、レバーから手を離してください。

## 注意

オットマンを使用しているときは、オットマンの上に乗らないでください。また、乗降時および使用しないときはオットマンをシート下部に格納してください。オットマンにつまづいて転倒するなどして、けがをするおそれがあります。

### 座面角度調節(オットマン装備車)

ダイヤルをまわすと、シートクッションの前部が上下します。

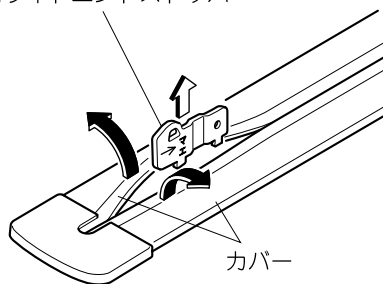


### スライドエンドストッパー (オットマン装備車)

スライドエンドストッパーとは、セカンドシートを後方へスライドさせたときに、サードシートの乗員がセカンドシートのクッションとサードシートに足をはさまれないようにするためのもので、セカンドシートのすべてのスライドレール後端に装備されています。サードシートに乗車するときは、すべてのスライドエンドストッパーを必ず取り付けてください。

### 取りはずすとき

スライドエンドストッパー

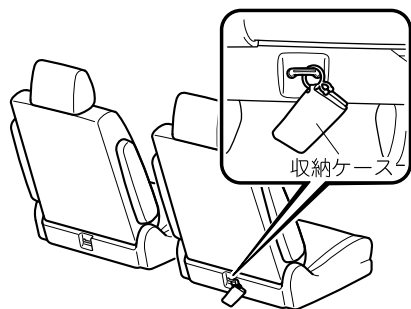


スライドレールのカバーを開き、スライドエンドストッパーを引き抜きます。

 知識

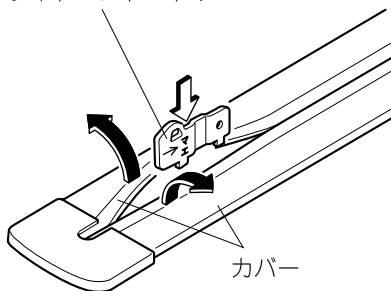
スライドエンドストッパーは、シートに付属している収納ケースをシートから外して、ケースへ収納し、紛失しないようにツールボックスなどに保管してください。

また、グリスが付着している場合は、汚れの原因になりますのでふきとって保管してください。



取り付けるとき

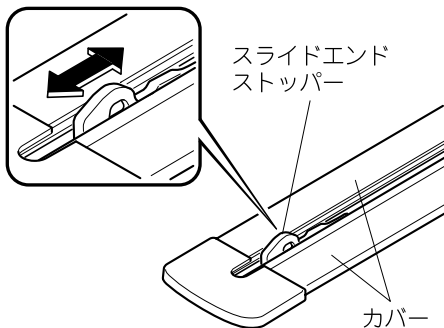
スライドエンドストッパー



- 1 スライドレールのカバーを開き、スライドエンドストッパーの刻印の方向を確認し、差し込みます。

 知識

スライドエンドストッパーは刻印の矢印を車両前方に向けて取り付けてください。



- 2 スライドエンドストッパーを差し込んだ後は、スライドエンドストッパーを前後に軽くゆさぶって、確実に差し込まれていることを確認してください。また、スライドレールカバーのラバー部が下側へ落ちたときは、もとの位置にもどしてください。

 注意

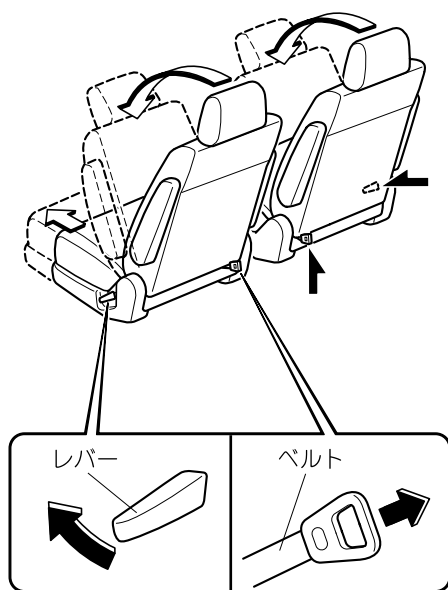
スライドエンドストッパーは全てのスライドレールに取り付けて使用してください。片側だけに取り付けると、セカンドシートを下げてストッパーに当たった衝撃で、シートがねじられ、スライド機能不良が発生するおそれがあります。

## サードシートへの乗り降り

セカンドシートを前方へスライドさせると、サードシートへ楽に乗り降りすることができます。

### 乗り降りするとき

シート横側のレバーを引き上げるかまたはシート後ろ側のベルトを引くと背もたれが前に倒れて、シートを前方へスライドさせることができます。



### 乗り降りした後は

シートを後方へスライドさせた後、背もたれを起こし、シートをロックさせます。

もとの位置にもどした後はシートを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

## 注意

- 背もたれを前に倒すときは、必ず背もたれを手で支えながら操作してください。背もたれを手で支えずに操作すると、背もたれが急に倒れ、けがをするおそれがあります。
- 乗り降りした後は、必ず背もたれを起こしてください。背もたれが前に倒れているときはシートが固定されていないため、シートが不意に動いて、けがをするおそれがあります。

## ベンチシート

セカンドシートをスライドさせると、ベンチシートにすることができます。

→48ページ「オットマン」

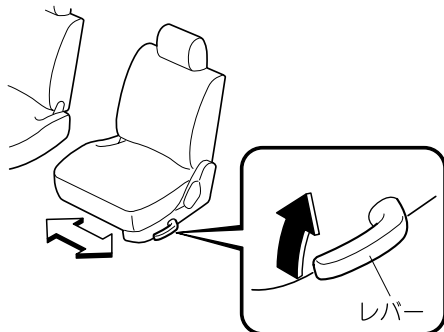
### ベンチシートにするとき

#### オットマン非装備車

- 1 内側のアームレストを使用している場合は格納します。  
→52ページ「アームレスト」
- 2 左右のシートの前後位置および背もたれの位置を合わせます。  
→47ページ「前後調節 (スライディング)」  
→48ページ「角度調節 (リクライニング)」

## 2.安全装備 シート

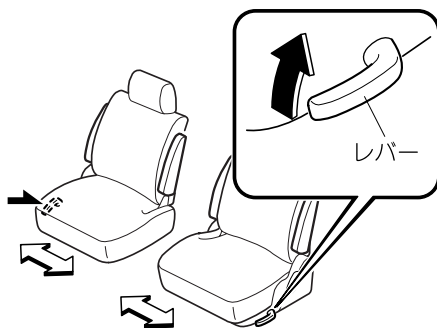
- ③ レバーを引き上げたまま、シートを右側にあたるまでスライドさせます。スライドさせた後はシートを左右に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。



### オットマン装備車

- ① 内側のアームレストを使用している場合は格納します。  
→52ページ「アームレスト」
- ② 左右のシートの前後位置および背もたれの位置を合わせます。  
→47ページ「前後調節 (スライディング)」  
→48ページ「角度調節 (リクライニング)」

- ③ レバーを引き上げたまま、左右のシートを中央側にスライドさせます。スライドさせた後はシートを左右に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。



### もとにもどすとき

#### オットマン非装備車

レバーを引き上げたまま、シートを左側にスライドさせます。スライドさせた後はシートを左右に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

#### オットマン装備車

レバーを引き上げたまま、左右のシートを外側にスライドさせます。スライドさせた後はシートを左右に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

### アームレスト

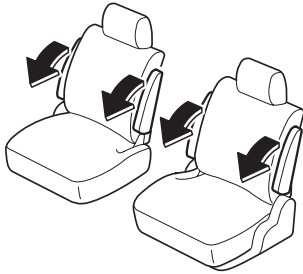


### 警告

- アームレストの取り付け部周辺に、手や指を置かないでください。  
シートとアームレストの間に手や指がはさまり、けがをするおそれがあります。

## 使用するとき

前に倒して使用します。



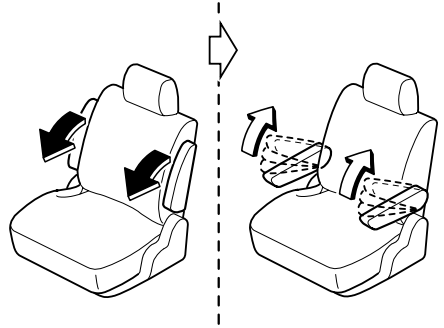
### 警告

シートベルトは内側アームレストの下を通して使用してください。上に通している場合、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

## 角度調節するとき (角度調節機構付アームレスト装備車)

シート背もたれの角度に合わせて、アームレストの角度を調節することができます。

調節するときはいちばん下の位置にして、お好みの位置まで引き上げロックさせます。もう一度調節したいときは、アームレストをいったん格納してから、再度いちばん下の位置にします。



調節後はアームレストを軽く下に押し、確実にロックされていることを確認してください。

### 知識

アームレストをロックさせると、下に動かすことができません。もう一度調節したいときは、アームレストをいったん格納してから、再度いちばん下の位置にしてください。

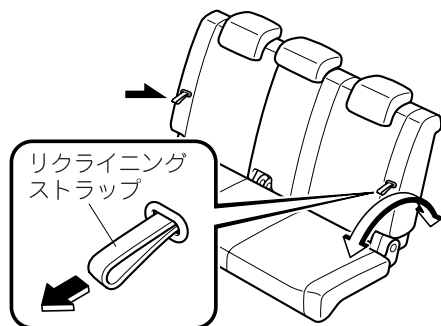
## サードシート

### 警告

■操作後は確実にロックされていることを確認してください。  
走行中シートが不意に動くことと姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 角度調節 (リクライニング)

リクライニングストラップを引いたまま、背もたれを前後に動かして調節します。



調節後は背もたれを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

### 注意

後ろに倒した背もたれをもとにもどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。

## 荷室を作るとき

サードシートの背もたれを倒すと荷室として広げることができます。

ストラップを引くことにより、シートクッションを沈み込ませながら背もたれを倒すことができます。また、左右席を別々に倒すこともできます。

### 警告

■倒した背もたれの上や荷室内に人を乗せて、走行しないでください。

シートベルトが着用できないため、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。

■背もたれを倒して荷物を運ぶときは、荷物を確実に固定してください。

固定しないで走行すると、急ブレーキ時や衝突時に荷物が動き運転操作のさまたげになるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

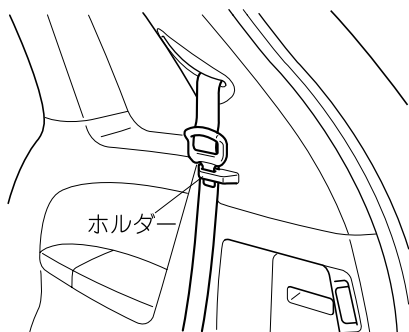
### 注意

シートを操作しているときは、シートの下や動いている部分に手や足などを近づけないでください。手や足などはさむとけがをするおそれがあります。

## 背もたれを折りたたむとき

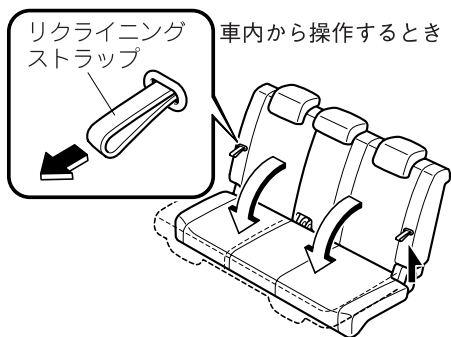
- 1 セカンドシートをいちばん前にスライドさせます。  
→47ページ「前後調節 (スライディング)」

- 2 サードシートのシートベルトをホルダーに固定します。

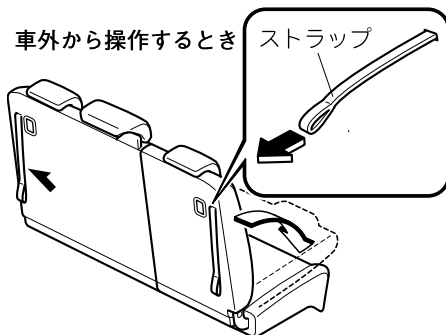


- 3 サードシートのヘッドレストを格納します。  
→61ページ「ヘッドレスト」

- 4 リクライニングストラップまたはストラップを引いて、背もたれを前に倒します。



車外から操作するとき



注意

(車内から操作するとき)

背もたれを前に倒すときは、必ず背もたれを手で支えながら操作してください。背もたれを手で支えずに操作すると、背もたれが急に倒れ、けがをするおそれがあります。

- 5 セカンドシートをサードシートに干渉しない位置にもどします。  
→47ページ「前後調節 (スライディング)」

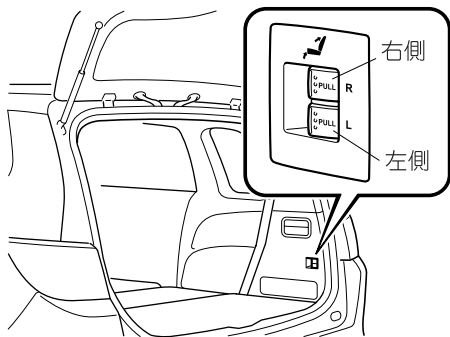
### もとにもどすとき (電動復帰機構付シート装備車)

スイッチを操作することにより、折りたたんだ背もたれを電動でもとにもどすことができます。

スイッチはラゲッジコンパートメントの右側にあります。

## 2.安全装備 シート

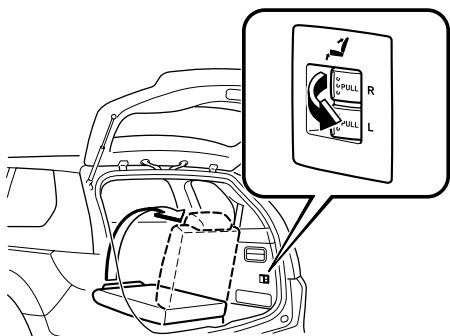
左側(右側)スイッチを引き続けると、左側(右側)の背もたれが起き上がります。



1 サードシートのシートベルトがホルダーに固定されていることを確認します。

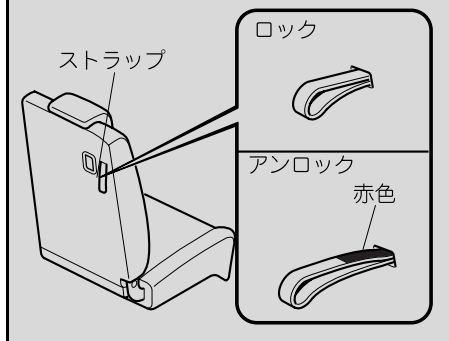
2 背もたれがロックされるまで、スイッチを引き続けます。

背もたれをもとの位置にもどした後は、背もたれを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。



## 警告

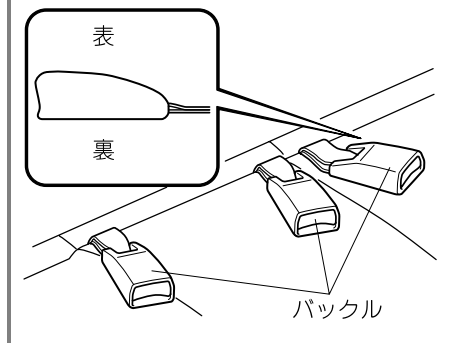
ストラップ上に赤色の表示が見えているときは、背もたれが確実にロックされていません。背もたれをもとにもどすときは確実にロックするまでスイッチを引き上げ、赤色の表示が見えなくなったことを確認してください。ロックしないまま走行すると、背もたれが急に倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。





## 知識

- 電動でシートをもとにもどせなくなったときは、次の「もとにもどすとき (電動復帰機構付シート非装備車)」の手順で操作してください。
- シートをもとにもどした後は、シートベルトのバックルの表を上向き (シートベルトがねじれていない状態) にしてシートクッションの上に置いてください。

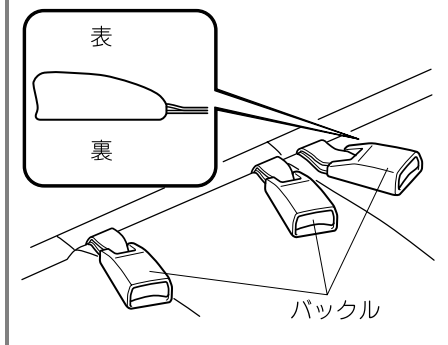


## もとにもどすとき (電動復帰機構付シート非装備車)

- 1 サードシートのシートベルトがホルダーに固定されていることを確認します。
- 2 ストラップを引いて背もたれを後ろに引き上げます。
- 3 背もたれを後ろに押しつけロックさせます。  
背もたれをもとの位置にもどした後は、背もたれを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

## 知識

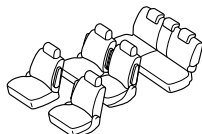
シートをもとにもどした後は、シートベルトのバックルの表を上向き (シートベルトがねじれていない状態) にしてシートクッションの上に置いてください。



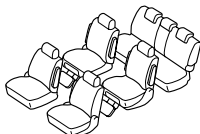
## シートアレンジ

この車は、状況に応じて次のようなアレンジを行なうことができます。  
それぞれの参照ページをお読みください。

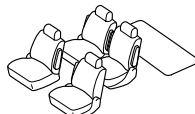
① 7人乗車モード



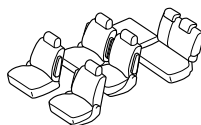
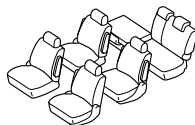
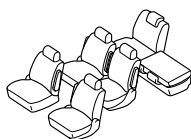
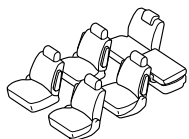
② スーパーリラックスシート



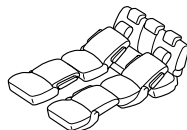
③ 4人乗車+ラゲッジモード



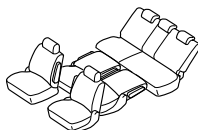
④ 5人乗車+ラゲッジモード



⑤ フロントフルフラットモード



⑥ リヤセミフラットモード



① 7人乗車モード

ベンチシート ..... 51ページ

② スーパーリラックスシート (セカンドシート)

下記を調節することにより、快適な姿勢を保つことができます。

オットマン ..... 48ページ

背もたれの角度調節 ..... 48ページ

座面角度調節 ..... 49ページ

アームレスト ..... 52ページ

スイング機構付ヘッドレスト ..... 61ページ

③ ④ ラゲッジモード

ベンチシート ..... 51ページ

荷室を作るとき ..... 54ページ

⑤ ⑥ フラットモード

フラットシート ..... 59ページ

## フラットシート

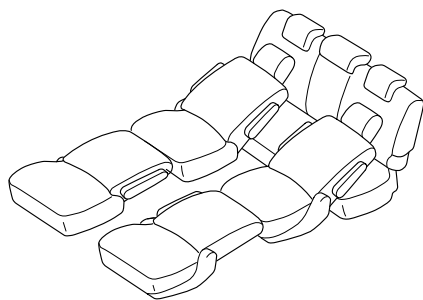
### 警告

シートをフラットにした状態で走行しないでください。急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。

### 注意

シートをフラットにした状態で車内を走りまわらないでください。シートの間足をはさんだり、踏みはずしたりして、けがをすることおそれがあります。シートの上を移動するときは、シートの中央を踏み、ゆっくりと移動してください。

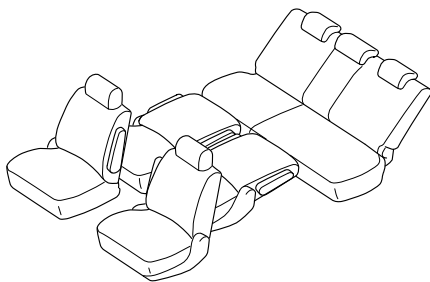
## フロントフルフラットシートにするとき



- 1 セカンドシートの座面角度調節装備車は左右のシートの角度をもとの位置にもどします。  
→49ページ「座面角度調節 (オットマン装備車)」
- 2 セカンドシートをいちばん後ろへスライドさせます。  
→47ページ「前後調節 (スライディング)」

- 3 セカンドシートの背もたれを後ろに倒します。  
→48ページ「角度調節 (リクライニング)」
- 4 フロントシートのアームレストを使用している場合は格納します。  
→46ページ「アームレスト」
- 5 運転席の高さ調節をしている場合はシートを助手席と同じ高さに調節します。  
→45ページ「高さ調節 (運転席のみ)」
- 6 フロントシートをいちばん前へスライドさせます。  
→44ページ「前後調節 (スライディング)」
- 7 フロントシートのヘッドレストを取りはずします。  
→61ページ「ヘッドレスト」
- 8 フロントシートの背もたれを後ろに倒します。  
→44ページ「角度調節 (リクライニング)」

## リヤセミフラットシートにするとき



## 2.安全装備 シート

- 1 サードシートのヘッドレストを格納します。  
→61ページ「ヘッドレスト」
- 2 サードシートの背もたれを後ろに倒します。  
→54ページ「角度調節 (リクライニング)」
- 3 フロントシートをいちばん前へスライドさせます。  
→44ページ「前後調節 (スライディング)」
- 4 セカンドシートの座面角度調節装備車は左右のシートをの角度をもとの位置にもどします。  
→49ページ「座面角度調節 (オットマン装備車)」
- 5 セカンドシートのアームレストを使用している場合は格納します。  
→52ページ「アームレスト」
- 6 セカンドシートをベンチシートにします。  
→51ページ「ベンチシート」
- 7 セカンドシートをいちばん前へスライドさせます。  
→47ページ「前後調節 (スライディング)」
- 8 セカンドシートのヘッドレストを取りはずします。  
→61ページ「ヘッドレスト」
- 9 セカンドシートの背もたれをいちばん後ろに倒します。  
→48ページ「角度調節 (リクライニング)」

### もとにもどすとき

フラットにするときと逆の手順で行なってください。

もどした後は、シート、背もたれを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。



### 注意

後ろに倒した背もたれをもとにもどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。

## ヘッドレスト

すべてのシートには、ヘッドレストが装備されています。

ヘッドレストは、万一のときに、むち打ち症や他のけがから乗員を保護します。

### 警告

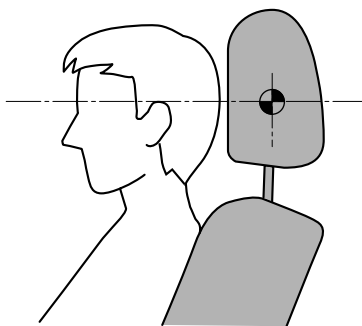
- ヘッドレストの高さを調整しないままで走行しないでください。また、サードシートのすべてのヘッドレストは引き上げた状態で使用してください。

高さを調整しないまま走行すると、急ブレーキ時や衝突時、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

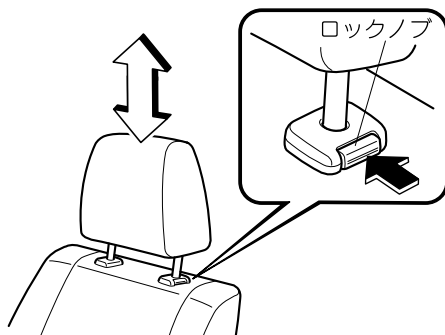
### 調節するとき

- 高くするとき  
そのまま引き上げます。
- 低くするとき  
ロックノブを押したまま下げます。

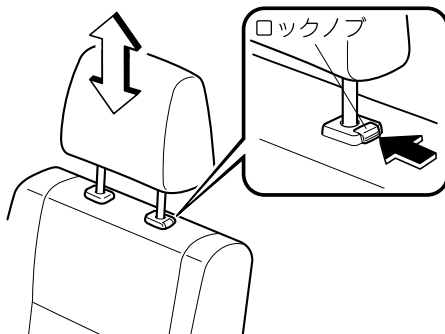
ヘッドレストの中央が、耳の上部と同じ高さになるように調整してください。



### フロントシート



### セカンドシート

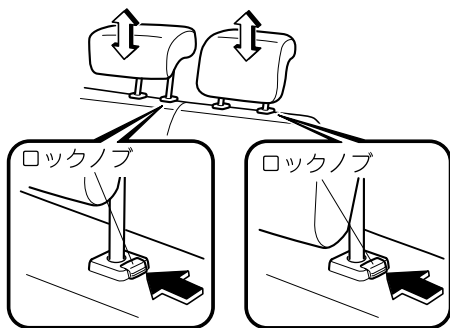


### サードシート/サードシート中央席

- 使用するとき  
上段のロック位置まで引き上げます。

## 2.安全装備 シート

- 使用しないとき  
ロックノブを押したまま下げます。



### 脱着するとき

- ヘッドレストを取り外すとき  
ロックノブを押しながら引き上げます。
- ヘッドレストを取り付けるとき  
ロックノブを押しながら差し込みます。

### 警告

- **ヘッドレストをはずした状態で走行しないでください。**

取り外した状態のまま走行すると、急ブレーキ時や衝突時、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

- **取り付け後は、ヘッドレストが抜け出さないことを確認するため、持ち上げてください。**

ヘッドレストが抜け出すと万一の場合、効果を発揮できず、思わぬけがをするおそれがあります。

### 注意

- ヘッドレストを取り付けるときは、ヘッドレストの前後の向きを間違えないようにしてください。前後の向きをまちがえて取り付けると、衝突時などにヘッドレストの効果が十分に発揮できず、けがをするおそれがあります。
- フロントシート・セカンドシート・サードシートそれぞれのヘッドレストは、各シート専用です。他のシートのヘッドレストと入れ替えないでください。入れ替えると、衝突時などにヘッドレストの効果が十分に発揮できず、けがをするおそれがあります。

### 角度調節するとき (スイング機構付 ヘッドレスト装備車)

ヘッドレストの下部を持って前に動かします。  
使用しないときは、ヘッドレストの下部を持って後ろに動かし、格納してください。



## 正しい着用のしかた

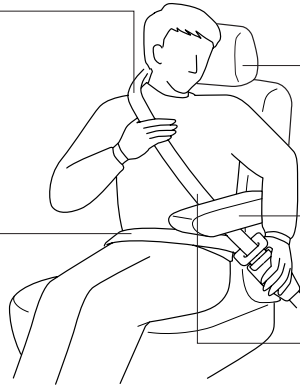
車を運転する前に必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

ベルトが首、あご、顔などにあたらず、肩に十分かかるようにします。

上体を起こし、シートに深く腰かけます。

ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に密着させます。

ベルトがアームレストの下を通っているか確認します。



ベルトにねじれがないか確認します。

### 警告

#### 着用について

■ シートベルトは全員が着用してください。

着用しないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートベルトは成人サイズの方の乗員による着用を目的としています。

お子さまを乗せる際は、必ずお子さま専用シートを使用してください。

■ 1つのシートベルトを同時に2人以上で使用しないでください。

2人以上で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートベルトの改造や交換をしないでください。また、クリップなどでシートベルトにたるみをつけないでください。

万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ ベルトがねじれた状態で使用しないでください。

ねじれがあると、万一の場合衝撃力が分散できず局部的に強い力を受けるため、重大な傷害につながるおそれがあります。

 警告

■ 3点式シートベルトを腕の下に通して着用しないでください。

ベルトが肩に十分かかっていないと急ブレーキ時や衝突時に、身体が前方に投げ出され、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 背もたれは必要以上に倒さないでください。

急ブレーキ時や衝突時に、身体がシートベルトの下に滑り込み、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。

シートベルトが腰骨からずれていると、急ブレーキ時や衝突時に、腹部に強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 妊娠中の女性や疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。

ただし、急ブレーキ時や衝突時、局部的に強い力を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。腰ベルトは腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。また、肩ベルトは肩に十分かかるようにし、腹部を避けて胸部に密着させてください。



■ シートベルトのバックルの中に異物を入れないでください。

異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらず、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまを乗せるときは

■ お子さまはできるだけリヤシートに座らせ、必ずシートベルトを着用させてください。

お子さまを抱いたり、ひざの上に乗せたりすると、急ブレーキ時や衝突時に十分に支えることができず、お子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。





## 警告

■ シートベルトが首や顔などに当たったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。

ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートを使用しないと、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

### メンテナンスについて

■ シートベルトにほつれ、すりきずなどの異常があるときは、マツダ販売店で交換してください。

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートベルトの汚れを取るときは、中性洗剤を使用してください。

有機溶剤を使用したり、染色、漂白するとベルトの強度が低下し、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートベルトを掃除するときは、絶対に分解しないでください。

分解すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 事故などにあったときは、衝撃でシートベルト本来の機能が損なわれているおそれがありますので、必ずマツダ販売店で交換してください。

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

## 注意

シートベルトやリングが汚れると、ベルトの巻き取りが悪くなるので汚れを取ってください。



## シートベルトの種類

シート	シートベルトの種類
フロントシート	ELR (緊急時固定機構) 付3点式シートベルト
セカンドシート (2座席)	
サードシート (3座席)	

### ELR (緊急時固定機構) 付3点式シートベルト

身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

## 3点式シートベルト

### シートベルト警告灯



#### 点灯するとき

電源ポジションがONのとき、運転席シートベルトを着用していないと点灯します。運転席シートベルトを着用すると消灯します。

#### 点滅するとき

運転席シートベルトを着用しないまま約20km/h以上になると点滅します。その後も着用しないままだと点灯しつづけます。運転席シートベルトを着用すると消灯します。

→63ページ「正しい着用のしかた」

### シートベルト着用忘れチャイム

運転席シートベルトを着用していないまま、車速が約20km/h以上になるとしばらくの間チャイムが鳴ります。(鳴り始めると、車速を落としても鳴り続けます。)

運転席シートベルトを着用すると鳴り止みます。

## 着用するとき

- 1 プレートを持って、ベルトをゆっくり引き出します。



- 2 ベルトを素早く引き出し、ロックされることを確認してください。

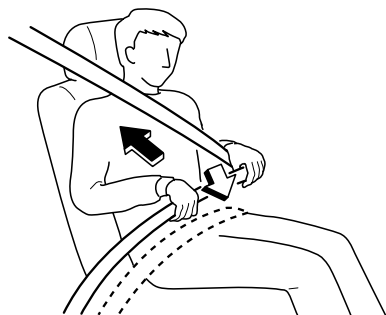
### 知識

ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを巻き取らせてからゆっくり引き出してください。それでも引き出せないときは、一度ベルトを強く引っ張ってからベルトをゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

- 3 ベルトにねじれがないかを確認してから、プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。

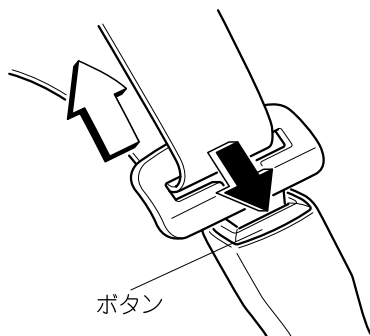


- 4] ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、たるみが無いようにベルトを引いて身体に密着させます。



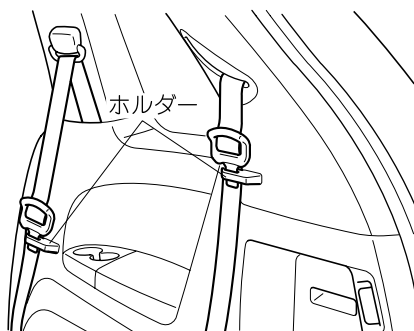
### はずすとき

はずすときはバックルのボタンを押します。ベルトにねじれがないかを確認しながら、ゆっくりと巻き取らせます。



### 知識

セカンドシート、サードシートの3点式シートベルトを使用しないときは、シートベルトをホルダーに固定することができます。



## ELR (緊急時固定機構) 付 シートベルト

3点式シートベルトにはELR (緊急時固定機構) が装備されています。

シートベルトは身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

## プリテンショナー付シートベルト

フロントシートベルトには、プリテンショナー機構が装備されています。

車両前方から強い衝撃を受けると、シートベルトを引き込み、シートベルトの効果をより高める装置です。

### 警告

■ シートベルトは正しく着用してください。

正しく着用していないと、プリテンショナー機構の効果が十分に発揮できないため、万一の場合重大な傷害につながるおそれがあります。

■ プリテンショナー機構の部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナー機構の回路診断をしないでください。

正常に作動しなくなったり誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ プリテンショナー機構が装備された車を廃車される場合は、必ずマツダ販売店にご相談ください。

プリテンショナー機構が不意に作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

### 知識

- プリテンショナー機構は、車両前方から強い衝撃を受けたとき作動しますが、衝撃が弱いと作動しません。
- プリテンショナー機構の作動により、白煙が見えることがあります。火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。プリテンショナー機構作動時の残留物(カス)が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- プリテンショナー機構は一度作動すると、2回目以降の衝突では作動しません。
- プリテンショナー付シートベルトは、一度作動すると再使用できません。事故などにあったときは、必ずマツダ販売店で点検を受け、作動済みのときは交換してください。

エアバッグ警告灯/  
プリテンショナー警告灯



点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - ・ 電源ポジションをONにしても点灯しないとき。
  - ・ 点灯し続けるとき。

点滅するとき

点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

 警告

■ エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しないでください。

衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

ロードリミッター付シートベルト

ロードリミッターは、車両前方から強い衝撃を受けたときなど、シートベルトに一定以上の荷重がかからないように作動する装置です。

運転席/助手席シートベルトにかかる荷重を規定値に保つことで、乗員の胸に加わる力を減少させます。

 警告

■ シートベルトは正しく着用してください。

正しく着用していないと、ロードリミッターの効果が十分に発揮できないため、万一の場合重大な傷害につながるおそれがあります。

 知識

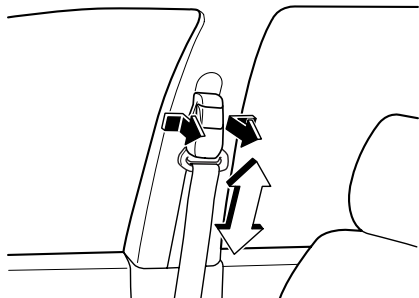
ロードリミッター付シートベルトは、一度作動すると再使用できません。事故などにあったときは、必ずマツダ販売店で点検を受け、作動済みのときは交換してください。

## シートベルトアンカー アジャスター☆

フロントシートとセカンドシートのシートベルトにはシートベルトアンカーアジャスターがついています。

シートベルトが首にあたり、肩からはずれてしまうときには、ベルトの高さを調節してください。

- 1 高くするときには、そのまま上に動かします。低くするときにはノブを引いたまま下げます。
- 2 調節したあとは、シートベルトアンカーアジャスターを下方に押し、確実にロックされていることを確認してください。



### 警告

■ シートベルトは肩の中央に確実にかけてください。

肩からはずれていると、万一の場合、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

## お子さま専用シートについて

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、お子さま専用シートをお使いください。

車両に固定するお子さま専用シートには、シートベルト固定タイプ、またはISOFIX対応タイプの2種類があります。

シートベルト固定タイプのベビーシート、チャイルドシートは、リヤシートのシートベルトを使用してシートに固定します。

またISOFIX対応タイプのチャイルドシートは、セカンドシート左右席に装備されているロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定します。

お子さま専用シートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずお子さま専用シートに付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、確実に取り付け、使用方法を守ってください。



### 警告

- お子さまの首や顔などにシートベルトがあたったり、腰骨に正しく着用できない場合は、お子さまの年齢や体の大きさに合ったお子さま専用シートをお使いください。

お子さま専用シートを使用しないと、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。

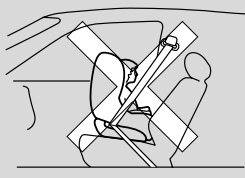
- お子さま専用シートを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。

正しく取り付けられていないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 助手席には絶対にベビーシートやチャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。

エアバッグの作動可能な助手席には、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。

助手席エアバッグ装備車には図のような警告ラベルが貼付されています。この警告ラベルは、助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けてはいけないことを示しています。



警告ラベル





## 知識

ISOはInternational Organization for Standardization (国際標準化機構) の略です。

### お子さま専用シートの種類

UNECE 44 法規に適合するお子さま専用シートは、お子さまの体重によって次の5種類に分類されます。

## 知識

- UNECE はUnited Nations Economic Commission for Europe (国連欧州経済委員会) の略です。
- UNECE 44法規は、お子さま専用シートに関する国連法規です。

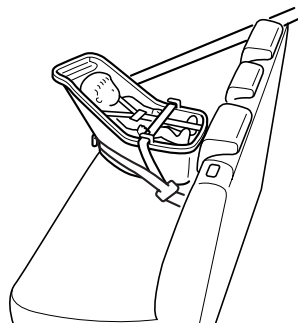
グループ	体重
0	10kgまで
0+	13kgまで
I	9～18kg
II	15～25kg
III	22～36kg

本書では、シートベルト固定タイプの一般的なお子さま専用シート3種類について説明します。

次のイラストは取り付け例です。取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

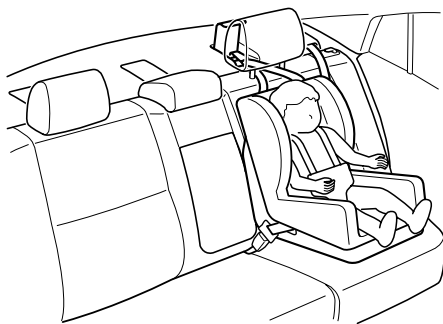
### ベビーシート

UNECE 44法規のグループ0、0+ に相当



### チャイルドシート

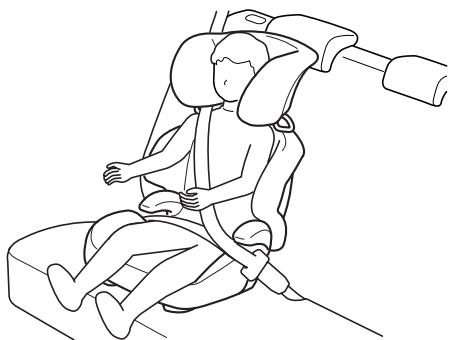
UNECE 44 法規のグループに相当



## 2.安全装備 お子さまの安全

---

ジュニアシート  
UNECE 44 法規のグループII, IIIに相当



---

## シート位置別お子さま専用シート選択の目安

お子さま専用シートは次の表を目安に選択してください。

詳しくはお子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。



### 警告

■ お子さま専用シートを取り付けるときは、必ず選択の目安表を確認してください。

誤った取り付けをすると正しく固定されず、急ブレーキや衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

## 2.安全装備 お子さまの安全

### シート位置別お子さま専用シート選択の目安 (ISOFIX対応タイプ)

質量グループ	サイズ等級	器具	車両ISOFIX位置
			セカンドシート
キャリコット	F	ISO/L1	X
	G	ISO/L2	X
		(1)	X
0 (10kgまで)	E	ISO/R1	IL
		(1)	X
0+ (13kgまで)	E	ISO/R1	IL
	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
		(1)	X
I (9~18kgまで)	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
	B	ISO/F2	IUF
	B1	ISO/F2X	IUF
	A	ISO/F3	IUF
		(1)	X

質量グループ	サイズ等級	器具	車両ISOFIX位置
			セカンドシート
Ⅱ (15～25kgまで)		(1)	X
Ⅲ (22～36kgまで)		(1)	X

上表の記号について:

(1) サイズ等級識別表示 (A～G) のないお子さま専用シートについては、お子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

IUF=この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリ前向きISOFIXチャイルドシートに適しています。

IL=「特定車両」、「限定」または「準汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。対応するお子さま専用シートについてはマツタ販売店にご相談下さい。

X=お子さま専用シートを取り付けることはできません。

### シート位置別お子さま専用シート選択の目安(シートベルト固定タイプ)

質量グループ	着座位置 (または他の場所)					
	助手席	セカンドシート		サードシート		
		右席	左席	右席	左席	中央席
0 (10kgまで)	UF	U	U	L	U	U
0+ (13kgまで)	UF	U	U	L	U	U
I (9～18kgまで)	U	U	U	X	X	X
Ⅱ (15～25kgまで)	U	U	U	L	U	U
Ⅲ (22～36kgまで)	U	U	U	L	U	U

上表の記号について:

U=この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。

UF=この質量グループでの使用を認可された前向き「汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。

L=この質量グループに対応しているお子さま専用シートについてはマツタ販売店にご相談ください。

X=お子さま専用シートを取り付けることはできません。

## チャイルドシートを固定するとき

### ISOFIX対応チャイルドシート 固定ロアアンカレッジ&トッ プテザーアンカレッジ

セカンドシートの左右席には、チャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジが装備されています。

この固定ロアアンカレッジには、道路運送車両の保安基準に適合したチャイルドシート(チャイルドシート固定ロアアンカレッジ)のみを取り付けることができます。詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。

#### 警告

■チャイルドシートを取り付けるときは、固定ロアアンカレッジ周辺に異物がないこと、シートベルトなどをはさみこんでいないことなどを確認してください。

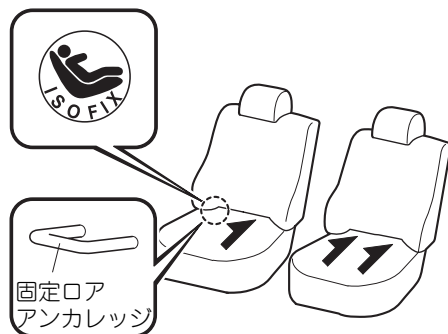
異物やシートベルトなどをはさみこむとチャイルドシートが固定されず、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

#### 知識

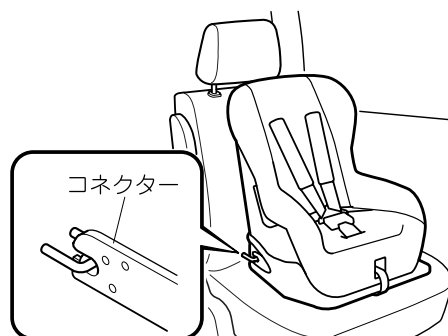
- チャイルドシートを取り付けるときおよび取りはずすときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。
- チャイルドシート固定ロアアンカレッジ対応の純正チャイルドシートはチャイルドシート固定ロアアンカレッジで固定し、この車のシートベルトでは固定しないでください。

## 固定するとき

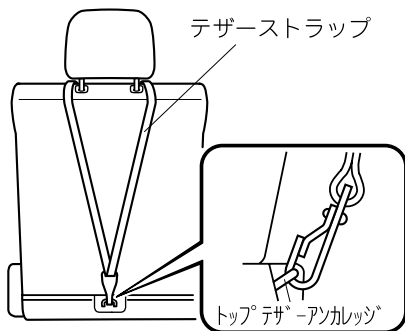
- 1 セカンドシートをいちばん後ろの位置にし、確実に固定されていることを確認してください。  
→47ページ「前後調節(スライディング)」
- 2 座面角度調節装備車は座面をもとの位置にもどします。  
→49ページ「座面角度調節(オットマン装備車)」
- 3 シートクッションと背もたれのすき間を少し広げて、固定ロアアンカレッジの位置を確認します。



- 4 ヘッドレストを引き上げます。
- 5 チャイルドシートのコネクターを固定ロアアンカレッジに取り付けます。



- 6 チャイルドシートのテザーストラップを下記イラストのように通して、トップテザーアンカレッジにかけます。



- 7 テザーストラップがたるまないように調節します。

### 知識

テザーストラップを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

- 8 チャイルドシートを前後左右にゆさぶり、確実に取り付けられていることを確認します。

### 警告

- トップテザーアンカレッジは、チャイルドシートを固定するため以外のことには使用しないでください。

チャイルドシートの固定以外のことを使用すると、アンカレッジ部が曲がったり、損傷したりして、テザーストラップが正しくかけられなくなりチャイルドシートが固定されません。

急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

- チャイルドシートを取り付けた後は、セカンドシートを調節しないでください。

チャイルドシートを取り付けた後にセカンドシートを調節するとチャイルドシートが不安定になるため重大な傷害につながるおそれがあります。

## SRSエアバッグシステムについて

SRSとはSupplemental Restraint System (サプPLEMENTALレストレイントシステム) の略で、補助乗員保護装置の意味です。

エアバッグは、電源ポジションがONのとき車両前方または側方から強い衝撃を受けると瞬間的に膨らみ、運転者および同乗者の頭部や胸部などへの衝撃をやわらげます。

SRSエアバッグシステムはシートベルトの働きに加えて乗員を保護する装置であり、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。



### 警告

#### お車に乗る前に

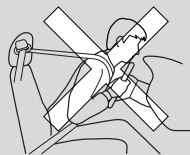
■ 運転者はもちろん、同乗者も必ずシートベルトを着用してください。

SRSエアバッグシステムはシートベルトと併用することで効果を発揮します。シートベルトを着用していないと、重大な傷害につながるおそれがあります。

#### シートに座ったときは

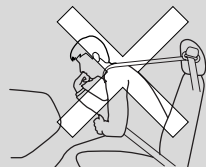
■ ハンドル中央部に手を置いたり、顔や身体を近づけたりしないでください。

エアバッグが作動したときに、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



■ シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったり、手や顔を近づけないでください。

エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。





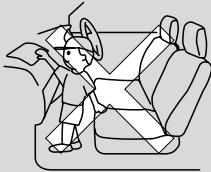
## 警告

**お子さまを乗せるときは**

■ **お子さまはできるだけリヤシートに座らせ必ずシートベルトを着用させてください。**

シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。

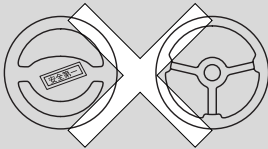
お子さまがエアバッグの前に立っていたり、正しい姿勢で座っていなかったりすると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。



**こんなことにも注意**

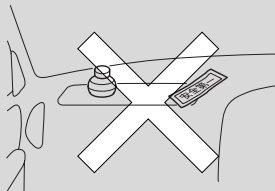
■ **ハンドルを交換しないでください。**

また、パッド部にステッカーなどを貼り付けたりしないでください。万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



■ **インストルメントパネル上部にステッカーを貼り付けたり、芳香剤、アクセサリ用品、手荷物などの物を置いたりしないでください。**

また、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。





### 警告

■ 車両前部にグリルガードなどを装着しないでください。

SRSエアバッグシステムに影響をおよぼすため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ サスペンションの改造をしないでください。

車高やサスペンションの硬さが変わると、衝撃を正しく検知できないため、エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ SRSエアバッグシステムの部品や配線を修理したり、電気テスターを使って、SRSエアバッグシステムの回路診断をしないでください。

正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

### メンテナンスについて

■ 事故後は必ずマツダ販売店で点検を受けてください。

エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故の衝撃でシステム本来の機能を損なっているおそれがあるため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 次のような作業が必要なときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。

これらの作業を行なうとエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRSエアバッグの取りはずし、取り付け、分解、修理
- ハンドルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- インストルメントパネルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- フロントシートの交換、取りはずし、取り付け、分解、修理
- 車両前部または側部の修理
- フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部の修理
- オーディオなど用品の取りはずし、取り付け

■ 車を廃車される場合は、必ずマツダ販売店にご相談ください。

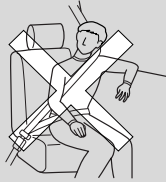
不意にエアバッグが作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

## 警告

### サイドエアバッグについて

■ フロントシート背もたれの外側部分に手、足、顔を近づけた姿勢で座らないでください。

フロントシートに座ったときは、フロントドアにもたれかかったり、窓から腕を出したりしないでください。また、リヤシートに座ったときはフロントシートの背もたれを抱えないでください。サイドエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



■ フロントシートにシートカバーを使用するときは、この車専用のサイドエアバッグ対応純正品を使用してください。

純正品以外のものを使用するとサイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。ご購入の際は、マツダ販売店にご相談ください。

■ フロントドアやフロントシート付近にカップホルダーなどのアクセサリ用品を取り付けしないでください。

サイドエアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

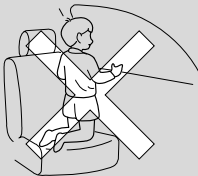
■ フロントシートの下に荷物などを置かないでください。

フロントシートの下部にあるサイドエアバッグの配線が損傷し、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

### カーテンエアバッグについて

■ ドアにもたれかかったり、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部などに近づかないようにして座ってください。

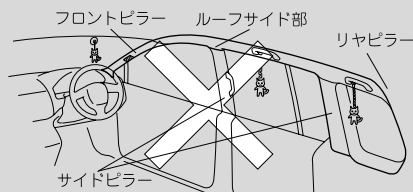
カーテンエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



## SRSエアバッグシステム

### 警告

- フロント窓ガラス、リヤ窓ガラス、フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部、アシストグリップなどカーテンエアバッグ展開部周辺にアクセサリー、ハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



- アシストグリップやコートフックなどには重たいものやとがったものをかけないでください。服などをかけるときはハンガーを使わないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

### 注意

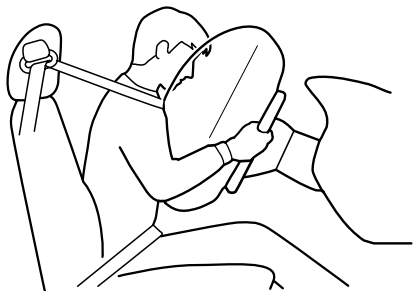
- エアバッグが作動した直後は、しばらくの間エアバッグ取り付け部をさわらないでください。エアバッグが作動すると高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- ドアを閉じるときは窓ガラスが割れるほど強く閉めないでください。サイド/カーテンエアバッグが作動するおそれがあります。

### 知識

- エアバッグは瞬時に膨らむため、エアバッグとの接触により打撲やすり傷など、けがをするおそれがあります。
- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。エアバッグ作動時の残留物(カス)が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。マツダ販売店で交換してください。
- 車をおゆずりになる場合は、必ず次のオーナーにSRSエアバッグシステム装備車であることをお伝えください。
- 助手席エアバッグが膨らむときにフロントガラスが破損することがあります。

## 運転席エアバッグ

運転席エアバッグはハンドルの中央に格納されています。



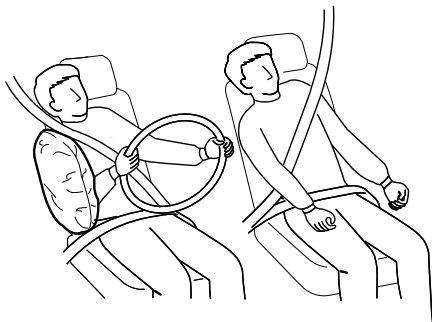
## 助手席エアバッグ

助手席エアバッグはインストルメントパネルに格納されています。  
助手席に同乗者がいなくても運転席エアバッグと同時に膨らみます。



## サイドエアバッグ☆

サイドエアバッグはフロントシート背もたれの外側部分に格納されています。  
乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のサイドエアバッグが膨らみます。



## カーテンエアバッグ☆

カーテンエアバッグはフロントピラー、リアピラー、ルーフサイド部に格納されています。  
乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のカーテンエアバッグが膨らみます。



## 作動するとき、しないとき

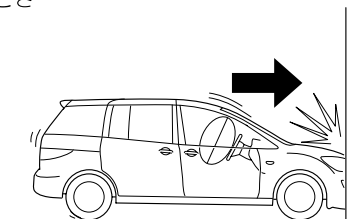
運転席/助手席エアバッグは正面衝突において、サイド/カーテンエアバッグは側面衝突において、強い衝撃を受けたときに作動します。

車体の衝撃吸収ボディー構造により、乗員への衝撃は大きくならない場合があります。したがって、車両の損傷が大きくてもエアバッグが必ずしも作動するとは限りません。

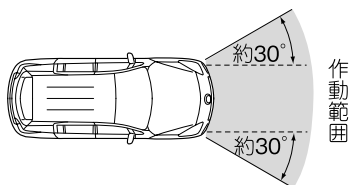
### 運転席/助手席エアバッグが作動するとき

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

約22km/h以上で固いコンクリートの壁などに正面衝突したときと同じ程度の衝撃を受けたとき



正面衝突など車両の前方左右約30°以内の方向から強い衝撃を受けたとき

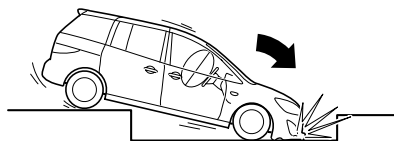


次のようなときには、路面などから車両下部に強い衝撃を受けると作動することがあります。

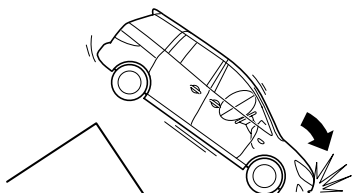
中央分離帯や緑石などに衝突したとき



深い穴や溝に落ちたとき



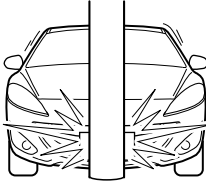
ジャンプなどで地面にぶつかったとき



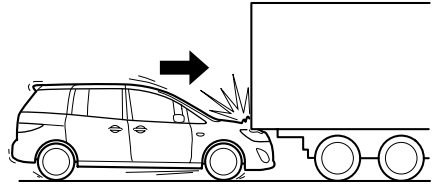
## 運転席/助手席エアバッグが作動しにくいとき

次のようなときには、衝撃の大きさによって作動しないことがあります。

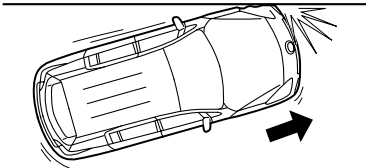
立木や電柱に衝突したとき



トラックの下などに潜り込んだとき



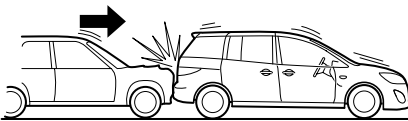
斜め前方に衝突したとき



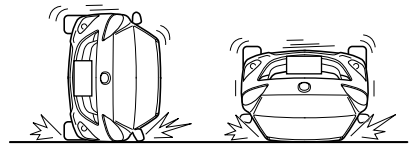
## 運転席/助手席エアバッグが作動しないとき

次のようなときには作動しません。

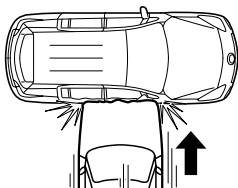
後ろ方向から衝突されたとき



横転や転覆したとき



横方向から衝突されたとき

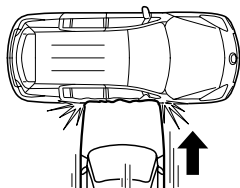


## SRSエアバッグシステム

### サイド/カーテンエアバッグが作動するとき

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

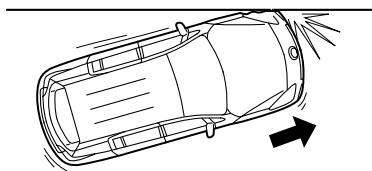
車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)に横方向から衝突されたとき



### サイド/カーテンエアバッグが作動しにくいとき

次のようなときには、衝撃の大きさによって作動しないことがあります。

斜め前方に衝突したとき



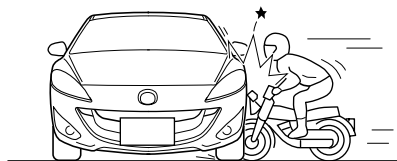
横転や転覆したとき



車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)から立木や電柱に衝突したとき



2輪車が側面に衝突したとき

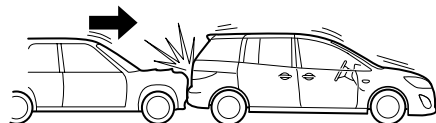




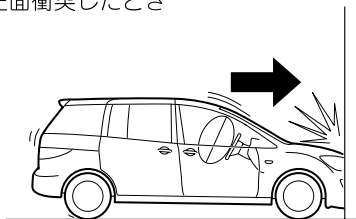
## サイド/カーテンエアバッグが作動しないとき

次のようなときには作動しません。

後ろ方向から衝突されたとき



正面衝突したとき



エアバッグ警告灯/  
プリテンショナー警告灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - ・ 電源ポジションをONにしても点灯しないとき。
  - ・ 点灯し続けるとき。

### 点滅するとき

点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。



警告

■ エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しないでください。衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

### EDR(イベントデータレコーダー)

本車両は、SRSエアバッグ制御のためのコンピュータを搭載しています。そのコンピュータは、SRSエアバッグシステムが正常に作動していることを診断するとともに、衝突や衝突に近い状態のとき、以下のデータを記録・蓄積するEDRを装備しています。

#### 記録するデータ

EDRは下記のような情報を記録します。

- 車速
- 運転席乗員のシートベルト装着有無
- 助手席乗員のシートベルト装着有無
- エアバッグ作動に関する情報(加速度波形等)
- エアバッグシステムの故障診断情報



#### 知識

EDRは会話などの音声や映像は記録しません。

#### データの開示について

マツダおよびマツダが委託した第三者は、EDRに記録されたデータを、車両衝突安全性能の向上などを目的に取得・利用することがあります。

なお、マツダおよびマツダが委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなどの使用者や車が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

## ABSについて

ABS（アンチロックブレーキシステム）は、すべりやすい路面での制動時に起こる車輪のロックを防いで車の方向安定性を保ち、操縦性を確保する装置です。

### 警告

■ ABSを過信せず安全運転に心がけてください。

ABSが作動した状態でも車の方向安定性や操縦性には限界があります。また、次のようなときには、速度をひかえめにし、車間距離を十分にとって運転してください。ABSが装備されていない車に比べて制動距離が長くなることもあるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ジャリ道、新雪道を走行しているとき。
- タイヤチェーンを装着しているとき。
- 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき。
- 凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき。

### 注意

前後輪とも必ず指定されたサイズや種類のタイヤを装着してください。指定されたサイズや種類以外のタイヤを装着すると、ABSが正常に作動しないことがあります。

### 知識

- ABSは低速（約10km/h以下）では作動しませんが通常のブレーキ性能は確保されています。
- エンジン始動時や発進直後にモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

## ABS装備車の取り扱い

急ブレーキを踏まなくてはならないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけてください。  
万一の危険な状況では、次のようにしてください。

- 1 危険を感じ急制動が必要なときは、ためらわずブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。
- 2 ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルから小刻みな振動を感じることがあります。これはABSが正常に作動しているときの現象で異常ではありません。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 3 障害物を回避するときは、ブレーキペダルを踏みながらハンドルを操作してください。

## ABS警告灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- システムに異常があるときは点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。



## 警告

■ ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 知識

- ABS警告灯が点灯しているときは、ABSが作動しないため、急制動時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。
- ABS警告灯が点灯しているときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。

# トラクションコントロールシステム (TCS)

## TCSについて

TCS (トラクションコントロールシステム) は、水にぬれた路面や雪道などのすべりやすい路面での発進や旋回加速時に起こる駆動輪の空転を防ぎ、適切な駆動力と操縦性を確保する装置です。



### 警告

■ TCSを過信せず安全運転に心がけてください。

TCSが作動した状態でも駆動力の確保や車の操縦性には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。



### 知識

エンジン回転が高いときにTCSが作動すると、エンジン回転の変動や車体の振動を感じることがありますが、異常ではありません。

## TCS/DSC作動表示灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。

- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。  
マツダ販売店で点検を受けてください。
- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
- 走行中に点灯したとき。

### 点滅するとき

走行中にTCSまたはDSCが作動すると点滅します。

## TCS OFF表示灯

電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。

TCS OFFスイッチを押して、TCSを解除すると点灯します。

# TCS OFF

次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
- TCSを解除していないのに点灯したとき。

## トラクションコントロールシステム (TCS)

### 知識

バッテリーのターミナルやヒューズの脱着などにより、バッテリーとの接続が断たれるとTCSが作動しなくなります。(このときTCS OFF表示灯が点滅し、TCS/DSC作動表示灯が点灯します。)

TCSを作動可能な状態にするために、次の操作を行なってください。

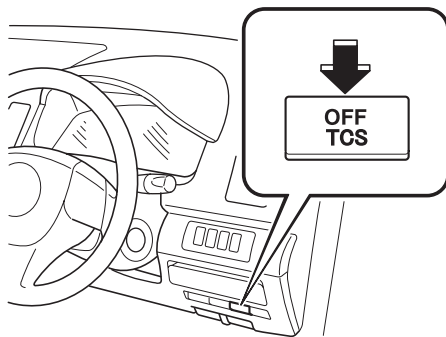
- 1 電源ポジションをONにします。
- 2 ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわします。
- 3 TCS OFF表示灯が消灯することを確認します。
- 4 電源ポジションをOFFまたはACCにし、再度ONにします。
- 5 TCS/DSC作動表示灯が消灯することを確認します。

電源ポジションを再度ONにした後でもTCS/DSC作動表示灯およびTCS OFF表示灯が消灯しないときは、マツダ販売店に連絡してください。

### TCS OFFスイッチ

車速が約30km/h以下のときにスイッチを押すとTCSが解除され、メーター内のTCS OFF表示灯が点灯します。

もう一度押すとTCSが作動可能な状態になり、TCS OFF表示灯が消灯します。



### 知識

- ぬかるみや新雪などからの脱出時にTCSが作動し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出困難なときにTCSを解除します。
- TCSを解除したときは、TCSが装備されていない車と同じ走行性能になります。
- TCSを解除したまま車速が約30km/h以上になると、自動的に作動可能な状態になります。このときTCS OFFスイッチを押してもTCSは解除できません。
- TCS OFFスイッチを約10秒以上押し続けると、自動的に作動可能な状態になります。

## ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC)

## DSCについて

DSC (ダイナミック・スタビリティ・コントロール) は、すべりやすい路面での走行時や、緊急回避など急激なハンドル操作による車両の横すべりをおさえるため、ABSやTCSなどにより、ブレーキやエンジンの出力を自動的に制御して、車両の安定性を確保する装置です。

DSCは約20km/h以上で作動可能な状態になります。

「ABSについて」、「TCSについて」もあわせてお読みください。

→91ページ「ABSについて」

→93ページ「TCSについて」



## 警告

■ DSCを過信せず安全運転に心がけてください。

DSCが作動した状態でも車両の安定性や操縦性には限界があるため、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。特にDSC作動表示灯が点滅しているときは、車両が横すべりしやすい状態になっています。慎重に運転してください。



## 注意

- 前後輪とも必ず指定されたサイズで、メーカー、銘柄、パターン (溝の模様) が同一のタイヤを装着してください。また、摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。指定以外のサイズや、異なる種類、摩耗差の著しいタイヤを使用すると、DSCが正常に作動しないことがあります。また、タイヤチェーンや応急用スペアタイヤ装着時のように径の異なるタイヤを使用したときは、DSCが正常に作動しないことがあります。
- ハンドルおよびハンドル関連部品の交換/修理は、必ずマツダ販売店にご相談ください。ハンドルには運転操作状態を検出するためのセンサーがあり、ハンドルの中心位置がずれるとDSCが正常に作動しないことがあります。

## TCS/DSC作動表示灯



## 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。

## ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC)

---

- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。  
この場合、TCS、DSCまたはブレーキアシストが正常に作動しないことがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - ・ 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - ・ 走行中に点灯したとき。

### 点滅するとき

走行中にTCSまたはDSCが作動すると点滅します。



# 3 操作と取り扱い

## アドバンストキー 98

アドバンストキーについて .....	98
アドバンストキーレスの機能を使っ ての操作 .....	104
アドバンストキーレスの機能を使わ ない操作 .....	110
アドバンストキー一時停止機能 .....	113
警報 .....	113
設定変更 (カスタマイズ機能) .....	115
こんなときは .....	116

## 各部の開閉 117

キー .....	117
キーレスエントリーシステム (リトラクタブルタイプキー 装 備車) .....	118
フロントドア .....	122
スライドドア .....	124
パワードアロック .....	131
リヤゲート .....	133
パワーウインドー .....	141
燃料補給口 .....	145
ボンネット .....	147

## 盗難防止システム 150

イモビライザーシステム (アドバンストキー 装 備車) .....	150
イモビライザーシステム (アドバンストキー 非 装 備車) .....	152

## 各部の調節 155

ハンドル .....	155
ドアミラー .....	155
ルームミラー .....	157

## メーター、警告灯、表示灯の 見方 158

メーター .....	158
警告灯、表示灯 .....	162
警報音 .....	174

## スイッチの使いかた 176

ランプスイッチ .....	176
方向指示器 .....	180
フォグランプスイッチ .....	181
ワイパー/ウォッシャースイッチ .....	181
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ .....	185
ホーン .....	186
非常点滅灯スイッチ .....	187

## 運転装置の使いかた 188

電源ポジション (エンジンスイッチ) .....	188
エンジンの始動 .....	189
エンジンの停止 .....	190
ブレーキ .....	190
オートマチックトランス ミッション .....	192
オートマチック車を運転するとき .....	198
4WD .....	201
カメラ .....	203

### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

## アドバンストキーについて★

アドバンストキーを携帯することで、アドバンストキーレス機能(アドバンストキーレスエントリー&スタートシステム)により次の操作をすることができます。

→104ページ「アドバンストキーレスの機能を使つての操作」

- キーを取り出すことなくドア、リヤゲートの施錠/解錠をする。
- キーを取り出すことなく、リヤゲートを開ける。
- キーを取り出すことなくエンジンを始動する。

アドバンストキーは、アドバンストキーレス機能以外の操作も行うことができます。スイッチまたは補助キーを使用することで、次の操作をすることができます。

→110ページ「アドバンストキーレスの機能を使わない操作」

- リモートコントロール機能(ロックスイッチ、アンロックスイッチ、スライドドア開閉スイッチ、リヤゲート開閉スイッチ☆)でドア、リヤゲートの施錠/解錠、電動スライドドア、パワーリヤゲート☆の開閉をする。
- 補助キーでドアの施錠/解錠またはエンジンの始動をする。

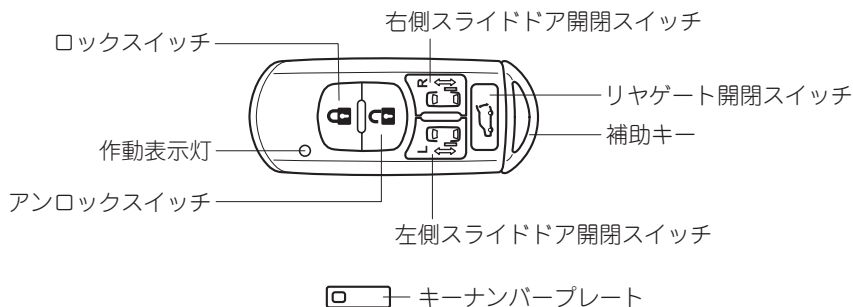


### 知識

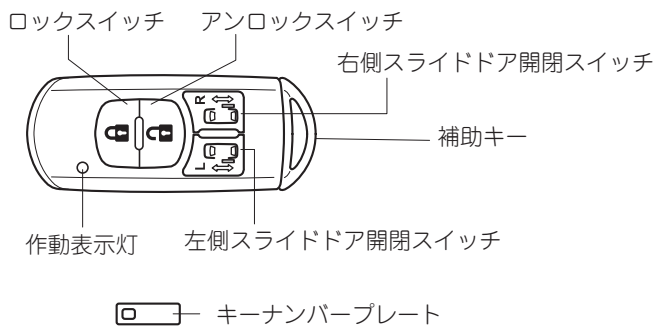
アドバンストキーは必ず運転者が携帯してください。

アドバンストキーは2個あります。

#### Aタイプ



## Bタイプ



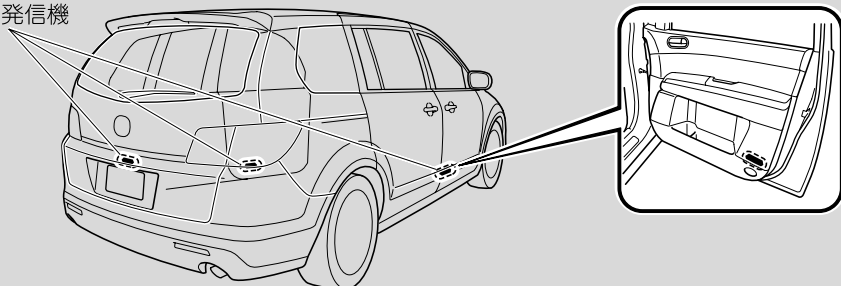
### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

#### 警告

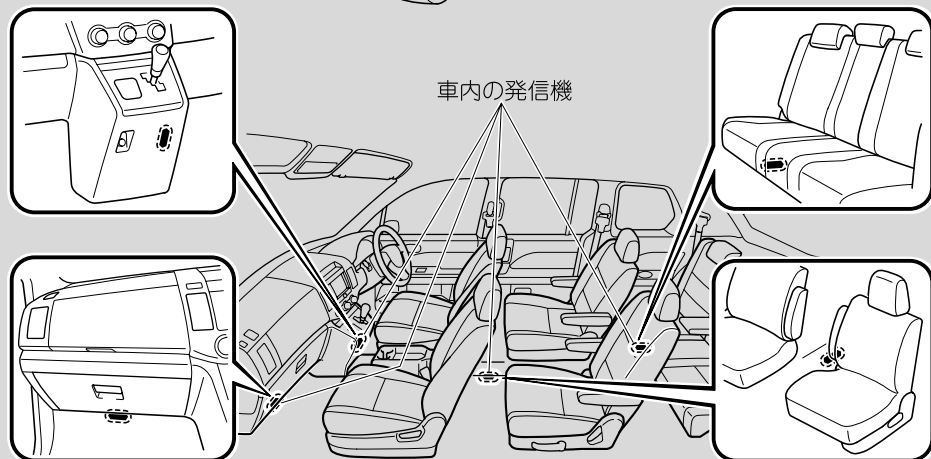
■ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の医療用機器を使用している方は、車内・車外の発信機から約22cm以内に医療用機器が近づかないようにしてください。

電波により、医療用機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

車外の発信機



車内の発信機



■ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用機器を使用している方は、アドバンストキーの電波の影響を医師や医療用電気機器製造業者などに確認してください。

電波が悪影響をおよぼすおそれがあります。

■ アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることもできます。

詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

## 注意

- アドバンストキーは、微弱な電波を使用しています。次のようなときはアドバンストキーが正常に作動しないことがあります。
  - ・ アドバンストキーを携帯電話などの通信機器と一緒に携帯しているとき
  - ・ アドバンストキーが金属製のものに接したり、おおわれりしているとき
  - ・ アドバンストキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
  - ・ 純正品以外の電子機器を取り付けたとき
  - ・ 近くに電波を発する設備があるとき
- アドバンストキーは強い電波を受信すると、それに反応して電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。
- アドバンストキーの故障を防ぐために次のことをお守りください。
  - ・ 強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。
  - ・ 分解しないでください。
  - ・ 重い物を上に置かないでください。
  - ・ インstrumentパネルやボンネットの上など直射日光があたる場所や高温になる所に放置しないでください。
  - ・ 超音波洗浄器などにかけないでください。
  - ・ 磁気を帯びた製品を近づけないでください。

## 知識

- 電池の寿命は、約1年程度です。メーターにKEY表示灯(緑)が点滅した場合は、新しい電池と交換してください。  
電池の消耗度合いによってはKEY警告灯/表示灯が点灯や点滅しない場合もありますので、1年を目安に電池の交換をおすすめします。
- アドバンストキーは同じ車両で最大6個まで使用することができます。マツダ販売店にご相談ください。
- アドバンストキーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、マツダ販売店にご連絡ください。

### 3.操作と取り扱い

## アドバンストキー

### キーナンバープレート

お客様以外のかたにキーナンバーを知られないために、キーナンバープレートにキーナンバーを打刻しています。

### 知識

- キーナンバープレートは車両以外の安全な場所に、大切に保管しておいてください。
- 万一、アドバンストキー（補助キー含む）を紛失したときは、マツダ販売店でキーナンバーをもとにアドバンストキー（補助キー含む）を作ることができます。
- 車両をおゆずりになるときは、次にお使いになるかたのために、すべてのアドバンストキー（補助キー含む）と一緒に、キーナンバープレートを車両につけてお渡しください。

### 電池の交換

次のようなときは電池残量が少なくなっていることが考えられます。

- エンジンをつけたときにメーター内のKEY表示灯（緑）が点滅する
- アドバンストキーの作動表示灯が点灯しない
- どのスイッチを押しても作動しない
- 作動範囲が狭く不安定になる

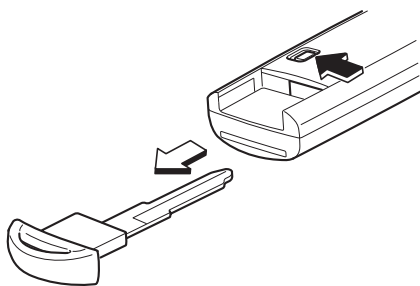
電池交換のとき、アドバンストキーが破損するおそれがあるため、マツダ販売店での交換をおすすめします。お客様自身で電池の交換をする場合は、次の手順で交換してください。

電池の規格: リチウム電池CR2025

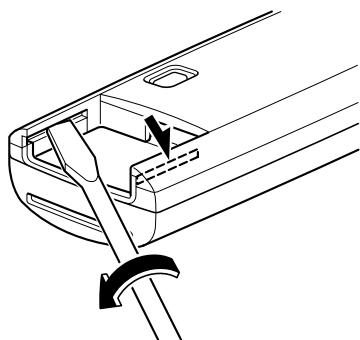
### 注意

- 電池の+側と-側は必ず正しく取り付けてください。液漏れなどにつながるおそれがあります。
- 電池を交換するときは内部回路や電極に触れたり、電極を曲げたりしないように注意してください。またアドバンストキーの内部にゴミなどを付着させないでください。故障につながるおそれがあります。
- 電池を交換してもアドバンストキーが作動しないときは、マツダ販売店にご相談ください。

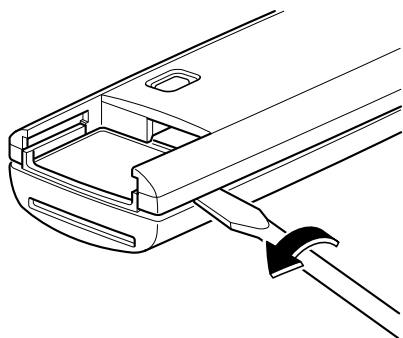
- 1 補助キーを引き出します。



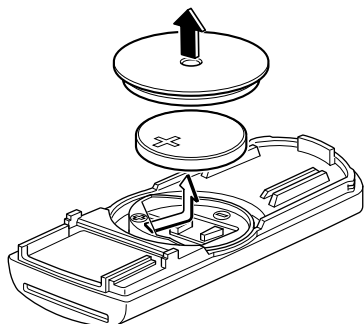
- 2 マイナスドライバーなどを使ってカバーを少し開けます。



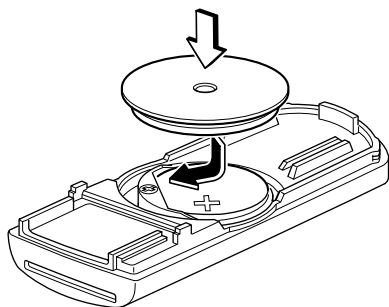
- 3 マイナスドライバーなどを使ってカバーを取り外します。



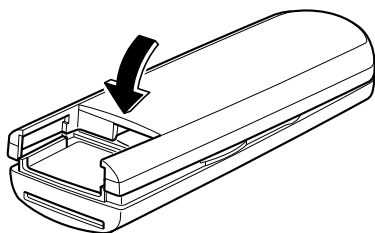
- 4 キャップを外して、電池を取り出します。



- 5 新しい電池を、+ 側を上にして差し込み、キャップをかぶせます。



- 6 カバーを取り付けます。

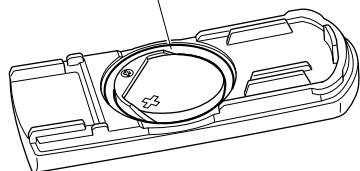


- 7 補助キーを差し込みます。

**!** 注意

- ゴムリングを傷つけないようにしてください。
- ゴムリングが外れた場合は、新しい電池を入れる前にゴムリングを取り付けてください。

ゴムリング



## アドバンストキーレスの機能を使った操作

### 作動範囲

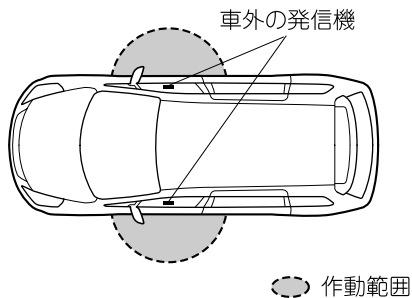
アドバンストキーを携帯し、車内および車外の作動範囲に入り、所定の操作をしたときのみ作動します。

 知識

- アドバンストキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。  
電池交換の目安は98ページをお読みください。
- 窓ガラスやドアハンドル、リヤゲートに近づきすぎた場合などは作動しないことがあります。

### ドア、リヤゲートの施錠/解錠

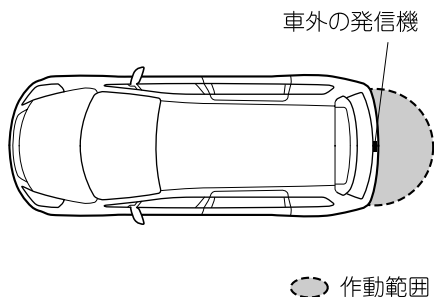
作動範囲は、運転席ドアハンドル、助手席ドアハンドルの中央部から周囲約80cm以内です。





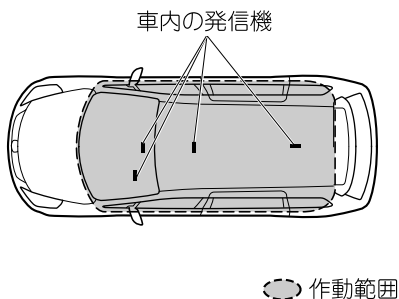
## リヤゲートの解錠

作動範囲は、リヤゲートの中央部から周囲約80cm以内です。



## エンジンの始動

作動範囲は、荷室を除く車内のほぼ全域です。

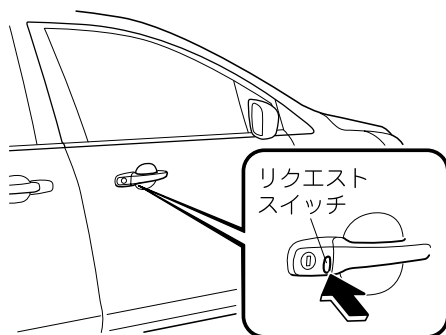


## 知識

- 荷室は作動範囲外ですが、エンジンの始動が可能になることがあります。
- 次のような場所にアドバンストキーを置くと、エンジンの始動ができない場合があります。
  - ・ インstrumentパネルの周辺
  - ・ グローブボックスや小物入れなど
- 車外でも、ドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になりますが、エンジンの始動は必ず運転席で行なってください。
- 作動範囲内にアドバンストキーを検知すると、作動表示灯がしばらくの間点滅します。

## 施錠/解錠

アドバンストキーを携帯し、フロントドアのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、リヤゲートが施錠/解錠します。



- 施錠したとき  
非常点滅灯が1回点滅し、チャイムが1回鳴ります。
- 解錠したとき  
非常点滅灯が2回点滅し、チャイムが2回鳴ります。

### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

#### 知識

- リクエストスイッチで施錠した後は、ドア、リヤゲートが確実に施錠されたことを確認してください。  
リヤゲートについては車外のハンドルを手前に引かずにリヤゲートを動かし、半ドアでないことを確認してください。
- リクエストスイッチで施錠/解錠すると確認のためチャイムが鳴ります。チャイムは鳴らないようにすることもできます。  
→115ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
- リクエストスイッチを押さずに、自動的に施錠するように設定をすることができます。  
→115ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」  
**(オートロック機能)**  
アドバンストキーを携帯してすべてのドア、リヤゲートを閉めると、チャイムが1回鳴ります。そのまま作動範囲から出ると約3秒後に自動的に全ドア、リヤゲートを施錠します。(作動範囲から出ない場合でも約30秒後に自動的に施錠します。)  
ただし、車内に別のアドバンストキーがあるときや、ドア、リヤゲートが完全に閉まる前に作動範囲を出ると施錠されません。車から離れるときはドア、リヤゲートが施錠されたことを必ず確認してください。
- リクエストスイッチを押して解錠した後、約30秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
  - ・ ドアまたはリヤゲートを開ける。
  - ・ 補助キーをエンジンスイッチに差し込む。
  - ・ スタートノブを押し込む。

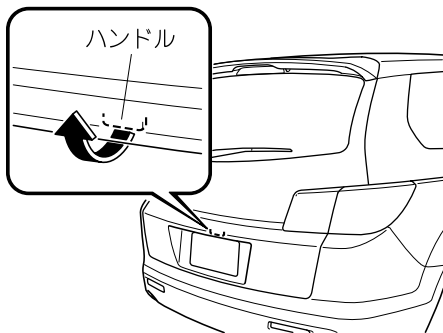
#### 知識

- リクエストスイッチを押してからドアが解錠されるまでに数秒かかることがあります。

#### リヤゲートの開けかた

リヤゲートが施錠されている状態からリヤゲートを開けることができます。

アドバンストキーを携帯し、車外のハンドルを手前に引きます。チャイムが2回鳴った後、リヤゲートを持ち上げます。



#### パワーリヤゲート装備車

電源ポジションがONのときは、セレクトレバーがPの位置にあるときのみ操作が可能です。

#### パワーリヤゲート非装備車

電源ポジションがONのときは、次のいずれかの条件を満たしているときのみ操作が可能です。

- セレクトレバーがPの位置にあること。
- セレクトレバーがNの位置にあり、パーキングブレーキがかかっていること。
- セレクトレバーがNの位置にあり、ブレーキペダルを踏んでいること。

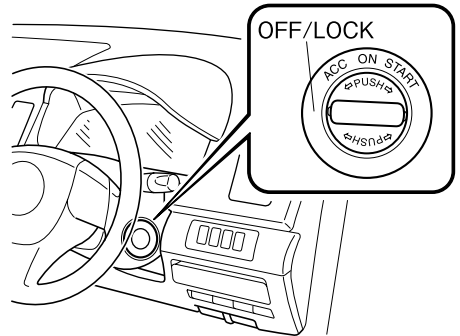
パワーリヤゲートの操作については136ページ「パワーリヤゲート」をお読みください。

### 📖 知識

- 車速が約3km/hを超えると操作できません。
- フロントドアが施錠されているときにリヤゲートを閉めると、自動的に施錠します。

## エンジンの始動

### 各状態の働き



※印字(刻印)は実際の車両と異なる場合があります。

電源ポジション(エンジンスイッチ)	働き
OFF/LOCK	電源OFFの状態
ACC	エンジン停止時に、オーディオなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置
START	エンジンを始動する位置

### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

#### 知識

- 電源ポジションをONにしたとき、燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- エンジンを止めたままで、オーディオなどを長時間使用したり、電源ポジションをONまたはACCのまま放置しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ハンドルがロックされているときは、スタートノブをまわしにくいことがあります。ハンドルを左右に動かしながらスタートノブをまわしてください。
- セレクトレバーの位置がP以外のときは、スタートノブをまわして、電源ポジションをACCからOFFにすることができません。

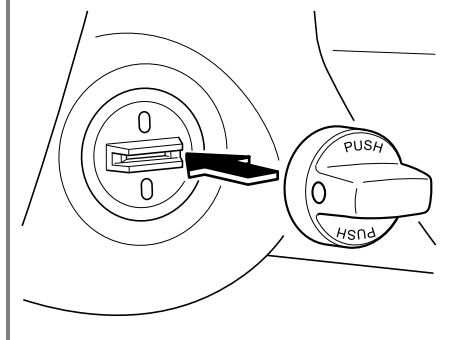
#### エンジンをかける前に

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- 2 セレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
- 3 正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。
- 4 ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。  
→42ページ「正しい運転姿勢」

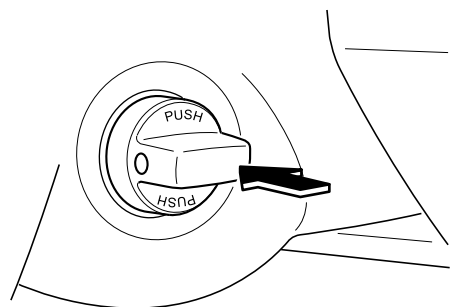
#### エンジンをかけるとき

#### 知識

- アドバンストキーは必ず運転者が携帯してください。
- スタートノブがエンジンスイッチから取りはずされているときは取り付けてください。  
取り付け後はスタートノブがはずれないことを確認してください。



- 1 アドバンストキーを携帯していることを確認します。
- 2 ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 3 スタートノブをゆっくりと奥まで押し込みます。



- 4 メーター内のKEY表示灯 (緑) が点灯するのを確認します。

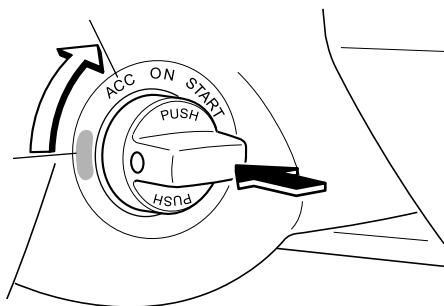
# KEY

## 知識

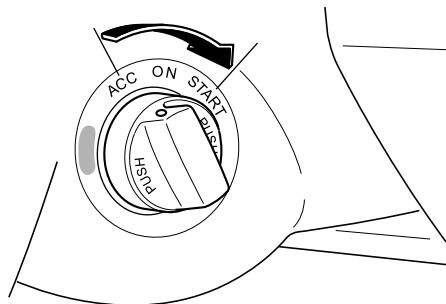
次のようなときはメーター内のKEY警告灯 (赤) が点滅し、エンジンをかけることができません。

- アドバンスキーの電池切れ
- アドバンスキーが作動範囲内でない
- アドバンスキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき  
→104ページ「作動範囲」
- アドバンスキーに類似した他社のキーが作動範囲内にある

- 5 スタートノブを押し込みながら、まわして、電源ポジションをACCにします。



- 6 アクセルペダルを踏まずに、スタートノブをまわして、電源ポジションをACCからSTARTにし、エンジンをかけます。



## 注意

連続して10秒以上スタートノブをまわして、電源ポジションをSTARTにしないでください。スターターの故障やバッテリーあがりの原因になります。エンジンがかからないときは、スタートノブをまわして、電源ポジションをOFFにもどし、10秒以上待ってからエンジンをかけなおしてください。

## 知識

冷間始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。

## エンジンをきるとき

- 1 セレクトレバーをPの位置にします。
- 2 スタートノブをまわして、電源ポジションをONからACCにします。

### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

#### 知識

- スタートノブをまわして、電源ポジションをONからACCにするとエンジンは停止しますが、バッテリーあがりの原因になりますので、ACCで放置しないでください。
- エンジンをきって電源ポジションをONからACCまたはOFFにしたとき、アドバンストキーの電池容量が少なくなっていることを感知したら、メーター内のKEY表示灯(緑)が約30秒間点滅します。新しい電池と交換してください。  
→102ページ「電池の交換」

- ③ 電源ポジションがACCでスタートノブを押し込み、電源ポジションをOFFにします。

#### 注意

車から離れるときは、電源ポジションがOFFになっていることを確認してください。

#### 知識

- 電源ポジションをOFFにするときは、スタートノブをACCで押し込んでまわす必要があります。押し込まずにまわすと、スタートノブはACCで止まるため、そのまま放置するとバッテリーがあがるおそれがあります。車から離れるときは、電源ポジションがOFFになっていることを確認してください。
- 電源ポジションをOFFにせずに車から離れると、警報やメーター表示でお知らせします。  
→113ページ「警報」

### アドバンストキーレスの 機能を使わない操作

#### リモートコントロール機能

リモートコントロール機能を使用すると、車の周囲1m以内ですべてのドア、リヤゲートの施錠/解錠、スライドドアの開閉ができます。

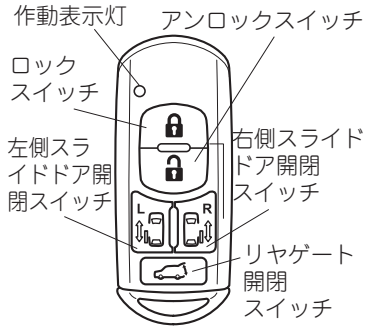
パワーリヤゲート装備車は、リヤゲートの開閉ができます。

スイッチはゆっくりと確実に押ししてください。

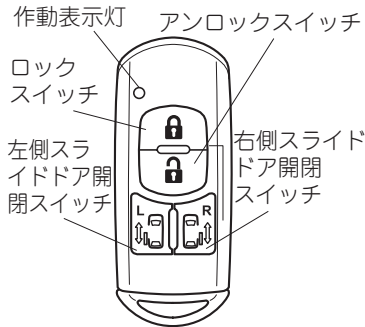
#### 知識

- エンジンスイッチに補助キーを差し込んでいるときは、リモートコントロール機能は作動しません。
- 電源ポジションがOFFの位置以外のとき、またはスタートノブが押しこまれているときは、リモートコントロール機能は作動しません。
- いずれかのドアまたはリヤゲートが開いているときは、ロックスイッチを押しても施錠しません。
- リモートコントロール機能の作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。

## Aタイプ



## Bタイプ



## 施錠/解錠

### ■ 施錠するとき

ロックスイッチを押します。  
非常点滅灯が1回点滅し、チャイムが1回鳴ります。

### ■ 解錠するとき

アンロックスイッチを押します。  
非常点滅灯が2回点滅し、チャイムが2回鳴ります。

## 知識

- スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- リモートコントロール機能を使用して、施錠/解錠すると確認のためチャイムが鳴ります。  
チャイムは鳴らないようにすることもできます。  
→115ページ「設定変更(カスタマイズ機能)」
- ロックスイッチまたはアンロックスイッチを連続して押すと、非常点滅灯が不規則に点滅することがあります。
- アンロックスイッチを押して解錠した後、約30秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
  - ・ ドアまたはリヤゲートを開ける。
  - ・ 補助キーをエンジンスイッチに差し込む。
  - ・ スタートノブを押し込む。

### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

#### 電動スライドドアの開閉

127ページの「電動スライドドア」もあわせてお読みください。

#### 警告

■ アドバンストキーの各スライドドア開閉スイッチでスライドドアを開閉するときは、車外および車内のスライドドア付近の安全を必ず確認してください。

確認を怠ると、思わぬ事故につながるおそれがあります

■ お子さまにアドバンストキーの各スライドドア開閉スイッチの操作をさせないでください。

お子さまが誤って操作すると、不意にドアが閉まりお子さまや同乗者の手や頭をはさんだり、不意にドアが開きお子さまや同乗者が車外に転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

スライドドアが全閉(全開)のとき、各スライドドア開閉スイッチを押すと、ブザーが鳴った後ドアが自動で全開(全閉)します。

#### 知識

- スライドドアが完全に閉まっていないとき、スライドドア開閉スイッチを押すと、自動で全開します。
- スライドドアの開閉作動を途中で止めるときは、もう一度スイッチを押します。

#### パワーリヤゲートの開閉☆

136ページの「パワーリヤゲート」もあわせてお読みください。

リヤゲートが全閉(全開)のとき、リヤゲート開閉スイッチを約1秒以上押すと、非常点滅灯が2回点滅し、ブザーが鳴った後、リヤゲートが自動で全開(全閉)します。

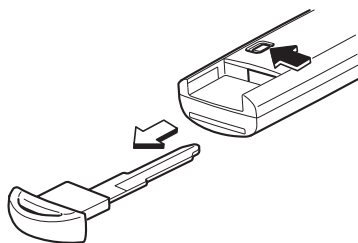
#### 知識

リヤゲートが開閉作動中にリヤゲート開閉スイッチを押すと、ブザーが鳴り、リヤゲートが自動で反対方向へ動きます。

#### 補助キー機能

アドバンストキーに内蔵された補助キーを使用します。

#### 補助キーの取りはずしかた



#### ドアの施錠/解錠

補助キーを操作して、ドアの施錠/解錠ができます。

→122ページ「キー/補助キーによる施錠/解錠」

#### エンジンの始動

補助キーを操作して、エンジンの始動ができます。

→188ページ「電源ポジション(エンジンスイッチ)」



## アドバンストキー一時停止機能

アドバンストキーが車内にあるとき、車内に置いてあるアドバンストキーの機能(スタートノブでのエンジン始動、リクエストスイッチの操作)が盗難防止のため、一時停止する場合があります。

車内から一時停止したアドバンストキーのアンロックスイッチを押すと復帰します。

## 警報

### システム故障警報

アドバンストキーレス機能になんらかの故障が発生すると、メーター内のKEY警告灯(赤)が点灯し続けます。



### 注意

KEY警告灯(赤)が点灯し続けるときは、アドバンストキーレス機能による運転を続けないでください。安全な場所に停車し、補助キーによる運転に切り替え、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

→188ページ「電源ポジション(エンジンスイッチ)」

### スタートノブもどし忘れ警報

電源ポジションがACCで、運転席ドアを開けると、チャイムが鳴り続け、電源ポジションがOFFになっていないことをお知らせします。

### 3.操作と取り扱い

## アドバンストキー

#### アドバンストキー車外持ち出し警報

次のようなときはチャイムが6回鳴り、KEY警告灯(赤)が点滅し続け、電源ポジションをOFFにせずに、アドバンストキーを車外に持ち出したことを知らせます。KEY警告灯(赤)はアドバンストキーを車内にもどすと消灯します。

- 電源ポジションをOFFにせずに運転席ドアを開け、アドバンストキーを車外に持ち出したとき  
(電源ポジションがACCのときは、スタートノブもどし忘れ警報が作動するため、ドアを開けたときからチャイムが鳴り続けます。)
- 電源ポジションをOFFにしないで、アドバンストキーを車外に持ち出したあと、全てのドアを閉めたとき



#### 知識

アドバンストキーは微弱な電波を使用しているため、金属物と一緒に携帯したり、電波環境の悪い場所に置くと、車外に持ち出されたと認識してしまい、アドバンストキー車外持ち出し警報が作動することがあります。

#### リクエストスイッチ不作動警報

次のようなとき、アドバンストキーを携帯してフロントドアのリクエストスイッチを押すと、チャイムが6回鳴り、フロントドアを施錠できないことをお知らせします。

- いずれかのドア、リヤゲートが開いているとき  
(半ドア状態など)
- 電源ポジションをOFFにしていないとき
- エンジンスイッチに補助キーを差し込んでいるとき

#### アドバンストキー電池切れ警報

電源ポジションをONからACCまたはOFFにしたとき、KEY表示灯(緑)が約30秒間点滅し、アドバンストキーの電池容量が残り少なくなっていることをお知らせします。アドバンストキーが使用できなくなる前に新しい電池と交換してください。

→102ページ「電池の交換」

#### エンジン始動不許可警報

次のようなとき、KEY警告灯(赤)が点滅し、電源ポジションをOFF以外にできないことをお知らせします。

- アドバンストキーの電池が切れたとき
- アドバンストキーが作動範囲内にないとき
- アドバンストキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき  
→104ページ「作動範囲」
- アドバンストキーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき

#### アドバンストキー車内閉じ込み警報

アドバンストキーを車内に置いたまま別のアドバンストキーにより施錠すると、チャイムが約10秒間鳴り、アドバンストキーが車内にあることをお知らせします。この場合施錠はできますが、車内のアドバンストキーは機能しない場合があります。

→113ページ「アドバンストキー一時停止機能」

また、フロントドアを施錠した状態でアドバンストキーを車内に置いたままリヤゲートを閉めると、チャイムが約10秒間鳴り、アドバンストキーが車内にあることをお知らせします。

## 設定変更 (カスタマイズ機能)

以下の機能の設定をマツダ販売店で変更することができます。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

機能	内容	初期設定	変更内容
施錠/解錠作動確認 チャイム	ドア、リヤゲートを施錠/解錠すると確認のためチャイムが鳴ります。	ON	OFF
オートロック機能	アドバンスキーを携帯して、すべてのドア、リヤゲートを閉めて作動範囲から出ると、約3秒後に自動的にすべてのドア、リヤゲートが施錠します。 (作動範囲から出ない場合でも、約30秒後に自動的に施錠します。)	OFF	ON

### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

## こんなときは

次のようなとき、アドバンストキーの誤操作による車両盗難などを防ぐために、警報およびメーター内の警告灯/表示灯でお知らせします。

→113ページ「警報」

警報	確認すること
ドアを開けたときに、チャイムが「ピーピー、ピーピー、…」と連続で鳴り続けるとき	電源ポジションをOFFにしているか確認してください。
ドアを開けているときに、チャイムが6回鳴り、メーター内のKEY警告灯(赤)が点滅しているとき	アドバンストキーを車外に持ち出していないか確認してください。
ドアを閉めたときに、チャイムが6回鳴り、メーター内のKEY警告灯(赤)が点滅しているとき	アドバンストキーを車外に持ち出していないか確認してください。
ドアを施錠しようとしたとき、またはリヤゲートを開めたときに、チャイムが「ピピッ、ピピッ、ピピッ」と約10秒間鳴るとき	アドバンストキーを車内に置き忘れていないか確認してください。
ドアを施錠しようとしたときに、チャイムが「ピピッ、ピピッ、ピピッ」と6回鳴るとき	電源ポジションをOFFにしているか確認してください。
	いずれかのドア、リヤゲートが開いていないか確認してください。
メーター内のKEY表示灯(緑)が点滅しているとき	アドバンストキーの電池残量が少なくなっています。新しい電池と交換してください。 →102ページ「電池の交換」
メーター内のKEY警告灯(赤)が点灯し続けているとき	アドバンストキーが故障しています。安全な場所に停車して、補助キーによる運転に切り替え、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

## キー

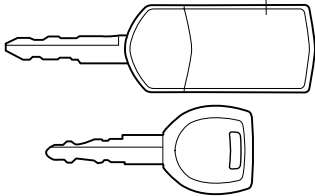
### 知識

アドバンストキー装備車は、98ページの「アドバンストキーについて」をお読みください。

キーはエンジンの始動/停止のほかにドアの施錠/解錠に使用します。

キーは2本あります。

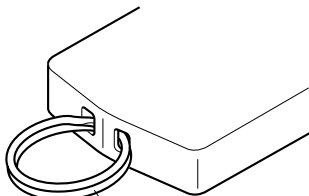
リトラクタブルタイプキー



キーナンバープレート

### 知識

キーホルダーなどの種類によっては、リトラクタブルタイプキーに付けられない場合があります。このようなときは、キーナンバープレートと一緒に付いているキーリングを使用してください。



キーリング

## キーナンバープレート

お客様以外のかたにキーナンバーを知られないために、キーナンバープレートにキーナンバーを打刻しています。

### 知識

- キーナンバープレートは車両以外の安全な場所に、大切に保管しておいてください。
- 万一、キーを紛失したときは、マツダ販売店でキーナンバーをもとにキーを作ることができます。
- 車両をおゆずりになるときは、次にお使いになるかたのために、すべてのキーと一緒に、キーナンバープレートを車両につけてお渡しくください。

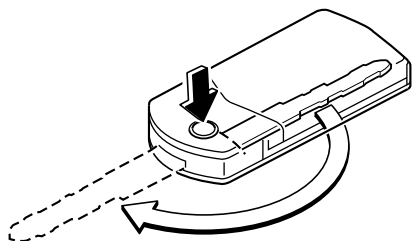
### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

#### リトラクタブルタイプキー

リトラクタブルタイプキーは、キーとリモートコントローラーが一体となっています。

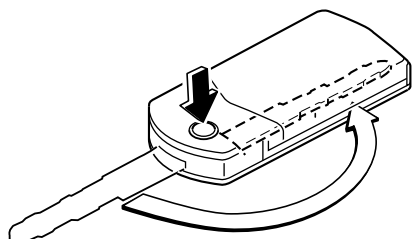
キーを使わないときは、キー部分を格納することができます。

#### 取り出ししかた



#### 格納のしかた

- 1 ボタンを押してキーをまわします。
- 2 ボタンをはなした後、カチッと音がするまでキーを押し込みます。



#### キーレスエントリー システム (リトラクタブルタイプ キー装備車)

リモートコントローラーを使用すると、車の周囲1m以内ですべてのドア、リヤゲートの施錠/解錠とスライドドアの開閉ができます。

#### ⚠ 注意

リモートコントローラーは次のようなことに注意してください。故障につながるおそれがあります。

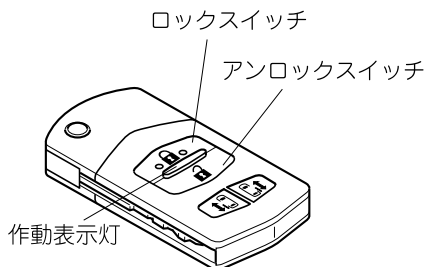
- 強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 直射日光が当たる所や、高温になる所に放置しないでください。

## 知識

- リモートコントローラーを紛失された場合は、盗難、事故などを防ぐため、マツダ販売店にご相談ください。
- エンジンスイッチにキーを差し込んでいるときは、キーレスエントリーシステムは作動しません。
- いずれかのドアまたはリヤゲートが開いているときは、ロックスイッチを押しても施錠しません。
- キーレスエントリーシステムの作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。
- 車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。
- 別売りのリモートコントローラーを購入される場合、お手持ちのコントローラーとあわせて、同じ車両で3個まで使用することができます。  
マツダ販売店にご相談ください。

## 施錠/解錠

ロックスイッチを押すと施錠、アンロックスイッチを押すと解錠されます。スイッチは、ゆっくりと確実に押ししてください。



## 知識

- スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- すべてのドアおよびリヤゲートが閉まっているときにロックスイッチを押すと、非常点滅灯が1回点滅し、施錠されたことを知らせます。
- アンロックスイッチを押すと、非常点滅灯が2回点滅し、解錠されたことを知らせます。
- ロックスイッチまたはアンロックスイッチを連続して押すと、非常点滅灯が不規則に点滅することがあります。
- アンロックスイッチを押して解錠した後、約30秒以内にドアまたはリヤゲートを開けなかった場合、自動的に施錠されます。

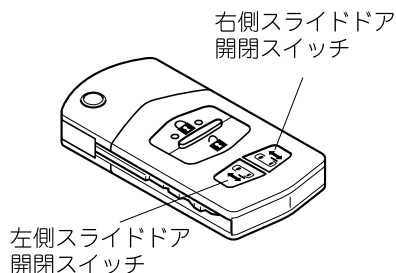
## 電動スライドドアの開閉

127ページの「電動スライドドア」もあわせてお読みください。

## 警告

- リモートコントローラーの各スライドドア開閉スイッチでスライドドアを開閉するときは、車外および車内のスライドドア付近の安全を必ず確認してください。確認を怠ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまにリモートコントローラーの操作をさせないでください。お子さまが誤って操作すると、不意にドアが閉まりお子さまや同乗者の手や頭をはさんだり、不意にドアが開きお子さまや同乗者が車外に転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 3.操作と取り扱い 各部の開閉



スライドドアが全閉(全開)のとき、各スライドドア開閉スイッチを押すと、ブザーが鳴った後ドアが自動で全開(全閉)します。

#### 知識

- スライドドアが完全に閉まっていないとき、スライドドア開閉スイッチを押すと、自動で全開します。
- スライドドアの開閉作動を途中で止めるときは、もう一度スイッチを押します。

#### 電池の交換

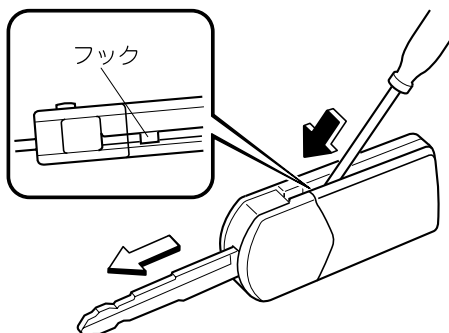
リモートコントローラーのスイッチを押しても作動しないときや、作動範囲が狭く不安定になったとき、作動表示灯が点灯しなくなったときは、電池切れが考えられます。次の手順で電池を交換してください。

電池の規格: リチウム電池CR1620

#### 注意

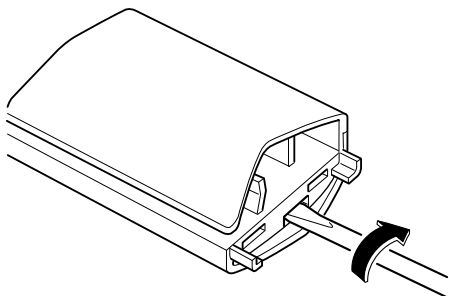
- 電池の+側と-側は必ず正しく取り付けてください。液漏れなどにつながるおそれがあります。
- 電池を交換するときは内部回路や電極に触れたり、電極を曲げたりしないように注意してください。また、リモートコントローラーの内部にゴミなどを付着させないでください。故障につながるおそれがあります。
- 電池を交換してもキーレスエントリーシステムが作動しないときは、マツダ販売店にご相談ください。

- 1 キーを取り出します。  
→118ページ「リトラクタブルタイプキー」
- 2 マイナスドライバーなどを使ってフックを押し、キー部分とリモートコントローラー部分を取りはずします。

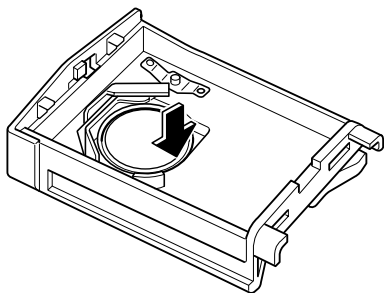




- 3 マイナスドライバーなどを慎重に使って、ゆっくりとまわしながらカバーを開きます。



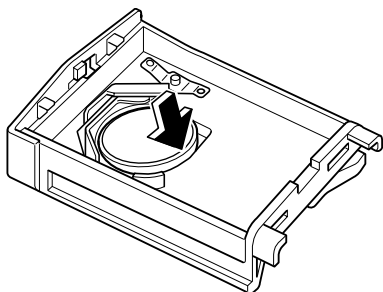
- 4 電池の端を押して、電池を取り出します。



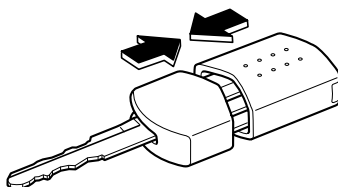
### 知識

指で押して取り出しにくい場合は、ドライバーなどで押すと取り出しやすくなります。

- 5 新しい電池の+側を下にして、電池を差し込み取り付けます。



- 6 カバーを閉めます。
- 7 リモートコントローラーとキーの向きを合わせ、カチッと音がするまで押し込みます。



### 注意

リモートコントローラーとキーはカチッと音がするまで確実に押し込んでください。取り付けが不完全な場合、外れるおそれがあります。

## フロントドア

### 警告

■ ドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを確認してください。

半ドアのまま走行すると、走行中に不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ ドアを開けるときは、周囲の安全を確認してください。

ドアを急に開けると、後続車や歩行者がぶつかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 注意

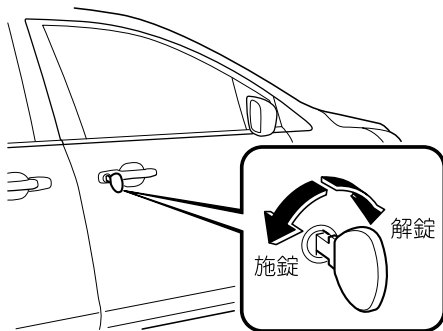
強風時にドアを開閉するときは、注意して開閉してください。ドアが風にあおられると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 知識

車から離れるときは、必ずエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

## キー/補助キーによる施錠/解錠

キーまたは補助キーを差し込み、まわします。



## アドバンストキーレス機能による施錠/解錠 (アドバンストキー装備車)

アドバンストキーを携帯して操作すると、施錠/解錠できます。

→104ページ「アドバンストキーレスの機能を使っての操作」

## リモートコントロール機能による施錠/解錠 (アドバンストキー装備車)

リモートコントロール機能を使用すると、施錠/解錠できます。

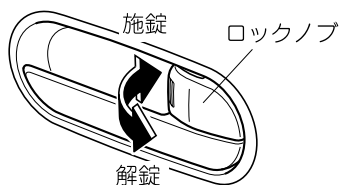
→110ページ「リモートコントロール機能」

## リモートコントローラーによる施錠/解錠 (リトラクタブルタイプキー装備車)

リモートコントローラーを操作すると、施錠/解錠できます。

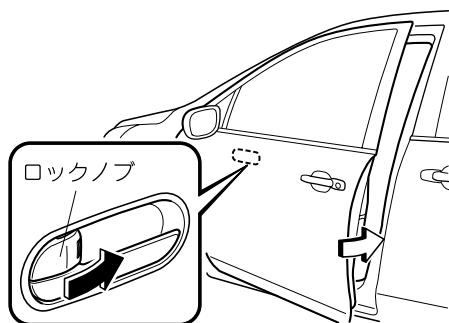
→118ページ「キーレスエントリーシステム (リトラクタブルタイプキー装備車)」

## ロックノブによる施錠/解錠



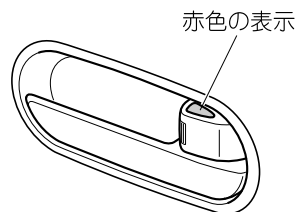
### 車外から操作するとき

助手席ドアは、車内のロックノブを施錠側にし、ドアを閉めるだけで施錠できます。



## 知識

- 運転席ドアはキーの閉じ込みを防止するために、この方法では施錠できません。
- キーの閉じ込みを防止するために、キーを持っていることを確認してから施錠してください。
- ロックノブを解錠しているときは赤色の表示が見えます。



## スライドドア

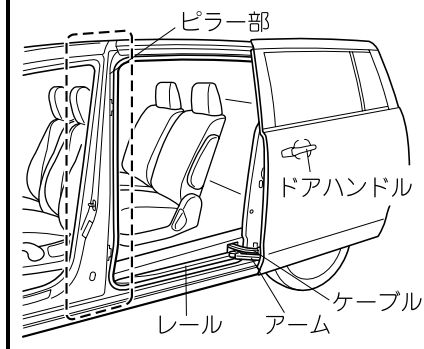
### 警告

■ スライドドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを確認してください。

半ドアのまま走行すると、走行中に不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 注意

- スライドドアを開閉するときは、次のことを守ってください。ドアで手足や顔をはさむなど、けがをするおそれがあります。
  - ・ ドアハンドルを使用してください。
  - ・ 手足や顔を出さないでください。
  - ・ スライドドア後方の安全を十分確認してください。
  - ・ スライドドアのレールやアームおよびピラー付近には、手足をかけないでください。
- スライドドアのレール、アーム、ケーブルおよびピラー付近に、石などの異物が詰まっていないことを確認してください。石などの異物が詰まると故障の原因になるおそれがあります。



### 知識

車から離れるときは、必ずエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

### リモートコントロール機能による施錠/解錠 (アドバンストキー装備車)

リモートコントロール機能を使用すると、施錠/解錠できます。

→110ページ「リモートコントロール機能」

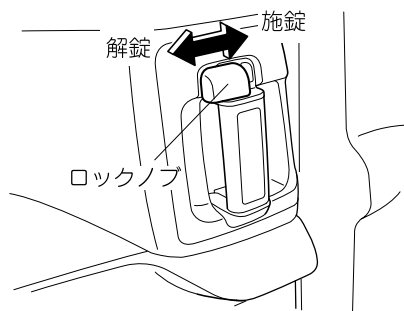
### リモートコントローラーによる施錠/解錠 (リトラクタブルタイプキー装備車)

リモートコントローラーを操作すると、施錠/解錠できます。

→118ページ「キーレスエントリーシステム  
(リトラクタブルタイプキー装備車)」

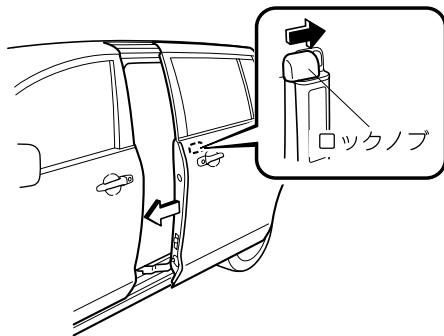
## ロックノブによる施錠/解錠

ロックノブを操作します。



## 車外から操作するとき

車内のロックノブを施錠側にし、ドアを開めるだけで施錠できます。



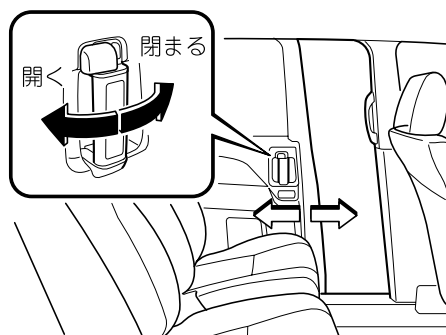
## 知識

坂道などの傾斜地でスライドドアを開けたままにしないでください。不意にドアが動き、けがをするおそれがあります。

## スライドドアの開閉 (手動操作)

### 車内からの操作

- 開けるとき  
ドアハンドルを車の後方に引き、そのままドアをスライドさせます。
- 閉めるとき  
ドアハンドルを車の前方に引き、そのままドアをスライドさせます。



## 知識

フューエルリッドが開いているときは、左側スライドドアは全開しません。フューエルリッドを閉めてからスライドドアを開けてください。

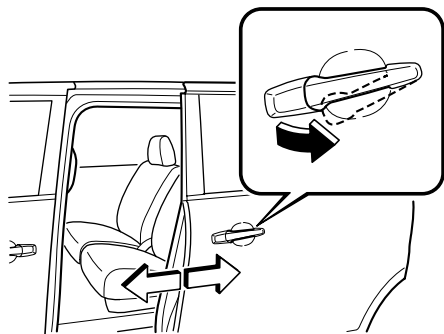
### 車外からの操作

- 開けるとき  
ドアハンドルを引き、ドアを車の後方にスライドさせます。

### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

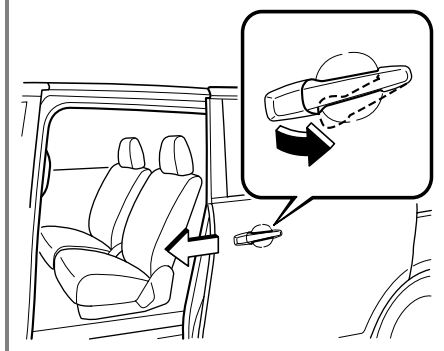
#### ■ 閉めるとき

ドアハンドルを引き、ドアを車の前方にスライドさせます。



#### 📖 知識

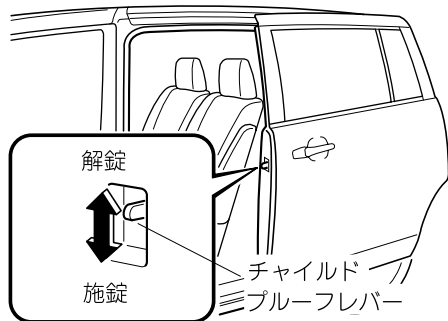
全開のスライドドアを車外から閉めるとき、車外のドアハンドルを手前に引いてロックを解除してからドアを車両前方にスライドさせてください。



### チャイルドプルーフ

お子さまをセカンドシート、サードシートに乗せているとき、いたずらなどで不意にドアが開くことを防止できます。

チャイルドプルーフレバーを施錠側にしてドアを閉めます。



ロックノブの位置に関係なく、車内のドアハンドルおよび後席スライドドアスイッチによりスライドドアを開けることができません。

ドアを開けるときは、ロックノブを解錠側にして、次のいずれかの操作を行ってください。

- 車外のドアハンドルを引く。
- リモートコントローラーのスライドドア開閉スイッチを押す。
- 運転席のスライドドアスイッチのOPENを押す。  
→127ページ「電動スライドドア」

### スライドドアイージークロー ジャー

イージークロージャーは、スライドドアが閉まるのを補助する装置です。

ドアを半ドアの位置まで閉めると、自動的に閉まります。

## ⚠ 注意

ドアを閉めるときは、必ずドアハンドルを持ってください。半ドアの位置まで閉めると自動的にドアが閉まるため、指などを挟むとけがをするおそれがあります。

## 📖 知識

イージークロージャージュ作動中に、車内または車外のドアハンドルを引くと、作動を止めることができます。

## 電動スライドドア

電動スライドドアは、スイッチ、アドバンストキー/リモートコントローラーまたはドアハンドルの操作により電動開閉します。

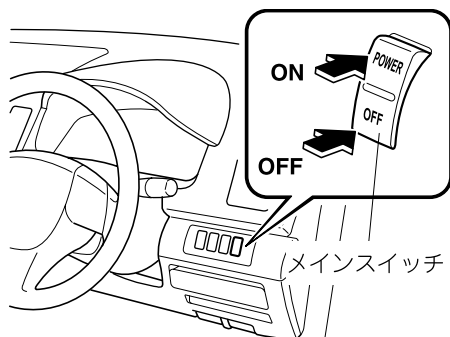
### (アドバンストキー装備車)

リモートコントロール機能での操作については110ページの「リモートコントロール機能」をお読みください。

### (リトラクタブルタイプキー装備車)

リモートコントローラーでの操作については118ページの「キーレスエントリーシステム」をお読みください。

電動スライドドアは、メインスイッチで電源をON/OFFできます。



スイッチ位置	作動状態
ON	スライドドアを電動で開閉できます。
OFF	スライドドアを電動で開閉できません。手動で開閉できます。OFFの位置でもイージークロージャージュは作動します。

## ⚠ 警告

■ スライドドアを開閉するときは、車外および車内のスライドドア付近の安全を必ず確認してください。

確認を怠ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 乗車中にスライドドアにもたれかからないでください。

スライドドアを作動させたとき、車外へ転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ スライドドアを全閉にした状態で車を発進させてください。

全閉していない状態で走行すると、人や物が車外に転落するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。(全閉していない状態で走行するとブザーが連続して鳴ります。)

■ お子さまにスライドドア開閉スイッチやアドバンストキー/リモートコントローラーの操作をさせないでください。

お子さまが誤って操作すると、不意にドアが閉まりお子さまや同乗者の手や頭をはさんだり、不意にドアが開きお子さまや同乗者が車外に転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 3.操作と取り扱い 各部の開閉



#### 警告

■ スライドドアの窓ガラスを開けた状態で開閉するとき、手や頭を出さないよう注意してください。万一、手や頭をはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 下り坂で乗り降りするときは、スライドドアが全開になっていることを確認してください。ドアが完全に開いていない状態で乗り降りすると、不意にドアが動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ スライドドア付近で作業するときは、メインスイッチをOFFにしてください。誤って開閉スイッチに触れたとき、スライドドアが動き手や頭をはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。



#### 知識

- 電動開閉中はドアに無理な力をかけて開閉しないでください。無理な力をかけると、自動的にドアが反対方向に動くことがあります。
- 坂道などの傾斜地に停車しているときは、電動開閉できないことがあります。メインスイッチをOFFの位置にして手で開閉してください。
- 電動スライドドアに異常があるときはブザーが鳴り続けます。この場合、システムの故障が考えられます。メインスイッチをOFFの位置にしてブザーを停止し、マツダ販売店で点検を受けてください。
- 電動スライドドアが故障したときや手で開閉したいときは、メインスイッチをOFFの位置にしてください。手で操作できます。



#### 知識

- 電動開閉中にメインスイッチをOFFの位置にすると、ブザーが鳴りスライドドアの開閉作動を途中で止めることができます。もう一度メインスイッチを押してONの位置にすると、電動で開閉できます。
- スライドドアが半開の状態を手動操作に切り替えたときは、ドアが固定されています。ドアを数回前後に動かして固定を解除してから開閉してください。
- メインスイッチがONの位置でもスライドドアが施錠されているときは、電動スライドドアは作動しません。
- メインスイッチをOFFの位置にすると、同時にパワーリヤゲートも電動で開閉できなくなります。
- チャイルドブルーフレバーを施錠側にしているときでも、運転席スライドドアスイッチ、アドバンスキー/リモートコントローラー、車外のドアハンドルによりスライドドアを開けることができます。  
→126ページ「チャイルドブルーフ」
- フューエルリッドが開いているときは、左側スライドドアは全開しません。フューエルリッドを閉めてからスライドドアを開けてください。
- 車両整備などでバッテリーの接続を断つときは、スライドドアを全閉してから行なってください。スライドドアが開いた状態でバッテリーを接続した場合、スライドドアが自動で開閉できなくなります。スライドドアを一度手動で全閉すると電動スライドドア機能が復帰します。
- スライドドアが開いた状態でバッテリーの接続を断った場合、スライドドアの開閉はできません。



## 電動スライドドアの開閉

次の作動開始条件をすべて満たしているとき、電動でスライドドアを開く操作ができます。

### 作動開始条件

- (1) メインスイッチがONの位置のとき。
- (2) スライドドアが解錠されているとき。
- (3) 電源ポジションがONのときは、車速が約3km/h以下で、さらに次のいずれかの条件を満たしているとき。

- ・ セレクトレバーがPの位置にあること。
- ・ パーキングブレーキがかかっていること。
- ・ ブレーキペダルを踏んでいること。

電動でスライドドアを閉めるときは、(1)の条件を満たしていれば(2)(3)の条件に関係なく、操作ができます。

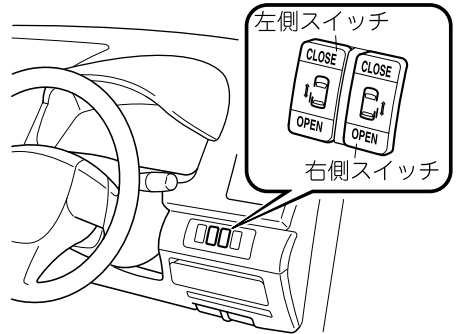
### 知識

電動でスライドドアを開いているときに、(1) または (3) の条件が満たされなくなったときは、ブザーが鳴りスライドドアが停止します。  
いずれも(1)(3)の条件を満たすことで再びスイッチによる操作ができます。

### 運転席からの操作

左側(右側)スイッチを操作すると、左側(右側)スライドドアが開閉します。

各スイッチのOPEN (CLOSE) を押すと、ブザーが鳴った後、ドアが自動で全開(全閉)します。



### 知識

- ブザーが鳴っているときに、もう一度スイッチ操作をすると、スライドドアは作動しません。
- スライドドアが開閉作動中にスイッチ操作をすると、ブザーが鳴り、スライドドアが停止します。

### 後席からの操作

左側(右側)スライドドアスイッチを操作すると、左側(右側)スライドドアが開閉します。

各スイッチを押すと、ブザーが鳴った後、ドアが自動で全開(全閉)します。

### 知識

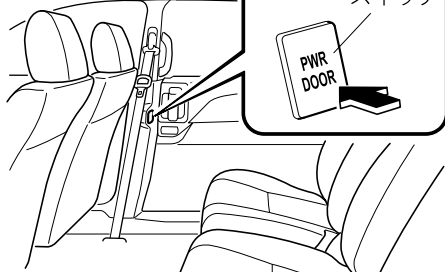
スライドドアが途中で停止した状態でスイッチを押すと、自動で全閉します。

### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

左側スライドドア  
スイッチ



右側スライドドア  
スイッチ



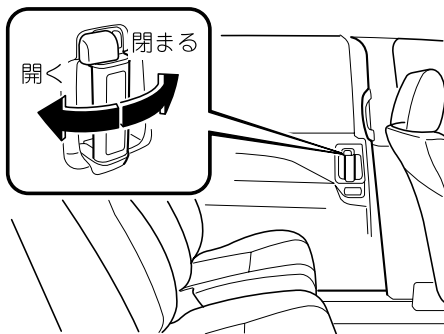
#### 知識

- ブザーが鳴っているときに、もう一度スイッチを操作をすると、スライドドアは作動しません。
- スライドドアが開閉作動中にスイッチ操作をすると、ブザーが鳴り、スライドドアが停止します。

#### 車内ドアハンドルからの操作

ドアハンドルを車の後方に引くと、ブザーが鳴り自動で全開します。

ドアハンドルを車の前方に引くと、ブザーが鳴り自動で全閉します。

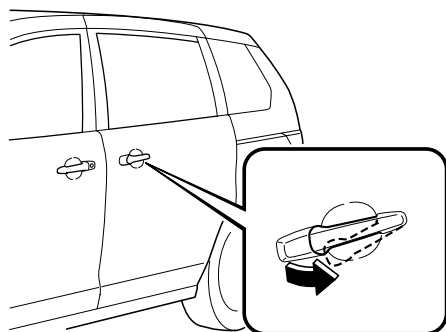


#### 知識

スライドドアが開閉作動中にハンドルを引くと、ブザーが鳴り、スライドドアが停止します。

#### 車外ドアハンドルからの操作

スライドドアが全開状態のとき、ドアハンドルを引くと、ブザーが鳴り自動で全閉します。



スライドドアが全開状態のとき、ドアハンドルを引くと、ブザーが鳴り自動で全閉します。

## 知識

スライドドアが途中で停止した状態でドアハンドルを引くと、自動で全開します。

## はさみ込み防止機構

スライドドアの電動開閉中に、人や異物などにより異常を感知すると、その位置から自動的にドアは反対方向に動きます。

開方向へ作動しているとき異常を感知すると、ブザーが鳴りスライドドアは約10cm閉方向に動き停止します。

閉方向へ作動しているとき異常を感知すると、ブザーが鳴りスライドドアは全開します。

## 警告

■ ドアを閉める前に必ずドア付近に人や障害物がないことを確認してください。

はさみ込み防止機構は、万一のときに人や障害物を感知してドアにはさまれることを防ぐためのものです。はさまれるものの形状や、はさまれかたによっては検知できない場合があります。特にお子さまには十分気をつけてください。また、はさみ込み防止機構を故意に作動させるために、手などはさんだりしないでください。万一、指などはさむとけがをするおそれがあります。

## 知識

- 半ドアの位置から全閉までの間では、はさみ込み防止機構は作動しません。
- 開方向のはさみ込みと閉方向のはさみ込みの繰り返しを数回感知した場合、スライドドアは停止します。

## パワードアロック

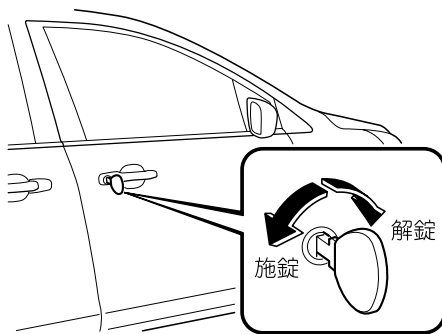
すべてのドア、リヤゲートの施錠/解錠ができます。

## 知識

いずれかのドアまたはリヤゲートが開いていると施錠できません。

## キー/補助キーによる施錠/解錠

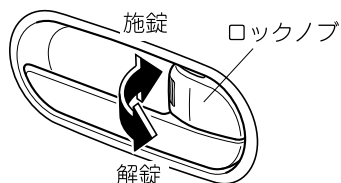
運転席ドアにキーまたは補助キーを差し込み、まわします。



### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

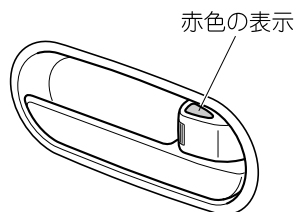
#### ロックノブによる施錠/解錠

運転席ドアのロックノブを操作します



#### 📖 知識

ロックノブを解錠しているときは赤色の表示が見えます。



#### リモートコントロール機能による施錠/解錠 (アドバンストキー装備車)

リモートコントロール機能を使用すると、施錠/解錠できます。

→110ページ「リモートコントロール機能」

#### リモートコントローラーによる施錠/解錠 (リトラクタブルタイプキー装備車)

リモートコントローラーを操作すると、施錠/解錠できます。

→118ページ「キーレスエントリーシステム  
(リトラクタブルタイプキー装備車)」

#### アドバンストキーレス機能による施錠/解錠 (アドバンストキー装備車)

アドバンストキーを携帯して操作すると、施錠/解錠できます。

→104ページ「アドバンストキーレスの機能  
を使つての操作」

## リヤゲート



### 警告

- 荷室内に人を乗せないでください。

急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。

- リヤゲートは必ず閉めてから走行してください。

開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



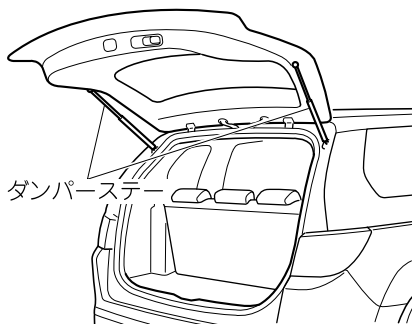
### 注意

- リヤゲートを開ける前に、リヤゲートの雪や氷などの付着物を取り除いてください。リヤゲートを開けたときに、雪や氷などの重みでリヤゲートが閉まり、けがをするおそれがあります。
- 強風時にリヤゲートを開閉するときは、注意して開閉してください。リヤゲートが風にあおられると、急に閉まり、けがをするおそれがあります。
- リヤゲートを開けるときは全開にして、リヤゲートが止まることを確認してください。リヤゲートを途中で止めると、振動や突風などでリヤゲートが閉まり、けがをするおそれがあります。
- 荷室の荷物を出し入れするときは、エンジンを止めてください。排気熱によりやけどをするおそれがあります。



### 注意

- リヤゲートのダンパーステーに手をかけるなどして過度の力を加えないでください。ダンパーステーが曲がり、リヤゲートの作動に影響をおよぼすおそれがあります。



## リヤゲートの施錠/解錠

### キー/補助キーによる施錠/解錠

#### 運転席ドア

運転席ドアにキーまたは補助キーを差し込みまわすと、施錠/解錠できます。

→131ページ「パワードアロック」

### アドバンストキーレス機能による施錠/解錠 (アドバンストキー装備車)

アドバンストキーを携帯して操作すると、施錠/解錠できます。

→104ページ「アドバンストキーレスの機能を使っての操作」

### リモートコントロール機能による施錠/解錠 (アドバンストキー装備車)

リモートコントロール機能を使用すると、施錠/解錠できます。

→110ページ「リモートコントロール機能」

### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

#### リモートコントローラーによる施錠/ 解錠 (リトラクタブルタイプキー装備 車)

リモートコントローラーを操作すると、施錠/解錠できます。

→118ページ「キーレスエントリーシステム (リトラクタブルタイプキー装備車)」

#### ロックノブによる施錠/解錠

運転席ドアのロックノブを操作すると、施錠/解錠できます。

→131ページ「パワードアロック」

#### リヤゲートの開閉 (手動操作)

##### 開けるとき



##### 警告

■ リヤゲートを開けるときは、リヤゲートを全開にしてください。  
全開にしない状態で使用すると、不意にリヤゲートが落ち、思わぬ事故につながるおそれがあります。

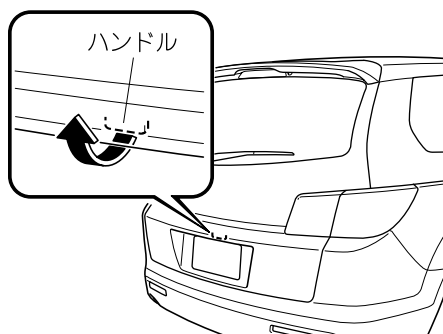


##### 知識

(アドバンストキー装備車)

アドバンストキーレス機能を使ってリヤゲートを開けるときは、106ページの「リヤゲートの開けかた」をお読みください。

車外のハンドルを手前に引いてリヤゲートを持ち上げます。

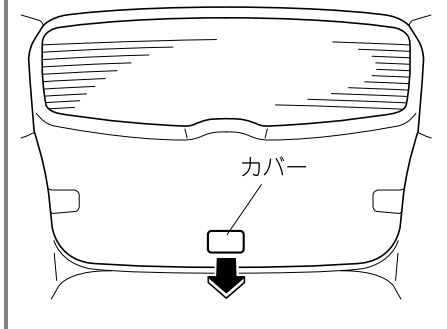


##### 知識

(アドバンストキー装備車)

バッテリーあがりや電気系統の故障などで、リヤゲートの解錠ができず開けられなくなったときは、応急処置として次の手順で解錠してください。

1. マイナスドライバーなどを使ってリヤゲート車内側にあるカバーをはずします。



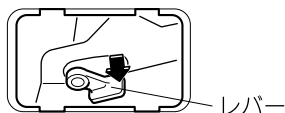
## 知識

- レバーを押し下げた状態で、リヤゲートを押します。

### パワーリヤゲート装備車



### パワーリヤゲート非装備車



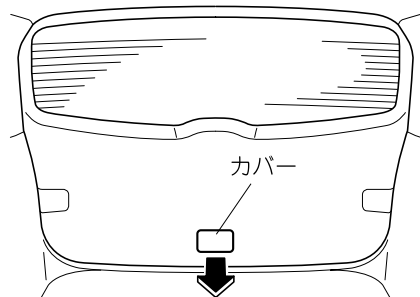
応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

## 知識

### (アドバンストキー非装備車)

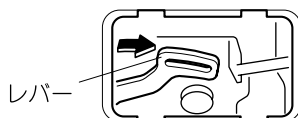
バッテリーあがりや電気系統の故障などで、リヤゲートの解錠ができず開けられなくなったときは、応急処置として次の手順で解錠してください。

- マイナスイライバーなどを使ってリヤゲート車内側にあるカバーをはずします。



## 知識

- レバーを右側に動かして解錠します。



応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

## 閉めるとき

## 知識

### (アドバンストキー装備車)

フロントドアが施錠されているときにリヤゲートを閉めると、自動的に施錠します。

リヤゲートをゆっくり下げて、押さえつけるように閉めます。リヤゲートハンドルを使用すると便利です。



### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

#### 警告

■ リヤゲートを閉めたあとは、リヤゲートをゆさぶって確実にロックされていることを確認してください。

走行中にリヤゲートが開くと、荷物などが落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

#### 注意

リヤゲートを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。

#### リヤゲートイージークロー ジャー☆

イージークロージャーは、リヤゲートが閉まるのを補助する装置です。  
リヤゲートを半ドアの位置まで閉めると、自動的に閉まります。

#### 注意

● リヤゲートを閉めるときは、指などをはさまないように注意してください。半ドアの位置まで閉めると自動的に閉まるため、万一、指などをはさむと、けがをするおそれがあります。

● リヤゲートを閉めるときは、無理な力をかけないでください。無理な力をかけるとシステムの故障の原因になります。

#### 知識

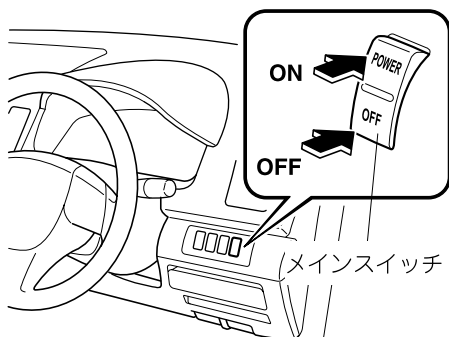
- イージークロージャー作動中に、車外のハンドルを引くと、リヤゲートを開けることができます。
- リヤゲートの開閉を短時間に繰り返すと、イージークロージャーが作動しないことがあります。しばらくしてから閉めなおしてください。

#### パワーリヤゲート☆

パワーリヤゲートは、アドバンストキーまたは各スイッチの操作により電動開閉します。

リモートコントロール機能での操作については110ページの「リモートコントロール機能」をお読みください。

パワーリヤゲートは、メインスイッチで電源をON/OFFできます。





スイッチ位置	作動状態
ON	リヤゲートを電動で開閉できます。
OFF	リヤゲートを電動で開閉できません。手動で開閉できます。OFFの位置でもイージークローザーは作動します。

### 警告

- リヤゲートを電動開閉するときには、車外および車内のリヤゲート付近の安全を必ず確認してください。

確認を怠るとリヤゲートが開くときにリヤゲートと障害物の間に挟まったり、リヤゲートが閉まるときに車両にはさまれたりするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

- リヤゲートを電動開閉するときには、リヤゲートから目を離さないでください。

障害物等があるとはさみ込み防止機構により全閉しないことがあります。全閉しない状態で走行すると人や物が車外に転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

- リヤゲートを全閉にした状態で車を発進させてください。

全閉していない状態で走行すると、人や物が車外に転落するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 警告

- お子さまにリヤゲート開閉スイッチやアドバンストキーの操作をさせないでください。

お子さまが誤って操作すると、不意にリヤゲートが閉まり、お子さまや同乗者の手や頭をはさんだり、不意にリヤゲートが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

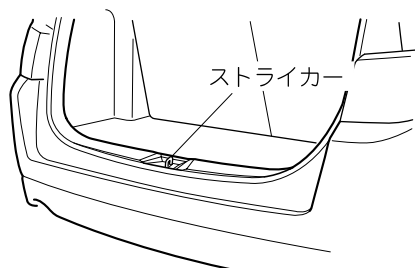
- リヤゲート付近で作業をするときは、メインスイッチをOFFにしてください。

誤って開閉スイッチに触れたとき、リヤゲートが動き手や頭をはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

#### ⚠ 注意

- リヤゲートを閉めるときは、ストライカー付近に異物がないことを確認してください。異物をはさみ込むとリヤゲートが正常に閉まらなくなるおそれがあります。



- リヤゲートにこの車専用のアクセサリ用品以外を取り付けしないでください。パワーリヤゲートが自動で開閉できず故障につながるおそれがあります。
- 電動操作から手動操作に切り替わった場合、リヤゲートの位置によっては、リヤゲートが不意に開閉し、けがをするおそれがあります。

#### 📖 知識

- 電動開閉中はリヤゲートに無理な力をかけて開閉しないでください。無理な力をかけると、自動的にリヤゲートが反対方向に動くことがあります。また、故障の原因になります。
- パワーリヤゲートが故障したときは、メインスイッチをOFFの位置にしてください。
- 電動開閉中にメインスイッチをOFFの位置にすると、ブザーが鳴り手動操作に切り替わります。もう一度メインスイッチを押してONの位置にすると、電動で開閉できます。
- 坂道などの傾斜地に停車しているとき、風が強いとき、またはリヤゲートに積雪があるときは、電動開閉できないことがあります。メインスイッチをOFFの位置にして手動で開閉してください。
- メインスイッチがONの位置でもリヤゲートが施錠されているときは、リヤゲートは電動で開閉できなくなります。
- 運転席ドアが施錠されているときにリヤゲートを閉めると、自動的に施錠します。
- メインスイッチをOFFの位置にすると、同時に電動スライドドアも電動で開閉できなくなります。
- 車両整備などでバッテリーの接続を断つときは、リヤゲートを全閉してから行なってください。リヤゲートが開いた状態でバッテリーの接続を断った場合、リヤゲートが自動で開閉できなくなります。自動で全開/全閉させる機能を復帰させるには、リヤゲートを手動で全閉してください。

## 知識

- バッテリーあがりや電気系統の故障などで、リヤゲートの解錠ができず開けられなくなったときは、応急処置としてエマージェンシーレバーを使用してリヤゲートを開けてください。  
→134ページ「リヤゲートの開閉(手動操作)」

## パワーリヤゲートの開閉

次の作動開始条件をすべて満たしているとき、電動でリヤゲートを開く操作ができます。

### 作動開始条件

- (1)メインスイッチがONの位置のとき。
- (2)リヤゲートが解錠されているとき。
- (3)電源ポジションがONのときは、セレクトレバーがPの位置にあること。

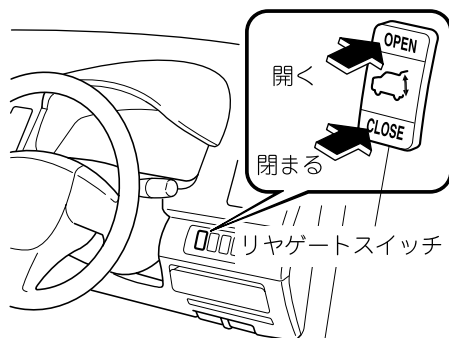
電動でリヤゲートを閉めるときは、(1)(3)の条件を満たしていれば(2)の条件に関係なく、操作ができます。

## 知識

電動で開けているときに、(3)の条件が満たされなくなったときは、ブザーが鳴り、リヤゲートが自動で反転します。電動で閉めているときに、(3)の条件が満たされなくなったときは、ブザーが鳴り、そのまま閉まります。  
いずれも(3)の条件を満たすことで再びスイッチによる操作ができます。

## 運転席からの操作

パワーリヤゲートが全開(全開)状態のとき、リヤゲートスイッチを約1秒以上押し、非常点滅灯が2回点滅し、ブザーが鳴った後自動で全開(全閉)します。

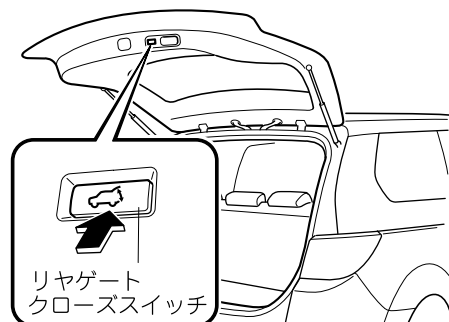


## 知識

リヤゲートが電動開閉中にスイッチを押すと、ブザーが鳴りリヤゲートが自動で反対方向へ動きます。この操作を繰り返すと、手動操作に切り替わります。

## 車外からの操作

パワーリヤゲートが全開状態のとき、リヤゲートクローズスイッチを約1秒以上押し、非常点滅灯が2回点滅し、ブザーが鳴った後自動で閉まります。



### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

#### 知識

リヤゲートを電動で閉めているときにスイッチを押すと、ブザーが鳴りリヤゲートが自動で全開方向へ動きます。この操作を繰り返すと、手動操作に切り替わります。

#### はさみ込み防止機構

リヤゲートの電動開閉中に、人や異物などにより異常を感知すると、その位置から自動的にリヤゲートは反対方向に動きます。

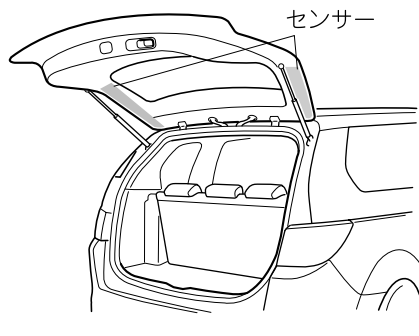
#### 警告

■リヤゲートを閉める前に必ずリヤゲート付近に人や障害物がないことを確認してください。

はさみ込み防止機構は、万一のときに人や障害物を感知してリヤゲートにはさまれることを防ぐためのものです。また、はさまれかたや形状によっては、はさみ込みを感知できない領域があります。特にお子さまには十分気をつけてください。万一、指などをはさむとけがをするおそれがあります。

#### 注意

パワーリヤゲートの両端にセンサーがついています。センサーを鋭利なもので傷つけないようにしてください。センサーが切断されると、自動でリヤゲートを開閉できなくなります。また、自動で閉めているときにセンサーが切断されると手動操作に切り替わります。



#### 知識

半ドアの位置から全閉の位置までのイージークローザー作動中は、はさみ込み防止機構は作動しません。

開(閉)方向へ作動しているとき異常を感知すると、ブザーが鳴りリヤゲートは反対方向へ動きます。

#### 知識

開方向のはさみ込みと閉方向のはさみ込みを繰り返して感知した場合、ブザーが鳴り手動操作に切り替わります。

## 落下防止機構

リヤゲートを電動で開けたとき、積雪などの重みを感知すると落下防止機構が作動します。リヤゲートが全開後、ブザーが鳴り自動で閉まります。

### 知識

- リヤゲートに積雪があるときは、パワーリヤゲートを作動させる前に雪を取り除いてください。
- 自動で全開した直後に、手でパワーリヤゲートを閉めようとする、落下防止機構が作動することがありますが故障ではありません。

## パワーウィンドー

電源ポジションがONのとき、パワーウィンドースイッチを操作すると窓ガラスの開閉ができます。

### 警告

■ 窓ガラスを閉めるときは、同乗者の手や顔などをはさまないように注意してください。

また、特にお子さまには十分気をつけてください。

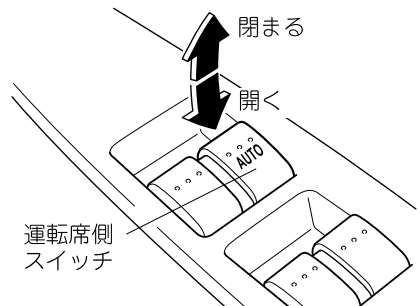
万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

■ お子さまにパワーウィンドースイッチの操作をさせないでください。

万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

## 運転席窓ガラスの開閉

スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。



### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

#### クイックリフレッシュ機能

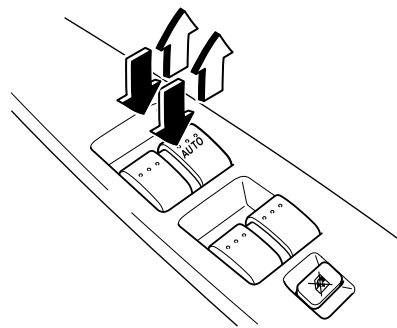
全閉しているとき、スイッチを軽くワンタッチするだけで、窓枠から約3cm開くことができます。車内を換気したいときなどに便利です。

#### 知識

全閉しているとき、スイッチを軽く押ししていると、窓枠から約3cm開いたところで一旦止まります。そのまま押し続けると、再び開き始めます。

#### クイックリフレッシュ機能の解除

- 1 電源ポジションをONにして、5秒以内に次の操作を完了させます。  
運転席側スイッチを強く2回押し、強く2回引き上げます。



- 2 電源ポジションをOFFにします。
- 3 電源ポジションをOFFにしてから40秒以内に、電源ポジションをONにして、5秒以内に次の操作を完了させます。  
運転席側スイッチを強く2回押し、強く2回引き上げます。

#### 知識

- 時間内に操作が完了しなかったり、途中で他の操作をすると解除できません。一度電源ポジションをOFFにして、始めからやり直してください。
- 操作しても解除できないときは、マツダ販売店にご相談ください。

#### クイックリフレッシュ機能の復帰

クイックリフレッシュ機能が解除されている状態で、もう一度クイックリフレッシュ機能の解除の操作をすると、復帰します。

#### 知識

操作しても復帰できないときは、マツダ販売店にご相談ください。

#### 自動開閉機構

スイッチを強く押すと自動で全開し、強く引き上げると自動で全閉します。

途中で止めるときは、スイッチを逆方向に軽く操作します。

#### 知識

車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき、または全開/全閉したあとも、スイッチを操作し続けたときは、自動で全開/全閉できなくなります。次の操作で復帰させてください。

- 1 電源ポジションをONにします。
- 2 スイッチを押して窓ガラスを全開にします。
- 3 スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続けます。

## はさみ込み防止機構

閉めるときに、窓ガラスと窓枠との間に異物のはさみ込みを感知すると、窓ガラスが閉まるのを停止し、自動的に途中まで開きます。

### ⚠ 注意

次の場合には、はさみ込み防止機構が作動しないため、指などはさまないように注意してください。万一、指などをはさむと、けがをするおそれがあります。

- 窓ガラスが閉まりきる直前
- スイッチを引き続けたままの状態

### 📖 知識

- はさみ込み防止機構は次のようなときに作動します。
  - ・ 電源ポジションがONで窓ガラスを自動で閉めているとき。
  - ・ 電源ポジションをOFFまたはACCにしてから約40秒の間に窓ガラスを閉めているとき。
- 走行条件や環境により、窓ガラスに異物をはさんだときと同じ衝撃または荷重が加わると、はさみ込み防止機構が作動することがあります。  
万一、はさみ込み防止機構が作動し、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを引き続けてください。窓ガラスを閉めることができます。

## キーOFF後作動機構

電源ポジションをACCまたはOFFにしたあとでも、約40秒間は開閉することができます。

### 📖 知識

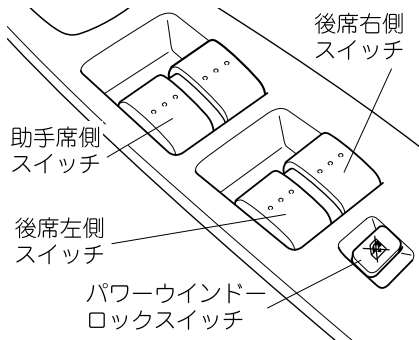
クイックリフレッシュ機能は作動しません。

## 助手席/後席窓ガラスの開閉

運転席ドアにあるパワーウィンドーロックスイッチをアンロックの位置にしているとき開閉できます。

### 📖 知識

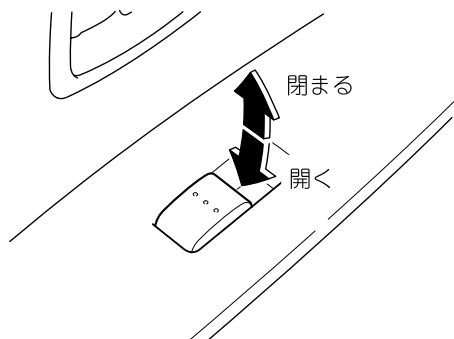
運転席ドアにある助手席/後席側スイッチからも操作できます。



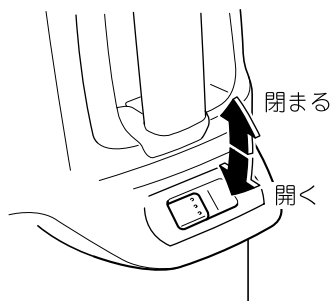
### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

#### 助手席側

スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。

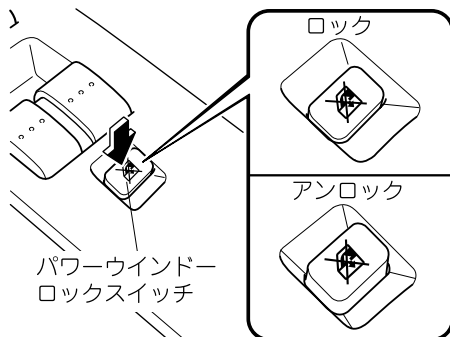


#### 後席側



#### パワーウィンドーロックスイッチ

- ロックの位置のとき  
運転席窓ガラスのみ開閉できます。
- アンロックの位置のとき  
全ての窓ガラスの開閉ができます。



#### 警告

- お子さまが同乗しているときは、パワーウィンドーロックスイッチをロックの位置にしておいてください。

お子さまが誤って操作したとき、手や顔などをささむと重大な傷害につながるおそれがあります。



## 燃料補給口

### 警告

■ 燃料補給時には必ずエンジンを止めてください。

火災につながるおそれがあります。

■ 燃料を補給するときは、必ず次の点を守ってください。

身体に静電気を帯びたまま作業をすると、放電による火花で燃料に引火、爆発し重大な傷害につながるおそれがあります。

- 燃料補給作業は必ず一人でできない、補給口に他の人を近づけないでください。
- 静電気を除去するため、フューエルキャップを開ける前には、車体または給油機などの金属部分に触れてください。
- 静電気の放電を防ぐため、フューエルキャップの開閉は必ずツマミ部分を持って行ってください。
- 再帯電を防ぐため、燃料を補給する人は給油中に車内のシートに座らないでください。

■ 燃料補給口にはタバコなどの火気を近づけないでください。

火災につながるおそれがあります。

■ 給油ノズルは確実に給油口へ差し込んでください。

給油ノズルが確実に差し込まれていないと、オートストップの作動が遅れ、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。

### 警告

■ 給油ノズルのオートストップ作動後は、追加給油しないでください。

オートストップ作動後に追加給油すると、燃料があふれ出るおそれがあります。

■ ドアや窓を必ず閉めて燃料を補給してください。

火災になった場合、室内に燃え広がるおそれがあります。

■ 気化した燃料を吸い込まないように注意してください。

人体に有害な成分を含んでいる燃料があります。特にアレルギー体質の方は、注意してください。

### 注意

● 指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しないでください。

→318ページ「燃料」

有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、軽油、高濃度アルコール含有燃料を補給すると次のような悪影響をおよぼします。

- エンジンや燃料系部品が損傷したり、最悪の場合車両火災につながるおそれがあります。
- エンジンの始動性が悪くなるおそれがあります。
- ノッキングが発生したり、エンジンの出力が低下するおそれがあります。
- 燃料補給作業中に、燃料を車にこぼさないようにしてください。燃料が付着すると変色、シミ、塗膜はがれの原因となります。

### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

#### ⚠ 注意

- 燃料を補給する際には、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

#### 📖 知識

バイオ燃料混合ガソリンをお使いになることもできます。バイオ燃料混合ガソリンは、日本工業規格 (JIS) や「揮発油等の品質の確保に関する法律」が定めたガソリンの規格に合致しており、製品として使用に問題ないことが確認されています。バイオ燃料混合ガソリンの商品名としては「バイオ・ガソリン」、および「いい！スリー」の2つがあり、いずれの製品も使用できます (商品マーク参照)。



燃料補給口は車の左側後方にあります。燃料計の指針が“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

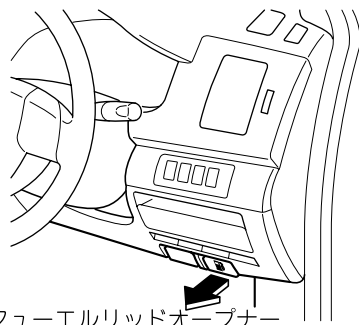
使用燃料とタンク容量は次のとおりです。

駆動方式	タンク容量 (参考値)
2WD車	68L
4WD車	76L

使用燃料:無鉛レギュラーガソリン

#### フューエルリッドの開閉

運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引くと開きます。



フューエルリッドオープナー

#### 📖 知識

フューエルリッドを開けるときは、左側スライドドアが閉まっていることを確認してください。

閉めるときはフューエルリッドが確実にロックするまでフューエルリッドを押しつけます。

## フューエルキャップの開閉

### 警告

- フューエルキャップを開けるときは、ゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まってから取りはずしてください。

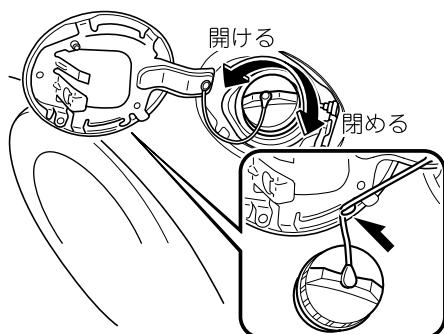
急に開けると、燃料が噴き出すことがあるため火災につながったり、目や皮膚に付着すると傷害につながるおそれがあります。

- フューエルキャップは、確実に閉めてください。

キャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料がもれ、火災につながるおそれがあります。

### 注意

純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。燃料装置や排出ガス発散抑止装置などの故障につながるおそれがあります。



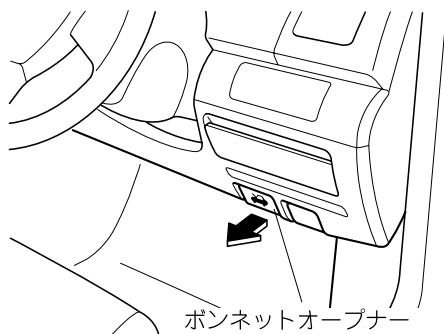
取りはずしたキャップは、フューエルリッドの内側にかけます。

キャップを閉めるときは、カチツ、カチツと2回以上音がするまで締め付けてください。

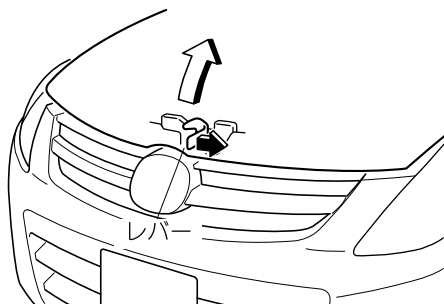
## ボンネット

### 開けるとき

- 1 運転席右下にあるボンネットオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。

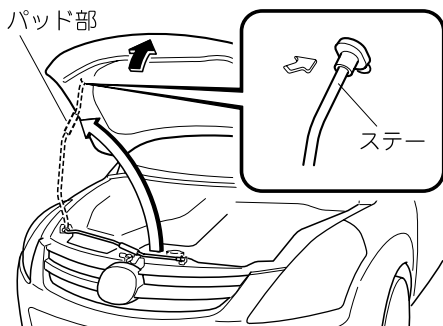


- 2 ボンネットのすき間に手を入れ、レバーを押したままボンネットを持ち上げます。



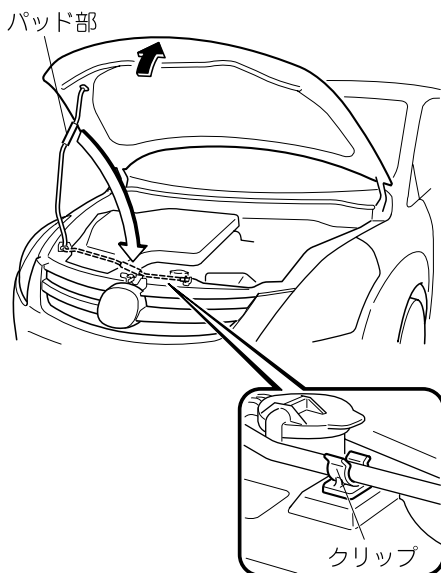
### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

- ③ パッド部を持ってステーを起こし、矢印で示すボンネットのステー穴に差し込んで固定します。



#### 閉めるとき

- ① エンジンルームに工具などが残されていないことを確認します。
- ② ボンネットを手でささえ、ステーをはずし、パッド部を持って、クリップに固定します。



- ③ ボンネットをゆっくりおろし、約20 cmの高さから静かに落として閉めます。

#### 警告

- ボンネットが確実に閉まっていることを確認してください。  
走行中にボンネットが開くと視界がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 注意

- ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さえつけないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。
- エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 3.操作と取り扱い

## 盗難防止システム

### イモビライザーシステム (アドバンストキー装備車)

イモビライザーシステムはアドバンストキーに信号発信機を内蔵し、あらかじめ登録されたアドバンストキー以外ではエンジンを始動できないようにした車両盗難防止装置です。

#### 注意

キーの故障を防ぐために次のことをお守りください。

- 強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。
- 磁気を帯びた製品を近づけないでください。
- インストルメントパネルやボンネットの上など直射日光が当たる場所や高温になる所に放置しないでください。

#### 知識

アドバンストキーの電池切れや故障などにより、補助キーでエンジンを始動するとき、次のような状態にしないでください。車両が補助キーからの信号を正確に受信できず、エンジンが始動できない場合があります。

- キーグリップ部に他のキーの金属部や金属製のものが接している
- 補助キーにスペアの補助キーや他の車両の盗難防止システムキー（信号発信機内蔵のもの）が重なっている、または近くにある
- 補助キーの近くに電子部品を含んだ製品やクレジットカードなどの磁気カードがある

#### システム作動

電源ポジションをONからACCまたはOFFにするとシステムが作動し、セキュリティ表示灯が点滅します。



#### システム解除

登録されたアドバンストキーで電源ポジションをONにするとシステムが解除され、表示灯が約3秒間点灯した後消灯します。表示灯が消灯せず点灯または点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

#### 知識

- アドバンストキーを車内でも感知しにくい場所に置いておくと、エンジンの始動ができず、セキュリティー表示灯が点灯/点滅する可能性があります。  
→104ページ「作動範囲」  
アドバンストキーを別の場所に置いて、電源ポジションをOFFにもどし、再度エンジンを始動してください。
- テレビ、ラジオ、トランシーバー、携帯電話などからの電波はイモビライザーシステムの作動に支障をあたえることがあります。登録されたアドバンストキーでもエンジンが始動しないときは、セキュリティ表示灯を確認してください。表示灯が点滅している場合は、電源ポジションをACCまたはOFFにもどし、しばらく待って再度エンジンを始動させてください。3回以上行ってもエンジンが始動しないときはマツダ販売店に連絡してください。

## 知識

- セキュリティ表示灯が点灯/点滅したままの状態ではエンジンを停止すると、再度エンジンを始動することができません。運転中にセキュリティ表示灯が点灯/点滅した場合は、エンジンを停止せずマツダ販売店で点検を受けてください。
- イモビライザーシステムを修理するときはコードを再登録するためにアドバンストキー（補助キー含む）が必要です。お手持ちのすべてのアドバンストキー（補助キー含む）をマツダ販売店に持参してください。

## メンテナンスについて

イモビライザーシステムまたはアドバンストキーに異常が見られる場合はマツダ販売店にご相談ください。

## 知識

- アドバンストキーを紛失したときのために、スペアのアドバンストキーを保管しておいてください。万一紛失したときはすぐにマツダ販売店にご相談ください。
- アドバンストキーには特有の電子コードが含まれていますので、マツダ販売店以外でアドバンストキーを追加することはできません。
- アドバンストキー（補助キー含む）を紛失した場合、盗難防止のため、イモビライザーシステムに登録されているアドバンストキーのコードをマツダ販売店で消去できます。消去した後に、今後使用するアドバンストキーを再登録する必要がありますので、お手持ちのすべてのアドバンストキー（補助キー含む）をマツダ販売店へ持参してください。登録されていないアドバンストキーではエンジンを始動することができません。

### 3.操作と取り扱い

## 盗難防止システム

#### 作動保証について

次のような場合はイモビライザーシステムの作動を保証できません。

- イモビライザーシステムを改造した場合。
- イモビライザーシステムに付加部品を取り付けた場合。

#### ⚠ 注意

車両の故障を防ぐために、システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。

#### イモビライザーシステム (アドバンストキー非装備車)

イモビライザーシステムはキーに信号発信機を内蔵し、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できないようにした車両盗難防止装置です。

#### ⚠ 注意

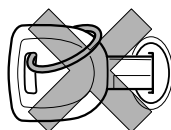
キーの故障を防ぐために次のことをお守りください。

- 強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。
- 磁気を帯びた製品を近づけないでください。
- インstrumentパネルやボンネットの上など直射日光が当たる場所や高温になる所に放置しないでください。

#### ⚠ 注意

エンジンを始動するとき、次のような状態にしないでください。車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンが始動できない場合があります。

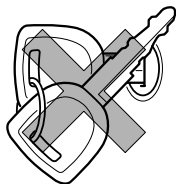
- キーグリップに金属製のリングがのっている





## ⚠ 注意

- キーグリップに他のキーの金属部や金属製のものが接している



- キーにスペアキーや他の車両の盗難防止システムキー（信号発信機内蔵のもの）が重なっている、または近くにある



- キーの近くに電子部品を含んだ製品やクレジットカードなどの磁気カードがある

## システム作動

電源ポジションをONからACCまたはOFFにするとシステムが作動し、セキュリティ表示灯が点滅します。



## システム解除

登録されたキーで電源ポジションをONにするとシステムが解除され、表示灯が約3秒間点灯した後消灯します。表示灯が消灯せず点灯または点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

## 📖 知識

- 電源ポジションをONにしたときにセキュリティ表示灯が点灯/点滅し続けている場合、エンジンは始動しません。
- テレビ、ラジオ、トランシーバー、携帯電話などからの電波はイモビライザーシステムの作動に支障をあたえることがあります。登録されたキーでもエンジンが始動しないときは、セキュリティ表示灯を確認してください。表示灯が点滅している場合は、キーを抜き、2秒以上待って再度エンジンを始動させてください。3回以上行ってもエンジンが始動しないときはマツダ販売店に連絡してください。
- セキュリティ表示灯が点灯/点滅したままの状態でもエンジンを停止すると、再度エンジンを始動することができません。運転中にセキュリティ表示灯が点灯/点滅した場合は、エンジンを停止せずマツダ販売店で点検を受けてください。
- イモビライザーシステムを修理するときはコードを再登録するためにキーが必要です。お手持ちのすべてのキーをマツダ販売店に持参してください。

### 3.操作と取り扱い

## 盗難防止システム

---

### メンテナンスについて

イモビライザーシステムまたはキーに異常が見られる場合はマツダ販売店にご相談ください。

#### 知識

- キーを紛失したときのために、スペアキーを保管しておいてください。万一キーを紛失したときはすぐにマツダ販売店にご相談ください。
- キーには特有の電子コードが含まれていますので、マツダ販売店以外でキーを追加することはできません。
- キーを紛失した場合、盗難防止のため、イモビライザーシステムに登録されているキーのコードをマツダ販売店で消去できます。消去した後に、今後使用するキーを再登録する必要がありますので、お手持ちのすべてのキーをマツダ販売店へ持参してください。登録されていないキーではエンジンを始動することができません。

### 作動保証について

次のような場合はイモビライザーシステムの作動を保証できません。

- イモビライザーシステムを改造した場合。
- イモビライザーシステムに付加部品を取り付けた場合。

#### 注意

車両の故障を防ぐために、システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。

## ハンドル

### 警告

■ 調節は必ず車両を停止した状態で行なってください。

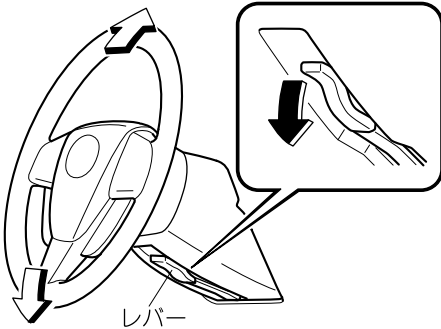
走行中に調節すると、運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 調節後は、ハンドルを上下にゆさぶり、確実にロックされていることを確認してください。

走行中ハンドルが不意に動くとも運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 角度調節

ハンドル操作が適切にできる位置に調節することができます。



- 1 レバーを下げて、ハンドルを適切な位置に調節します。
- 2 調節後は、レバーを押し上げてロックします。

## ドアミラー

### 警告

■ 調節は走行前に行なってください。

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

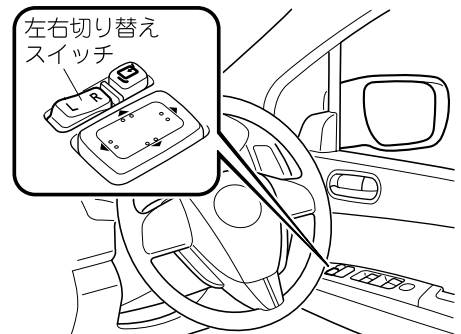
### 知識

ドアミラーに映る像の距離感覚は、実際より遠くに見えます。車線変更するときは、必ず肩越しに目視して後続車との距離を確認してください。

### 角度調節

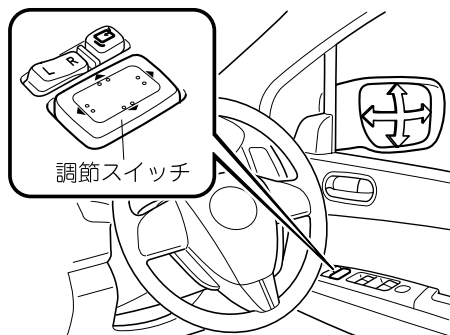
電源ポジションがACCまたはONのとき調節ができます。

- 1 左右切り替えスイッチの右側（運転席側）または左側（助手席側）を押します。



### 3.操作と取り扱い 各部の調節

- 2 調節スイッチを押して、後方が十分確認できるように調節します。



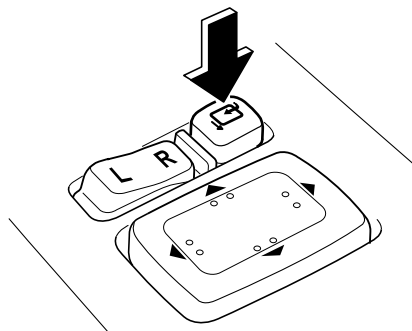
- 3 ミラーの調節後は、左右切り替えスイッチを中立位置にもどします。

#### 格納するとき

#### ⚠ 注意

- ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができなくなります。
- 手動で格納することもできますが、もとにもどすときにはスイッチで操作してください。手動でもとにもどすと、ミラーが固定されず後方確認ができなくなります。

電源ポジションがACCまたはONのときに格納できます。  
格納スイッチを押すと格納されます。  
もう一度押すともとにもどります。



#### キー-OFF後作動機構

ドアミラーは、電源ポジションをONからOFFにした後でも、約40秒間は角度調節や格納することができます。

## ルームミラー



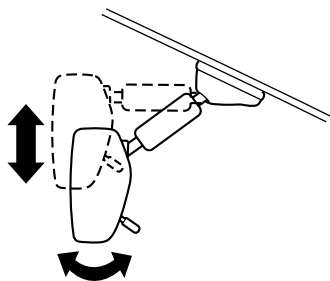
### 警告

■ 調節は走行前に行なってください。

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 角度/高さ調節

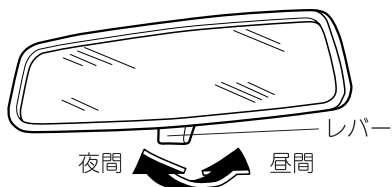
ミラー本体を動かして、後方が十分確認できるように調節します。



## 防眩切り替え

通常は、レバーを前方に押した状態にします。

夜間など、後続車のヘッドランプがまぶしいときは、レバーを手前に引いて調節します。

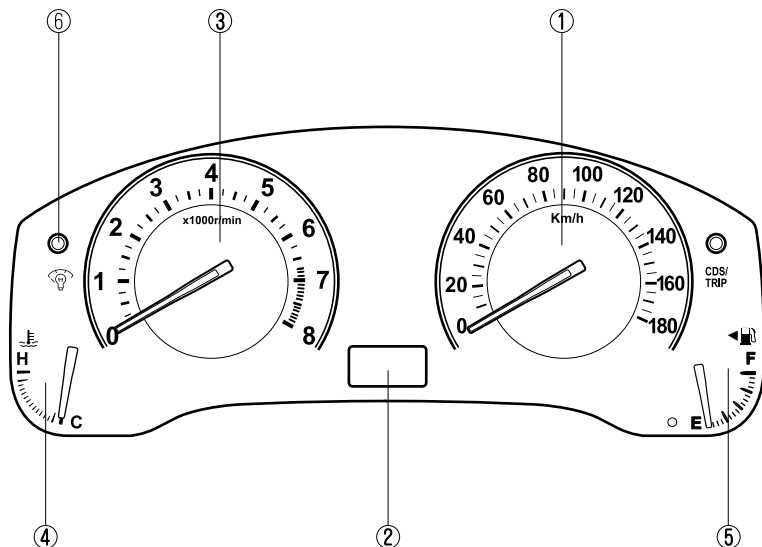


## メーター、警告灯、表示灯の見方

### メーター

メーターはグレードや仕様により異なります。

電源ポジションをONにするとメーター照明が点灯します。

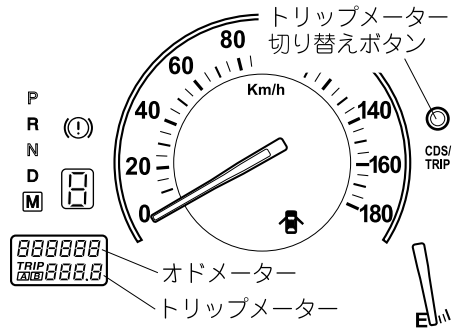


① スピードメーター .....	159ページ
② オドメーター/トリップメーター .....	159ページ
③ タコメーター .....	160ページ
④ 水温計 .....	160ページ
⑤ 燃料計 .....	161ページ
⑥ メーター照度調節ボタン .....	161ページ

## スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

## オドメーター/トリップメーター



### オドメーター

走行した総距離をkm単位で示します。

### トリップメーター

一定区間の走行距離をkm単位で示します。  
(右側の数字は100m単位です。)

2種類 (TRIP A, TRIP B) の区間距離を計測することができます。たとえば、TRIP Aモードで給油してからの距離を測りながら、TRIP Bモードで出発してからの距離を測ることができます。

電源ポジションがONのとき、トリップメーター切り替えボタンを押すごとに、TRIP A、TRIP Bが切り替わります。

トリップメーターを“0.0”にもどすときは、それぞれのモードのとき、トリップメーター切り替えボタンを1秒以上押します。



### 知識

次のようなときは、トリップメーターの表示が“0.0”にもどります。

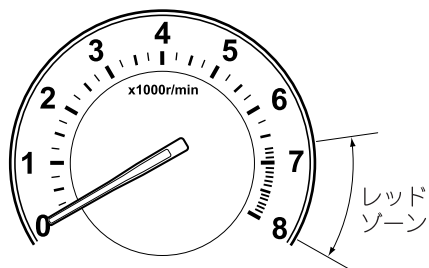
- 車両整備などでバッテリーとの接続が断られたとき。
- 走行距離が999.9kmを超えたとき。

### 3.操作と取り扱い

## メーター、警告灯、表示灯の見方

### タコメーター

1分間あたりのエンジン回転数を示します。

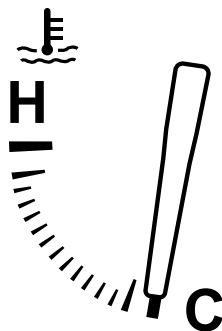


### ⚠ 注意

指針がレッドゾーン（許容回転数以上を示す）にはいらないように運転してください。エンジンの故障につながるおそれがあります。

### 水温計

電源ポジションがONのとき、エンジン冷却水の温度を示します。



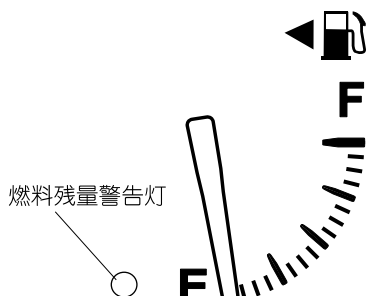
### ⚠ 注意

指針が“H”付近を示したときはオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。そのまま走行を続けると、エンジンの故障につながるおそれがあります。  
→262ページ「オーバーヒートについて」



## 燃料計

電源ポジションがONのとき、燃料の残量を示します。



指針が“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

→145ページ「燃料補給口」

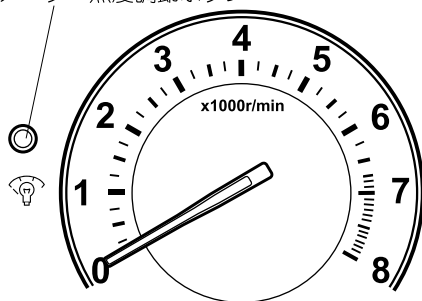
### 知識

- 燃料補給後は、指針が安定するまでしばらく時間がかかる場合があります。また、坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、指針が振れることがあります。
- 矢印(🚰)は燃料補給口が助手席側にあることを示します。
- 燃料タンク内の燃料残量が10L前後になった時に点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。
- 走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の燃料が移動する為、警告灯の点灯タイミングが変わる場合があります。

## メーター照度調節ボタン

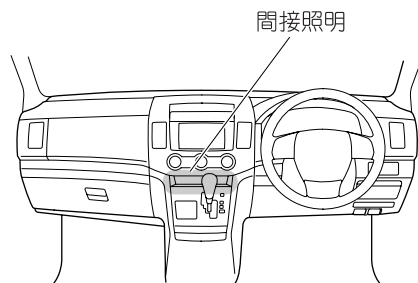
電源ポジションがONのとき使用できます。ボタンを押すごとにメーターの照度が変わります。

メーター照度調節ボタン



### 知識

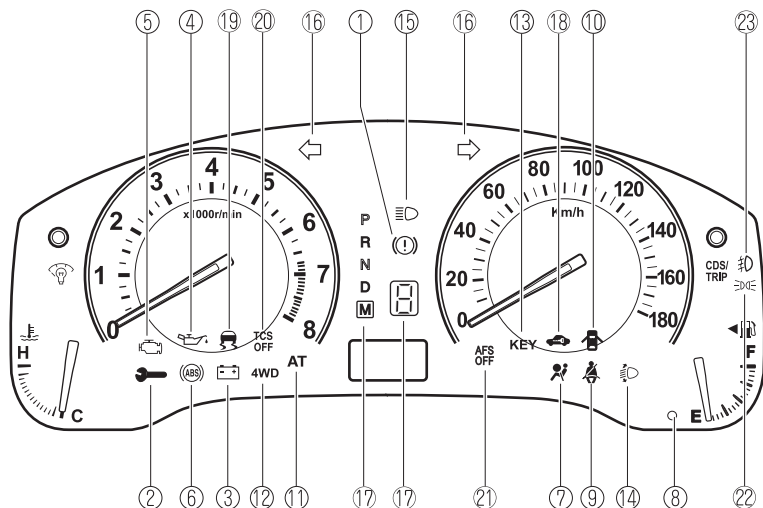
パネルライトコントロールマーク🔦は照度調節ボタンを示しています。電源ポジションがONのとき、ボタンを約5秒間押し続けるとインパネ部の青色の間接照明を消灯させることができます。もう一度スイッチを押し続けると、もとの状態に戻ります。



# メーター、警告灯、表示灯の見方

## 警告灯、表示灯

メーターはグレードや仕様により異なります。



- ① ブレーキ警告灯 ..... 163ページ
- ② 故障警告表示灯 ..... 164ページ
- ③ 充電警告灯 ..... 164ページ
- ④ 油圧警告灯 ..... 164ページ
- ⑤ エンジン警告灯 ..... 165ページ
- ⑥ ABS警告灯 ..... 165ページ
- ⑦ エアバッグ警告灯/  
プリテンショナー  
警告灯 ..... 166ページ
- ⑧ 燃料残量警告灯 ..... 167ページ
- ⑨ シートベルト警告灯 ..... 167ページ
- ⑩ 半ドア警告灯 ..... 168ページ
- ⑪ オートマチックトランスミッション  
警告灯 ..... 169ページ
- ⑫ 4WD警告灯 (4WD車) .... 168ページ

- ⑬ KEY警告灯 (赤)/KEY表示灯 (緑)  
(アドバンストキー装備  
車) ..... 169ページ
- ⑭ ヘッドランプオートレベリング  
警告灯 ..... 170ページ
- ⑮ ヘッドランプ上向き  
表示灯 ..... 170ページ
- ⑯ 方向指示/  
非常点滅表示灯 ..... 171ページ
- ⑰ セレクトレバー位置  
表示灯 ..... 171ページ
- ⑱ セキュリティ表示灯 ..... 172ページ
- ⑲ TCS/DSC作動表示灯 .... 172ページ
- ⑳ TCS OFF表示灯 ..... 172ページ

- ②1 AFS OFF表示灯  
(アダプティブフロントライティングシステム装備車) ..... 173ページ
- ②2 車幅灯表示灯 ..... 174ページ
- ②3 フォグランプ表示灯 ..... 174ページ

## ブレーキ警告灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- パーキングブレーキをかけているときは点灯します。パーキングブレーキを解除すると消灯します。
- 次のようなときは点灯し続けます。ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。
  - ・ ブレーキ液が不足しているとき。
  - ・ ブレーキ装置 (電子制御制動力配分システム) に異常があるとき。



### 警告

- ブレーキ警告灯が点灯したまま走行しないでください。

ブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。また停車するときは、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあるため、ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。

- ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## メーター、警告灯、表示灯の見方

### 故障警告表示灯



#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- ブレーキスイッチに異常があると点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。



#### 警告

■ 故障警告表示灯が点灯したまま走行しないでください。

ブレーキランプスイッチやエンジン制御システムなどが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

### 充電警告灯



#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。
- エンジン回転中、充電装置に異常があると点灯します。ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。



#### 警告

■ 充電警告灯が点灯したまま走行しないでください。

エンジンが不意に停止して思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 油圧警告灯



#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

- エンジン回転中、エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止め、エンジンオイルの量を点検してください。エンジンオイルの量が不足しているときは補充してください。

エンジンオイルの量が不足していないのに点灯するときや、補充しても点灯し続けるときは、マツダ販売店に連絡してください。

### 注意

油圧警告灯が点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。

### 知識

エンジンオイルの点検、補充については別冊のメンテナンスノートに記載してあります。

## エンジン警告灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。
- エンジン制御システムに異常があると点灯し続けます。高速走行をせず、マツダ販売店で点検を受けてください。

### 知識

点検を受けるときは、エンジン警告灯が点灯したときの走行状態をマツダ販売店にご連絡ください。

## ABS警告灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- システムに異常があるときは点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。

## メーター、警告灯、表示灯の見方



### 警告

■ ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



### 知識

- ABS警告灯が点灯しているときは、ABSが作動しないため、急制動時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。
- ABS警告灯が点灯しているときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。

### エアバッグ警告灯/ プリテンショナー警告灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - ・ 電源ポジションをONにしても点灯しないとき。
  - ・ 点灯し続けるとき。

### 点滅するとき

点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

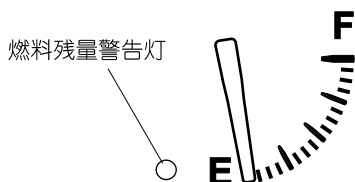


### 警告

■ エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しないでください。

衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

## 燃料残量警告灯



### 点灯するとき

電源ポジションがONのとき燃料が少なくなると点灯します。燃料を補給すると消灯します。

### 知識

- 燃料タンク内の燃料残量が10L前後になった時に点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。
- 走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の燃料が移動する為、警告灯の点灯タイミングが変わる場合があります。

## シートベルト警告灯



### 点灯するとき

電源ポジションがONのとき、運転席シートベルトを着用していないと点灯します。運転席シートベルトを着用すると消灯します。

### 点滅するとき

運転席シートベルトを着用しないまま約20km/h以上になると点滅します。その後も着用しないままだと点灯しつづけます。運転席シートベルトを着用すると消灯します。

→63ページ「正しい着用のしかた」

### 半ドア警告灯



#### 点灯するとき

ドア、リヤゲートが確実に閉まっていないと点灯します。ドア、リヤゲートを確実に閉めると消灯します。



#### 警告

■半ドア警告灯が点灯したまま走行しないでください。

走行中にドア、リヤゲートが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 4WD警告灯 (4WD車)

# 4WD

#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 4WDシステムに異常があるときは点灯します。マツダ販売店に連絡してください。

#### 点滅するとき

次のようなときは点滅します。警告灯が消灯するまでエンジンをかけたまま安全な場所に停車してください。しばらくして警告灯が消灯すれば走行することができます。

警告灯が消灯しないときは、マツダ販売店に連絡してください。

- ディファレンシャルオイルの温度が異常に高いとき。
- スタックからの脱出時など、前後輪の回転差が異常に大きい状態が続いたとき。



#### 警告

■脱輪やスタックなどにより、車輪が宙に浮いたときは、むやみに空転させないでください。

駆動系部品に悪影響をあたえ、駆動系のオイル漏れや焼きつきなどにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## オートマチックトランス ミッション警告灯

# AT

### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 走行中、システムに異常があると点灯します。マツダ販売店で点検を受けてください。

## KEY警告灯 (赤)/KEY表示灯 (緑) (アドバンストキー装備車)

# KEY

### KEY警告灯 (赤)

#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- アドバンストキーレス機能になんらかの故障が発生すると点灯し続けます。



### 注意

KEY警告灯 (赤) が点灯し続けるときは、アドバンストキーレス機能による運転を続けしないでください。安全な場所に停車し、補助キーによる運転に切り替え、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

### 点滅するとき

- 次のようなとき、警告灯が点滅し、電源ポジションをOFF以外にできないことをお知らせします。
  - アドバンストキーの電池が切れたとき  
→102ページ「電池の交換」
  - アドバンストキーが作動範囲内になくとき
  - アドバンストキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき  
→104ページ「作動範囲」
  - アドバンストキーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき
- 次のようなときは警告灯が点滅し続け、電源ポジションをOFFにせず、アドバンストキーを車外に持ち出したことを知らせます。
  - アドバンストキーを車内にもどすと消灯します。
  - 電源ポジションをOFFにせず、運転席ドアを開け、アドバンストキーを車外に持ち出したとき
  - 電源ポジションをOFFにせず、アドバンストキーを車外に持ち出したあと、すべてのドアを閉めたとき



### 知識

警告灯の点滅と同時にチャイムでもお知らせします。  
→113ページ「警報」

### KEY表示灯 (緑)

#### 点灯するとき

電源ポジションがOFFの状態ですタートノブを押し込んだとき、正規のアドバンストキーが車内にあることを確認できると点灯し、スタートノブをACCにまわすことができます。→107ページ「エンジンの始動」

### 3.操作と取り扱い

## メーター、警告灯、表示灯の見方

### 点滅するとき

アドバンスキーの電池容量が残り少なくなっていると、電源ポジションをONからACCまたはOFFにしたときに、30秒間点滅します。

アドバンスキーが使用できなくなる前に新しい電池と交換してください。

→102ページ「電池の交換」

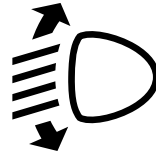


### 知識

電池容量が少なくなっても、KEY表示灯(緑)が点滅しないように設定することができます。

→115ページ「設定変更(カスタマイズ機能)」

### ヘッドランプオートレベリング警告灯☆



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。  
マツダ販売店で点検を受けてください。



### 知識

AFS(アダプティブフロントライティングシステム) 装備車には、ヘッドランプオートレベリング警告灯は装備されていません。ヘッドランプオートレベリング機能が故障した場合はAFS OFF表示灯が点滅します。

### ヘッドランプ上向き表示灯



### 点灯するとき

ヘッドランプを上向き(ハイビーム)にすると点灯します。下向き(ロービーム)にすると消灯します。

## 方向指示/非常点滅表示灯



### 点滅するとき

方向指示器/非常点滅灯スイッチを操作すると点滅します。

### 点滅が異常に速くなったとき

点滅が異常に速くなったときは電球切れが考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

## セレクトレバー位置表示灯

電源ポジションがONのとき、使用中のセレクトレバーのセット位置を示します。

P

R

N

D

M



ギヤ位置表示

セレクトレバーがDまたはMの位置のとき、使用しているギヤ位置を表示します。  
→194ページ「マニュアルモード」

### セキュリティ表示灯



#### 点滅するとき

- 電源ポジションをONからACCまたはOFFにするとシステムが作動し、セキュリティ表示灯が点滅します。登録されたキー/アドバンストキーで電源ポジションをONにするとシステムが解除され、約3秒間表示灯が点灯した後消灯します。
- 登録されたキー/アドバンストキーで電源ポジションをONにしても表示灯が点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

#### 点灯するとき

登録されたキー/アドバンストキーで電源ポジションをONにしても表示等が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

### TCS/DSC作動表示灯



#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。  
この場合、TCS、DSCまたはブレーキアシストが正常に作動しないことがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - 走行中に点灯したとき。

#### 点滅するとき

走行中にTCSまたはDSCが作動すると点滅します。

### TCS OFF表示灯

電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。

TCS OFFスイッチを押して、TCSを解除すると点灯します。

**TCS  
OFF**

次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
- TCSを解除していないのに点灯したとき。

## 知識

バッテリーのターミナルやヒューズの脱着などにより、バッテリーとの接続が断たれるとTCSが作動しなくなります。(このときTCS OFF表示灯が点滅し、TCS/DSC作動表示灯が点灯します。)

TCSを作動可能な状態にするために、次の操作を行なってください。

- 1 電源ポジションをONにします。
- 2 ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわします。
- 3 TCS OFF表示灯が消灯することを確認します。
- 4 電源ポジションをOFFまたはACCにし、再度ONにします。
- 5 TCS/DSC作動表示灯が消灯することを確認します。

電源ポジションを再度ONにした後でもTCS/DSC作動表示灯およびTCS OFF表示灯が消灯しないときは、マツダ販売店に連絡してください。

## AFS OFF表示灯 (アダプティブフロントライティングシステム装備車)

# AFS OFF

### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- AFS OFFスイッチを押してシステムを解除すると点灯します。
- 電源ポジションをONにしても点灯しないときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

### 点滅するとき

- 点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
- バッテリーのターミナルやヒューズの脱着などにより、バッテリーとの接続が断たれるとシステムが作動しなくなり、表示灯が点滅します。次の手順で作動可能な状態にしてください。

#### バッテリーとの接続が断たれたとき

システムを作動可能な状態にするために、次の操作を行なってください。

- 1 電源ポジションをONにします。
- 2 ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわします。
- 3 電源ポジションをOFFにし、再度ONにします。
- 4 表示灯が消灯することを確認します。

### 3.操作と取り扱い

## メーター、警告灯、表示灯の見方

電源ポジションを再度ONにした後でも表示灯が消灯しないときは、マツダ販売店に連絡してください。




#### 知識

AFSが故障したときは、AFSは作動しませんが、ヘッドランプは点灯します。

#### 車幅灯表示灯



#### 点灯するとき

ランプスイッチがの位置のときに点灯します。

AUTOの位置のときは車幅灯、尾灯が点灯すると点灯します。

#### フォグランプ表示灯



#### 点灯するとき

フォグランプを点灯させると点灯します。

フォグランプを消灯させると消灯します。

## 警報音

#### キー抜き忘れ防止チャイム

キーまたは補助キーを差し込んだまま、電源ポジションをOFFまたはACCにして運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りキーまたは補助キーの抜き忘れを知らせます。

#### ランプ消し忘れ防止チャイム

ランプを点灯させたまま、エンジンスイッチからキーまたは補助キーを抜いて(アドバンスキーレス機能使用時は、電源ポジションをOFFにして)、運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りランプの消し忘れを知らせます。

#### リバースポジションチャイム

電源ポジションがONのとき、セレクトレバーをRにいれるとチャイムが鳴り、セレクトレバーがRにはいっていることを運転者に知らせます。

車外の人には聞こえないので注意してください。

#### 電動スライドドアブザー

電動スライドドアの作動に合わせてブザーが鳴ります。

電動スライドドアが故障したときは、ブザーが鳴り続けます。

この場合、メインスイッチをOFFの位置にするとブザーが鳴り止みます。

→127ページ「電動スライドドア」

電動スライドドアが故障したときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

## パワーリヤゲートブザー☆

パワーリヤゲートの作動に合わせてブザーが鳴ります。

パワーリヤゲートが全開でない状態で車速が約3km/h以上になるとブザーが鳴り、リヤゲートが閉まっていないことを知らせます。

→136ページ「パワーリヤゲート」

## パーキングブレーキもどし忘れチャイム

パーキングブレーキをかけたまま、車速が約5km/h以上になるとチャイムが鳴り続け、パーキングブレーキのもどし忘れを知らせます。

## シートベルト着用忘れチャイム

運転席シートベルトを着用していないまま、車速が約20km/h以上になるとしばらくの間チャイムが鳴ります。(鳴り始めると、車速を落としても鳴り続けます。)

運転席シートベルトを着用すると鳴り止みます。

## アドバンストキーレス警報 (アドバンストキー装備車)

アドバンストキーレス機能を誤って使用した場合や、使用上の注意が必要な場合にチャイムとメーターの表示灯で知らせます。

→113ページ「警報」

### 3.操作と取り扱い

## スイッチの使いかた

# ランプスイッチ

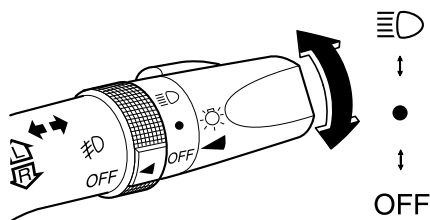
## ランプの点灯/消灯

電源ポジションに関係なく使用できます。  
ランプスイッチをまわすと、各ランプが点灯/消灯します。

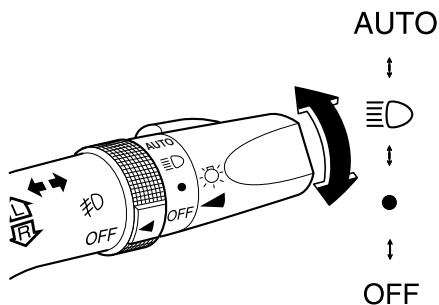
### 知識

- エンジンを停止しているときに、ランプを点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ヘッドランプ、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇ると同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、マツダ販売店にご相談ください。

### 標準タイプ



### オートライト機能付きタイプ



スイッチ位置	OFF	AUTO <sup>*1</sup>	●	≡
ヘッドランプ	消灯	自動で点灯/消灯	消灯	点灯
車幅灯、尾灯、番号灯	消灯		点灯	点灯

\*1 オート機能付きタイプ

### オートライト機能

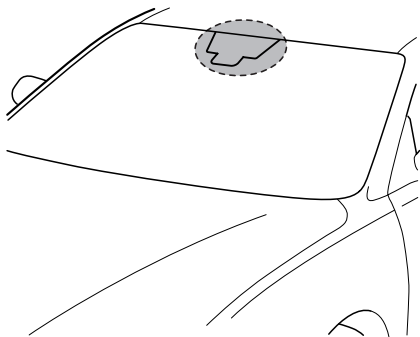
電源ポジションがONのとき使用できます。  
ランプスイッチをAUTOの位置にすると、周囲の明るさに応じてランプが自動で点灯/消灯します。

周囲の明るさ	明るい	薄暗い	暗い
ヘッドランプ	消灯	消灯	点灯
車幅灯、尾灯、番号灯	消灯	点灯	点灯



## ⚠ 注意

- フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてライトセンサーを覆わないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。



- ライトセンサーはオートワイパー機能のレインセンサーの役割も果たしています。ワイパーレバーがAUTOの位置で、電源ポジションがONのときはワイパーが自動で作動することがあります。手や指などを挟まないよう気をつけてください。万一手や指を挟むと、けがやワイパーの故障につながるおそれがあります。  
→ 182ページ「フロントワイパー/ウォッシャー」

## 📖 知識

- 長いトンネルやトンネル内での渋滞、屋内駐車場など、周囲が暗い状態が数分間続くとライトセンサーが夜間と判断し、周囲が明るくなくてもランプがすぐには消灯しない場合があります。この場合はランプスイッチをOFFの位置にすれば消灯します。
- ランプスイッチがAUTOの位置のときに、電源ポジションをACCまたはOFFにすると、ランプは自動で消灯します。
- 車幅灯やヘッドランプを点灯させるタイミングを変更することができます。マツダ販売店へご相談ください。

## ディスチャージヘッドランプについて

ディスチャージヘッドランプは、太陽光に近い白い光で広範囲を照らします。ヘッドランプのロービームに装備されています。

## ⚠ 警告

- ディスチャージヘッドランプの交換・修理をするときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。

## 📖 知識

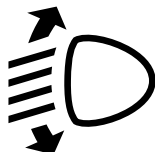
ヘッドランプが点滅するとき、または著しく明るさが低下したときはバルブの寿命が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

## スイッチの使いかた

### ヘッドランプレベリング

ヘッドランプを点灯したとき乗員や荷物の状況に応じてヘッドランプの照らす方向を上下方向へ自動で調節し、一定に保ちます。

### ヘッドランプオートレベリング警告灯



#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。  
マツダ販売店で点検を受けてください。

### 知識

AFS (アダプティブフロントライティングシステム) 装備車には、ヘッドランプオートレベリング警告灯は装備されていません。ヘッドランプオートレベリング機能が故障した場合はAFS OFF表示灯が点滅します。

### AFS

### (アダプティブフロントライティングシステム)について☆

AFS (アダプティブフロントライティングシステム) は、ヘッドランプが点灯し、車速が約13km/h以上のとき、ハンドルの操作にあわせてヘッドランプの照らす方向を左右に自動で調節するシステムです。

### 知識

車速が約8km/h以下になると機能は停止します。

### AFS OFF表示灯

# AFS OFF

#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- AFS OFFスイッチを押してシステムを解除すると点灯します。
- 電源ポジションをONにしても点灯しないときはシステムの異常が考えられます。  
マツダ販売店で点検を受けてください。

#### 点滅するとき

- 点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
- バッテリーのターミナルやヒューズの脱着などにより、バッテリーとの接続が断たれるとシステムが作動しなくなり、表示灯が点滅します。次の手順で作動可能な状態にしてください。

バッテリーとの接続が断たれたときシステムを作動可能な状態にするために、次の操作を行なってください。

- 1 電源ポジションをONにします。
- 2 ハンドルを右いっぱいまでまわし、その後左いっぱいまでまわします。
- 3 電源ポジションをOFFにし、再度ONにします。
- 4 表示灯が消灯することを確認します。

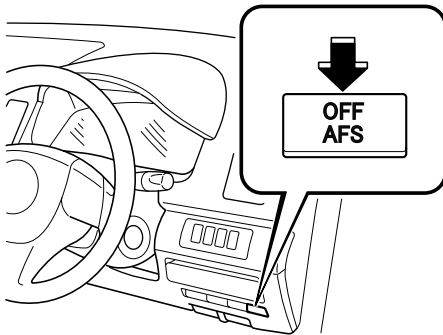
電源ポジションを再度ONにした後でも表示灯が消灯しないときは、マツダ販売店に連絡してください。

### 知識

AFSが故障したときは、AFSは作動しませんが、ヘッドランプは点灯します。

## AFS OFFスイッチ

AFS OFFスイッチを押すことによりAFSを解除することができます。もう一度スイッチを押すと、AFS OFF表示灯が消灯し、AFSが作動可能な状態になります。



## ランプ消し忘れ防止チャイム

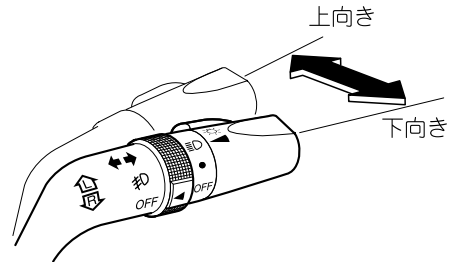
ランプを点灯させたまま、エンジンスイッチからキーまたは補助キーを抜いて(アドバンストキーレス機能使用時は、電源ポジションをOFFにして)、運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りランプの消し忘れを知らせます。

## ヘッドランプの切り替え

ヘッドランプが点灯しているとき、レバーを前後に操作すると、ヘッドランプの向きが切り替わります。

前方に押しと上向き(ハイビーム)、手前に引くと下向き(ロービーム)になります。

上向き(ハイビーム)のときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



### 知識

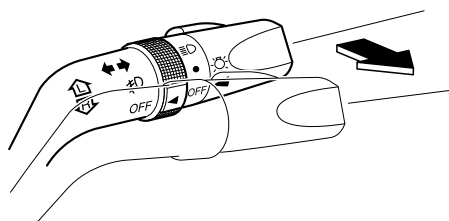
- 遠くを照らしたいときに上向き(ハイビーム)にしてください。
- 対向車がいるときや、市街地走行などで上向きが不適切なときは下向き(ロービーム)にしてください。

### 3.操作と取り扱い スイッチの使いかた

#### パッシング合図

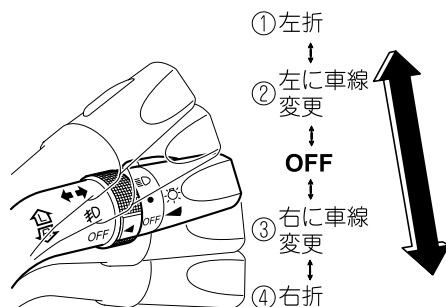
ランプスイッチの位置に関係なく、レバーを引いている間ヘッドランプが上向き(ハイビーム)で点灯します。

同時にメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



#### 方向指示器

##### 方向指示器の操作



電源ポジションがONのとき使用できます。レバーを操作すると、左または右のメーター内の方向指示灯が点滅し、手を離すと消灯します。

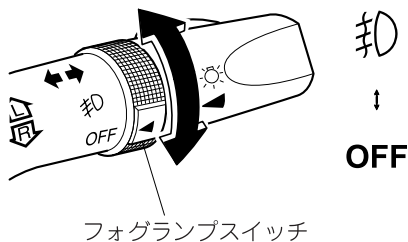
レバーはハンドルをもどすと、自動的にもとの位置にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。

#### 知識

- 点滅が異常に速くなった場合は、電球切れが考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
- 方向指示器を操作するときは、非常点滅灯スイッチをOFFの位置にしてください。非常点滅灯が作動しているときは、方向指示灯は作動しません。

## フォグランプスイッチ

霧などで視界が悪いときに使用します。ランプスイッチが●または②Dの位置のとき使用できます。フォグランプスイッチを①Dの位置にすると、フォグランプが点灯します。フォグランプが点灯しているときは、メーター内の表示灯が点灯します。



フォグランプスイッチをOFFの位置にする、またはランプスイッチをOFFの位置にすると消灯します。

## ワイパー/ ウォッシャースイッチ

電源ポジションがONのとき作動します。

### 警告

■ 寒冷時にウォッシャー液を噴射するときは、ガラスをあたためてから行なってください。

ウォッシャー液がガラス面で凍結し、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 注意

- 凍結時や長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに貼り付いていることがあります。ガラスに貼り付いたまま作動させると、ワイパーゴムの損傷、ワイパーモーターの故障につながるおそれがあります。
- ガラスがかわいているままでワイパーを作動させると、ガラスに傷がついたりワイパーゴムを損傷するおそれがあります。ガラスがかわいているときは、ウォッシャー液を噴射してください。
- ウォッシャー液が十分に出ないときは、ウォッシャースイッチを使用しないでください。ウォッシャー液が出ないままで、ウォッシャースイッチを操作し続けると、ポンプの故障につながるおそれがあります。

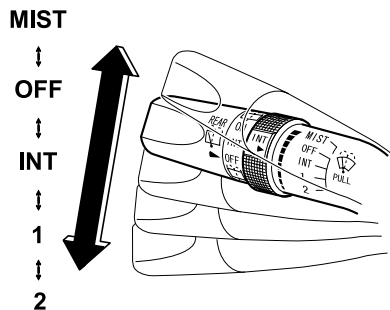
### 3.操作と取り扱い スイッチの使いかた

#### 知識

- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、ノズルに異物がつまっていることがあります。針などでつまりを取ってください。
- 降雪時にワイパーを作動させていると、ガラスに雪が積もってワイパーが停止することがあります。積雪などでワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチをOFFの位置にした後、積もった雪を取り除いてください。

#### フロントワイパー/ウォッシャー

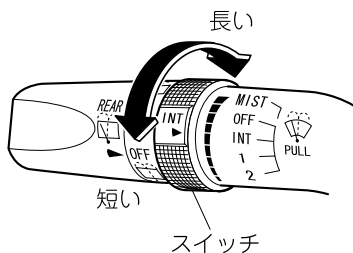
##### ワイパーの操作 (標準タイプ)



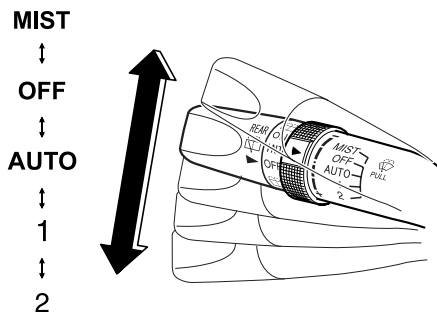
レバー位置	作動状態
MIST	レバーを上押ししている間作動
OFF	停止
INT	間欠作動
1	低速作動
2	高速作動

#### 間欠作動時間の調節

間欠作動のときスイッチをまわすと、間欠作動時間を調節できます。



##### ワイパーの操作 (オートワイパー機能付きタイプ)



レバー位置	作動状態
MIST	レバーを上押ししている間作動
OFF	停止
AUTO	オートワイパー機能
1	低速作動
2	高速作動

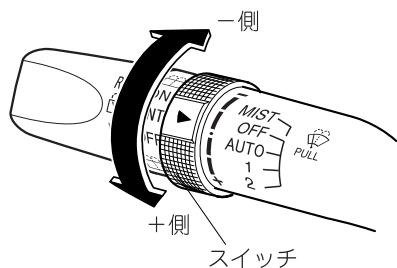
## オートワイパー機能

レバーをAUTO位置にしているとき、レインセンサーが雨を感知すると、ワイパーが自動で作動します。

雨量	作動状態
少ない	間欠作動
普通	低速作動
多い	高速作動

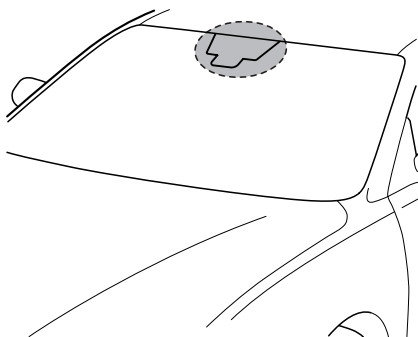
スイッチをまわすと、雨に反応する感度を調節できます。

スイッチ位置	感度
- 側	雨に反応しにくい
+ 側	雨に反応しやすい



## ⚠ 注意

- フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてレインセンサーを覆わないでください。センサーが雨量を正確に感知できなくなります。



- 電源ポジションがONで、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、つぎのような場合はワイパーが自動で作動することがあります。手や指を挟まないよう注意してください。万一手や指を挟むと、けがやワイパーの故障につながるおそれがあります。
  - ・ フロントガラスのレインセンサー上部に触れたとき。
  - ・ フロントガラスのレインセンサー上部を布などで拭いたとき。
  - ・ フロントガラスに衝撃をあたえたとき。
  - ・ レインセンサーに車内から衝撃をあたえたとき。

洗車やメンテナンスを行なうときは、ワイパーレバーをOFFの位置にしてください。

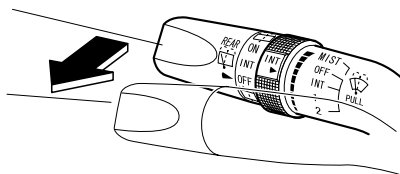
## スイッチの使いかた

### 知識

- 車速が約4km/h以上で走行中(または走行後)にスイッチをOFFからAUTOの位置にすると、ワイパーが1回作動した後、雨量に応じて作動します。
- レインセンサーの温度が $-10^{\circ}\text{C}$ 以下、または $85^{\circ}\text{C}$ 以上のときはオートワイパーが作動しないことがあります。
- フロントガラスに純正品以外の撥水コーティングを使用すると、レインセンサーが雨量を正確に検知できず、オートワイパーが正常に作動しないことがあります。純正品以外の撥水コーティングは使用しないでください。
- フロントガラスのレインセンサー上部に泥や異物(氷や塩水などを含むもの)が付着しているときや、フロントガラスが凍っているとき、ワイパーが自動で作動することがあります。ワイパーが数回作動してもセンサー上部の泥や異物、氷などを取り除けないときは、オートワイパーは作動を停止します。ワイパーレバーを1または2にしてワイパーを作動させるか、フロントガラスの泥や異物、氷などを取り除いてからオートワイパーを作動させてください。
- レインセンサーは光学センサーを使用しているため、強い光源、電磁波、赤外線等の影響により、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。雨天時以外はワイパーレバーをOFFの位置にして走行することをおすすめします。

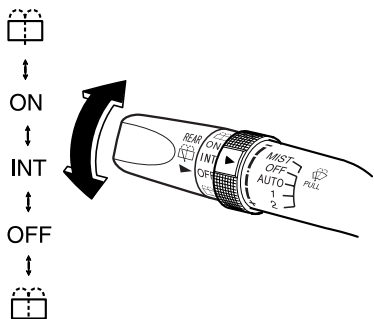
### ウォッシャーの操作

レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。





## リヤワイパー/ウォッシャー



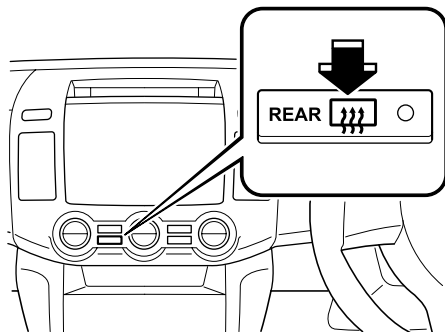
スイッチ位置	作動状態
	リヤウォッシャー作動
ON	連続作動
INT	間欠作動
OFF	停止
	リヤウォッシャー作動

スイッチをの位置にまわしている間、ウォッシャー液が噴射します。

## リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ

リヤウインドーを熱線であたため、曇りを取ります。

電源ポジションがONのとき使用できます。スイッチを押すと約15分間作動します。作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。作動を停止したいときは、もう一度スイッチを押します。



### 注意

リヤウインドーの内側には熱線が取り付けられています。清掃するときは熱線を傷つけないようにしてください。

→301ページ「ガラス、ミラーの手入れ」



### 知識

- エンジン回転中に使用してください。また、連続して長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- (4WD車)  
リヤウインドーデフォッガーを作動させると、フロントワイパーデアイサーも作動します。
- (ミラーの曇り取り装備車)  
リヤウインドーデフォッガーを作動させると、ドアミラーの曇り取りも作動します。

### フロントワイパーデアイサー (4WD車)

フロント窓ガラス下部を熱線であたため、フロント窓ガラス下部にたまった雪を取り除きやすくします。

電源ポジションがONのとき、リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと、フロントワイパーデアイサーが作動します。

→185ページ「リヤウインドーデフォッガー(曇り取り)スイッチ」



### 注意

フロント窓ガラス下部の内側には熱線が取り付けてあります。清掃するときは熱線を傷つけないようにしてください。


→301ページ「ガラス、ミラーの手入れ」

### ミラーの曇り取り (4WD車)

電源ポジションがONのとき、リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーの曇りが取れます。

→185ページ「リヤウインドーデフォッガー(曇り取り)スイッチ」

## ホーン

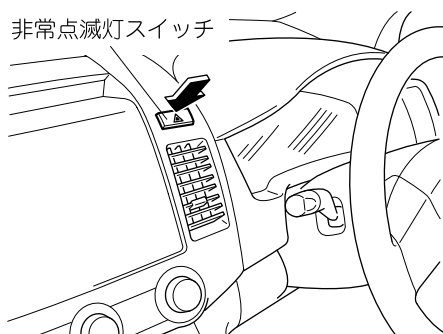
ハンドルのマーク周辺部を押すとホーンが鳴ります。

## 非常点滅灯スイッチ

故障などでやむをえず路上駐車するときや、非常時に使用します。

スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。同時にメーター内にある非常点滅表示灯も点滅します。

もう一度押すと消灯します。



### 知識

方向指示器を操作するときは、非常点滅灯スイッチをOFFの位置にしてください。

### 3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

## 電源ポジション (エンジンスイッチ)

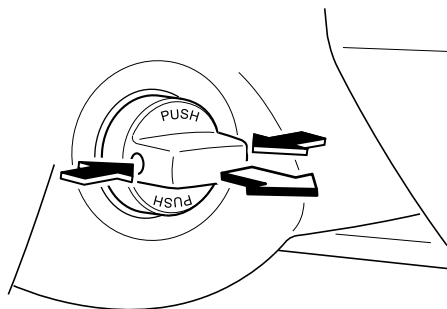
### アドバンストキー装備車

#### 知識

アドバンストキーレス機能を使ってエンジンをかけるときは107ページの「エンジンの始動」をお読みください。

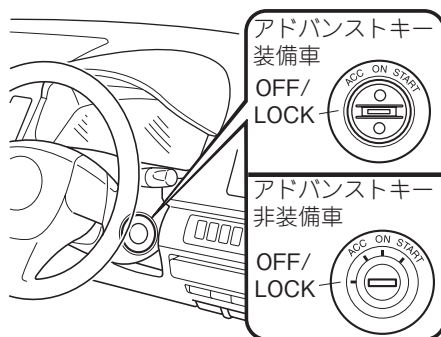
キー（補助キー）を使ってエンジンをかけるときは、次の操作を行なってください。

- 1 補助キーをアドバンストキーから取りはずします。  
→112ページ「補助キー機能」
- 2 スタートノブをエンジンスイッチから取りはずします。  
スタートノブは左右両側のボタンを押したまま手前に引くと、取りはずすことができます。



- 3 補助キーをエンジンスイッチへ差し込みます。

## 各位置の働き



※印字（刻印）は実際の車両と異なる場合があります。

電源 ポジション (エンジン スイッチ)	働き
OFF/LOCK	電源OFFの状態 キーまたは補助キー（エンジ ンスイッチ）を抜き差しでき る位置
ACC	エンジン停止時に、オーディ オなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置
START	エンジンを始動する位置

## アドバンストキー装備車

エンジンスイッチをまわして、電源ポジションをACCからOFF、またはOFFからACCにするときは、補助キーを押し込んでまわしてください。

### 知識

- エンジンスイッチをまわして、電源ポジションをONにしたとき、燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- エンジンを止めたままで、オーディオなどを長時間使用したり、電源ポジションをONまたはACCのまま放置しないでください。バッテリーがあがっておそれがあります。
- ハンドルがロックされているときは、キーまたは補助キー（エンジンスイッチ）をまわしにくいことがあります。ハンドルを左右に動かしながらキーまたは補助キー（エンジンスイッチ）をまわしてください。
- セレクトレバーの位置がP以外のときは、エンジンスイッチをまわして、電源ポジションをACCからOFFにすることができません。

## キー抜き忘れ防止チャイム

キーまたは補助キーを差し込んだまま、電源ポジションをOFFまたはACCにして運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りキーまたは補助キーの抜き忘れを知らせます。

## エンジンの始動

### エンジンかける前に

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- 2 セレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
- 3 正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。  
ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。  
→42ページ「正しい運転姿勢」

### エンジンかけるとき

- 1 ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 2 アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチをまわして、電源ポジションをSTARTにし、エンジンをかけます。

### 注意

連続して10秒以上エンジンスイッチをまわして、電源ポジションをSTARTにしないでください。スターターの故障やバッテリーあがりの原因になります。エンジンがかからないときは、エンジンスイッチをまわして、電源ポジションをOFFにもどし、10秒以上待ってからエンジンをかけなおしてください。

### 知識

冷間始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。

## エンジンの停止

- 1 セレクトレバーをPの位置にします。
- 2 電源ポジションをOFFにします。

### ⚠ 注意

車から離れるときは、電源ポジションがOFFになっていることを確認してください。

## ブレーキ

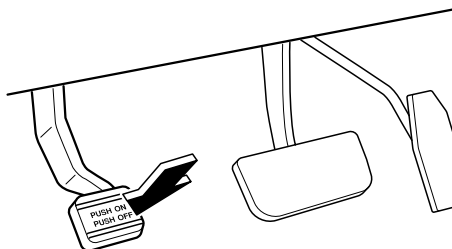
### パーキングブレーキ

### ⚠ 警告

パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱するためブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

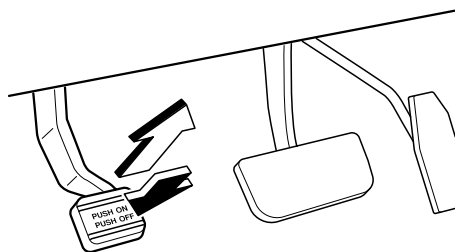
### かけるとき

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっばいに踏み込みます。



## 解除するとき

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏み、ゆっくりとはなします。



## 知識

パーキングブレーキをかけなおすときは、パーキングブレーキを一度解除してから、踏み込みなおしてください。

## ブレーキ警告灯



## 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- パーキングブレーキをかけているときは点灯します。パーキングブレーキを解除すると消灯します。
- 次のようなときは点灯し続けます。ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。
  - ・ ブレーキ液が不足しているとき。
  - ・ ブレーキ装置（電子制御制動力配分システム）に異常があるとき。



## 警告

■ ブレーキ警告灯が点灯したまま走行しないでください。

ブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。また停車するときは、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあるため、ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。

■ ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

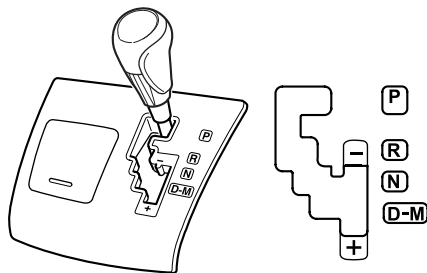
#### パーキングブレーキもどし忘れチャイム

パーキングブレーキをかけたまま、車速が約5km/h以上になるとチャイムが鳴り続け、パーキングブレーキのもどし忘れを知らせてくれます。

#### オートマチックトランスミッション

198ページの「オートマチック車を運転するとき」もあわせてお読みください。

#### 各位置の働き



#### P(パーキング)

駐車およびエンジンを始動する位置。  
Pでのみエンジンスイッチからキーまたは補助キーを抜くことができます。

#### R(リバース)

車を後退させる位置。  
チャイムが鳴り、セレクトレバーがRにはいていることを運転者に知らせます。

#### N(ニュートラル)

動力が伝わらない位置。  
エンジンを始動することはできますが、安全のためPの位置で行なってください。

#### D(ドライブ)

通常走行する位置。  
**(5速オートマチック車)**  
車速に応じて1速から5速までを自動変速します。  
**(6速オートマチック車)**  
車速に応じて1速から6速までを自動変速します。



## M(マニュアル)

マニュアル走行する位置。  
ギヤ位置を手動で切り替えることができます。  
→194ページ「マニュアルモード」

### シフトロック装置

シフトロック装置は、発進時の誤操作を防ぐためのものです。

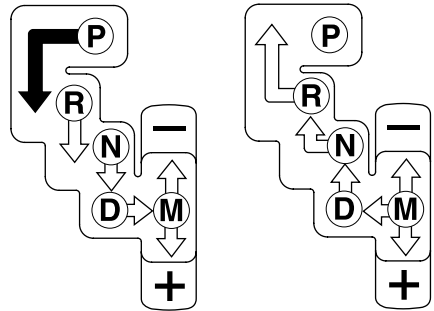
### セレクトレバーをPから動かすとき

- 1 ブレーキペダルを踏み込んだままにします。
- 2 エンジンを始動させます。
- 3 セレクトレバーを動かします。



### 知識

- 電源ポジションがOFFのときは、セレクトレバーをPから動かすことはできません。
- セレクトレバーがP以外の位置ではキーを抜くことができません。


## セレクトレバーの操作



### レバー操作

	ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。
	ゲートにそって、そのままセレクトレバーを操作します。

### 知識

-  の操作は、誤作動防止のため、各ギヤ位置ごとに節度をつけ確実に行ってください。
- セレクトレバーをPから操作するとき、セレクトレバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでから操作してください。

### 3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

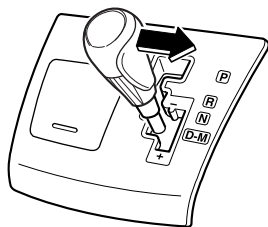
#### AASモードについて (6速オートマチック車)

AAS (アクティブアダプティブシフト) モードとは、快適に運転するため、道路の状況やドライバーの操作に最適なシフトポイントを自動的にコントロールするモードです。セレクトレバーがDのとき、アクセルペダルをいっばいに踏み込んで急加速をしたり、アクセルやブレーキの操作で加速または減速をしばらくの間行なうことでAASモードになる場合があります。

AASモードでコーナーに進入すると、ギヤ位置を維持したまま旋回することができるため、コーナー出口では、進入したときのギヤ位置から加速することができます。AASモードは、最適のギヤ位置を維持するためシフトチェンジが行なわれない場合がありますが異常ではありません。

#### マニュアルモード

セレクトレバーをDからMにのけるとマニュアルモードになります。マニュアルモードでは、ギヤ位置を手動で切り替えることができます。



セレクトレバーをMからDにのけるとマニュアルモードが解除されます。

#### 知識

- 停車時にマニュアルモードにした場合、ギヤは1速になります。
- (5速オートマチック車、6速オートマチック車)  
Dレンジ5速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは4速になります。
- (6速オートマチック車)  
Dレンジ6速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは5速になります。

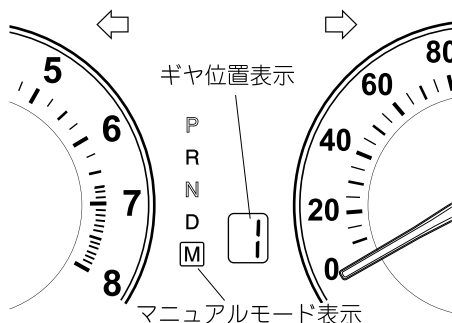
#### 表示灯

##### マニュアルモード表示

マニュアルモードにすると、メーター内にあるセレクトレバー位置表示灯のMが点灯します。

##### ギヤ位置表示

ギヤ位置が表示されます。



高速走行中、速度によりシフトダウンできないときは、ギヤ位置表示が2回点滅します。

## 知識

### (5速オートマチック車)

オートマチックトランスミッションフルード(ATF)の温度が高温になると、ギヤ位置表示が消灯しマニュアルモードが解除されるため自動変速になる場合があります。これはATを保護するための正常な機能です。しばらくしてATF温度が下がるとギヤ位置表示が再び点灯しマニュアルモードでの走行が可能になります。

## シフトチェンジ(変速)のしかた

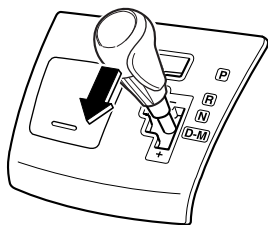
セレクトレバーによりシフトチェンジすることができます。

### シフトアップ

(M1→M2→M3→M4→M5→M6\*)

セレクトレバーを+側に動かすとシフトアップ(高速ギヤに変速)します。

\* 6速オートマチック車



## 知識

- 低速時はシフトアップできないことがあります。
- マニュアルモードでは自動でシフトアップしません。タコメーターの指針がレッドゾーンにはいらないように運転してください。あやまってレッドゾーンにはいった場合、エンジン保護のため燃料の供給が停止されます。このとき軽い衝撃を感じるがありますが異常ではありません。

## シフトダウン

(M6\*→M5→M4→M3→M2→M1)

セレクトレバーを-側に動かすとシフトダウン(低速ギヤに変速)します。

\* 6速オートマチック車



## 警告

- 高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用(シフトダウン)は避けてください。

タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。



#### 知識

- 高速走行中は、速度によりシフトダウンできないことがあります。
- 減速中は、速度により自動的にシフトダウンします。
- マニュアルモードでは、アクセルペダルをいっぱい踏み込んでもキックダウンしません。  
→198ページ「オートマチック車の特性」

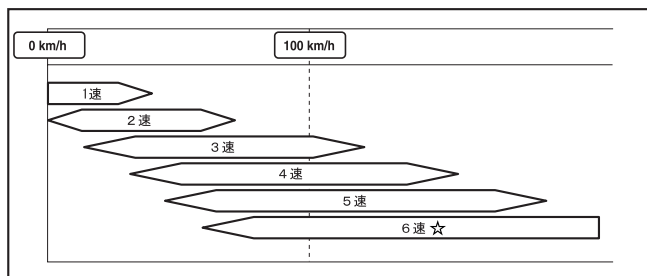
### 2速固定モード

車速が約10 km/h以下のときにセレクトレバーを+側に動かして2速にすると2速固定モードになり、ギヤ位置は2速に固定されます。雪道などすべりやすい路面での発進や走行がしやすくなります。

2速固定モードのときに、セレクトレバーを+側または-側に動かして2速以外にすると2速固定モードは解除されます。

## シフトチェンジ(変速)制限速度

マニュアルモードでは、各ギヤ位置において次の表のような制限速度を設けています。制限速度範囲内のときにセレクトレバーを操作すると変速します。



☆印はグレードや仕様などにより装備の有無が異なります。

### シフトアップ

制限速度より低いときはシフトアップしません。

### シフトダウン

制限速度を超えているときはシフトダウンしません。

制限速度を超えていてシフトダウンしなかった場合には、ギヤ位置表示が2回点滅し、変速できないことを運転者に知らせます。

### オートシフトダウン

減速中は、速度により自動的にシフトダウンします。



### 知識

2速固定モード時は、2速のまま停車します。

## オートマチック車を運転するとき

### オートマチック車の特性

#### クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP、N以外にはっていると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。この現象をクリープ現象といいます。

- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルをしっかり踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなりクリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでおいてください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用すると、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節できます。

#### キックダウン

走行中、セレクトレバーがDのときアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、急加速させることができます。この操作をキックダウンといいます。

- 追い越しや高速道路での合流など、加速が必要なときに行ないます。
- すべりやすい路面やカーブを走行するときは、急激なアクセル操作はしないでください。

### 発進するとき



#### 警告

- アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。

車が急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。



#### 知識

エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなり、クリープ現象が強くなります。

- 1 プレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。  
前進 …D、M  
後退 …R
- 2 セレクトレバーの位置を確認します。
- 3 パーキングブレーキを解除します。
- 4 プレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。



#### 知識

- セレクトレバーをRに入れるとチャイムが鳴り、セレクトレバーがRにはいることを運転者に知らせます。
- 後退時は身体を後ろにひねった姿勢になります。ブレーキペダルを確実に踏めるよう注意してください。
- 少し後退したときなどはセレクトレバーをRにいれたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーをNにもどし、発進時にはセレクトレバーの位置を確認してください。

## 急な坂道での発進

パーキングブレーキをかけたまま、アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動く感触を確認しながらパーキングブレーキをもどします。

### 走行するとき



#### 警告

■ 走行中はセレクトレバーをNに  
いれないでください。

トランスミッションの故障につながります。また、エンジンブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 高速走行中、またはぬれた路面や  
積雪路、凍結路を走行している  
ときは、急激なエンジンブレーキの  
使用(シフトダウン)は避けてく  
ださい。

タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 通常走行

セレクトレバーをDに入れて走行します。アクセルとブレーキの操作で加速/減速します。

### (5速オートマチック車)

ギヤは1速から5速の間で、自動的に変速されます。

### (6速オートマチック車)

ギヤは1速から6速の間で、自動的に変速されます。

## マニュアルモード走行

停車中または走行中にセレクトレバーをDからMにいと、マニュアルモードにセットされ、マニュアルトランスミッションのような操作ができます。

→194ページ「マニュアルモード」

## 急加速

セレクトレバーがDのとき、アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速できます。

## 急な上り坂での走行

坂の勾配に応じ、マニュアルモードで変速してください。エンジン回転の変化が少ないなめらかな走行ができます。

## 下り坂での走行



#### 警告

■ 下り坂ではフットブレーキとエン  
ジンブレーキを併用してくださ  
い。

フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが加熱して効が悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

エンジンブレーキが必要なときは、マニュアルモードにして、低速ギヤにシフトダウンしてください。

マニュアルモードのときは、走行速度にあわせて1段ずつシフトダウンし、エンジンブレーキを併用してください。

### 停車するとき

- 1 プレーキペダルをしっかりと踏んでおきます。
- 2 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
- 3 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーをNまたはPに入れます。

### 3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

#### 警告

■ 停車中、むやみにアクセルペダルを踏まないでください。

セレクトレバーがP、N以外にはいるとき、誤ってアクセルペダルを踏むと急発進するため思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 停車後、再発進するときはセレクトレバーの位置に思い違いがないよう確認してください。

意に反して車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

#### 注意

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でセレクトレバーを前進位置にいれ、アクセルをふかしながら停車しないでください。トランスミッションが過熱し、故障につながるおそれがあります。

#### 駐車するとき

- 1 車を完全に止めます。
- 2 セレクトレバーをPにいます。
- 3 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
- 4 エンジンを止めます。

#### 警告

■ 駐車するときは、セレクトレバーをPにいれ、パーキングブレーキをかけてください。

パーキングブレーキをかけただけや、セレクトレバーをPにいれただけで駐車していると、車が勝手に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ エンジンをかけたまま駐車しないでください。

万一セレクトレバーがP以外にはいる場合、クリープ現象で車が勝手に動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

#### 注意

セレクトレバーをPにいれるときは、車を完全に止めてから行なってください。車が完全に止まる前にセレクトレバーをPにいれると、トランスミッションに無理な力がかかり故障につながるおそれがあります。

#### そのほかに気をつけること

#### 警告

■ 坂道などで、セレクトレバーを前進位置に入れたまま後退したり、後退位置に入れたまま前進することは行わないで下さい。

エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 4WD★

4WDは、積雪路、砂地、ぬかるみ、急な坂などすべりやすい路面ですぐれた走行性を発揮します。

### 走行するときは

オフロード走行やラリー走行を目的に作られた万能車ではありません。凸凹や岩を乗り越えたり、川を渡ったりしないでください。

4WD車であっても、アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行ない、常に安全運転を心がけてください。

## 4WD警告灯

# 4WD

### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 4WDシステムに異常があるときは点灯します。マツダ販売店に連絡してください。

### 点滅するとき

次のようなときは点滅します。警告灯が消灯するまでエンジンをかけたまま安全な場所に停車してください。しばらくして警告灯が消灯すれば走行することができます。

警告灯が消灯しないときは、マツダ販売店に連絡してください。

- ディファレンシャルオイルの温度が異常に高いとき。
- スタックからの脱出時など、前後輪の回転差が異常に大きい状態が続いたとき。



## 警告

■ 脱輪やスタックなどにより、車輪が宙に浮いたときは、むやみに空転させないでください。

駆動系部品に悪影響をあたえ、駆動系のオイル漏れや焼きつきなどにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

#### タイヤについて

タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。また、駆動系部品に悪影響をあたえないために、次の点を守ってください。

- タイヤを交換するときは前後輪を同時に交換してください。
- 前後輪とも指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。特にスノータイヤなどの冬用タイヤを装着するときは注意してください。
- 摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。
- タイヤの空気圧は定期的に点検し、タイヤ間で空気圧の差が著しくならないように規定値に調節してください。



#### 知識

適正空気圧は運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。

- 前後輪とも必ず指定されたサイズの純正ホイールを装着してください。
- タイヤチェーンは前輪に取り付けてください。
- タイヤチェーンを装着したときは、30 km/h以上で走行しないでください。
- 積雪路、凍結路以外では、タイヤチェーンを装着して走行しないでください。

#### けん引してもらうときは

4WD車のけん引は、前後輪すべてを持ち上げるか、前後輪接地の状態で搬送してください。駆動装置の故障時はトレーラーなどに搭載して搬送してください。

前輪または後輪だけを持ち上げた状態でけん引すると、駆動装置が破損したり、車輪が台車から飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

→283ページ「けん引してもらうとき」

## カメラ★

お客さまのお車にカメラ映像を表示するモニターは装備されておりません。必要に応じてマツダ販売店でお求めください。モニターを装着するときはマツダ販売店にご相談ください。次の事項については、カメラ映像を表示するモニターの取扱説明書をご確認ください。

- カメラ接続の初期設定
- カメラ映像への切り替え方法
- 画面調整
- その他注意事項



### 警告

■ カメラはあくまでも前進/後退操作を行なうための補助装置です。画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあります。画面だけを見て前進/後退すると障害物に接触したり、思わぬ事故につながるおそれがあるため、必ず前方/後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



### 注意

- ディスプレイが冷えているとき、映像が尾を引いたり、画面が通常よりも暗くなり、車両周辺の状況を確認しにくくなる場合があります。必ず前方/後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラ部に強い衝撃を与えないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、分解・改造・取りはずしをしないでください。
- カメラのカバーは樹脂ですので、油膜取り剤・有機溶剤・ワックス・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにやわらかい布等でふき取ってください。
- カメラのカバーを強くこすったり、研磨剤や硬いブラシなどでみがいたりしないでください。カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。



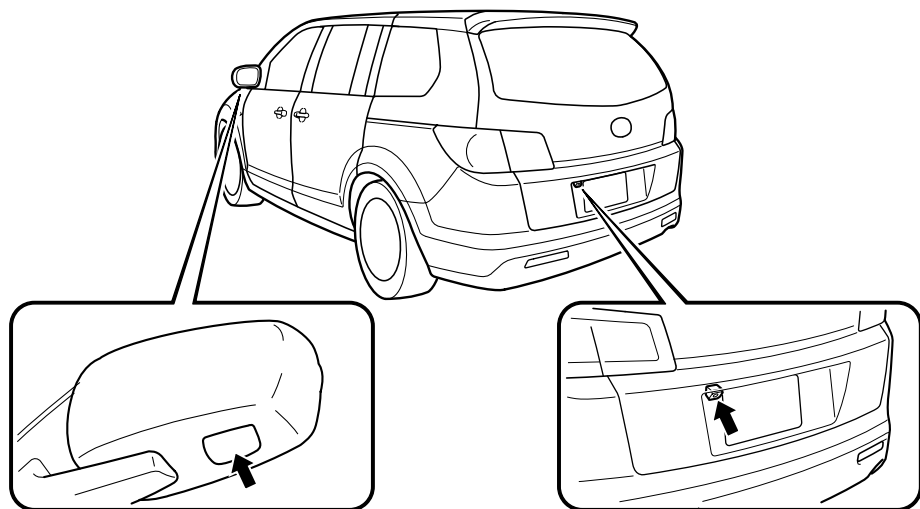
### 知識

- カメラのレンズに水滴や雪、泥などがついているときは、やわらかい布等でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。
- 車両前部/側面/後部をぶつけたときは、カメラ（位置、取り付け角度）がずれているおそれがあります。必ずマツダ販売店で確認を行なってください。
- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラ部に急激な温度変化をあたえると、カメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。

### 3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

---

#### カメラの取り付け位置



サイドカメラ  
左ドアミラー下部に取り付けられています。

バックカメラ  
リヤゲート左下部に取り付けられています。

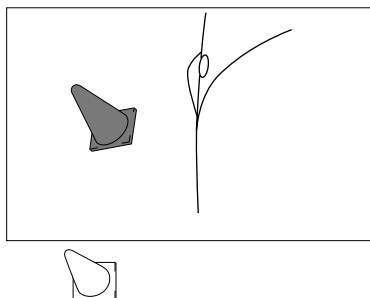
## サイドカメラについて

車両左前方側面の映像で、車の前進と左前側面を補助する装置です。

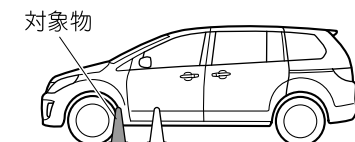
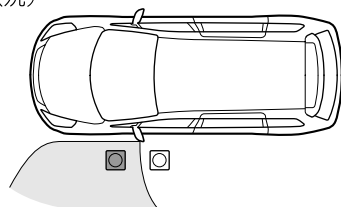
### 画面に映し出される範囲について

左ドアミラー内に設置されたカメラから、車両左前方側面を映し出します。

(画面の状況)



(実際の状況)



### 注意

ドアミラーを格納したまま使用しないでください。



## 知識

- 自車の状況や路面状況により、映し出される範囲は異なります。
- カメラが映す範囲には限界があります。バンパーの下にあるものやバンパーの両端付近は映りません。
- サイドカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離間隔は実際の距離とは異なります。
- 装備によってはカメラに写りこむ場合があります。カメラの視野に影響をおよぼすもの(視野を遮るもの、光を発するもの、光沢素材でできているものなど)は取り付けないください。
- 次のような状況では、画面が見つらなくなることがありますが、故障ではありません。
  - ・ 夜間など暗いところ
  - ・ レンズ付近の温度が高い/低いとき
  - ・ 雨天時など、カメラに水滴がついたときや湿度が高いとき
  - ・ カメラ付近に泥などの異物がついたとき
  - ・ 太陽やヘッドランプなどの光がカメラのレンズに直接当たったとき
- 車体に反射した太陽の光などの高輝度の光がカメラに映ると、画面上に明るい帯(光の筋)が発生することがあります。(スミア現象)

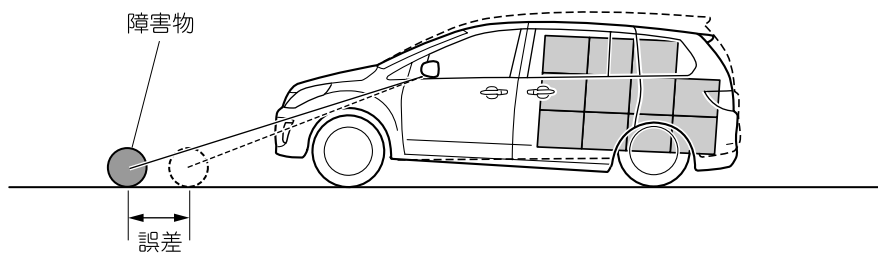
## 実際の画面と路面の誤差

実際の路面と画面上の路面とでは誤差が生じます。距離感の誤差は事故につながるおそれがありますので、次のような誤差の起こりやすい状況を確認しておいてください。

---

## 人や荷物の重みで車が傾いているとき

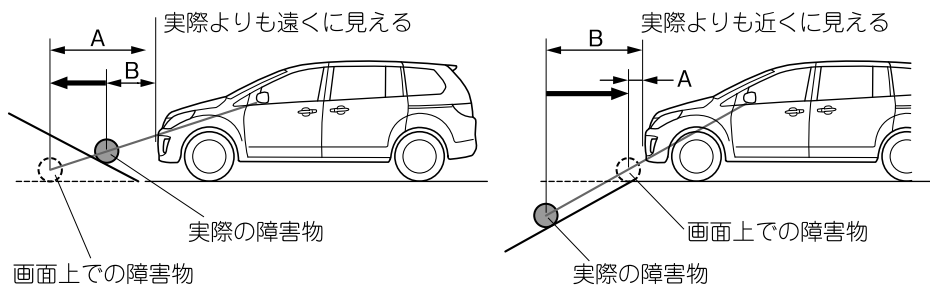
車両が傾いているときは、カメラに映る障害物は車体前部からの距離が実際の位置と違って見えます。



### 3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

#### 車両前方に勾配の急な上り坂や下り坂があるとき

車両前方に勾配の急な上がり坂(下り坂)があるときは、カメラに映る障害物は車体前部からの距離が実際よりも遠く(近く)にあるように見えます。



- A 画面で見える車体から障害物の距離
- B 車体から障害物の実際の距離

#### 知識

車両が坂にある場合でも同様に誤差が生じます。



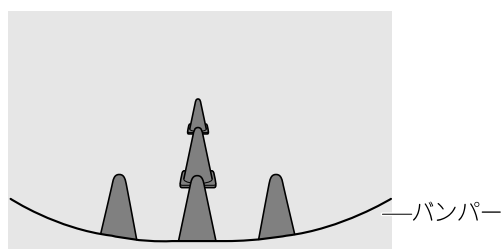
## バックカメラについて

車両後方の映像で、車の後退を補助する装置です。

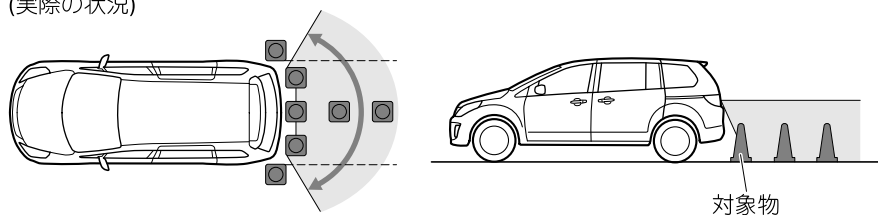
### 画面に映し出される範囲について

車両後方の映像を映し出して駐・停車時に障害物や車間距離を確認するときの補助としてご使用ください。車両後部に設置されたカメラから、ほぼ水平に映し出します。

(画面の状況)



(実際の状況)



### ⚠ 注意

リヤゲートが完全に閉まっていないときは危険ですので、カメラを使用しないでください。

### 3.操作と取り扱い

## 運転装置の使いかた

#### 知識

- 自車の状況や路面状況により、映し出される範囲は異なります。
- カメラが映す範囲には限界があります。バンパーの下にあるものやバンパーの両端付近は映りません。
- バックカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離間隔は実際の距離とは異なります。
- バックカメラは鏡面画像になっています。
- 追加装備によってはカメラに写りこむ場合があります。カメラの視野に影響をおよぼすもの(視野を遮るもの、光を発するもの、光沢素材でできたものなど)は取り付けないでください。
- 次のような状況では、画面が見つらなくなることがありますが、故障ではありません。
  - ・ 夜間など暗いところ
  - ・ レンズ付近の温度が高い/低いとき
  - ・ 雨天時など、カメラに水滴がついたときや湿度が高いとき
  - ・ カメラ付近に泥などの異物がついたとき
  - ・ 太陽やヘッドランプなどの光がカメラのレンズに直接当たったとき
- 車体に反射した太陽の光などの高輝度の光がカメラに映ると、画面上に明るい帯(光の筋)が発生することがあります。(スミア現象)

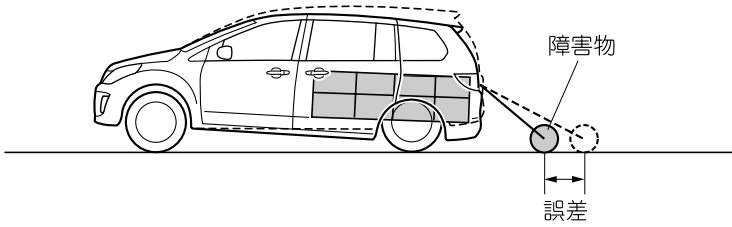
### 実際の画面と路面の誤差

実際の路面と画面上の路面とでは誤差が生じます。距離感の誤差は事故につながるおそれがありますので、次のような誤差の起こりやすい状況を確認しておいてください。

---

## 人や荷物の重みで車が傾いているとき

車両が傾いて後部が下がっているときは、カメラに映る障害物は車体後部からの距離が実際よりも遠くに見えるようになります。

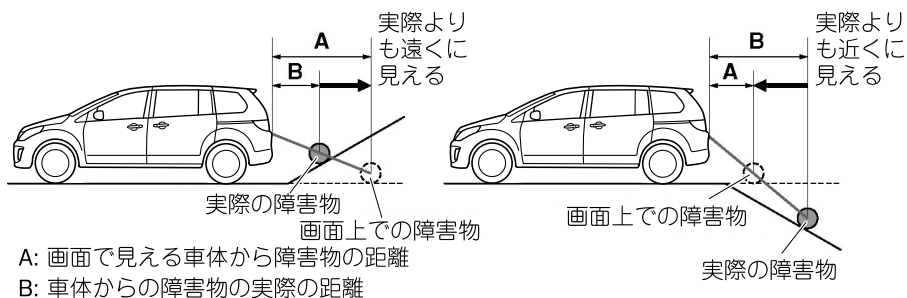


### 3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

---

#### 車両後方に勾配の急な上り坂や下り坂があるとき

車両後方に勾配の急な上り坂(下り坂)があるときは、カメラに映る障害物は車体後部からの距離が実際よりも遠く(近く)にあるように見えます。



## 4 快適カーライフのために

### 空調 214

エアコンを上手に使用していただく ために .....	214
フロント吹き出し口 .....	216
フロントフルオートエアコン .....	218
リヤ吹き出し口 .....	223
リヤフルオートエアコン .....	225

### オーディオ 228

アンテナ .....	228
オーディオリモートコントロール スイッチ .....	228

### 室内装備 229

サンバイザー .....	229
室内照明 .....	229
インフォメーションセンターディスプレイ プレイ .....	232
シガーライター .....	234
灰皿 .....	234
格納式センターテーブル .....	235
カップホルダー .....	236
ボトルホルダー .....	237
収納 .....	238

## エアコンを上手に使用していただくために

### 使用するとき

エアコンはエンジンをかけた状態で使用してください。

### ガラスが曇るときは

湿度の高い日はガラスが曇りやすくなります。このようなとき、エアコンを使用して曇りを取ることができます。エアコンを作動させると吹き出し風が除湿されるため、効果的に曇りを取ることができます。

### 外気導入と内気循環について

通常は外気導入で使用してください。内気循環は、トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど外気を遮断したいときに一時的に使用してください。

### 炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

### 長期間エアコンを使用しないときは

長期間エアコンを使用しないときにも、内部のオイル循環のため、1か月に1回程度エアコンを作動させてください。

### 暑くなる前のチェック

エアコンの冷媒(エアコンガス)が不足していると冷房性能が低下します。夏になる前に冷媒量の点検を受けておきましょう。

### エアフィルターについて

#### 知識

- エアコンの風量が著しく減少したときはエアフィルターの目詰まりが考えられます。エアフィルターを交換してください。
- 大都市・寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区の場合は、エアフィルターの寿命が短くなり、早めの交換が必要になることがあります。

花粉やほこりなどの集じん機能を持ったエアフィルターを装備しています。快適にお使いいただくために定期的に交換してください。

エアフィルターの点検、交換については297ページ「エアフィルターの点検、交換」をご覧ください。

交換の目安…20,000km走行ごとまたは1年ごとどちらか早い方。

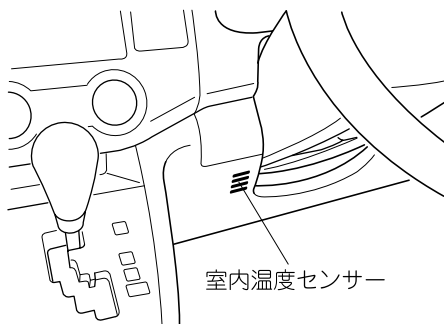
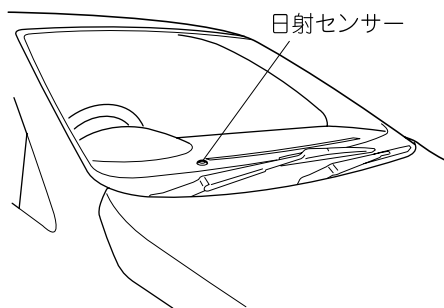
### 「nanoe※」について

運転席吹き出し口から「nanoe※イオン」が発生し、室内を脱臭/除菌します。

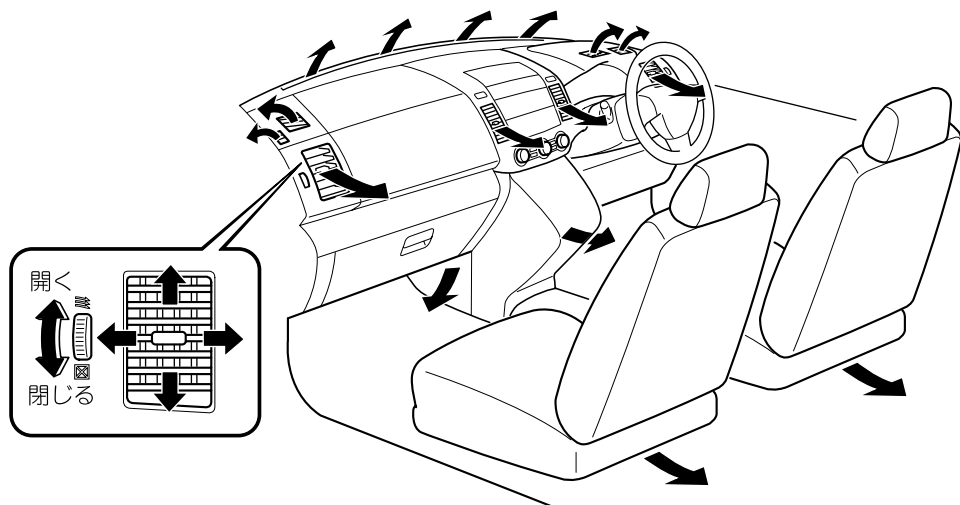
※「nanoe」はパナソニック(株)の登録商標です。

## センサーについて

フルオートエアコンには日射センサーと室内温度センサーが取り付けられています。日射センサーの上に物を置いたり、室内温度センサーをふさいだりしないでください。室内温度が正しく調節されないことがあります。



## フロント吹き出し口



### 吹き出し口の調節

ノブを動かして、吹き出し風の向きを調節します。  
ダイヤルを☒ 側いっぱいまわすと、吹き出し口は全閉します。

#### 知識

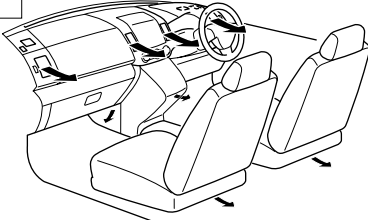
冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見ることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で、異常ではありません。



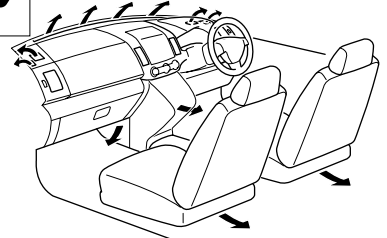
## 吹き出し口の選択

使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

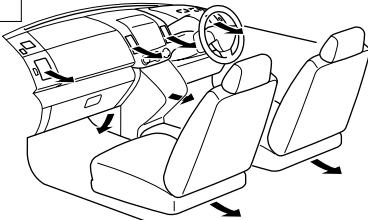
上半身に送風するとき



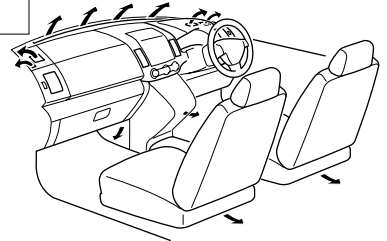
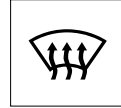
足元への送風とガラスの曇りを取るとき



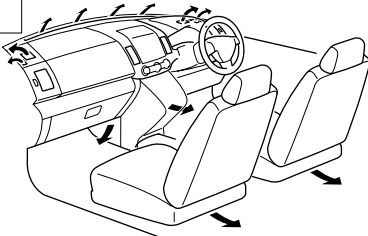
上半身、足元に送風するとき



ガラスの曇りを取るとき



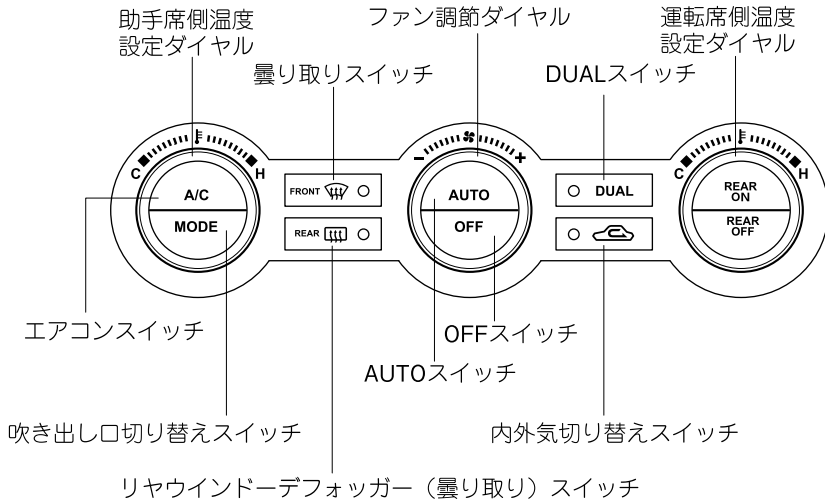
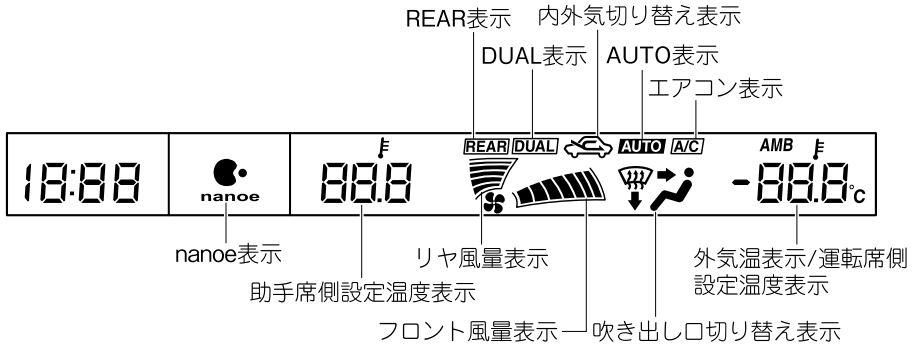
主に足元に送風するとき



## フロントフルオートエアコン

エアコンの表示はインフォメーションセンターディスプレイの表示部に表示されます。  
→232ページ「インフォメーションセンターディスプレイ」

インフォメーションセンターディスプレイ



## 各スイッチの使いかた

### AUTOスイッチ

スイッチを押すと設定温度にあわせて、以下の機能が自動制御されます。

- 吹き出し風の温度調節
- 吹き出し風量調節
- 吹き出し口の切り替え
- 内気循環/外気導入の切り替え
- エアコン(冷房・除湿機能)の作動/停止

### OFFスイッチ

スイッチを押すとファンの作動を停止します。

### 温度設定ダイヤル

ダイヤルをまわして設定温度を調節します。

18.0から32.0の間で0.5ずつ変化します。

### 知識

18.0に設定すると最大冷房、32.0に設定すると最大暖房に固定されます。

- DUALスイッチがOFFのとき  
運転席側温度設定ダイヤルをまわして調節します。
- DUALスイッチがONのとき  
運転席側温度設定ダイヤルまたは助手席側温度設定ダイヤルをまわして調節します。

### 知識

- DUALスイッチをONにすると独立モードになり、運転席側と助手席側の設定温度を独立して調節することができます。
- 独立モードのとき、インフォメーションセンターディスプレイに **DUAL** が表示されます。
- DUALスイッチがOFFのときでも、助手席側温度設定ダイヤルをまわすと独立モードになり(DUALスイッチ表示灯点灯)、運転席側と助手席側の設定温度を独立して調節することができます。

### ファン調節ダイヤル


風量を7段階に調節できます。

### 吹き出し口切り替えスイッチ

使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

→217ページ「吹き出し口の選択」

### 知識

吹き出し口を  に設定するには、曇り取りスイッチを押してください。

### エアコンスイッチ

AUTOスイッチまたはファン調節ダイヤルがONのとき、スイッチを押すごとにエアコン(冷房・除湿機能)の作動と停止が切り替わります。



### 知識

外気温が0°C近くまで下がると、システム保護のためエアコンは作動しません。

## 4.快適カーライフのために 空調

### 内外気切り替えスイッチ

内気循環(外気を遮断する)と外気導入(外気を室内に入れる)の切り替えができます。スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が切り替わります。

- 内気循環 (表示灯点灯)  
トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど外気を遮断したいときに一時的に使用します。
- 外気導入 (表示灯消灯)  
外気を取り入れて換気したいときや、ガラスの曇りを取るときに使用します。



### 知識

長時間、内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。通常は外気導入で使用してください。

### DUALスイッチ

独立モードと連動モードの切り替えができます。

- 独立モード (表示灯点灯)  
運転席側と助手席側の設定温度を独立して調節することができます。
- 連動モード (表示灯消灯)  
運転席側と助手席側の設定温度が連動した設定になります。



### 知識

- 連動モードのとき助手席側の設定温度は運転席側の設定温度に切り替わりません。
- 独立モードのとき、インフォメーションセンターディスプレイに **DUAL** が表示されます。
- 曇り取りスイッチをONにすると自動的に連動モードに切り替わります。DUALスイッチを押したり、または助手席側温度設定ダイヤルをまわしても独立モードにはなりません。

### 曇り取りスイッチ

フロントガラス、フロントドアガラスの曇りを取りたいときに使用します。

→221ページ「ガラスの曇りを取るとき」

## 通常の使いかた

- 1 AUTOスイッチを押します。吹き出し口、内外気切り替え、吹き出し風量が自動的に調整されます。
- 2 温度設定ダイヤルを操作して希望温度にあわせませす。  
運転席と助手席の設定温度を独立して調節するときは、DUALスイッチを押すか、または助手席側温度設定ダイヤルをまわして独立モードにします。

## 知識

- 最初は温度設定ダイヤルを25.0前後にあわせて使用し、その後お好みで調節してください。
  - 設定温度を極端に低く(高く)しても、希望の温度になるまでの時間はほとんど変わりません。
  - エンジンが冷えているときの暖房開始直後は、冷風の吹き出しを防止するため、風量が少なくなります。
- 3 作動を停止したいときは、OFFスイッチを押します。

## ガラスの曇りを取るとき

曇り取りスイッチを押します。  
自動的に外気導入に切り替わります。また、エアコンが自動的に作動し、除湿された吹き出し風がフロントガラス、フロントドアガラスに送風されます。吹き出し風量も多くなります。



## 警告

■ ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の温度を低くしないでください。

ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 知識

- 曇り取りスイッチをONにすると自動的に連動モードに切り替わります。DUALスイッチを押したり、または助手席側温度設定ダイヤルをまわしても独立モードにはなりません。

次の操作をすると、より早くガラスの曇りを取ることができます。

- ファン調節ダイヤルを操作して、風量を増す。
- 温度設定ダイヤルを操作して、吹き出し風の温度を上げる。

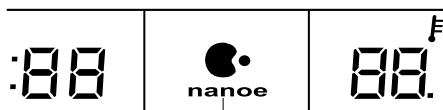
## 4.快適カーライフのために 空調

### 「nanoe※」を使うとき☆

ファンが作動すると自動的に「nanoe※」が作動します。

「nanoe※」作動時はインフォメーションディスプレイのマークが点灯し作動を知らせます。



インフォメーションセンター  
ディスプレイ



「nanoe※」表示

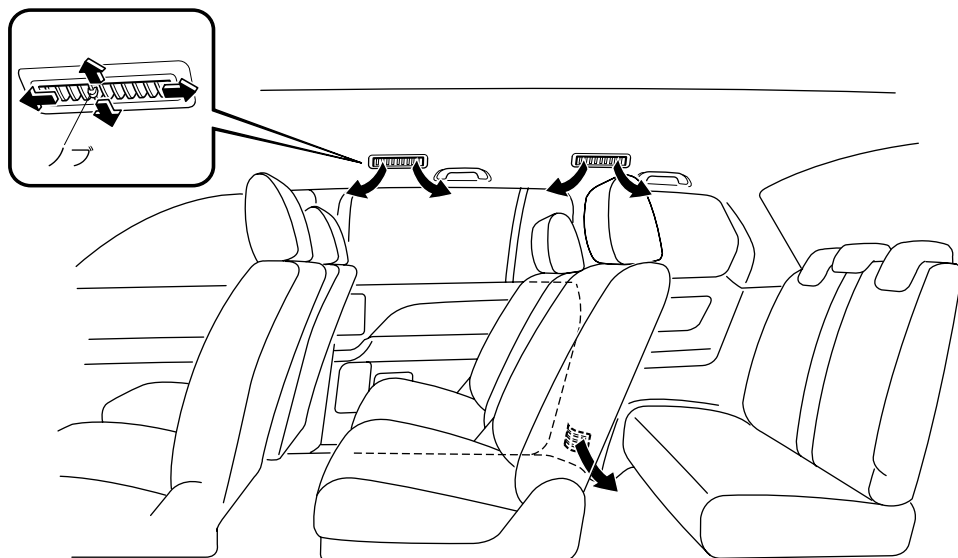


### 知識

吹き出し口を  または  で使用すると脱臭/除菌の高い効果を得られます。

※「nanoe」及び「nanoe」ロゴマークは、パナソニック(株)の登録商標です。

## リヤ吹き出し口



### 吹き出し口の調節

ノブを動かして、吹き出し風の向きを調節します。

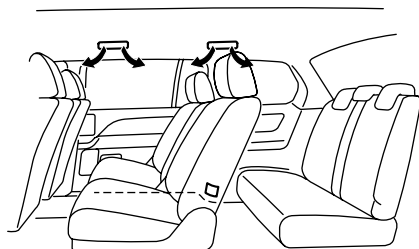
#### 知識

冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見えることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で、異常ではありません。

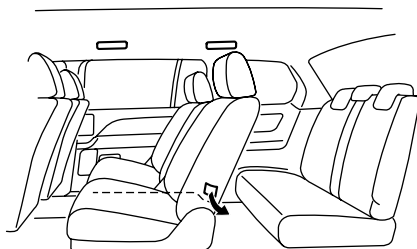
### 吹き出し口の選択

リヤフルオートエアコン装備車は使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

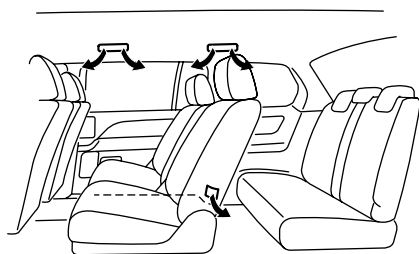
上半身に送風するとき



足元に送風するとき



上半身、足元に送風するとき

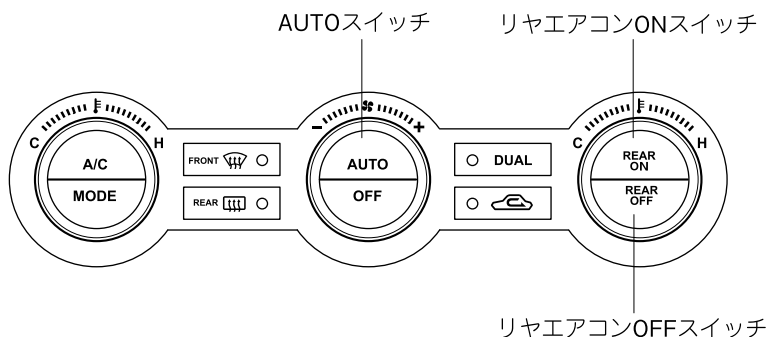




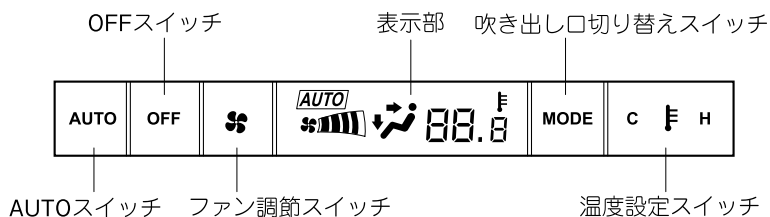
## リヤフルオートエアコン

リヤフルオートエアコンはフロントエアコンと連動して作動します。  
フロントエアコンのファンの作動を停止しているときは、リヤフルオートエアコンは使用できません。  
フロントエアコンのエアコンスイッチがOFFのときは、冷房・除湿機能は作動せず、送風のみとなります。

フロント



リヤ



## 各スイッチの使いかた

### リヤフルオートエアコンONスイッチ

スイッチを押すとリヤフルオートエアコンが作動します。

作動すると“REAR”の表示が点滅し、しばらくすると点灯になります。

表示が点滅しているときはリヤフルオートエアコンが作動していることを示すと同時にフロントからリヤフルオートエアコンの風量、吹き出し口の切り替え、温度を調節することができます。

表示が点灯しているときは、リヤフルオートエアコンが作動していることを示しています。

### リヤフルオートエアコンOFFスイッチ

スイッチを押すとリヤフルオートエアコンの作動を停止します。

### AUTOスイッチ

スイッチを押すと設定温度にあわせて、以下の機能が自動制御されます。

- 吹き出し風の温度調節
- 吹き出し風量調節
- 吹き出し口の切り替え

### OFFスイッチ

スイッチを押すとファンの作動を停止します。

### 温度設定スイッチ

スイッチを押すと18.0から32.0の間で0.5ずつ変化します。



## 知識

18.0に設定すると最大冷房、32.0に設定すると最大暖房に固定されます。

## ファン調節スイッチ

風量を5段階に調節できます。

## 吹き出し口切り替えスイッチ

使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

→224ページ「吹き出し口の選択」

## 通常の使いかた

### フロントからの操作

- 1 フロントエアコンを作動させます。
- 2 リヤフルオートエアコンONスイッチを押します。リヤフルオートエアコンが作動します。  
作動すると“REAR”の表示が点滅し、しばらくすると点灯になります。
- 3 “REAR”の表示が点滅中にAUTOスイッチを押し、温度設定ダイヤルをまわして希望温度にあわせます。吹き出し口、吹き出し風量、吹き出し風の温度が自動的に調整されます。

## 知識

- 最初は**25**前後に合わせて使用し、その後お好みで調節してください。
- フロントエアコンのエアコンスイッチがOFFのときAUTOスイッチを押すと、リヤフルオートエアコンは送風のみになります。
- 設定温度を極端に低く(高く)しても、希望の温度になるまでの時間はほとんど変わりません。
- エンジンが冷えているときの暖房開始直後は、冷風の吹き出しを防止するため風量が少なくなります。
- “REAR”の表示が点滅しているとき何も操作しない状態が8秒間続くと、フロントエアコンの設定にもどります。リヤフルオートエアコンの設定にもどりたいときは、もう1度リヤフルオートエアコンONスイッチを押します。
- “REAR”の表示が点滅中にフロントエアコンの吹き出し口切り替えスイッチやファン調節ダイヤルを操作すると、リヤフルオートエアコンの吹き出し口の切り替えや風量の調節をすることができます。

- 4 作動を停止したいときは、リヤフルオートエアコンOFFスイッチを押します。

## リヤからの操作

- 1 フロントエアコンを作動させます。
- 2 AUTOスイッチを押します。吹き出し口、吹き出し風量が自動的に調整されます。
- 3 温度設定スイッチを操作して希望温度にあわせます。

## 知識

- 最初は**25.0**前後に合わせて使用し、その後お好みで調節してください。
- フロントエアコンのエアコンスイッチがOFFのときAUTOスイッチを押すと、リヤフルオートエアコンは送風のみになります。
- 設定温度を極端に低く(高く)しても、希望の温度になるまでの時間はほとんど変わりません。
- エンジンが冷えているときの暖房開始直後は、冷風の吹き出しを防止するため、風量が少なくなります。

- 4 作動を停止したいときは、OFFスイッチを押します。

## アンテナ

### プリント式

ガラスにプリントされています。

### ⚠ 注意

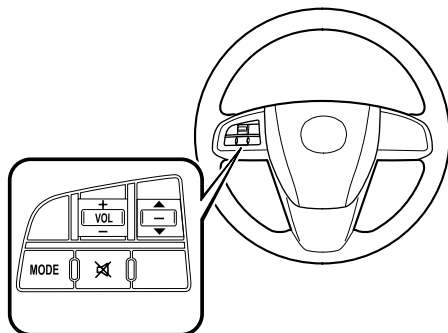
アンテナがプリントされているガラスの内側をふくときは、水やぬるま湯でぬらしたやわらかい布で、アンテナ線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどを使用すると、アンテナをいためるおそれがあります。

→301ページ「ガラス、ミラーの手入れ」

## オーディオリモートコントロールスイッチ

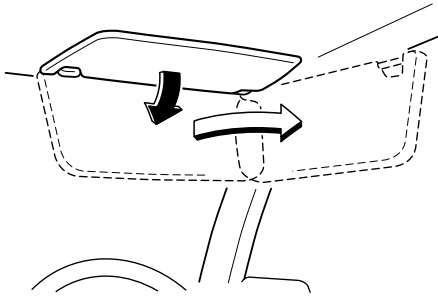
ハンドルの左側にあります。

オーディオの電源が入っているときに、手でオーディオの操作をすることができます。



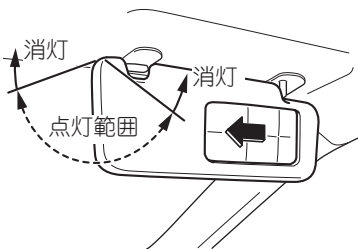
## サンバイザー

前からの光をさえぎるときは、下げます。  
横からの光をさえぎるときは、下げた後フックからはずして横にします。



## バニティミラー (化粧鏡)

バニティミラーは、サンバイザーの裏側にあります。  
フタを開けるとランプが点灯します。  
バッテリーあがりを防止するため、サンバイザーの傾きが点灯範囲内のときのみランプが点灯します。



## 室内照明

### 知識

エンジンを停止しているとき、ランプを長時間点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

### イルミネーテッドエントリーシステム

ルームランプスイッチがDOORの位置のとき、次のような操作をすると、ルームランプ、ドアカーテシランプが点灯します。

- 運転席ドアを解錠すると約30秒間点灯します。
- ドアを開けて閉めた後、約15秒間点灯します。  
(アドバンストキー装備車)  
アドバンストキーを携帯し、車外からドアを閉めた後、約5秒間点灯します。
- エンジンスイッチからキーまたは補助キーを抜くと約15秒間点灯します。

### 知識

- 次のようなときルームランプ、ドアカーテシランプはすぐに消灯します。
  - 電源ポジションをONにしたとき。
  - すべてのドアを施錠したとき。
- ルームランプスイッチがDOORの位置で、約30分間ドアが確実に閉まっていない状態が続くと、自動的にルームランプ、ドアカーテシランプが消灯して、バッテリーあがりを防止します。

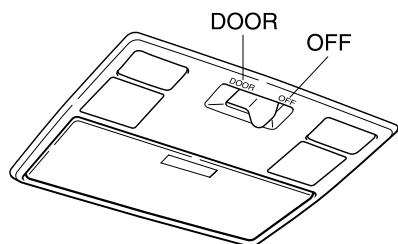
## 4.快適カーライフのために 室内装備

### ルームランプ

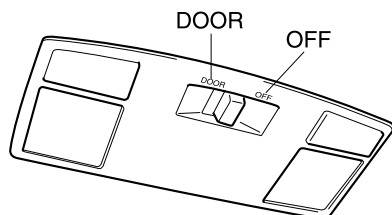
電源ポジションに関係なく使用できます。

スイッチ位置	ルームランプ
DOOR	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。</li> <li>● イルミネーテッドエントリーシステムの作動により点灯/消灯します。</li> </ul>
OFF	常時消灯
ON	常時点灯 (リヤ)

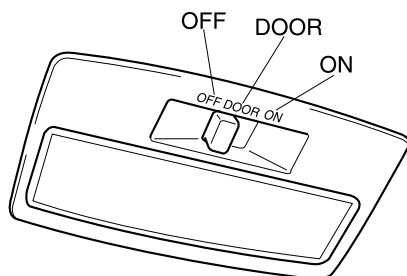
### フロント



### センター



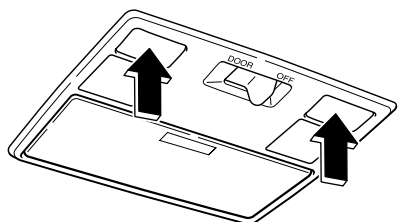
### リヤ



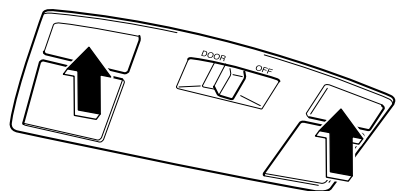
## マップランプ

電源ポジションに関係なく使用できます。  
スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

### フロント



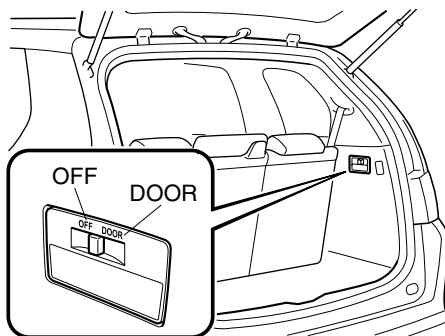
### センター



## ラゲッジルームランプ

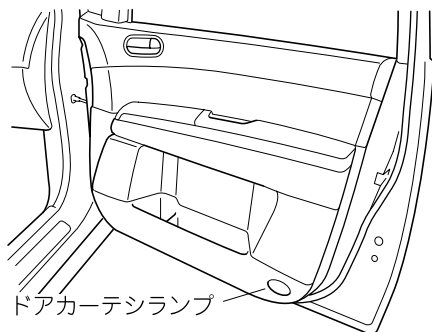
電源ポジションに関係なく使用できます。

スイッチ位置	ラゲッジルームランプ
DOOR	リヤゲートを開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	常時消灯



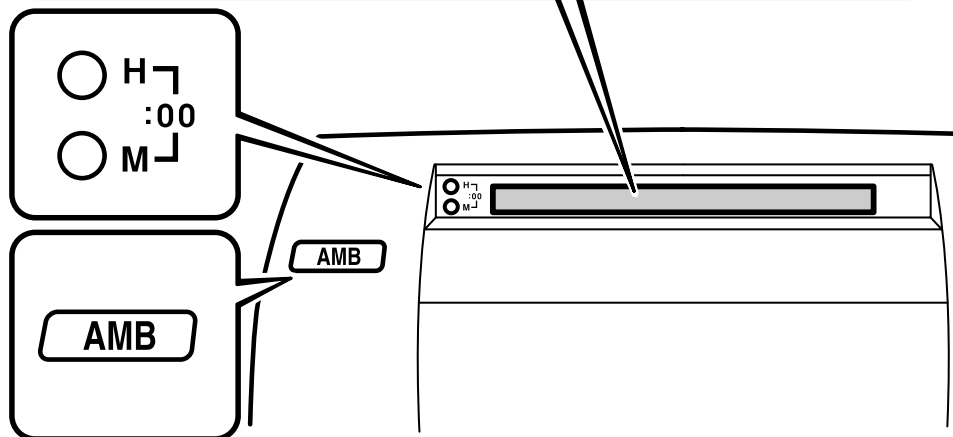
## ドアカーテシランプ

ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。また、イルミネーテッドエントリーシステムの作動により点灯/消灯します。



## インフォメーションセンターディスプレイ

インフォメーションセンターディスプレイはグレードや仕様により異なります。



### インフォメーションセンターディスプレイの機能について

インフォメーションセンターディスプレイには次の機能があります。

- 時計
- 外気温表示
- エアコン表示

### 時計

電源ポジションがACCまたはONのとき表示します。

12:00



## 時刻のあわせかた

- 1 電源ポジションをACCまたはONにします。
- 2 時間調節ボタン(H、M)を操作して時刻をあわせます。  
時計調節ボタン(H)を押している間“時”表示が早送りされます。  
時計調節ボタン(M)を押している間“分”表示が早送りされます。

## 時報にあわせるとき

- 1 電源ポジションをACCまたはONにします。
- 2 時計調節ボタン(H、M)を同時に約1.5秒以上押します。時刻が点滅表示されます。
- 3 ボタンから手をはなすと、時刻が次のように修正されます。  
(例)  
12:01~12:29→12:00  
12:30~12:59→1:00


### 知識

ボタンから手をはなした時点で、“秒”は“00”からスタートします。

## 外気温表示

電源ポジションがONのとき、外気温を表示します。

AMBボタンを押すごとに、外気温の表示と非表示が切り替わります。

AMB   
25 °C

### 知識

次のようなとき、外気温表示の数値は周囲や車両の状況により、実際の外気温と異なることがあります。

- 著しく寒いとき、暑いとき
- 外気温が急激に変化したとき
- 停車時
- 低速走行時

## エアコン表示

エアコンの作動状態を表示します。

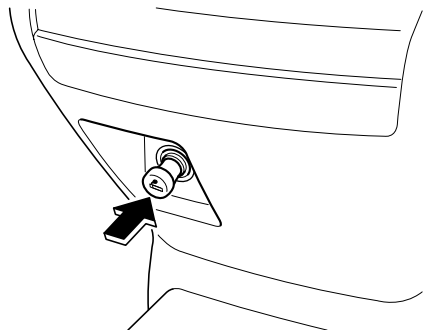
エアコンの操作については、214ページの「空調」をご覧ください。

## シガーライター

電源ポジションがACCまたはONのとき使用できます。

使用するときには、シガーライターを押し込んで手を離し、もとの位置にもどるまで待ちます。

ヒーター部分が熱くなると自動的にもどり、使用できます。



### ！ 注意

- シガーライターの金属部分に触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- シガーライターの故障、焼損を防ぐために、次の点を守ってください。
  - ・ シガーライターの差し込み口を純正部品以外の電気製品の電源に使用しないでください。
  - ・ 他車のシガーライターを差し込まないでください。もどらなくなることがあります。
  - ・ シガーライターは押さえたままにしないでください。

### 📖 知識

30秒以上たってももどらないときは、故障のおそれがあります。手で引き抜き、マツダ販売店で点検を受けてください。

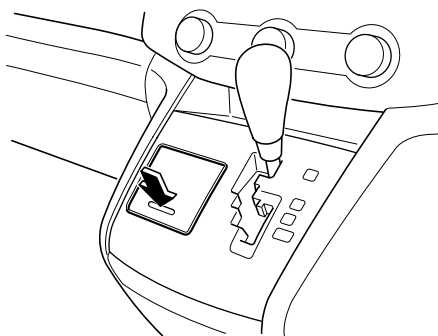
## 灰皿

### ！ 注意

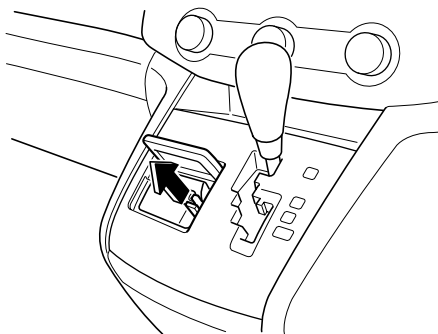
出火を防ぐために、次の点を守ってください。

- タバコ、マッチなどは完全に火を消してから灰皿に入れ、使用後は確実に閉めてください。
- 紙くずなどの燃えやすいものを入れないでください。
- 灰皿本体を引き抜いた状態では灰皿として使用しないでください。

使用するときには、フタを押して開きます。



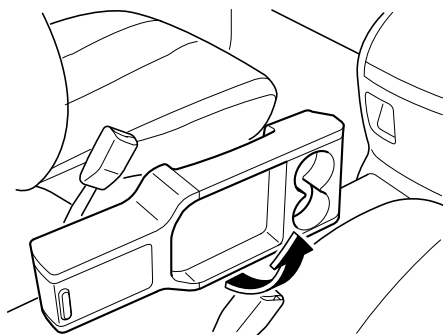
清掃するときは、フタを押して開いてから灰皿本体を持って引き抜きます。



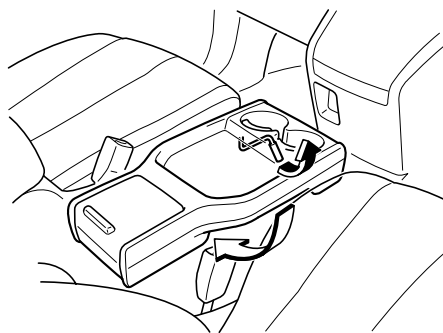
## 格納式センターテーブル★

助手席シート横にテーブルが格納されています。

テーブルを取り出すときはそのまま引き上げます。引き上げたあとはテーブルを下方に押し、確実にロックされていることを確認してください。



格納するときは、レバーを引き上げてテーブルを倒します。倒したあとはテーブル面を押ししてロックさせます。



## ⚠ 注意

- 走行中に熱い飲み物を置かないでください。熱い飲み物がかかると、やけどをするおそれがあります。
- 走行中テーブルの上に重い物を置かないでください。置いたものが落ちてけがをするおそれがあります。
- テーブルの上に乗ったり、重い物を置くなど無理な力をかけないでください。テーブルが破損するおそれがあります。

## 4.快適カーライフのために 室内装備

### カップホルダー★

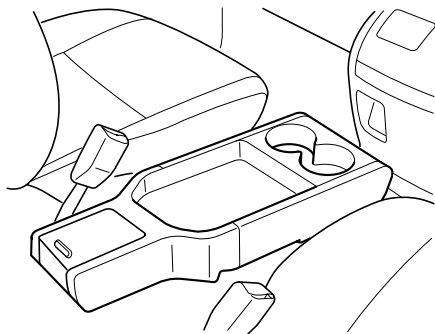


**注意**

走行中は熱い飲み物を置かないでください。熱い飲み物がかかると、やけどをするおそれがあります。

#### フロント

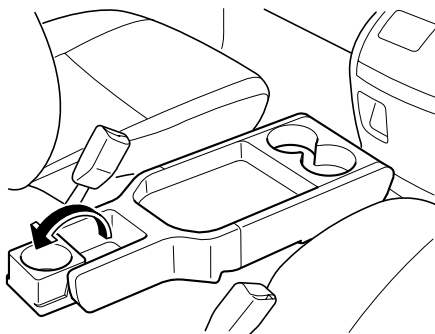
格納式センターテーブルに設置されています。



#### リヤ

#### セカンドシート

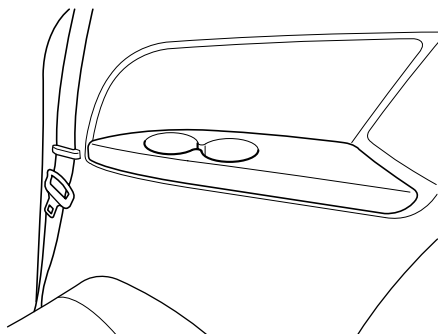
格納式センターテーブルに設置されています。使用するときにはカップホルダー部を手前に出します。



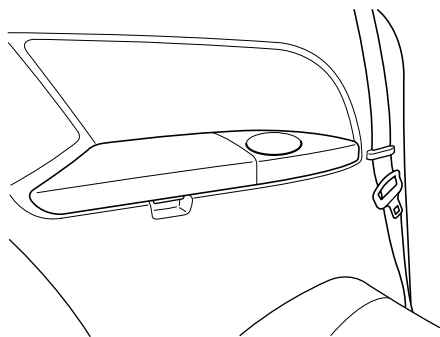
#### サードシート

サードシートのサイドトリムに設置されています。

右側



左側



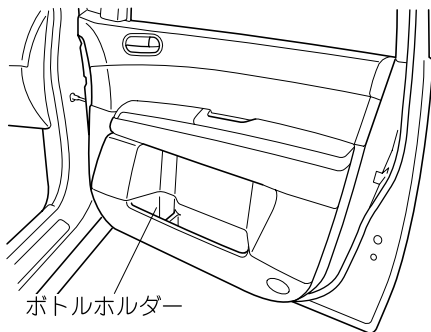
## ボトルホルダー



注意

ふたのないペットボトルなどは置かないでください。走行中やドアを開閉するときにペットボトルなどの中身がこぼれるおそれがあります。

ペットボトルなどを置くことができます。



ボトルホルダー

## 4.快適カーライフのために 室内装備

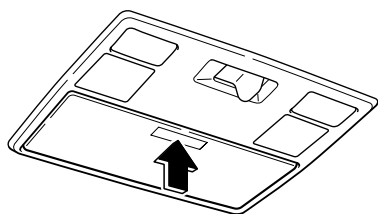
### 収納

#### ⚠ 注意

- フタ付きの収納は、走行中は必ずフタを閉めてください。急ブレーキ時や衝突時にフタや内部の物でけがをするおそれがあります。
- 炎天下に駐車するときは、収納スペース内にメガネやライターを放置しないでください。収納スペース内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

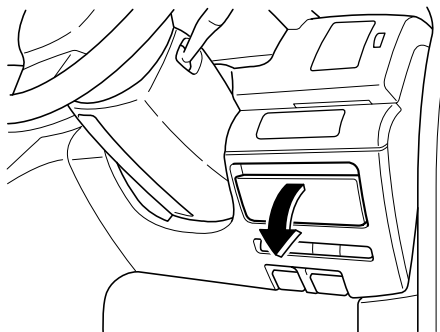
### オーバーヘッドコンソール

メガネやサングラスなどを入れることができます。

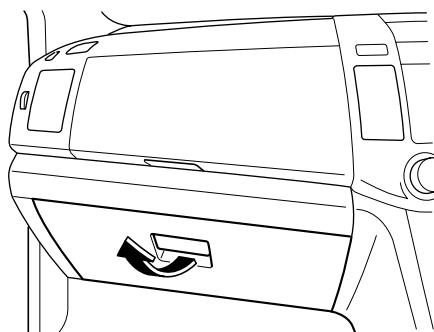


### コインボックス

使用するときには、フタを開きます。



### グローブボックス



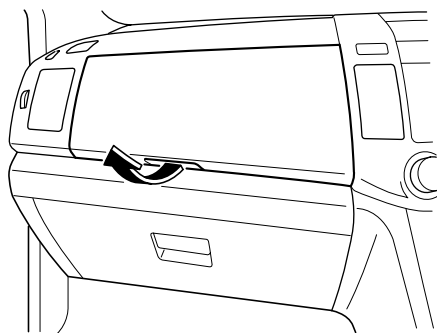
閉めるときは、カチッと音がするまでフタを確実に押さえます。

## アッパーグローブボックス

### ⚠ 注意

フタの上に重いものや熱い飲み物を置かないでください。フタの損傷や、やけどをす  
るおそれがあります。

使用するときは、フタを開きます。



## ラゲッジフック

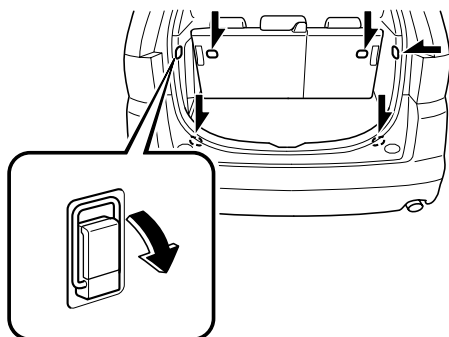
### ⚠ 警告

■ 荷物を積むときは確実に固定して  
ください。

荷物を確実に固定しないと走行中に荷物  
が移動したりくずれたりして、けがや思わ  
ぬ事故につながるおそれがあります。

ロープやネットで荷物を固定するときに使  
用します。

フックの引っ張り荷重は20kgです。ロープ  
を掛けて強く引っ張らないでください。

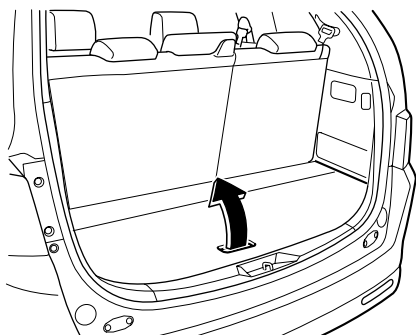


## 4.快適カーライフのために 室内装備

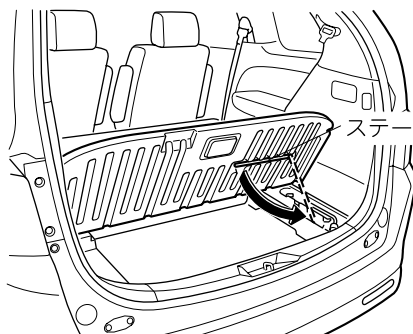
### アンダートランク

#### 使用するとき

- 1 リッドを持ち上げます。



- 2 リッド裏側のステーを取りはずし、ステーを溝に固定します。



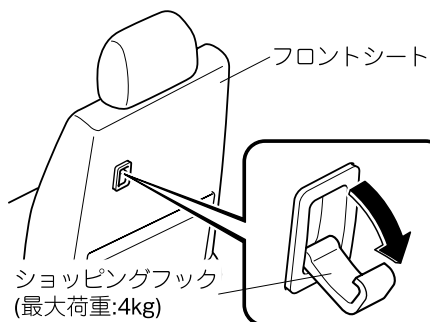
#### もとにもどすとき

- 1 ステーを溝から取りだします。
- 2 ステーを格納部にカチッと音がするまではめ込み、リッドをもとにもどします。

### ショッピングフック

#### ⚠ 注意

フックに最大荷重以上の物をかけないでください。フックが破損したり、かけた物がはずれたりするおそれがあります。





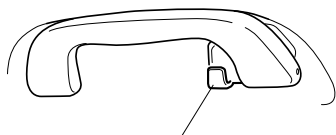
## リヤコートフック



### 警告

■ アシストグリップやコートフックなどには重たいものやとがったものをかけないでください。

服などをかけるときはハンガーを使わないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



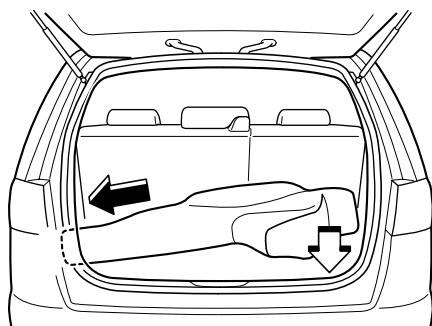
コートフック

## ラゲッジルーム

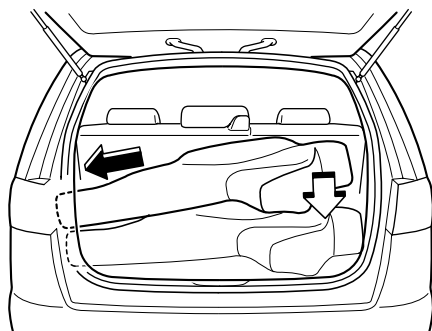
ラゲッジルームにゴルフバッグなどを載せることができます。

ゴルフバッグを2個載せるときは次の手順で行なってください。

- 1 1個目のゴルフバッグのヘッド側を左に向けて入れます。



- 2 1個目のゴルフバッグの上に2個目のゴルフバッグのヘッド側を左に向けて入れます。



### 知識

- ゴルフバッグの大きさによっては入らない場合があります。
- 9インチのゴルフバッグまで収納できます。

# MEMO

## 5 万一のときは

### 故障したとき 244

- 路上で故障したとき ..... 244
- 踏切内で動けなくなったとき ..... 245

### 緊急用具の取り扱い 246

- 発炎筒 ..... 246
- 工具、ジャッキ ..... 247
- ジャッキの取り扱い ..... 249
- スペアタイヤ ..... 252
- タイヤ交換 ..... 253

### パンクしたとき 256

- タイヤパンク応急修理キット ..... 256

### オーバーヒートしたとき 262

- オーバーヒートについて ..... 262

### バッテリーがあがったとき 264

- バッテリーあがりについて ..... 264

### ヒューズ切れ、電球切れのとき 267

- ランプ類、電気装置が作動しないとき ..... 267
- ヒューズの受け持つ装置 ..... 278

### けん引について 283

- けん引してもらうとき ..... 283
- 故障車をけん引するとき ..... 285

### 万一事故が起きたとき 287

## 5.万一のときは 故障したとき

### 路上で故障したとき

一般の道路で動けなくなったときに付近に人がいる場合は救援を求めてください。セレクトレバーをNにいれ、安全な場所まで押し出します。

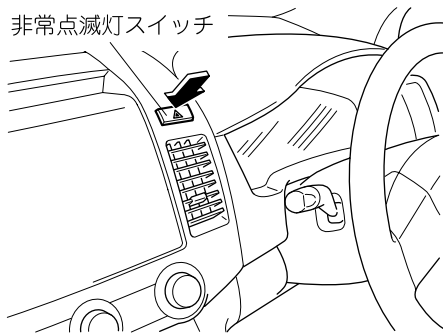
#### 警告

■ 万一、事故や故障などで車から燃料がもれている場合は、すぐにエンジンを止めてください。

爆発、火災につながるおそれがあり危険です。また、発炎筒は車から離れたところで使用してください。

- 1 車を路肩に止め、非常点滅灯を点滅させます。

非常点滅灯スイッチ

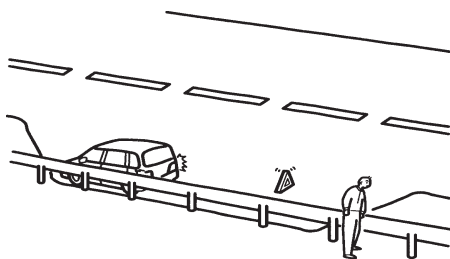


- 2 必要に応じて停止表示板(停止表示灯)、発炎筒を使用し、後続車に故障車であることを知らせます。

→246ページ「発炎筒」

- 高速道路や自動車専用道路などでは車の後方に停止表示板または停止表示灯を置くことが法律で義務づけられています。
- 停止表示板を置くときには、発炎筒を使って合図をするなど、後続車に十分注意してください。

- 3 全員が車から降り、ガードレールの外などの安全な場所に、すみやかに避難してください。



- 4 安全を確保した後、救援を求めます。故障の修理などお困りの際はマツダ販売店へ連絡してください。別冊の「サービス網お客様相談窓口」をご覧ください。

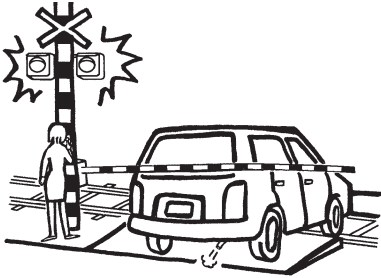
#### 知識

停止表示板(停止表示灯)はお客様のお車に標準で搭載されておりません。万一に備えてあらかじめ用意しておいてください。マツダ販売店でお求めいただけます。

## 踏切内で動けなくなったとき

### 脱輪などで動けなくなったとき

- 1 踏切の非常ボタンを押します。  
緊急を要するときは、発炎筒で列車に合  
図します。  
→246ページ「発炎筒」



- 2 付近の人に救援を求めます。

### エンストで動けなくなったとき

- 1 エンジンをかけ直します。
- 2 エンジンがかからないときは、踏切の非常ボタンを押します。  
緊急を要するときは、発炎筒で列車に合  
図します。  
→246ページ「発炎筒」
- 3 付近の人に救援を求めます。  
セレクトレバーをNにいれ、安全な場所ま  
で押し出します。

## 発炎筒

### 警告

■油、ガソリンなど可燃物の近くでは使用しないでください。  
火災につながるおそれがあります。

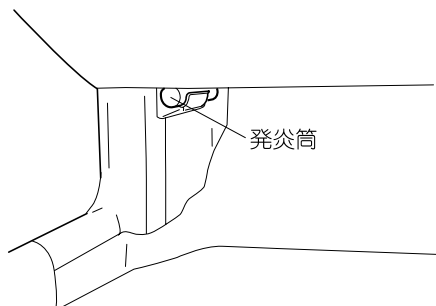
■使用するときは筒先を顔や身体に向けたり近づけたりしないでください。  
やけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

■お子さまにはさわらせないでください。  
誤って使用すると、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。

■トンネル内では発炎筒を使用しないでください。  
トンネル内で発炎筒を使用すると、煙で視界が悪くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。必要なときは非常点滅灯を使用してください。

### 発炎筒について

事故や故障で停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

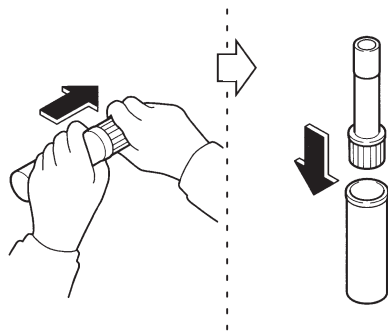


### 知識

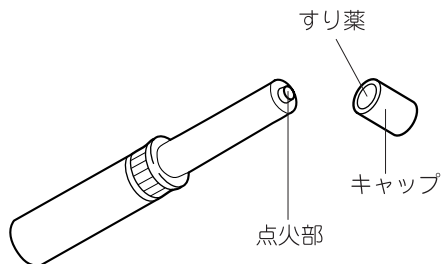
- 発炎筒は点火すると、約5分間燃え続けます。
- 発炎筒には有効期限があります。発炎筒に書いてありますので確認して、有効期限がきる前にマツダ販売店でお求めください。

### 発炎筒の使いかた

- 1 本体をひねりながら取り出し、逆にして差し込みます。



- 2 点火部をキャップの頭部のすり薬でこすると着火します。



## 工具、ジャッキ



### 警告

■ 車に搭載されているジャッキはお客様のお車専用のものです。他の車には使用しないでください。また、他の車のジャッキや車に搭載されているジャッキ以外のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車体が損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。やむをえず、車に搭載されているジャッキ以外を使用するときは、マツダ販売店にご相談ください。



### 注意

- ジャッキはタイヤ交換、タイヤチェーンの取り付け、取りはずし以外に使用しないでください。
- 工具、ジャッキを使用したあとは走行中に動かないよう、所定の位置にしっかりと固定してください。



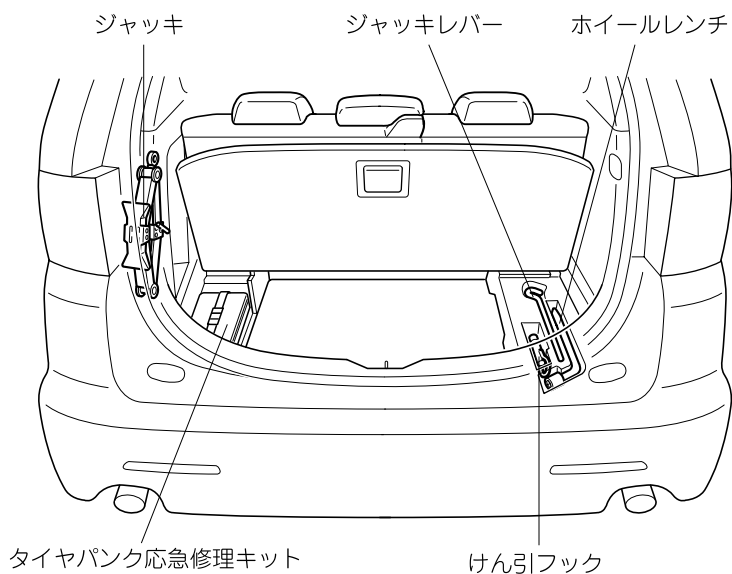
### 知識

スペアタイヤはお客様の車に搭載されておりません。

## 5.万一のときは 緊急用具の取り扱い

---

工具、ジャッキは図の位置に格納されています。





## ジャッキの取り扱い

### ジャッキアップする前に

- 1 交通のさまたげにならず、安全に作業できる地面の平らで固い場所に車を移動します。
- 2 セレクトレバーをPにいます。
- 3 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけ、エンジンを止めます。
- 4 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板(停止表示灯)を使用します。
- 5 人や荷物を降ろし、工具、ジャッキを取り出します。  
→247ページ「工具、ジャッキ」
- 6 輪止めを用意します。



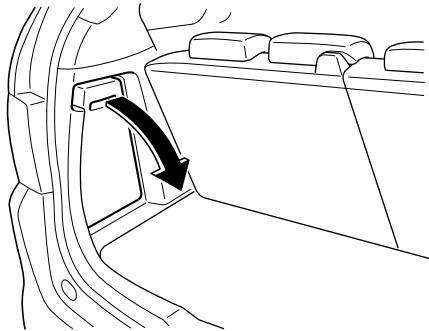
### 知識

輪止めや停止表示板(停止表示灯)はお客様のお車に標準で搭載されておられません。

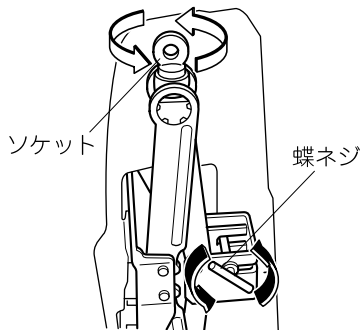
必要に応じてマツダ販売店でお求めください。なお、輪止めには、タイヤを固定できる大きさの石や木材が代用できます。

### 取り出すとき

- 1 カバーを取りはずします。



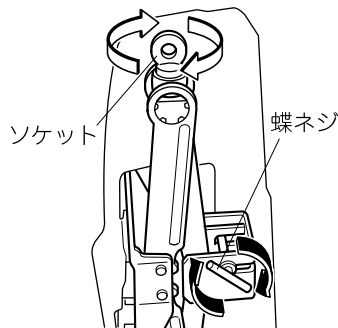
- 2 蝶ネジを左にまわしてはずし、ソケットをゆるめてジャッキを取り出します。



## 5.万有的时候は 緊急用具の取り扱い

### 格納するとき

- 1 ソケットが上側になるような方向で蝶ネジをジャッキに差し込み、右にまわしていったん固定します。
- 2 ソケットを図の方向にまわします。



- 3 蝶ネジをしっかりまわしてジャッキを固定します。

### 知識

ジャッキが完全に固定されていないときは、走行中に音がする場合があります。再度ソケットをまわしてジャッキを固定してください。

### ジャッキアップするとき

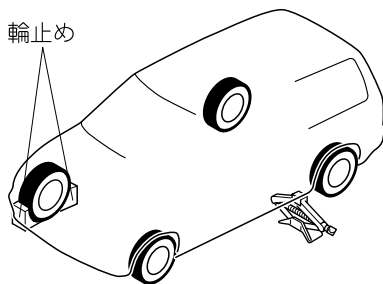
#### 警告

■ ジャッキアップするときはセレクトレバーをPにいれ、パーキングブレーキをかけ、ジャッキをかける位置と対角の位置に輪止めをしてください。

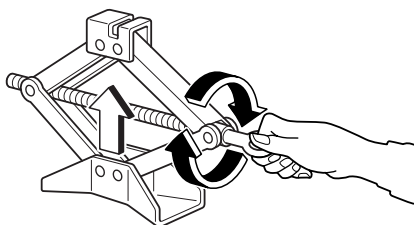
セレクトレバーがPにはいっていても、車が動きジャッキがはずれて思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけ、ジャッキをかける位置と対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。

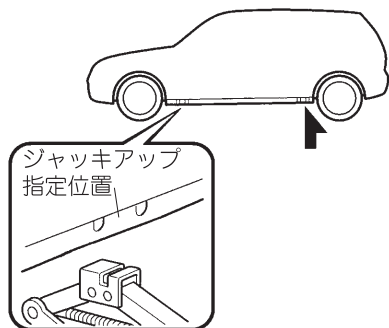
- 前輪をジャッキアップするときは、後輪の前後
- 後輪をジャッキアップするときは、前輪の前後



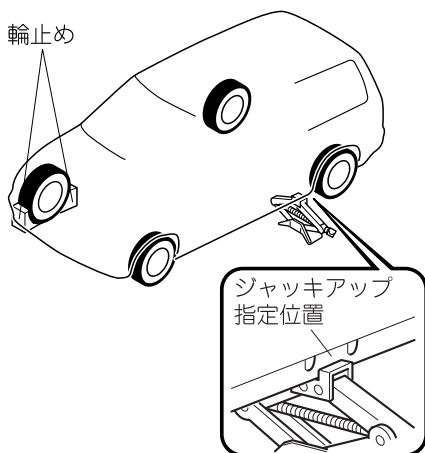
- 2 ジャッキを地面に置きます。
- 3 ジャッキの図の部分を手でまわしてジャッキをジャッキアップ指定位置の近くにするよう調節します。



- 4 ジャッキをジャッキアップ指定位置に直角にセットします。



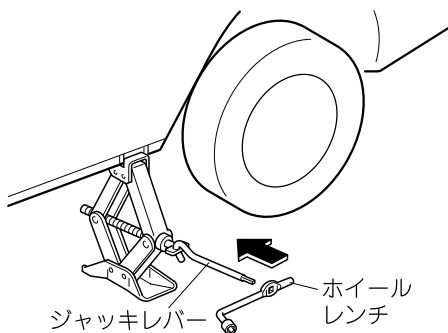
- 5 ジャッキを徐々に上げて、ジャッキアップ指定位置にジャッキがはまっていることを確認します。



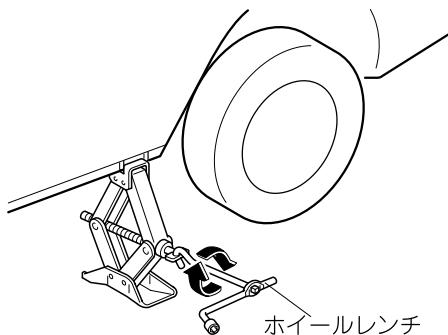
## 警告

- ジャッキアップ指定位置以外にジャッキをかけたり、ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。  
車体の変形したり、ジャッキがはずれたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 6 ジャッキにジャッキレバーをかけ、ジャッキレバーにホイールレンチを組み付けます。



- 7 タイヤが地面から少し離れるまで車をジャッキアップします。



## 5.万有的时候は 緊急用具の取り扱い

### 警告

■必要以上にジャッキアップしないでください。

車体が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ジャッキアップした状態で車のエンジンをかけないでください。

ジャッキがはずれた場合、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ジャッキアップした車の下には絶対にはいらないでください。

万一ジャッキがはずれた場合、重大な傷害につながるおそれがあります。

### 注意

人を乗せたままジャッキアップしないでください。

## スペアタイヤ

スペアタイヤはお客様のお車に標準で搭載されておりません。必要に応じてマツダ販売店でお求めください。スペアタイヤの取り扱いについては、スペアタイヤに付属の取扱説明書をご覧ください。

### 警告

■他のタイヤやホイールと組み合わせて使用したり、他の車に使用しないでください。

購入されたスペアタイヤとホイールは、お客様のお車専用のもので、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 応急用スペアタイヤについて

応急用スペアタイヤはパンクしたとき一時的に使用するものです。

### 注意

- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、車体が少し傾き、車高が低くなります。地面の突起物などを乗り越えるときは、車体が地面に接触しないように慎重に運転してください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンを装着しないでください。タイヤチェーンが車体側に当たったり、走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。積雪路、凍結路で前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に使用し、はずした後輪を前輪につけてからタイヤチェーンを装着してください。

## 知識

- 応急用スペアタイヤの空気圧を定期的に点検してください。  
適正空気圧は420kPa (4.2kgf/cm<sup>2</sup>) です。
- 摩耗限界表示 (ウェアインジケーター) が表れたら、タイヤを交換してください。  
→295ページ「タイヤの点検」
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、4WD警告灯が点滅します。4WD警告灯が点滅したときは、4WDは作動しませんが、前輪駆動での通常走行は可能です。
- 応急用スペアタイヤに標準タイヤのホイールキャップは取り付けできません。

## タイヤ交換



### 警告

- **タイヤを交換するときは前後輪とも必ず指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。**

指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



### 知識

タイヤサイズは、運転席ドアを開けたボディ側に貼付されているラベルで確認してください。  
くわしくはマツダ販売店にご相談ください。

## タイヤ交換をする前に

- 1 交通のさまたげにならず、安全に作業できる地面が平らで固い場所に車を移動します。
- 2 プレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけエンジンを止めます。
- 3 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板 (停止表示灯) を使用します。
- 4 人や荷物を降ろし、工具、ジャッキを取り出します。  
→247ページ「工具、ジャッキ」
- 5 輪止めを用意します。

## 5.万一のときは 緊急用具の取り扱い

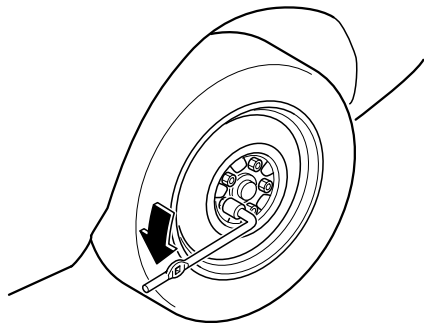
### 知識

輪止めや停止表示板(停止表示灯)はお客  
様のお車に標準で搭載されておりませ  
ん。

必要に応じてマツダ販売店でお求めくだ  
さい。なお、輪止めには、タイヤを固定で  
きる大きさの石や木材が代用できます。

### タイヤの取りはずし

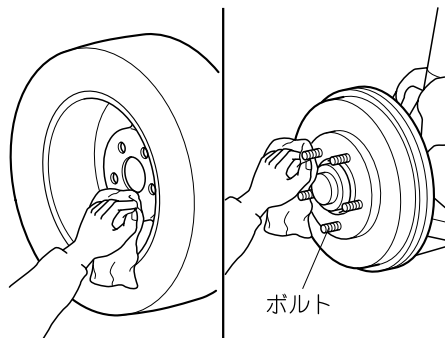
- 1 ホイールレンチでナットを左に約1回転  
まわしてゆるめます。



- 2 タイヤが地面から少し離れるまで車を  
ジャッキアップします。  
→250ページ「ジャッキアップする  
とき」

- 3 ナットをはずし、タイヤを取りはずしま  
す。

- 4 ボルトとホイール裏側の接触面に付着し  
ている汚れを布などでふき取ります。

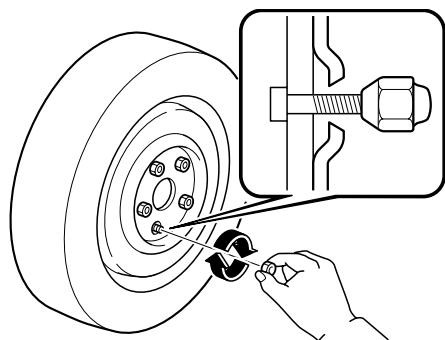


### 警告

ボルトやホイール裏側の接触面がホコリな  
どで汚れていると、走行中にナットがゆる  
みタイヤがはずれ、思わぬ事故につな  
がるおそれがあります。

### タイヤの取り付け

- 1 タイヤを取り付けてから、ナットのテー  
パー部分がホイールのシート部に軽くあた  
る程度まで、ナットを右にまわして仮締  
めします。





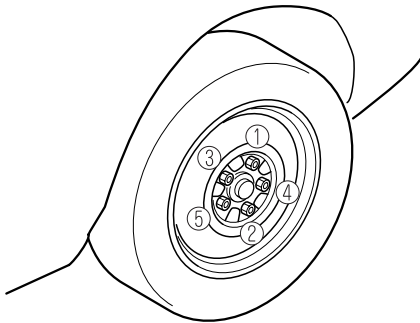
## 警告

ナットやボルトにオイルやグリースをぬらないでください。ナットがゆるんでタイヤがはずれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、必要以上に締め付けられて、ナットやボルトが破損するおそれがあります。

- 2 ジャッキハンドルを左にまわし、車をおろします。
- 3 ホイールレンチで図の番号順にナットを2~3回に分けて締め付けます。

ナットの締め付けトルク:

N·m (kgf·m)	108~147 (11~15)
-------------	--------------------



## 注意

ホイールレンチを足で踏んでナットを必要以上に締め付けしないでください。ボルトが破損するおそれがあります。



## 知識

- タイヤを交換してから約1,000km走行した後、ナットにゆるみがないことを確認してください。
- タイヤを交換した後はホイールバランスが狂うことがあります。走行中に車体の振動などの異常を感じたら、マツダ販売店で点検を受けてください。

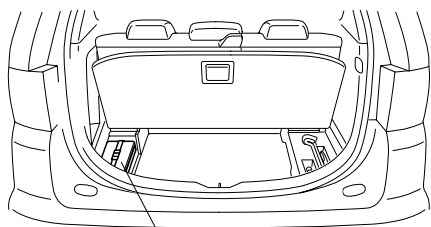
## 5.万有的时候は パンクしたとき

### タイヤパンク応急修理 キット

本キットはタイヤの接地面に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを一時的に修理するものです。

タイヤに刺さった釘やネジなどを抜かず、応急修理してください。

タイヤパンク応急修理キットは図の位置に格納されています。



タイヤパンク応急修理キット

#### 知識

- お客様のお車にはスペアタイヤが搭載されておりません。タイヤがパンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットを使用し、パンクタイヤを一時的に修理してください。修理するときは、タイヤパンク応急修理キット内に付属している取扱説明書もあわせてご覧ください。
- タイヤパンク応急修理キットで応急修理をしたタイヤは、できるだけ早く新しいタイヤに交換することをおすすめします。修理・再使用については、マツダ販売店にご相談ください。

### タイヤパンク応急修理キット について

タイヤパンク応急修理キット内には、次のものが格納されています。







## 警告

■ 万一飲用したときは、すぐに多量の水を飲み、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。修理剤を飲用すると健康に害があります。

■ 修理剤が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗淨してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。

■ お子さまには修理剤をさわらせないでください。誤って使用すると、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。

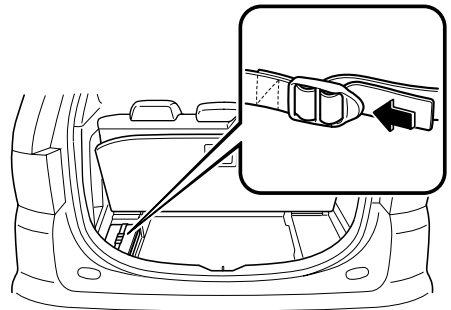


## 知識

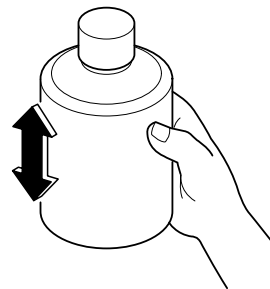
- 一度使用した修理剤は再使用できません。新しい修理剤をマツダ販売店で求めください。
- 次のようなときには、修理剤を使用することができません。マツダ販売店またはJAFなどに連絡してください。
  - ・ 修理剤の有効期限がきれているとき (有効期限はボトルのラベルに記載されています)
  - ・ 約4mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
  - ・ 接地部以外が損傷を受けたとき
  - ・ ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
  - ・ タイヤがホイールからはずれているとき
  - ・ ホイールが破損しているとき
  - ・ タイヤが2本以上パンクしているとき

## タイヤパンク応急修理キットの使いかた

- 1 交通のさまたげにならず、安全に作業できる地面の平らで固い場所に車を移動します。
- 2 セレクトレバーをPにいます。
- 3 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけ、エンジンを止めます。
- 4 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板 (停止表示灯) を使用します。
- 5 人や荷物を降ろし、タイヤパンク応急修理キットを取り出します。



- 6 修理剤のボトルをよく振ります。



## 5.万一のときは パンクしたとき

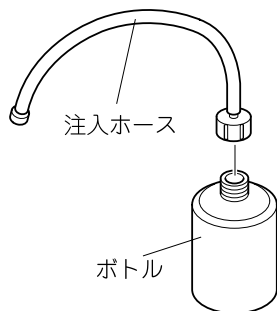
### ⚠ 注意

注入ホースをねじ込んだ後にボトルを振ると、修理剤が注入ホースから飛び散るおそれがあります。修理剤が衣服などに付着すると取れないおそれがありますので、注入ホースをねじ込む前にボトルを振ってください。

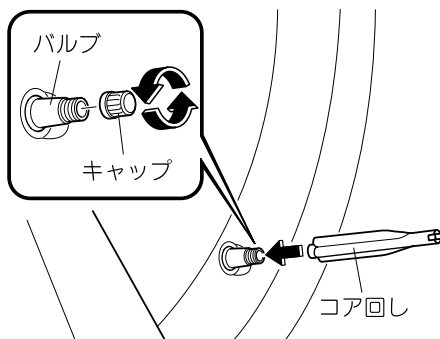
### 📖 知識

0°C以下の寒冷時では修理剤が固まりやすくなり、注入作業がしにくくなります。車内などで暖めると注入作業がしやすくなります。

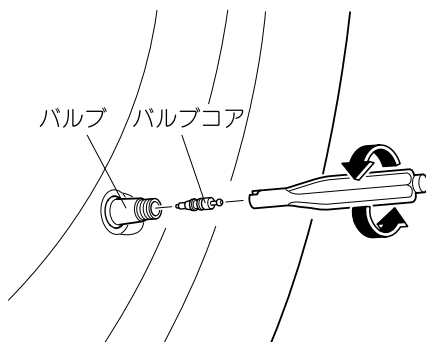
- 7 ボトルのキャップをはずします。内ぶたをつけたままの状態では注入ホースをボトルにねじ込むと、ボトルの内ぶたが破れます。



- 8 パンクしたタイヤのバルブからキャップを取りはずし、コアまわしの後ろでバルブ内のバルブコアを押し、タイヤの空気を完全に抜きます。



- 9 コアまわしでバルブコアを左にまわし、バルブコアを取りはずします。



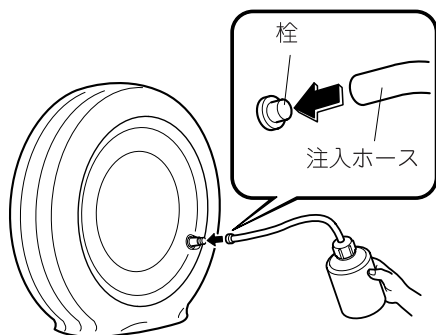
### ⚠ 注意

バルブコアをはずすとき、タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出すおそれがあります。バルブコアは慎重に取りはずしてください。

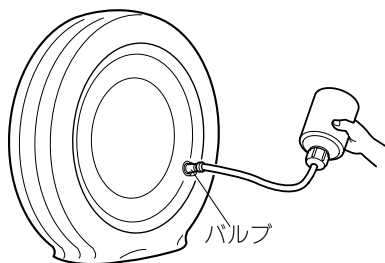
### 📖 知識

バルブコアは汚れないように保管してください。

- 10 注入ホースの栓をはずし、注入ホースをバルブに差し込みます。



- 11 ボトルを逆さまにして持ち、手でボトルを圧迫し、修理剤を全てタイヤの中に注入します。

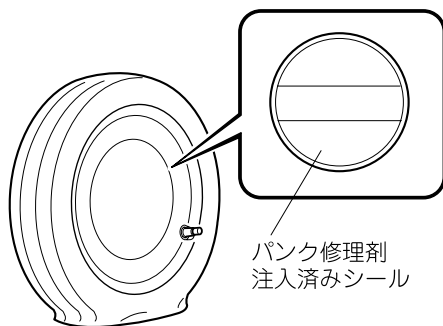


### 知識

一度使用した修理剤は再使用できません。新しい修理剤をマツダ販売店でお求めください。

- 12 注入ホースをバルブから引き抜き、コアまわしでバルブコアを右にまわし、バルブにバルブコアを取り付けます。

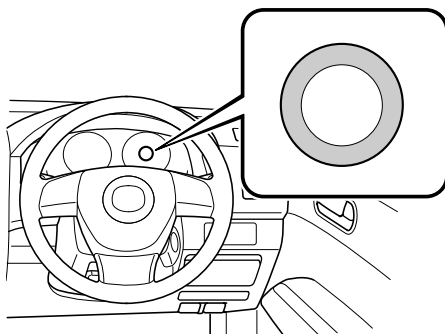
- 13 パンク修理剤注入済みシールをホイールの平らなところに貼ります。



### 知識

注入が完了した空ボトルは、タイヤ交換または恒久修理の際に修理剤の回収に使用しますので、ボトルは捨てずにマツダ販売店までお持ちください。

- 14 運転者のよく見えるところに速度制限シールを貼ります。



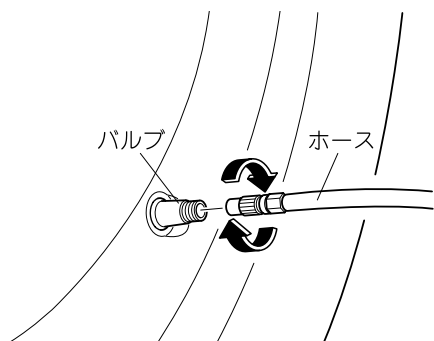
## 5.万有的时候は パンクしたとき

### 警告

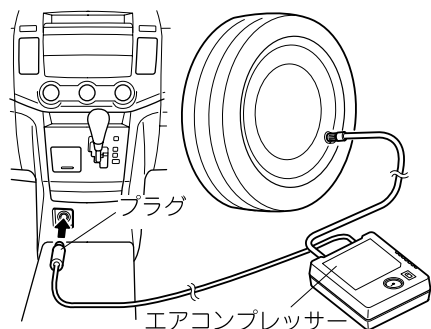
■ ハンドルのパッド部に制限速度シールを貼らないでください。

万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置には貼らないでください。

- 15 エアコンプレッサーのホースをバルブに取り付けます。



- 16 エアコンプレッサーのプラグを車内のシガーライター部に差し込み、電源ポジションをACCにします。



### 注意

- シガーライター部にエアコンプレッサーのプラグを抜き差しするときは、エアコンプレッサーのスイッチがOFFになっていることを確認してください。
- エアコンプレッサーのON、OFFはエアコンプレッサー本体のスイッチで行ってください。

- 17 エアコンプレッサーのスイッチをONにして、タイヤを適正空気圧まで昇圧します。

### 知識

- タイヤの適正空気圧は運転席ドアを開けたボディ側側に貼付されているラベルで確認してください。
- エアコンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。
- タイヤ空気圧が昇圧できない場合は修理できません。もし、10分以内に適正空気圧にならなければ、タイヤがひどい損傷を受けている可能性があります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。マツダ販売店またはJAFなどに連絡してください。
- 空気を入れすぎたときはエアコンプレッサーのホースの口金を緩めて空気を抜いてください。

- 18 適正空気圧まで昇圧できたら、エアコンプレッサーのスイッチをOFFにしエアコンプレッサーのホースをバルブから抜きます。

- 19 バルブキャップを取り付けます。

- 20 修理剤をタイヤ内にゆきわたらせるため、直ちに走行を始めます。

## 注意

80km/h以下の速度で慎重に運転してください。80km/h以上の速度で走行した場合、車体が振動することがあります。

- 21 10分間もしくは5km程度走行後に手順15の方法でタイヤにエアコンプレッサーを接続し、エアコンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックします。適正空気圧より低下していたら、手順16の作業から再度行ないます。

## 警告

■ 空気圧が130kPa (1.3kgf/cm<sup>2</sup>) 以下に低下していたら、本修理キットによる応急修理はできません。

運転を中止してマツダ販売店またはJAFなどに連絡してください。

■ 手順15～21の作業を繰り返しても、空気圧の低下が認められる場合は、運転を中止してください。

マツダ販売店またはJAFなどに連絡してください。

## 知識

タイヤ空気圧を空気圧計で確認するときは、エアコンプレッサーのスイッチをOFFにしてから確認してください。

- 22 空気圧が低下していなければ、応急修理完了です。

すみやかにマツダ販売店まで慎重に運転し、新しいタイヤに交換をすることをおすすめします。修理・再使用する場合はマツダ販売店にご相談ください。

## 知識

- タイヤパンク応急修理キットで応急修理をしたタイヤは、できるだけ早く新しいタイヤに交換することをおすすめします。修理・再使用については、マツダ販売店にご相談ください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できます。ただし、バルブは新しいものと取り替えてください。

## タイヤパンク応急修理キットの点検

タイヤパンク応急修理キットの点検は定期的に行なってください。

- 修理剤の有効期限の確認
- コンプレッサーの作動の確認

## 知識

修理剤には有効期限があります。有効期限がきたものは使用できませんので、ボトルのラベルに記載されている有効期限を確認し、有効期限がきる前にマツダ販売店で新しい修理剤をお求めください。

## オーバーヒートについて

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温計の針がH付近を示し、エンジンの出力が急に低下したとき。
- エンジンルームから蒸気が出ているとき。



### 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。

エンジンルーム内が熱いとき、ボンネットを開けると、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。また、蒸気が出てない場合でも高温になっている部分があります。ボンネットを開けるときは十分に注意してください。



- エンジンが十分に冷えるまではラジエーターとリザーバータンクのキャップを開けないでください。

エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



- エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れないようにしてください。

特に、エンジンルームが高温のときは、エンジンが止まってもファンが回転することがあるため、手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

## 処置方法

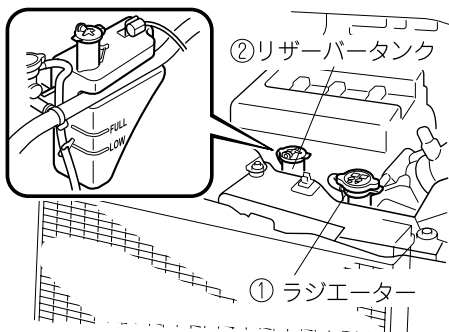
- 1 安全な場所に車を止めます。
- 2 エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。  
エンジンルームから蒸気が出ていないときは  
エンジンをかけたままボンネットを開け、エンジンを冷やします。  
エンジンルームから蒸気が出ているときは  
エンジンを止めてください。蒸気が出なくなるまで待ち、風通しをよくするためにボンネットを開け、エンジンを始動してください。
- 3 クーリングファンが作動していることを確認し、水温計の針が下がってきたらエンジンを止めます。



### 注意

クーリングファンが作動していないときは、エンジン温度がさらに上昇します。ただちにエンジンを止め、マツダ販売店にご連絡ください。

- 4 エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量を点検します。量が不足しているときは①ラジエーター②リザーバータンクの順に冷却水を補充してください。補充後はキャップを確実に取り付けてください。



### 警告



- エンジンが十分に冷えるまではラジエーターとリザーバータンクのキャップを開けないでください。

エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



### 知識

- 冷却水がない場合は、一時的に水を補充してください。一時的に水だけを補充したときは、冷却水の濃度をもとにもどしてください。
- 冷却水を補充しても少なくなるときは、冷却水のもれが考えられます。早めにマツタ販売店で点検を受けてください。

### バッテリーあがりについて

次のような状態はバッテリーあがりです。

- スターターがまわらない。またはまわっても回転が弱く、なかなかエンジンがかからない。
- ホーンの音が小さい、または鳴らない。
- ランプ類がいつもより極端に暗い。



#### 警告

正しく安全にバッテリーを取り扱うために、バッテリー使用前または点検前には必ず次の注意事項をお読みください。

■ バッテリーを取り扱うときは必ず保護メガネを着用してください。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目に入ると失明など重大な傷害につながるおそれがあります。また、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

■ バッテリーを取り扱うときはバッテリー液をこぼさないでください。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。

■ バッテリーの近くでお子さまを遊ばせないでください。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。

■ バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけないでください。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。火気の発生を防ぐため、+ 端子や- 端子に工具などの金属部分が触れないようにしてください。また、ブースターケーブルの接続、取りはずしのときは、+ 端子がボディーや- 端子に触れないように十分注意してください。

■ 換気の悪い場所では、バッテリーの充電を行なわないでください。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。

■ ブースターケーブルを使用してエンジンを始動する前に必ずバッテリー液の量を点検してください。

バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。



## 処置方法

押しがけによる始動はできません。  
別売のブースターケーブルを使用して、救援車（他の車）のバッテリーと自車のバッテリーを接続してエンジンをかけます。  
自車と同じ12Vバッテリーを搭載した救援車を依頼してください。

### 注意

ブースターケーブルを接続するときは慎重に行なってください。ブースターケーブルがベルトなどの回転部に巻き込まれるおそれがあります。

- 1 自車のバッテリーと救援車のバッテリーが一番近い位置になるように、車を移動させます。
- 2 ヘッドランプやエアコンなどの電源が切っていることを確認します。

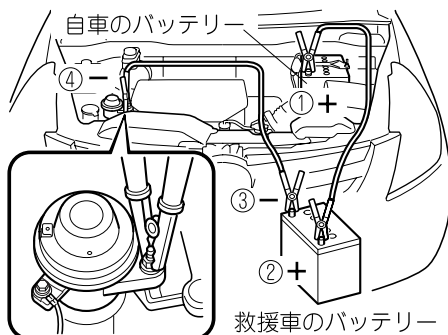
- 3 救援車のエンジンを止めて、ブースターケーブルを次の順で接続します。  
ブースターケーブルを接続する前に各バッテリーの端子（+、-）の位置を確認してください。

#### 1本目

- ① 自車のバッテリーの+ 端子
- ② 救援車のバッテリーの+ 端子

#### 2本目

- ③ 救援車のバッテリーの- 端子
- ④ 図で表示の箇所（アースを取る）



### 警告

■ バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけないでください。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。  
また、火花の発生を防ぐため次の点を必ず守ってください。

- ④ の接続は自車バッテリーの- 端子につながないでください。
- ブースターケーブルの接続、取りはずしの際は、+ 端子がボディーや- 端子に触れないように十分注意してください。

- 4 救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を高めにします。

## バッテリーがあがったとき

---

- 5] 自車のエンジンをかけます。約3分間エンジンを回転させて、応急的に自車のバッテリーを充電します。



### 警告

■ 充電中はバッテリーに近づかないでください。

バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。

- 6] ブースターケーブルを接続したときと逆の順で取りはずします。
- 7] 早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

## ランプ類、電気装置が作動しないとき

ランプ類が点灯しないときや電気装置が作動しないときは、ヒューズ切れや電球切れが考えられます。  
まずヒューズを点検し、必要に応じて交換してください。

### 知識

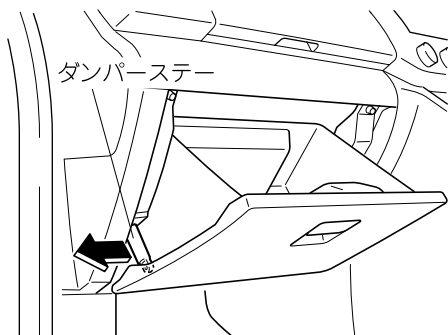
ヒューズは電気装置を過負荷から保護する働きをしています。

## ヒューズの交換

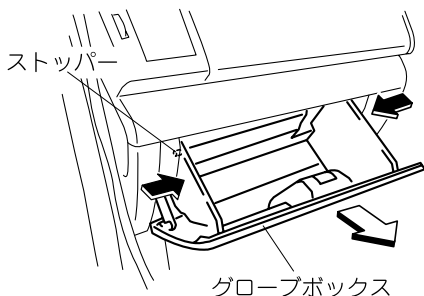
電源ポジションをOFFにし、ヒューズを点検、交換するために、グローブボックスまたはカバーを取り外します。ヒューズの点検、交換後、グローブボックスおよびカバーをもとにもどし、確実に取り付けられていることを確認します。

### 室内ヒューズの場合

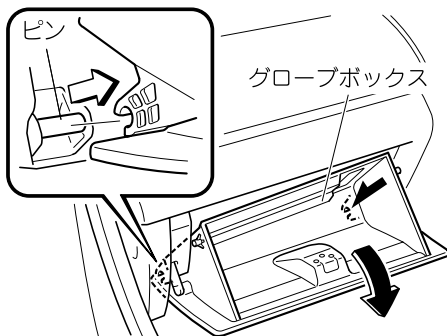
- 1 グローブボックスを開けます。
- 2 ダンパーステーを外側にはずします。



- 3 グローブボックスの側面を内側にたわませながら下に傾け、ストッパーをはずします。



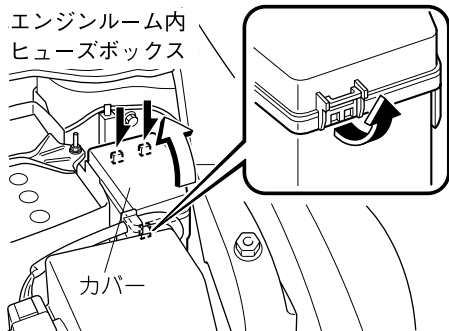
- 4 グローブボックスを下方方向に降ろし、ピンからグローブボックスを切り離し、グローブボックスを取りはずします。



## 5.万有的时候は ヒューズ切れ、電球切れのとき

### エンジンルーム内ヒューズの場合

カバーを取りはずします。



### ヒューズの点検、交換

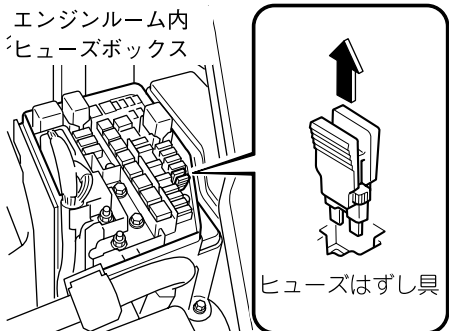
#### 知識

- 各ヒューズはグレードや仕様により無い場合があります。
- グローブボックスの裏側、ヒューズボックスのカバー裏側に各ヒューズの規定容量が表示されています。

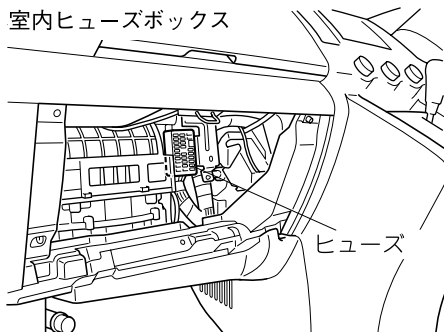
1 ヒューズの位置を確認し、故障の状況から、点検すべきヒューズを確認してください。

→278ページ「ヒューズの受け持つ装置」

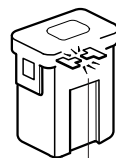
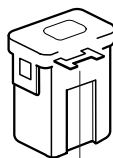
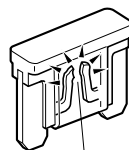
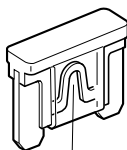
2 ヒューズを抜き取ります。



### 室内ヒューズボックス



3 ヒューズを点検し、切れている場合は、規定容量のヒューズと交換します。





## 警告

規定容量を超えるヒューズを使用したり、ヒューズの代わりに針金や銀紙などを使用しないでください。  
配線などが過熱し、焼損して火災になるおそれがあります。

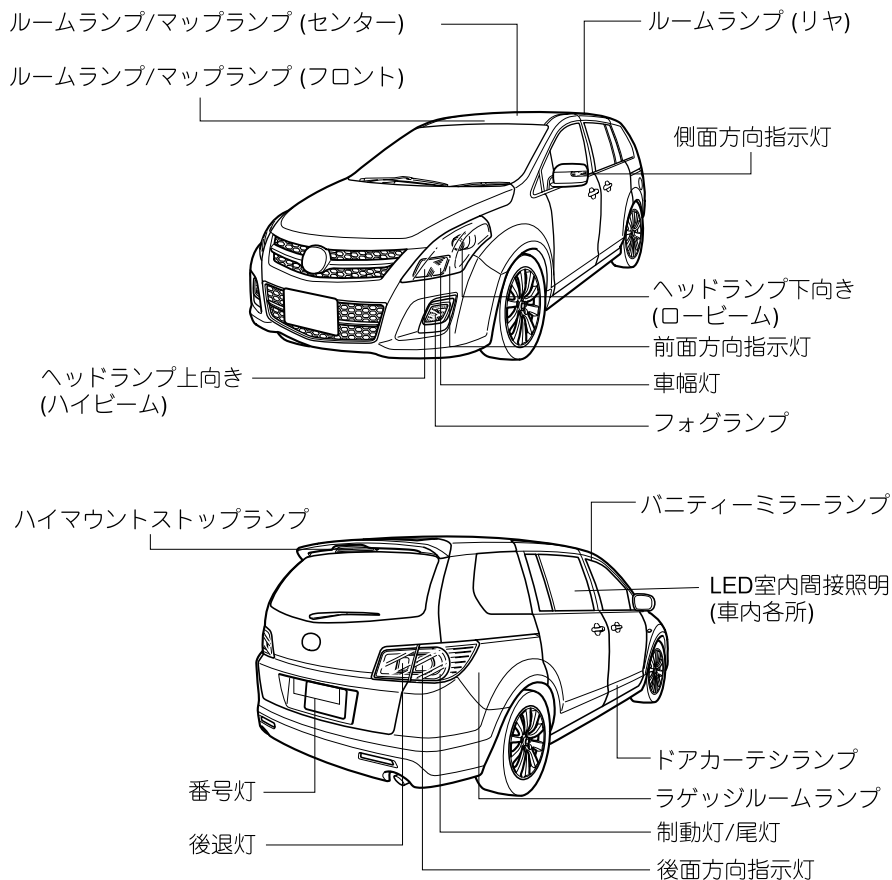


## 知識

- ヒューズが切れていないとき、またはヒューズを交換してもランプ類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。
- ヒューズが切れていないとき、またはヒューズを交換しても電気装置が作動しないときは、マツダ販売店で点検を受けてください。
- ヒューズを交換してもすぐ切れる場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

## 5.万有的时候は ヒューズ切れ、電球切れのとき

### 電球 (バルブ) の交換



ヒューズが切れていないのにランプ類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。記載されていない電球の交換については、マツダ販売店にご相談ください。



## 警告

ヘッドランプのロービームにはディスチャージヘッドランプが装備されています。ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。ディスチャージヘッドランプの交換・修理をするときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。



## 注意

- 電球を交換するときは、各ランプを消灯させ、電球が冷えてから交換してください。やけどをするおそれがあります。
- 電球および電球固定具の取り付けは確実に行ってください。確実に取り付けされていないと、水入りなどによる故障およびレンズ内面の曇りにつながるおそれがあります。
- ハロゲン球はガラス内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶついたり、傷をつけたりすると破損してガラスが飛散するおそれがあります。取り扱いには十分注意してください。また、素手で触れずにきれいな手袋を着用してください。



## 知識

- ハロゲン球を素手で触れてはいけませんが、万一、誤ってハロゲン球に触れてしまったときは、水で薄めた中性洗剤（約5%）をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ってください。
- 必ず同じW数の電球を使用してください。
- ヘッドランプ、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、マツダ販売店にご相談ください。

## 5.万有的时候は ヒューズ切れ、電球切れのとき

### ヘッドランプ下向き (ロービーム)



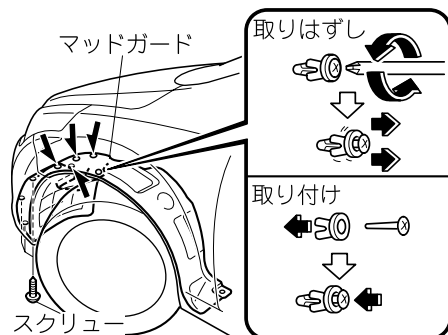
**警告**

ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。ディスチャージヘッドランプの交換・修理をするときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。

### ヘッドランプ上向き (ハイビーム)、前 面方向指示灯、車幅灯

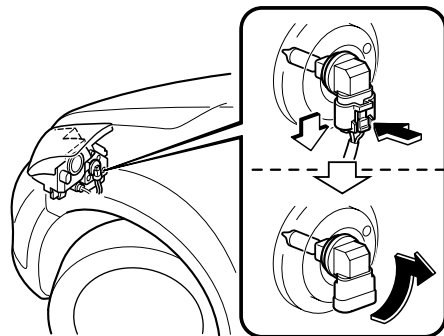
#### (助手席側ランプ交換)

- 1 左方向にハンドルをいっぱいにきります。
- 2 ファスナー、ネジをはずし、マッドガードをめくります。

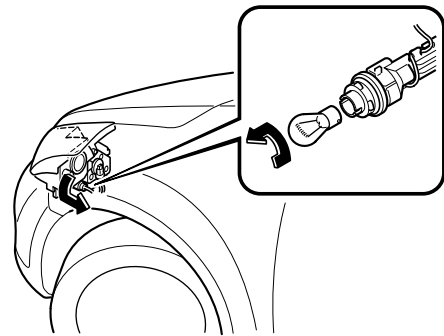


- 3 ヘッドランプ上向き (ハイビーム) 交換は、ツメを押してコネクターを引き抜き、ソケットをまわして取りはずします。前面方向指示灯、車幅灯交換はソケットをまわして取りはずし、電球を取ります。

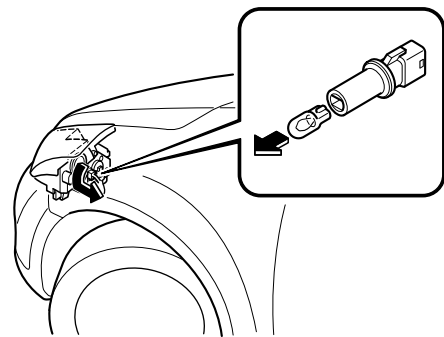
### ヘッドランプ上向き (ハイビーム)



#### 前面方向指示灯



#### 車幅灯



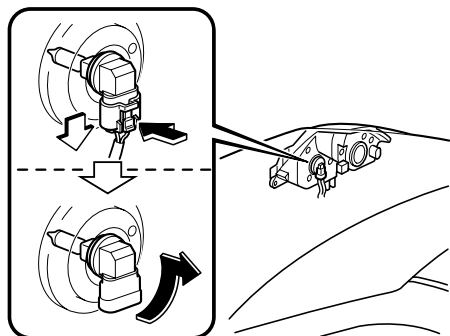
- 4 電球を取り換えます。
- 5 はずした手順と逆の手順で取り付けます。



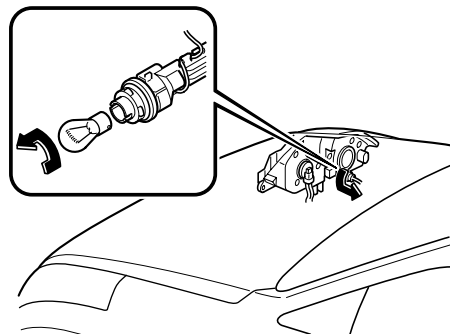
## (運転席側ランプ交換)

- 1 ボンネットを開けます。
- 2 ヘッドランプ上向き (ハイビーム) 交換は、ツメを押してコネクターを引き抜き、ソケットをまわして取りはずします。  
前面方向指示灯、車幅灯交換はソケットをまわして取りはずし、電球を取ります。

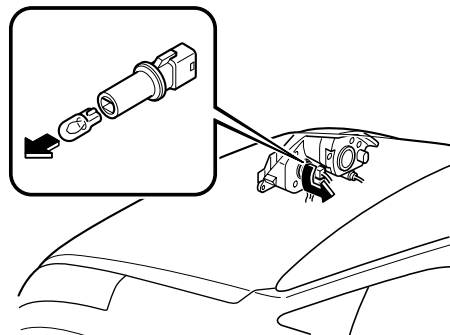
### ヘッドランプ上向き (ハイビーム)



### 前面方向指示灯



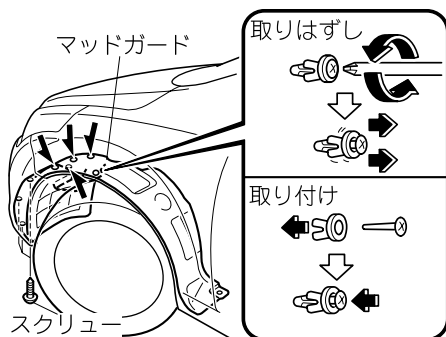
## 車幅灯



- 3 電球を取り換えます。
- 4 はずした手順と逆の手順で取りつけます。

## フォグランプ

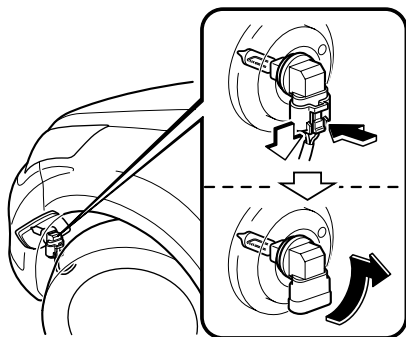
- 1 交換する側と同じ方向にハンドルをいっぱいにきります。
- 2 ファスナー、ネジをはずし、マッドガードをめくります。



- 3 ツメを押し、コネクターをはずします。

## 5.万有的时候は ヒューズ切れ、電球切れのとき

- ④ ソケットをまわして取りはずします。



- ⑤ 電球を取り換えます。

- ⑥ はずした手順と逆の手順で取りつけます。

### 側面方向指示灯

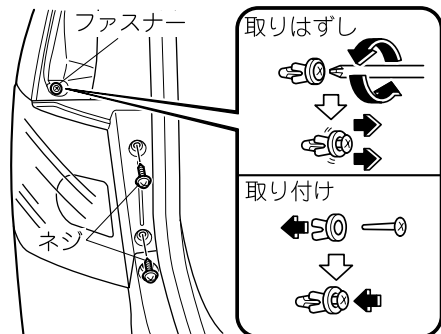
ドアミラー横にある側面方向指示灯はLEDタイプの電球のため交換できません。交換については、マツダ販売店へご相談ください。

### 制動灯/尾灯、ハイマウントストップランプ、LED室内間接照明

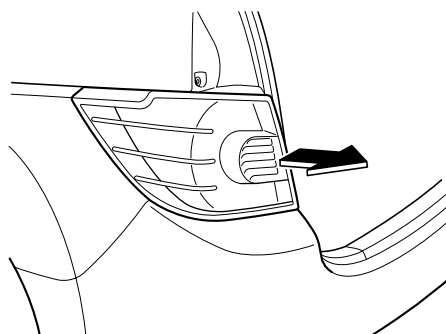
LEDタイプの電球のため交換はできません。交換については、マツダ販売店へご相談ください。

### 後方向指示灯

- ① ファスナー、ネジをはずします。

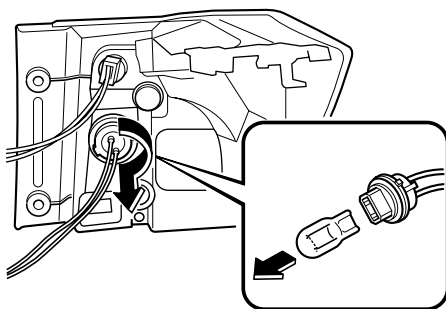


- ② ユニートを車両後方に引き、取りはずします。



- ③ ソケットをまわして取りはずします

- ④ ソケットから電球をはずします。



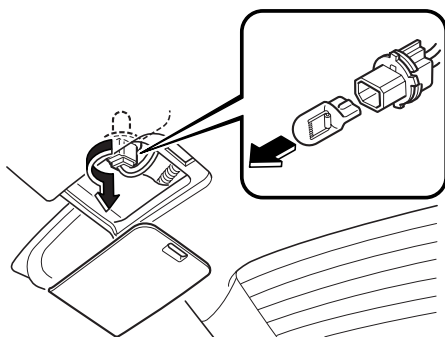
- ⑤ 電球を取り換えます。

- ⑥ はずした手順と逆の手順で取りつけます。

### 後退灯

- ① カバーを取りはずします。  
② ソケットを回して取りはずします。

- 3 ソケットから電球をはずします。

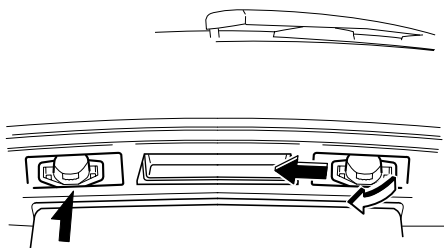


- 4 電球を取り換えます。

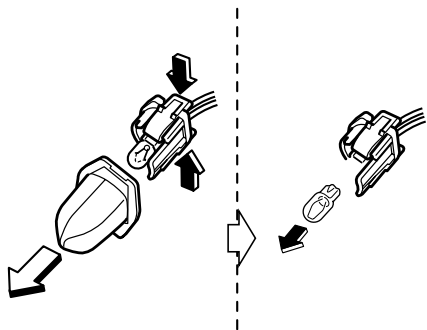
- 5 はずした手順と逆の手順で取りつめます。

### 番号灯

- 1 車両左側にスライドさせ、取りはずします。



- 2 カバーを取りはずし、電球を抜き取ります。



- 3 電球を取り換え、カバーを取り付けます。

- 4 右側を車両にはめ、左側を押し込みます。

### ルームランプ/マップランプ (フロント、センター)

ルームランプ/マップランプ(フロント、センター) 交換は車体を傷つける恐れがあります。

ルームランプ/マップランプ(フロント、センター) を交換するときはマツダ販売店へご相談ください。

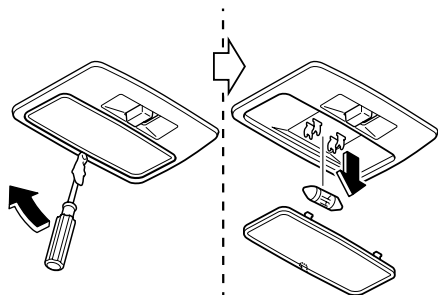
### ルームランプ (リヤ)、ラゲッジルームランプ、ドアカーテシランプ、バニティミラーランプ

- 1 マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、レンズを取りはずします。

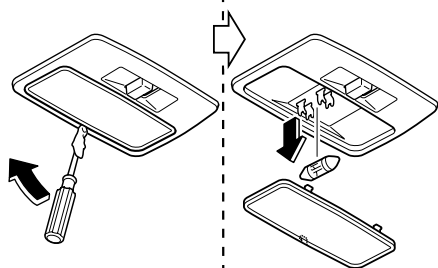
- 2 電球を抜き取ります。

## 5.万有的时候は ヒューズ切れ、電球切れのとき

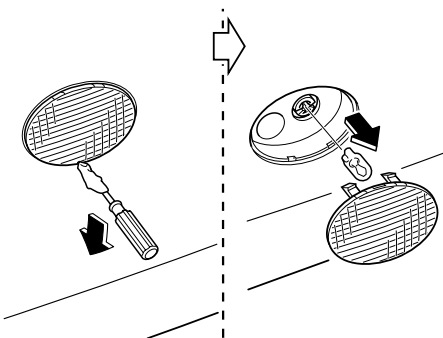
### ルームランプ (リヤ)



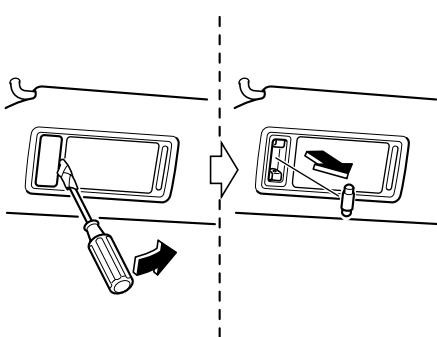
### ラゲッジルームランプ



### ドアカーテシランプ



### バニティーミラーランプ



- 3 電球を取り換えます。
- 4 はずした手順と逆の手順で取りつけます。

### ⚠ 注意

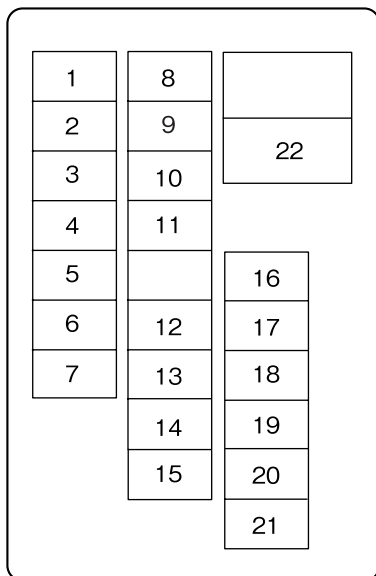
レンズを取りはずすときは、マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてご使用ください。マイナスドライバーが直接レンズに当たると、傷がつくおそれがあります。



5.万一のときは  
ヒューズ切れ、電球切れのとき

## ヒューズの受け持つ装置

### 室内ヒューズボックス

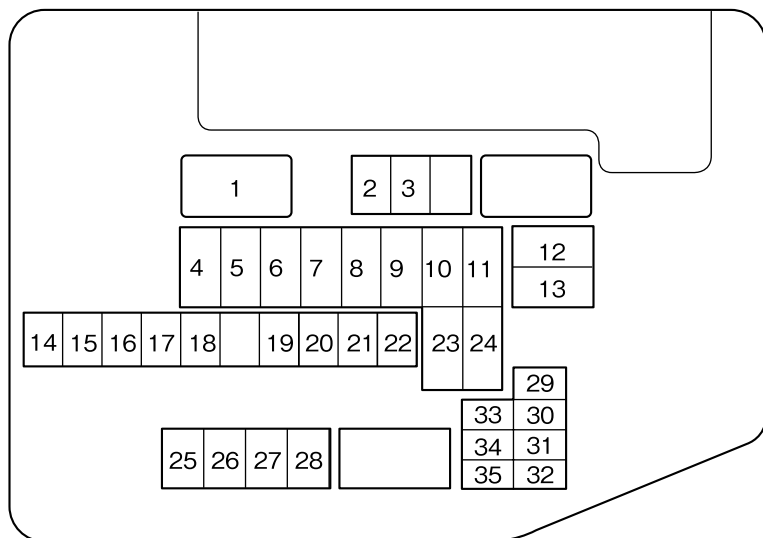


位置	表示	容量	保護装置
1	ENG.IGA	20 A	エンジンコントロールシステム
2	SAS	7.5 A	ABS、エアバッグ
3	METER	10 A	メーター
4	ENG.IGA2	5 A	エンジンコントロールシステム
5	R.WIPER	15 A	リアワイパー
6	WIPER	25 A	フロントワイパー
7	A/C	7.5 A	エアコン
8	P.WIND	25 A	パワーウィンドー (運転席)

位置	表示	容量	保護装置
9	P.SLIDE LH	20 A	パワースライドドア (左)
10	P.SLIDE RH	20 A	パワースライドドア (右)
11	M.DEF	10 A	ミラーの曇り取り☆
12	MIRROR	7.5 A	電動ミラー
13	CIGAR	15 A	シガーライター
14	BACK	5 A	後退灯
15	AFS	7.5 A	アダプティブフロントライティングシステム☆
16	R.DISPLAY	—	—
17	SEAT.SET RH	25 A	電動サードシート (右)☆
18	SEAT.SET LH	25 A	電動サードシート (左)☆
19	P.LIFT GATE	20 A	パワーリフトゲート☆
20	ILLUMI	10 A	イルミネーション
21	TAIL	7.5 A	尾灯、番号灯、車幅灯
22	P.WIND	30 A	パワーウィンドー (助手席および後部座席)

5.万有的时候は  
ヒューズ切れ、電球切れのとき

エンジンルーム内 ヒューズボックス



位置	表示	容量	保護装置
1	MAIN	150 A	各種電源
2	FUEL PUMP	25 A	フューエルポンプ
3	ENGINE	20 A	エンジンコントロールシステム
4	R HEATER	40 A	リアヒーター
5	PRECRASH	—	—
6	HEATER	50 A	フロントヒーター
7	IGKEY2	40 A	各種電源
8	FAN1	30 A	クーリングファン
9	FAN2	—	—
10	DEFOG	30 A	リヤウインドーデフォグガー (曇り取り)



位置	表示	容量	保護装置
11	BTN	40 A	各種電源
12	INJ DRIVE	—	—
13	IGKEY1	50 A	各種電源
14	FOG	15 A	フォグランプ
15	ABS (SOL)	30 A	ABS、DSC
16	D/L	25 A	パワードアロック
17	ROOM	15 A	ルームランプ
18	DEICER	15 A	デアイサー☆
19	AC PWR	15 A	—
20	S.WARM	20 A	シートヒーター☆
21	A/C MAG	10 A	エアコン
22	BOSE	25 A	Bose®サウンドシステム☆
23	P.SEAT	40 A	パワーシート☆
24	ABS	50 A	ABS、DSC
25	H/L LOW R	15 A	ヘッドランプ右 下向き (ロービーム)
26	H/L LOW L	15 A	ヘッドランプ左 下向き (ロービーム)
27	H/L HIGH R	10 A	ヘッドランプ右 上向き (ハイビーム)
28	H/L HIGH L	10 A	ヘッドランプ左 上向き (ハイビーム)
29	HAZARD	15 A	非常点滅灯
30	ENG+B	10 A	PCM
31	HORN	15 A	ホーン

## ヒューズ切れ、電球切れのとき

---

位置	表示	容量	保護装置
32	STOP	7.5 A	制動灯
33	EGI INJ	10 A	エンジンコントロールシステム
34	ENG BAR	20 A	エアフローセンサー、エンジンコントロールシステム
35	ETC	10 A	エンジンコントロールシステム

## けん引してもらおうとき

けん引はできるだけマツダ販売店またはJAFなどに依頼してください。特に、エンジンがかかっているのに車が動かないときや異常な音がするときは駆動装置の故障が考えられます。必ずマツダ販売店またはJAFなどに連絡してください。

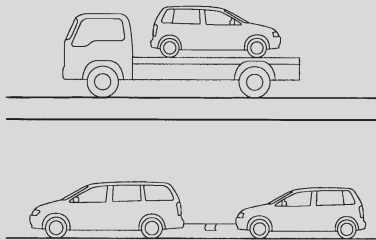
## 警告

- 長い下り坂を降りるときは、レッカー車でけん引してください。

ロープでけん引をすると、車間距離を保つためにフットブレーキを多用し、ブレーキが過熱して効かなくなります。このような状態でけん引を続けると、前の車に衝突するおそれがあります。

- 4WD車のけん引は、前後輪すべてを持ち上げるか、前後輪接地の状態を搬送してください。駆動装置の故障時はトレーラーなどに搭載して搬送してください。

前輪または後輪だけを持ち上げた状態でけん引すると、駆動装置が破損したり、車輪が台車から飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 注意

- ロープでけん引してもらおうときは、速度30km/h以下、走行距離は30km以内に行ってください。高速走行や長距離走行をすると、駆動装置に悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。できるだけマツダ販売店やJAFなどに依頼し、レッカー車またはトレーラーを使用してください。
- けん引してもらおうときは次の点に注意してください。けん引フックや車体および駆動装置を損傷するおそれがあります。
  - ・ 急発進など、けん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。
  - ・ けん引フック以外にロープをかけないでください。

## 知識

金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやワイヤー先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

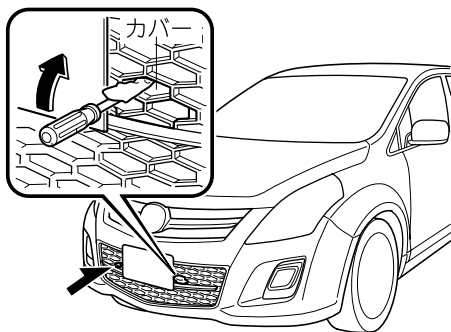
やむをえずロープでけん引してもらおうときは、車両の前側にあるけん引フックを使用し、次の手順で行なってください。

- 1 けん引フック、ホイールレンチ、ジャッキレバーをラゲッジルームから取り出します。

→247ページ「工具、ジャッキ」

## 5.万有的时候は けん引について

- ② マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてカバーを取りはずします。



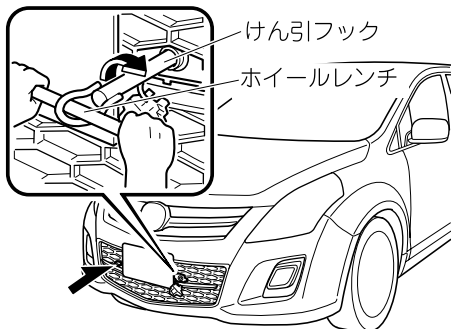
### ⚠ 注意

カバーはバンパーから完全に取りはずすことができません。無理に取りはずそうとすると破損するおそれがあります。

### 📖 知識

マイナスドライバーなどを使用するときは、先端に布などを巻いてください。マイナスドライバーなどが直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

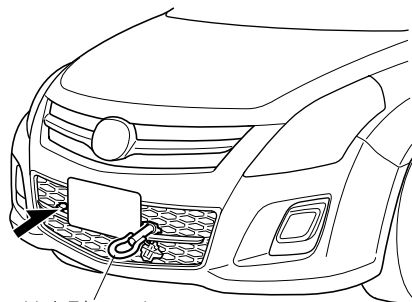
- ③ ホイールレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。



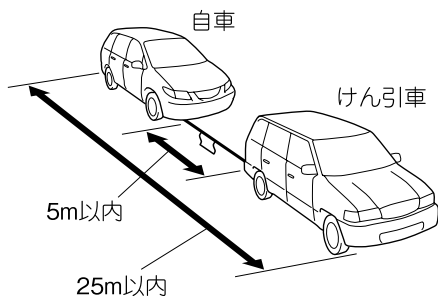
### 📖 知識

けん引フックは左右どちらかに確実に取り付け、ご使用してください。

- ④ けん引ロープをフックにかけます。



- ⑤ ロープは5m以内にして、中央に0.3m平方(0.3m×0.3m)以上の白い布を必ずつけてください。



- ⑥ けん引してもらう車はエンジンをかけ、セレクトレバーをNにいます。エンジンがかからないときは、電源ポジションをACCにします。

## 警告

■ やむをえずエンジンがかかっていない状態でけん引される場合は、慎重に運転してください。

エンジンがかかっていないときは、ブレーキの効が悪くなったり、ハンドル操作が重くなるなど運転操作が困難になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

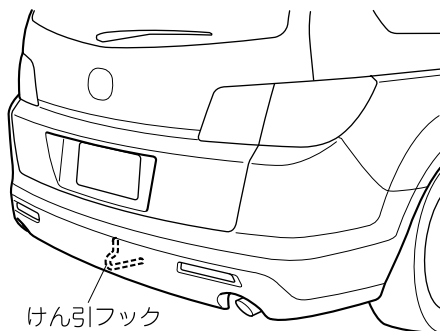
## 注意

けん引中は電源ポジションをOFFにしないでください。OFFにするとハンドルがロックされ、操作できなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 7 パーキングブレーキを解除します。
- 8 けん引する車の制動灯に注意し、ローブをたるませないように走行してください。

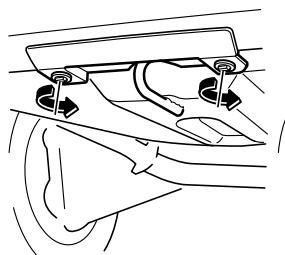
## 故障車をけん引するとき

一般路上でやむをえず故障した車をローブでけん引するときは、後ろ側のけん引フックにローブをかけてけん引してください。



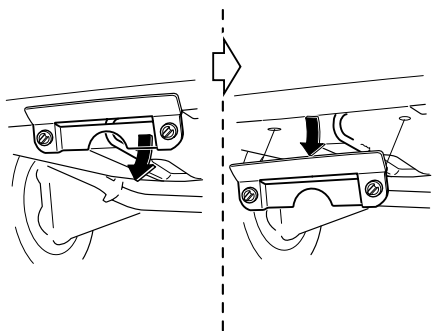
けん引フックを使用する前にカバーを取りはずします。

- 1 ファスナーをまわします。



## 5.万有的时候は けん引について

② カバーを取りはずします。



### 知識

取り付けるときは、カバーを車体に取り付けファスナーを押し込みます。



### 注意

けん引するときは次の点に注意してください。けん引フックや車体および駆動装置を損傷するおそれがあります。

- 自車の重量より重い車はけん引しないでください。
- 急発進など、けん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。
- けん引フック以外にロープをかけないでください。



### 知識

金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

事故が起きたときは、あわてず次の処置をしてください。

## 1.事故の続発防止

他の交通のさまたげにならない安全な場所(路肩、空き地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。

## 2.負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行ないます。この場合、とくに頭部に傷を受けているようなときは、むやみに動かさないようにします。ただし、後続事故のおそれがある場合は、安全な場所に移動させます。

## 3.警察への連絡

事故の発生場所、状況、負傷の程度などを報告し、指示を受けます。

## 4.相手の氏名、住所などの確認

## 5.マツダ販売店、保険会社への連絡

### 知識

軽いけがでも、必ず警察に届けましょう。また、外傷がなくても頭部などに強い衝撃を受けたときは、医師の診断を受けましょう。後遺症がでることがあります。

# MEMO



## 6 車との上手なつきあいかた

### 点検、整備 290

点検整備について .....	290
定期点検 .....	290
日常点検 .....	291

### 車の手入れ 299

外装の手入れ .....	299
内装の手入れ .....	303
その他の手入れ .....	305

### 積雪、寒冷時の取り扱い 307

冬にそなえて .....	307
運転する前に .....	308
走行するときは .....	309
駐車するときは .....	310
タイヤチェーンの取り付け .....	310
寒冷地用ワイパーブレードについて .....	311

### こんなときは 312

夏期の取り扱い .....	312
雨の日の運転 .....	312

### 環境保護のために 313

経済的な運転 .....	313
廃棄物を処理するときは .....	316

## 6.車との上手なつきあいかた 点検、整備

### 点検整備について

安全で快適な運転をするために、日常点検整備および定期点検整備を実施することが法律で義務づけられています。

安心してお車に乗っていただくために、また、大きなトラブルを防ぐ意味からも、定期的に点検整備を実施してください。

使用済バッテリーやタイヤ、エンジンオイルなどの廃液を処分するときは、マツダ販売店にご相談ください。



#### 警告

■点検は平らな場所で、車に輪止めをしてから行なってください。

車が不意に動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れないようにしてください。

特に、エンジンルームが高温のときは、電源ポジションがACCまたはOFFのときでもクーリングファンが回転することがあるため、手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



#### 注意

エンジンルーム内を点検するときは、エンジンの高温部に触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。



#### 知識

新車登録後1か月（または走行距離1,000km）、6か月（または走行距離5,000km）は無料で点検が受けられます。

### 定期点検

12か月、24か月の定期点検整備はマツダ販売店で受けてください。



#### 知識

- 点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「定期点検整備記録簿および定期点検整備の記録」に記入してください。
- 一般的な使用よりも厳しい使われ方をした車はシビアコンディションとして早めに点検整備をする必要があります。くわしくは、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

## 日常点検

お客様のお車の使用状況に応じて、お客様自身の判断で適切な時期に実施していただく点検です。

日常点検はお客様自身で実施可能な項目となっておりますので、長距離走行前や洗車時、給油時などを目安に実施してください。

「日常点検整備のしかた」については別冊のメンテナンスノートに記載していません。



### 知識

点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「メンテナンスレコード」に記入してください。

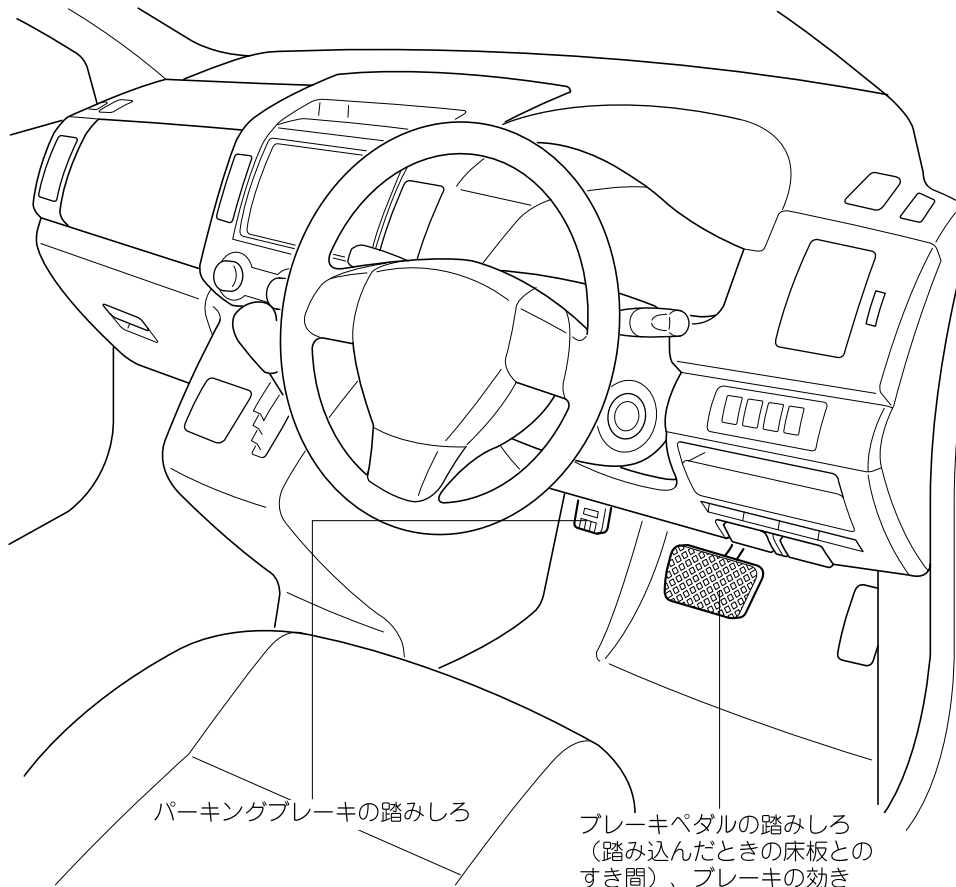
## 点検項目と点検箇所

### 運行において異常が見られた箇所

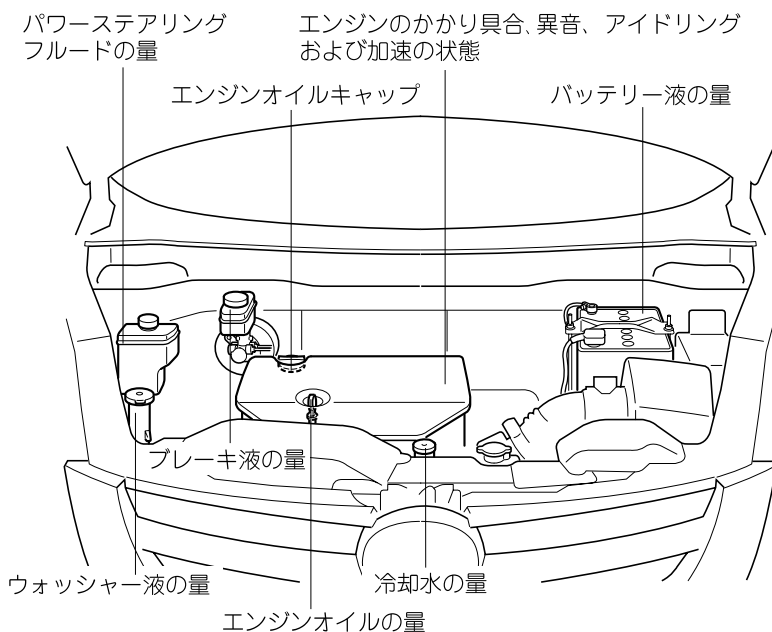
前回の運転中に異常を認めた箇所について運転に支障がないかを点検します。

点検要領については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

### 運転席にすわって



## エンジンルームをのぞいて

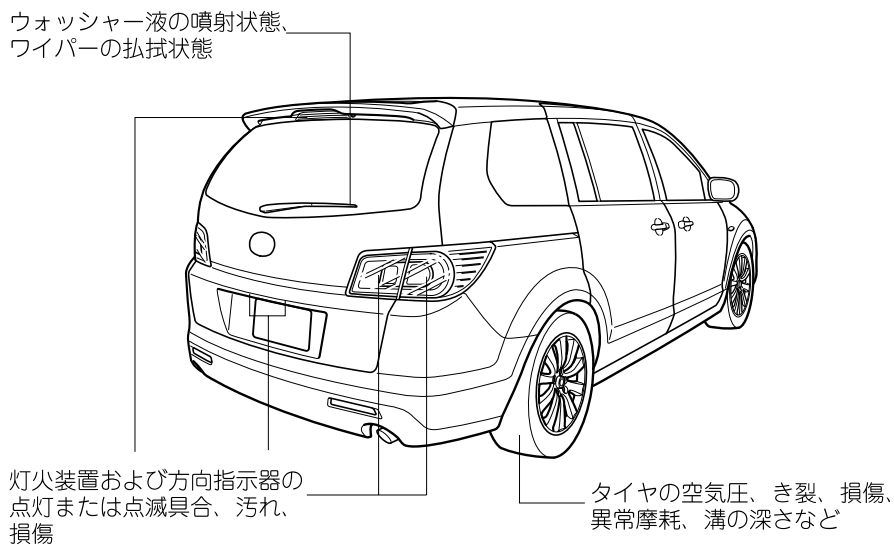
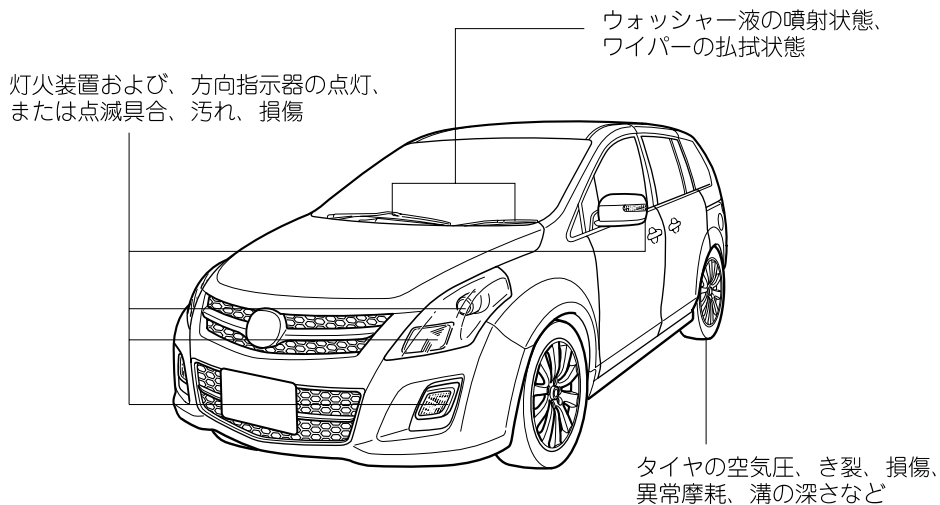


### 注意

エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 6.車との上手なつきあいかた 点検、整備

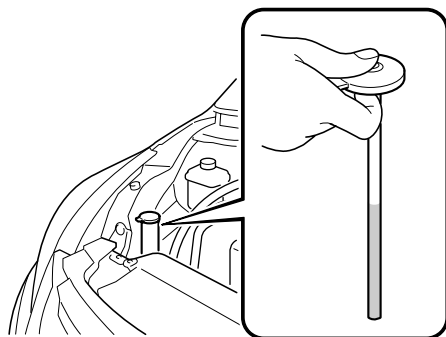
### 全体を見まわして



## ウォッシャー液の補充

ウォッシャー液が不足しているときは、純正ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考に濃度を調節し、補充してください。

ふたの穴を押さえたまま引き抜くことで、ウォッシャー液量を点検することができます。



## 注意

エンジンがかかっているときやエンジンが熱いときはウォッシャー液を補充しないでください。ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあります。

## 知識

- ウォッシャータンクはフロントワイパー用とリヤワイパー用で兼用しています。
- ウォッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。塗装のシミになるおそれがあります。
- 寒冷地では、ウォッシャー液をタンクいっぱいまで補充しないでください。

## タイヤの点検

日常点検としてタイヤは定期的に点検してください。

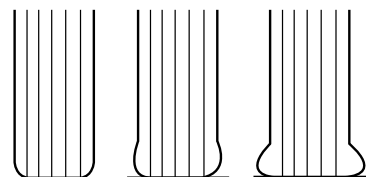
点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

## 空気圧の点検

### 警告

■ タイヤの空気圧が不足したままで走行しないでください。

タイヤの空気圧が不足していると車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗したりします。また、タイヤの空気圧が不足したままで高速走行すると、タイヤがバースト(破裂)するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



過多

適正

不足

- タイヤの空気圧は走行に伴い約1割程度上がる場合があります。日常はタイヤが冷えている時にタイヤの接地部のたわみ状態を見て空気圧が適当であるかを点検します。
- ラジアルタイヤはたわみの状態での点検では空気圧が分かりにくいので、空気圧計で点検します。

## 6.車との上手なつきあいかた 点検、整備

- タイヤの空気圧は徐々に(自然に)低下しますので、目安として月に一度空気圧計を使用して空気圧が適当であるかを点検します。
- 適正空気圧は、運転席ドアを開けたボディ側に貼付されているラベルで確認してください。
- スペアタイヤも時々点検します。年1回は空気圧計を使用して空気圧が適正であることを点検します。  
→252ページ「スペアタイヤ」

### き裂、損傷の点検

タイヤの接地部全周や両側に著しいき裂や損傷およびクギ等の異物が刺さっていないかを目視で点検します。

#### 警告

■ 異常があるタイヤを装着しないでください。

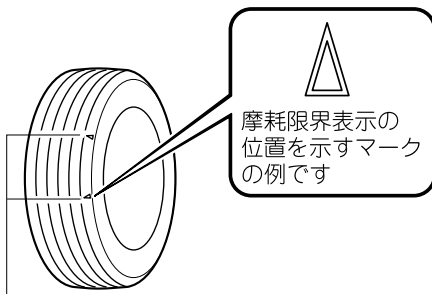
- 異常があるタイヤを装着すると、走行中にハンドルがとられたり、異常な振動を感じることがあります。また、パンクやバースト(破裂)などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。走行中、異常な振動を感じた場合はマツダ販売店で点検を受け、正常なタイヤと交換してください。
- 異常のあるタイヤを装着していると、車の性能(燃費・走行安定性・制動距離など)が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、部品に悪影響をあたえるなど、故障の原因になるおそれがあります。

#### 警告

■ 道路の路肩などにタイヤの側面を接触させたり、凹凸やわだちの乗り越しは避けてください。タイヤの損傷、き裂などをまねくおそれがあります。

### 溝の深さ、異常摩耗の点検

タイヤの溝の深さが十分であるか、摩耗限界表示(ウェアインジケーター)が現れていないか、また、タイヤに片減りや局部摩耗、段付き摩耗がないかを目視で点検します。



摩耗限界表示

#### 警告

■ タイヤの溝の深さが少ないタイヤや摩耗限界表示(ウェアインジケーター)が現れているタイヤを使用しないでください。

そのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロプレーニング現象※により、ハンドル操作ができなくなったり、タイヤがバースト(破裂)するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。摩耗限界表示が現れたらすみやかに正常なタイヤと交換してください。



※ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、ハンドルやブレーキが効かなくなる現象。

### 知識

ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

## エアフィルターの点検、交換

### 知識

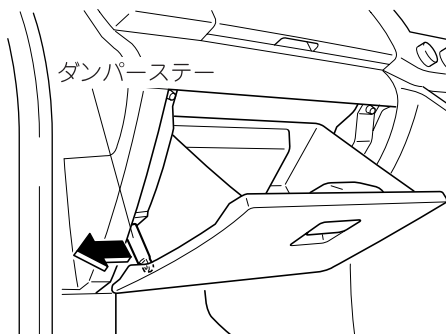
- エアコンの風量が著しく減少したときはエアフィルターの目詰まりが考えられます。エアフィルターを交換してください。
- 大都市・寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区の場合は、エアフィルターの寿命が短くなり、早めの交換が必要になることがあります。
- 市販のエアフィルターは取り付けることができません。新しいエアフィルターはマツダ販売店でお求めください。
- エアフィルターは再利用できません。交換タイプのエアフィルターのため、水洗いやエアブローによる清掃はしないでください。

エアコンを快適にお使いいただくために、エアフィルターは定期的に交換してください。交換の目安に関しては214ページの「エアフィルターについて」をお読みください。

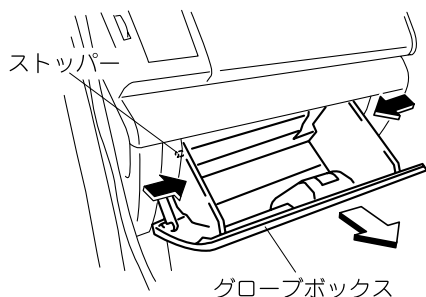
### 点検、交換方法

- 1 エンジンスイッチをLOCKの位置にします。

- 2 グローブボックスを開けます。
- 3 ダンパーステーを外側にはずします。

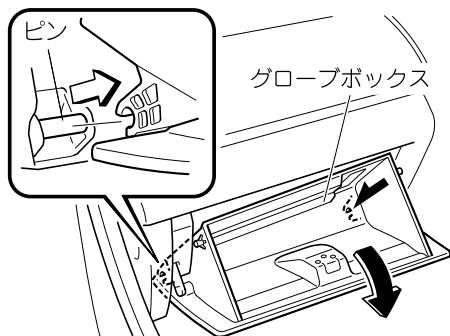


- 4 グローブボックスの側面を内側にたわませながら下に傾け、ストッパーをはずします。

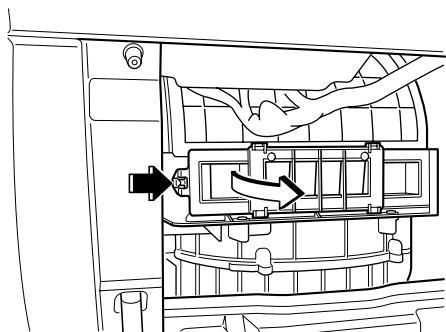


## 6.車との上手なつきあいかた 点検、整備

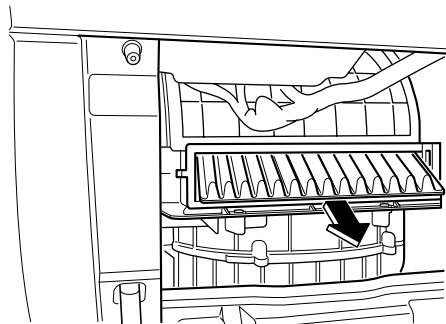
- 5] グローブボックスを下方に降ろし、ピンからグローブボックスを切り離し、グローブボックスを取りはずします。



- 6] ケースのツメを押し、フタをはずします。



- 7] エアフィルターを取り出し、新しいものと交換します。



- 8] 取りはずした逆の手順で取り付けてください。

### ⚠ 注意

- 新しいエアフィルターを取り付けるときは、山形の面を上にして取り出したときと同じ向きに入れてください。間違った向きにむりやり入れると、ケースが損傷するおそれがあります。
- エアフィルターを取りはずした状態でエアコンを使用しないでください。エアフィルターを装着せずにエアコンを使用すると、故障の原因になるおそれがあります。

## 外装の手入れ

車を美しく保つためには日ごろの手入れが大切です。



- 保管、駐車は風通しのよい屋根のある場所をおすすめします。
- 走行後は、車体についたほこりをやわらかい布か毛ばたきで払い落としましょう。
- とび石などによる塗装の傷は腐食の原因となります。見つけたら早めに補修してください。
- 洗車やワックスがけ、装備品の手入れは定期的に行ないましょう。
- ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は塗装を損傷するので付着させないでください。万一付着した場合はただちにふき取るか、洗車してください。

- 次のようなときは、早めに洗車などの手入れを行なってください。そのまま放置しておく、塗装の変色や車体の腐食の原因となります。
  - 海岸地帯を走行したとき。
  - 凍結防止剤を散布した雪道を走行したとき。
  - ばい煙や粉じん、鉄粉、化学物質などの降下の多い場所を走行したとき。
  - 鳥のふん、虫の死がい、樹液、果実などが付いたとき。
  - コールタール、塗料、砂じん、コンクリートの粉などが付いたとき。
  - 泥、ほこりが著しく付いたとき。
  - 雨の中を走行したときや、雨にぬれたとき。



### 知識

工場から排出される化学物質や車の排気ガスなどが雨に溶けて降り注いだものを酸性雨といいます。酸性雨をボディに付着させたままにしておくと、塗装を傷つけるおそれがあります。早めに水で洗い流してください。

## 6.車との上手なつきあいかた 車の手入れ

### 洗車するとき

#### 水洗いするとき



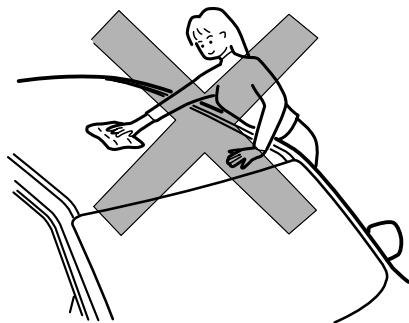
- 1 車の足まわりに付いている泥を洗い落とします。
- 2 車体上部から水をかけながら、やわらかいスポンジやセーム皮などで洗います。汚れがひどいときは洗車用洗剤を使用し、水で十分洗い流してください。
- 3 はん点が残らないように水をふき取ってください。

### 注意

- 車の下まわりや足まわりを洗うときはけがをしないよう注意してください。
- オートワイパー装備車は、ワイパーレバーをOFFの位置にしてください。ONの位置で、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。
- エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障につながるおそれがあります。

### 注意

- 洗車後は、ブレーキパッドがぬれているため、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあります。低速で走りながら、アクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んで、効きが回復するまでブレーキを乾かしてください。
- 洗車やワックスがけを行なうときは、車体のルーフ部の一点に強い力をかけないようにしてください。強い力をかけると、万一の場合、車体がへこむことがあります。



### 知識

洗車するときは、硬いブラシやたわしなどを使用しないでください。塗装を傷つけるおそれがあります。

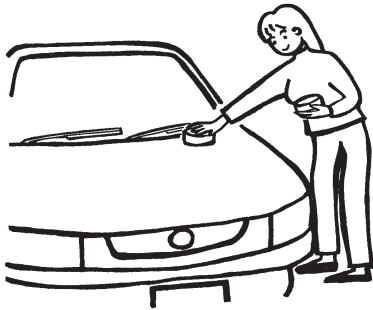
#### 自動洗車機を使用するとき

- ドアミラーを格納してください。
- 自動洗車機を使用すると、ブラシにより傷がつき塗装の光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。
- スポイラー装備車は、洗車機によってはスポイラーがひっかかり洗車できない場合や損傷するおそれがあります。

## 高圧洗車機を使用するとき

洗車機は機種によっては高温、高圧のものがあります。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、室内に水が入るおそれがありますので、洗車ノズルと車体との距離は十分に離してください(30cm以上)。また、同じ場所を連続して洗淨しないでください。ドアのすき間や窓ガラスまわりは、特に注意して行ってください。

## ワックスをかけるときは



- ワックスがけは月に一回程度、または水のはじきが悪くなったときに洗車してから行なってください。
- 直射日光を避け、ボディが冷えているとき(体温以下が目安)に行なってください。

## 知識

- コンパウンド(みがき粉)入りのワックスを使用すると、塗装の光沢が失われることがあります。
- ワックス容器に記載してある使用説明をよく読んでから使用してください。

## ガラス、ミラーの手入れ

ガラスやミラーについての油膜を取るときは、純正ガラスクリーナーを使用してください。

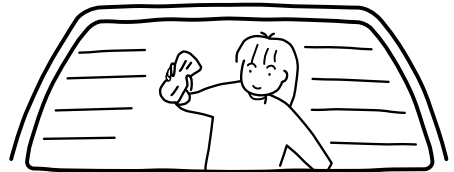
## 知識

フロントガラスに油膜があると、ワイパーがふき取りにくくなったり、雨の夜に対向車のライトなどが乱反射して見えにくくなる可能性があります。

ガラスの内側をふくときは、水やぬるま湯でぬらしたやわらかい布で、軽くふいてください。

## 注意

熱線やアンテナ線を損傷するおそれがあるため、熱線やアンテナ線にそってふいてください。ガラスクリーナーなどを使用すると、熱線やアンテナ線をいためるおそれがあります。



## 6.車との上手なつきあい 車の手入れ

### 撥水加工ガラス/ミラー☆

#### 運転席/助手席窓ガラス

撥水加工が施されているため、運転席/助手席窓ガラスについて水滴が小さな水玉状になります。

また、撥水加工により、泥、油膜などが付きにくく、霜、雪なども落としやすくなります。

#### ドアミラー

撥水加工が施されているため、ドアミラーについて水滴が小さな水玉状になります。また、撥水加工により、泥、油膜などが付きにくく、霜、雪なども落としやすくなります。

#### 手入れについて

水滴をはじく持続期間には限りがあります。長持ちさせるために次の点を守ってください。

- ガラスやミラーが汚れているときは、早めにやわらかい湿った布などで清掃してください。
- ガラスの汚れがひどいときは、汚れを取り除いてから、ガラスの開閉を行ってください。
- ガラスやミラーを清掃するときは、コンパウンド(みがき粉)のはいったガラスクリーナーやワックスは使用しないでください。また、ガラスクリーナーを使用しても曇る場合は、湿った布などでふき取ってください。
- 自動洗車機(コイン洗車機)を使用するときは、ガラスやミラー表面の泥などの汚れを落としてから洗車してください。
- ワックス洗車を使用したときは、ガラスやミラー表面についてワックスにより、水滴がはじきにくくなる場合があります。このようなときは、ワックスをふき取ってください。

### アルミホイールの手入れ

アルミホイールに海水や凍結防止剤を付着させたままにしておくと、腐食するおそれがあります。

できるだけ早く水洗いしてください。

汚れのひどいときは中性洗剤をしみこませたやわらかい布などでふき取ってください。



#### 注意

中性洗剤以外は使用しないでください。  
ご使用の際には成分をご確認ください。  
変色・シミの原因となります。



#### 知識

- アルミホイールは傷がつきやすいので、砂入り石けんや硬いブラシは使用しないでください。
- 自動洗車機を使用すると、ブラシにより傷がつくことがあります。

## 外装樹脂部品の手入れ

- バンパーなど樹脂部品の塗装面にガソリン、オイル、冷却水、バッテリー液などが付着すると変色、シミ、塗膜はがれなどの原因となります。すみやかに軟らかい布でふき取ってください。
- 高压洗車機は機種によって洗浄水が高温、高圧になるものがあります。必要以上に洗車ノズルを近づけたり長時間水圧をかけると樹脂部品の変形や塗膜の損傷などの原因になることがありますのでご注意ください。
- コンパウンド(みがき粉)入りのワックスを使用すると、塗膜を損傷するおそれがありますので使用しないでください。
- 電動またはエア工具を使用してコンパウンド(みがき粉)がけやワックスがけを行なうと摩擦熱が発生して、樹脂部品の変形や塗膜の損傷などの原因になることがありますので使用しないでください。
- プラスチックレンズを使用しているランプ類は、ガソリン、灯油、高濃度アルコール類、塗料、シンナー、強酸性洗剤、強アルカリ性洗剤などの化学液により表面が変色したりダメージを受けて、機能を著しく損なうおそれがあります。お手入れの際には使用しないでください。万一付着したときは、すみやかに水で洗い流してください。

## 内装の手入れ



### 警告

■ 室内に水をかけない。  
オーディオ、スイッチなどの電気部品に水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。

## 布張り部分の手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに入手入れを行なってください。

- 1 水で薄めた中性洗剤(約5%)をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
- 2 きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。



### 知識

- 硬いプラシヤ布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。

## 革張り部分の手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに入手入れを行なってください。

- 1 掃除機などでホコリや砂を取り除きます。
- 2 純正専用クリーナーまたは水で薄めた中性洗剤(約5%)をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。

## 6.車との上手なつきあいかた 車の手入れ

- きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
- 乾いたやわらかい布で水分を取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。雨などでぬれたときも早めに水分をふき取り、乾燥させてください。



### 知識

- 天然素材のため、シボ(本革表面の凹凸)の不均一や牛革本来の傷が分かる場合があります。
- 品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。
- シート表面についた砂やホコリなどは、本革表面の保護膜を傷つけ早期摩耗の原因になります。
- 本革部分に油汚れなどが付くとカビやシミなどの原因になります。
- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。
- シートがぬれたときはすぐに乾いた布で水分をふき取ってください。表面に水分が残っていると硬化、収縮など変質の原因になります。
- 直射日光に長時間さらすと、変質、縮みなどの原因になります。長時間駐車するときは、サンシェード(日除け)を使用するなどして直射日光をさえぎってください。
- ビニール製品を長時間シートの上に置かないでください。変質、変色の原因になります。室内が高温になっているとビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。

### 樹脂部品の手入れ

樹脂部品に油脂類が付着すると、変色、シミ、ひび割れ、塗膜はがれの原因になります。早めにやわらかい布などでふき取ってください。



### 注意

つや出し剤を使用しないでください。含まれる成分によっては変色、シミ、ひび割れ、塗膜はがれの原因になります。

### パネルの手入れ

パネルが汚れたときは、やわらかい布などでふき取ってください。



### 知識

硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。

### シートベルトの手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、ベルトの巻き取りが悪くなる場合があります。早めに手入れを行なってください。

- 水で薄めた中性洗剤(約5%)をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
- きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
- 手入れのため引き出したシートベルトを巻き取らせるときは、十分に乾燥させ、水分が残っていないことを確認してください。



## 警告

■ シートベルトにほつれ、すりきずなどの異常があるときは、マツダ販売店で交換してください。

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

## 知識

- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。

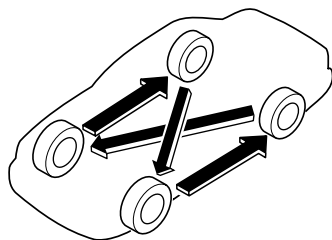
## その他の手入れ

### タイヤの位置交換 (タイヤローテーション)

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命をのばすために、約5,000km走行ごとにタイヤの位置を交換してください。

## 知識

お客様のお車にはスペアタイヤが標準で搭載されていないため、搭載されているジャッキではタイヤの位置交換を行なうことができません。タイヤの位置交換を行なうときはマツダ販売店にご相談ください。



## 警告

■ タイヤを交換するときは指定されたタイヤを装着してください。

指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



### 知識

タイヤの位置交換を行うまえにタイヤの空気圧、摩耗を点検してください。

→295ページ「タイヤの点検」

## 冬にそなえて

### エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルに交換してください。

→319ページ「エンジンオイル」

### 冷却水の濃度の調節

冷却水には、凍結を防止するために不凍液が入っています。

冬場になっても凍結しないよう冷却水の濃度を調節してください。

不凍液の割合	凍結温度
30%	-16°C
50%	-37°C

### 純正ロングライフクーラント (ゴールドン)<sup>[FL22]</sup> を使用する場合

純正ロングライフクーラント (ゴールドン)<sup>[FL22]</sup> は濃度調整済みの冷却水です。

薄めずそのままご使用ください。

冷却水量の点検や補充については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

冷却水を交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。

### ウォッシャー液の濃度の調節

ウォッシャー液が凍結するのを防ぐため、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考にして、外気温に応じた濃度に調節してください。

→295ページ「ウォッシャー液の補充」

### 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

冬用タイヤに交換するときは、前後輪とも指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。



### 警告

■ タイヤを交換するときは前後輪とも必ず指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。

指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を準備し、使用する前に一度装着してみてサイズを確認しておきましょう。

→310ページ「タイヤチェーンの取り付け」

## 6.車との上手なつきあいかた 積雪、寒冷時の取り扱い

### 運転する前に

#### ガラスに雪や霜がついているときは

視界を確保するため取り除いてください。プラスチックの板などを使用して取り除くことができます。プラスチックの板などを使用する時はガラスに傷をつけないように注意して取り除いてください。

#### 足まわりなどに雪や氷が付着しているときは

部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。

#### ドアなどが凍結しているときは



- ドアが凍結しているときは、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、周辺部を損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部にはお湯をかけないでください。凍結してキーが差しこめなくなるおそれがあります。
- お湯をかけたあとは、すぐに水分をふき取ってください。
- ワイパー、パワーウインドー、電動ドアミラーなどが凍結して動かない場合もお湯をかけて氷を溶かしてから操作してください。無理に動かそうとすると故障の原因になります。

#### 車に乗るときは

靴についた雪をよく落としてから乗車してください。ペダル類を操作するときにすべったり、室内の湿気が多くなるため窓ガラスが曇ったりすることがあります。

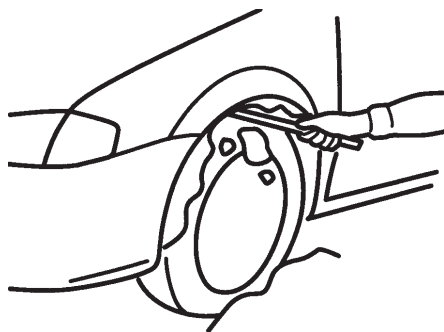
## 走行するときは

すべりやすい路面を走行するときは



- 早めに冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。  
→310ページ「タイヤチェーンの取り付け」
- 急発進、急ハンドルや急ブレーキを避け、ひかえめな速度で運転してください。
- 日陰や橋の上、水たまりなど、凍結しやすい場所にさしかかる前では速度を落とし、注意して走行してください。

## ハンドルの切れ具合に注意



走行中、フェンダーの裏側に雪が付着して氷になり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。

ときどき車を止めて点検し、氷塊が大きくなる前に取り除いてください。

## ブレーキの効き具合を確認

ブレーキ装置に雪や氷が付着すると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

効が悪いときは、低速で走りながらアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んで、効きが回復するまでブレーキを乾かしてください。

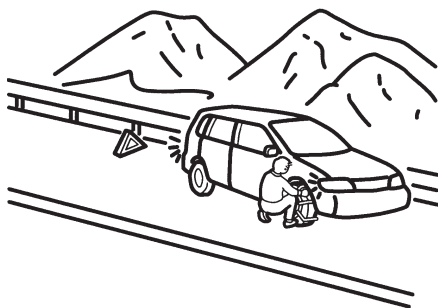
## 6.車との上手なつきあいかた 積雪、寒冷時の取り扱い

### 駐車するときは



- 寒冷時はパーキングブレーキをかけたまま凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキは使わず、セレクトレバーをPに置いてタイヤに輪止めをしてください。
- ボンネット側を風下に向けて駐車してください。風上に向けるとエンジンが冷えすぎて始動しにくくなる場合があります。
- ワイパーアームは立てて駐車してください。寒冷時はワイパーゴムがガラスに凍りつくことがあります。

### タイヤチェーンの取り付け



タイヤチェーンは4WD車も前輪に取り付けます。

タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を使用してください。タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。

タイヤチェーンの取り付けは、交通のさまたげにならず、安全に作業ができる平らな場所で行なってください。

路上で行なう場合は、非常点滅灯、停止表示板(停止表示灯)を使用してください。

### ⚠ 注意

- 4WD車の前輪がパンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットでパンクタイヤを修理し、タイヤチェーンを装着してください。  
→256ページ「タイヤパンク応急修理キット」
- 純正品以外のタイヤチェーンを使用するとボディーなどに干渉し、傷をつけるおそれがあります。くわしくは、マツダ販売店にご相談ください。

## 注意

- タイヤチェーンを装着して走行するときは、突起物や穴を乗り越えたり、急ハンドルや車輪がロックするようなブレーキ操作などをしないでください。極端に車体が沈み込んだ場合、ボディーなどに干渉し、傷をつけるおそれがあります。
- 積雪路、凍結路以外ではタイヤチェーンを装着して走行しないでください。チェーンの摩耗を早める原因になります。また、4WD車は駆動系部品に悪影響をおよぼし故障につながるおそれがあります。
- タイヤチェーンを装着したときは、30km/h以下で走行してください。30km/h以上で走行すると、タイヤチェーンにかかる負担が大きくなるため、チェーンが切れやすくなります。

## 知識

- お客様のお車にタイヤチェーンは標準で搭載されていません。必要に応じてマツダ販売店でお求めください。
- タイヤチェーンを取り付けると、ホイールに傷がつくおそれがあります。

## 寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。

寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおってあります。

必要に応じてマツダ販売店でお求めください。

## 知識

高速走行時は、通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなりますので、ワイパー使用時は速度を落として走行してください。

## 夏期の取り扱い

### エアコンのチェック

エアコンの冷媒(エアコンガス)が不足していると、冷房性能が低下します。

夏になる前にマツダ販売店で点検を受けておきましょう。

### 炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

### オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足していないかこまめに点検してください。

点検要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

## 雨の日の運転

### ガラスが曇るときは

湿度の高い日はガラスが曇りやすくなります。このようなとき、エアコンを使用して曇りを取ることができます。エアコンを作動させると吹き出し風が除湿されるため、より効果的に曇りを取ることができます。

→214ページ「エアコンを上手に使用していただくために」

リヤガラスの曇りを取るときは、リヤウインドーデフォッガースイッチを押してください。

→185ページ「リヤウインドーデフォッガー(曇り取り)スイッチ」

### フロントガラスの油膜をとるときは

雨の夜は、フロントガラスに油膜があると、対向車のライトなどが乱反射して、見えにくくなることがあります。

ガラスクリーナーを使ってフロントガラスの表面をきれいにしてください。



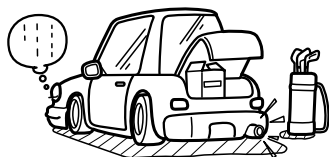
## 経済的な運転

地球環境にやさしい、経済的な運転を心がけてください。

### アイドリングストップ

コンビニでの買い物、人待ちや荷降ろしなど、ちょっとした駐車の際にもエンジンを止めましょう。

10分間のアイドリングで、130cc程度の燃料を浪費します。



### 不要な荷物は積まない

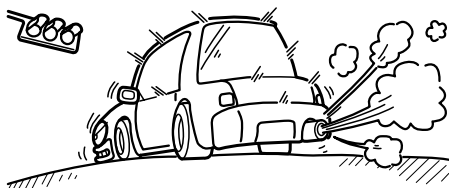
荷物が多いほど、燃料を多く消費します。不要な荷物は降ろして走行しましょう。

100 kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。



### 空ぶかしをしない

空ぶかしをやめると、燃料を節約できます。空ぶかしは環境にも車にもよくありません。



### エアコンの使用は控えめに

エアコンの使用を控えると、燃料の節約になります。

外気温25°Cの時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。



## 6.車との上手なつきあいかた 環境保護のために

### タイヤの空気圧を適正に

こまめに点検し、適正な空気圧に調整しましょう。

タイヤの空気圧が適正値より50 kPa (0.5 kg/cm<sup>2</sup>) 不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。



### ゆとりある走行を

急発進、急加速、急ブレーキは避けましょう。

速度にムラのある走り方をすると、市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。



### 経済的速度

一般道路で40km/h、高速道路で80km/h程度の等速走行が経済的です。



### アクセルペダルの上手な踏みかた

#### 加速終了時

アクセルペダルを少し大きめにもどしてみましょう。適切に無駄なく自動変速されるため、燃費がよくなります。

#### 下り坂に入るとき、減速を始めるとき

早めにアクセルペダルをもどし、エンジンブレーキを使いましょう。アクセルペダルをもどすと燃料噴射が停止されるので、燃費がよくなります。

#### 等速走行時

アクセルペダルの踏み加減を一定に保ちましょう。

アクセルペダルの踏み込み、踏みもどしは少ないほど燃料噴射が少なくなるため、燃費がよくなります。

## JC08モード燃費について

### 「JC08モード」とは



#### 知識

車両カタログに記載されている「JC08モード」燃費は、お客様の使用環境変化や燃費測定技術の進歩を踏まえて、図1のような実際の走行に近い細かな速度変化での運転条件で、エンジン冷間時、暖機後の2パターンを図2のようなシャシーダイナモーター上で走行した値です。ただし、気象条件や渋滞などのお客様の使用環境、急発進、エアコンや電気負荷など実際の走行とは異なる場合があります。

図1. JC08モード走行

走行距離 8.172Km  
平均速度 24.4Km/h  
最高速度 81.6Km/h

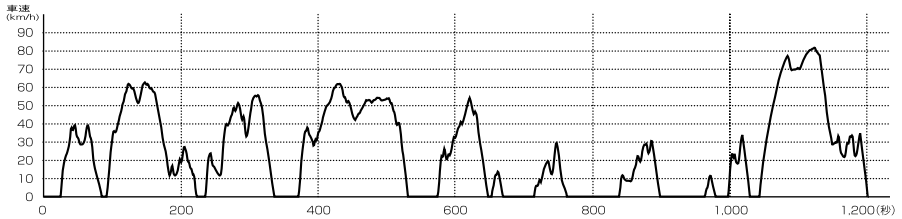
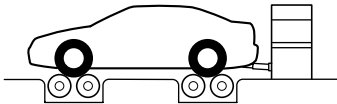


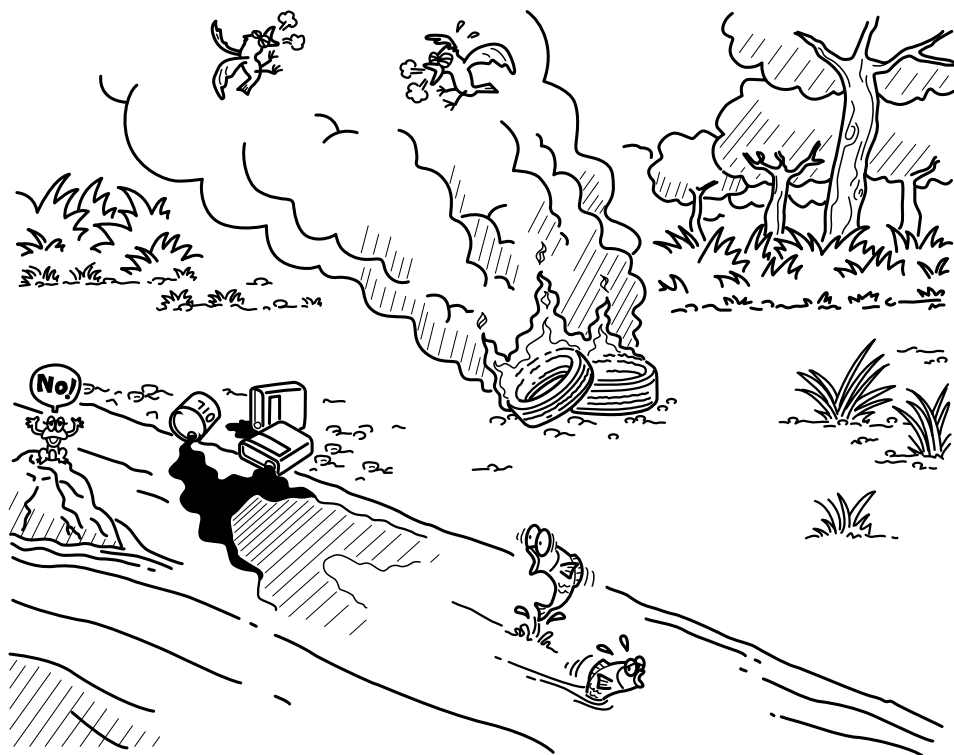
図2. シャシーダイナモーター



## 廃棄物を処理するときは

廃棄物については、法律上適切な処理が求められています。

- タイヤを燃やすと有毒なガスが発生するので、自己処理はしないでください。使用済みタイヤは新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- バッテリーは鉛や硫酸が使われています。使用済みバッテリーは新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルやクーラントが地下や川などに流れ出すと、環境を悪化させます。交換済みのエンジンオイルは新品エンジンオイルを購入した販売店に処分を依頼してください。また、クーラントを交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。
- エアコンにはオゾン層を破壊しない代替フロンガスを使用しています。それでも代替フロンガスには地球を温暖化するはたらきがあります。ガスの大気放出を防止するため、エアコンの点検、修理はマツダ販売店が専門の修理業者に依頼してください。



# MEMO

# サービスデータ

---

## 燃料、オイル、液類

### ■燃料

使用燃料については、145ページの「燃料補給口」もあわせてお読みください。

項目		サービスデータ
使用燃料		無鉛レギュラーガソリン
タンク容量 (参考値)	2WD車	68L
	4WD車	76L

### ■フューエルフィルター

項目	サービスデータ
交換時期	160,000km走行ごと

## ■エンジンオイル

オイル量の確認は、必ずレベルゲージで行なってください。

交換時期は走行kmまたは年月のどちらか早い方で交換してください。

寒冷地では、エンジンオイルが劣化しやすいので、早めにオイルを交換してください。

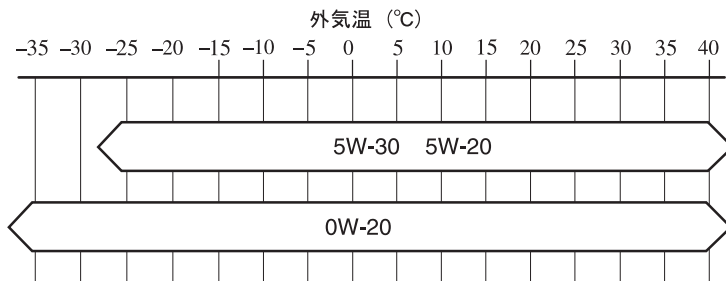
項目		サービスデータ	
交換時期		標準	15,000kmまたは1年ごと
		シビアコンディション*1	7,500kmまたは6か月ごと
オイルグレード	純正モーターオイルゴールデンECO SN*2	API SN/ILSAC GF-5, SAE 0W-20	
	純正モーターオイルゴールデンSM	API SM/ILSAC GF-4, SAE 5W-20	
		API SM/ILSAC GF-4, SAE 5W-30	
交換量 (参考値)		オイルのみ	4.0L
		オイルとオイルフィルター	4.4L

\*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

\*2 純正モーターオイルゴールデンECO SNは省燃費性に優れたエンジンオイルです。

### 使用温度範囲

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを次の表にもとづき使用してください。



# サービスデータ

## ■エンジンオイルフィルター

交換時期は走行kmまたは年月のどちらか早い方で交換してください。

項目	サービスデータ	
交換時期	標準	15,000kmまたは1年ごと
	シビアコンディション*1	7,500kmまたは6か月ごと

\*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

## ■オートマチックトランスミッションフルード

液量の確認は、レベルゲージで行なってください。

項目	サービスデータ	
推奨フルード	5速オートマチック車	純正ATF M-V
	6速オートマチック車	ATF JWS3317
容量 (参考値)	5速オートマチック車	8.14L
	6速オートマチック車	7.0L

## ■ディファレンシャルオイル (4WD)

項目	サービスデータ	
交換時期	標準	無交換
	シビアコンディション*1	60,000km走行ごと
推奨オイル	純正ロングライフハイポイド <sup>®</sup> SAE 80W-90 (GL-5)	
容量 (参考値)	1.0L	

\*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。



## ■ トランスファーオイル (4WD)

項目	サービスデータ
推奨オイル	純正ロングライフハイポイド <sup>®</sup> SAE 80W-90 (GL-5)
容量 (参考値)	1.2L

## ■ パワーステアリングフルード

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
推奨フルード	純正ATF M-III、M-V
容量 (参考値)	1.16L

## ■ ブレーキ液

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
交換時期	2年ごと (初回は3年)
推奨液	純正ブレーキフルードBF-3 (DOT-3)

## サービスデータ

### ■冷却水

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージで行なってください。

項目		サービスデータ
交換時期	純正ロングライフクーラント	2年ごと (初回は3年)
	純正ロングライフクーラント (ゴールデン)*1	100,000km走行または4年ごと (初回は180,000km走行または9年)
推奨液		純正ロングライフクーラント、純正ロングライフクーラント (ゴールデン)*1
容量 (参考値)		10.5L

\*1 ラジエーターキャップまたはその付近に **FL22** のマークがある場合は、純正ロングライフクーラント (ゴールデン) を使用してください。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

### ■ウォッシャー液

液量の確認は、レベルゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
タンク容量 (参考値)	2.5L

## 各部の点検値、交換時期

### ■ブレーキペダル

項目	サービスデータ
遊び	2.0～5.0mm
床板とのすき間 (踏力147N {15kgf})	131mm
フロアマットとのすき間 (踏力147N {15kgf})	98mm

### ■パーキングブレーキ

項目	サービスデータ
踏みしろ (踏力180N {18kgf})	1～3ノッチ

### ■パワーステアリングベルト/オルタネーターベルト

項目	サービスデータ
たわみ量	自動調整式 (使用限度をこえているものは交換)

### ■エアクリナーエレメント

項目	サービスデータ	
	交換時期	標準
シビアコンディション*1		25,000km走行ごと

\*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

## サービスデータ

---

### 電気部品/電球 (バルブ)

#### ■スパークプラグ

項目		サービスデータ
型式	NGK	ILTR5A13G、LTR5BI13



#### 注意

イリジウムプラグを使用していますので、ワイヤーブラシなどによる清掃は行なわないでください。イリジウム合金チップおよび白金チップの微粒子膜が損傷または脱落するおそれがあります。

#### ■バッテリー

項目	サービスデータ
型式、容量	80D26L、65Ah (20時間率)

## ■電球 (バルブ) の容量

電球 (バルブ)		W数 (12V用)	規格 (UNECE*1 (SAE))
ヘッドランプ	上向き (ハイ ビーム)	60 W	HB3 (9005)
	下向き (ロー ビーム)	35 W	D2S (D2S)
フォグランプ		55 W	H11 (H11)
車幅灯		5 W	W5W (4CP)
前面方向指示灯/非常点滅灯		21 W	PY21W (—)
側面方向指示灯/非常点滅灯		LED*2	— (—)
後面方向指示灯/非常点滅灯		21 W	WY21W (22.3CP)
制動灯/尾灯		LED*2	— (—)
後退灯		21 W	W21W (7440)
番号灯		5 W	W5W (4CP)
ハイマウントストップランプ		LED*2	— (—)
ルームランプ/マップランプ (フロント/センター)		5 W	W5W (4CP)
ルームランプ (リヤ)		10 W	— (—)
ラゲッジルームランプ		10 W	— (—)
ドアカーテシランプ		5 W	W5W (4CP)
バニティミラーランプ		2 W	— (—)

\*1 UNECEはUnited Nations Economic Commission for Europe (国連欧州経済委員会) の略です。

\*2 LEDはLight Emitting Diodeの略で発光するダイオードです。

## ■ヒューズ

→278ページ「ヒューズの受け持つ装置」

# サービスデータ

## タイヤ/ホイール

### ■タイヤ/ホイールサイズ

タイヤサイズは、運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。

タイヤサイズ	ホイール		
	サイズ	インセット (オフセット)	ピッチサークル直径
215/65R16 98S	16×6-1/2J	45mm	114.3mm
215/60R17 96H	17×7J		

### ■タイヤ空気圧

適正空気圧は、運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。

→14ページ「日常点検としてタイヤを定期的に点検する」

タイヤサイズ	タイヤ空気圧	
	前輪	後輪
215/65R16 98S	230 kPa (2.3 kgf/cm <sup>2</sup> )	230 kPa (2.3 kgf/cm <sup>2</sup> )
215/60R17 96H	230 kPa (2.3 kgf/cm <sup>2</sup> )	230 kPa (2.3 kgf/cm <sup>2</sup> )

### ■ブレーキディスクの摩耗限度情報

ブレーキディスクの使用限度値とその測定方法に関する情報が必要な場合は、マツダ販売店にご相談ください。

## さくいん

### A

### D

DSC (ダイナミックスタビリティコントロール) .....	95
TCS/DSC作動表示灯 .....	95

### S

SRSエアバッグシステム .....	80
EDR .....	90
警告灯 .....	89

### T

TCS (トラクションコントロールシステム) .....	93
TCS OFFスイッチ .....	94
TCS OFF表示灯 .....	93
TCS/DSC作動表示灯 .....	93

### ア

### ア

アームレスト .....	46, 52
アップパーグローブボックス .....	239
アドバンストキー .....	98
アドバンストキー一時停止機能... ..	113
アドバンストキー車外持ち出し	
警告 .....	114
アドバンストキー車内閉じ込み	
警告 .....	114
アドバンストキー電池切れ警告... ..	114
エンジン始動不許可警告 .....	114
エンジンのかけかた .....	107
キーナンバープレート .....	102
こんなときは .....	116
作動範囲 .....	104
システム故障警告 .....	113
スタートノブもどし忘れ警告 .....	113
施錠/解錠 .....	105
設定変更 (カスタマイズ機能) .....	115
電池交換 .....	102
補助キー機能 .....	112
リクエストスイッチ不動作警告... ..	114
リモートコントロール機能 .....	110
リヤゲートの開けかた .....	106
アルミホイール	
手入れ .....	302
アンダートランク .....	240
アンチロックブレーキシステム	
(ABS) .....	91
警告灯 .....	91
アンテナ .....	228

### イ

イージークロージャー .....	126, 136
EDR (イベントデータレコーダー) .....	90
イグニッション (エンジン)	
キー .....	117
スイッチ .....	188

## イ

イベントデータレコーダー (EDR) .....	90
イモビライザーシステム (アドバンス トキー装備車) .....	150
イモビライザーシステム (アドバンス トキー非装備車) .....	152
イルミネーテッドエントリー システム .....	229
インテリアライト (室内照明) .....	229
インナーミラー (ルームミラー) .....	157
インフォメーションセンターディス プレイ .....	232
外気温表示 .....	233
時計 .....	232

## ウ

ウインカー (方向指示器)	
レバー .....	180
W (ワット) 数 .....	325
ウインドー	
曇ったとき .....	221
手入れ .....	301
パワーウインドー .....	141
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ .....	185
ウォッシュャー液	
ウォッシュャースイッチ .....	181
冬にそなえて (濃度の調節) .....	307
補充 .....	295

## エ

エアコン	
エアフィルターの点検、交換 .....	297
エアコン (空調) .....	214
上手に使用するために .....	214
フロントフルオートエアコン .....	218
リヤフルオートエアコン .....	225

## エ

エアバッグシステム .....	80
EDR .....	90
警告灯 .....	89
AFS (アダプティブフロントライティ ングシステム) .....	178
AFS OFF表示灯 .....	173
ABS (アンチロックブレーキ システム) .....	91
警告灯 .....	91
エンジン	
かけかた .....	189
キー .....	117
スイッチ .....	188
エンジンオイル	
交換時期、推奨オイル、交換量 .....	319
冬にそなえて .....	307
油圧警告灯 .....	164
エンジン回転計 (タコメーター) .....	160
エンジンフード (ボンネット) .....	147
エンスト (故障したとき) .....	245

## オ

応急用スペアタイヤ .....	252
オーディオ	
オーディオリモートコントロー ルスイッチ .....	228
オートマチック車	
運転するとき .....	198
オートマチックトランス	
ミッション .....	192
AASモード .....	194
シフトロック装置 .....	193
マニュアルモード .....	194
オートマチックトランスミッションフ ルード	
推奨フルード、容量 .....	320
オーバーヒートしたとき .....	262



## オ

オーバーヘッドコンソール .....	238
お子さま専用シートについて	
シートの種類 .....	73
選択の目安 .....	75
お子さまの安全	
お子さま専用シートについて .....	72
チャイルドシートの固定 .....	78
オットマン .....	48
オドメーター .....	159

## カ

夏期の取り扱い .....	312
ガソリン (燃料)	
使用燃料、容量 .....	318
燃料補給口 .....	145
カップホルダー .....	236
カメラ	
サイドカメラ .....	203
バックカメラ .....	203
ガラス	
曇ったとき .....	221
手入れ .....	301
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ .....	185
環境保護のために .....	313
寒冷時の取り扱い .....	307

## キ

キー .....	117
キーナンバープレート .....	117
キーレスエントリーシステム .....	118
緊急用具の取り扱い .....	246

## ク

空気圧 (タイヤ) .....	14
空調 (エアコン) .....	214
曇り取り (デフォッガー) スイッチ .....	185
フロントワイパーデアイサー (4WD車) .....	186
クラクション (ホーン) .....	186
グローブボックス .....	238

## ケ

警告灯	
エアバッグ警告灯 .....	166
ABS警告灯 .....	165
エンジン警告灯 .....	165
オートマチックトランス ミッション警告灯 .....	169
KEY警告灯 (赤)/KEY表示灯 (緑) (アドバンストキー装備車) .....	169
故障警告表示灯 .....	164
シートベルト警告灯 .....	167
充電警告灯 .....	164
燃料残量警告灯 .....	167
半ドア警告灯 .....	168
ブリテンショナー警告灯 .....	166
ブレーキ警告灯 .....	163
ヘッドランプオートレベリング 警告灯 .....	170
油圧警告灯 .....	164
4WD警告灯 .....	168

## ケ

### 警報音

アドバンストキーレス警報 .....	175
キー抜き忘れ防止チャイム .....	174
シートベルト着用忘れチャイム...	175
電動スライドドアブザー .....	174
パーキングブレーキもどし忘れ チャイム .....	175
パワーリヤゲートブザー .....	175
ランプ消し忘れ防止チャイム .....	174
リバースポジションチャイム .....	174
化粧鏡 (バニティミラー) .....	229
けん引 .....	283

## コ

コインボックス .....	238
工具 .....	247
後退灯 (バックランプ)	
W (ワット) 数 .....	325
故障したとき .....	244

## サ

サードシート .....	54
サイドカメラ .....	203
サイドブレーキ .....	190
サイドミラー (ドアミラー) .....	155
サンバイザー .....	229

## シ

### シート

サードシート .....	54
シートアレンジ .....	58
セカンドシート .....	47
正しい運転姿勢 .....	42
フラットシート .....	59
フロントシート .....	44
シートヒーター .....	45

## シ

### シートベルト

アンカーアジャスター .....	71
ELR (緊急時固定機構) 付 シートベルト .....	69
警告灯 .....	67
3点式シートベルト .....	67
種類 .....	66
正しい着用のしかた .....	63
着用忘れチャイム .....	67
手入れ .....	304
プリテンショナー付 シートベルト .....	69
ロードリミッター付 シートベルト .....	70
シガーライター .....	234
事故が起きたときは .....	287
室内照明 .....	229
室内灯 (ルームランプ)	
スイッチ .....	230
W (ワット) 数 .....	325
シフトロック装置 .....	193
ジャッキ .....	247
車幅灯 (スモールランプ)	
スイッチ .....	176
W (ワット) 数 .....	325
収納 .....	238
アッパーグローブボックス .....	239
アンダートランク .....	240
オーバーヘッドコンソール .....	238
グローブボックス .....	238
コインボックス .....	238
ショッピングフック .....	240
ラゲッジフック .....	239
リヤコートフック .....	241
ショッピングフック .....	240

## ス

水温計 .....	160
ステアリング (ハンドル) .....	155
ストップランプ (制動灯)	
W (ワット) 数 .....	325
スノータイヤ .....	307
スピードメーター .....	159
スペアタイヤ .....	252
スモールランプ (車幅灯)	
スイッチ .....	176
W (ワット) 数 .....	325
スライドドア .....	124

## セ

制動灯 (ストップランプ)	
W (ワット) 数 .....	325
セカンドシート .....	47
積雪、寒冷時の取り扱い .....	307
セレクトレバー .....	192
洗車 .....	300
前照灯 (ヘッドランプ)	
スイッチ .....	176
W (ワット) 数 .....	325

## ソ

速度計 (スピードメーター) .....	159
----------------------	-----

## タ

ターンシグナル (方向指示器)	
レバー .....	180
W (ワット) 数 .....	325
ダイナミックスタビリティコント	
ロール (DSC) .....	95
TCS/DSC作動表示灯 .....	95

## タ

タイヤ	
応急用スペアタイヤ .....	252
空気圧 .....	14
交換 .....	253
サイズ .....	326
チェーン .....	310
点検 .....	295
パンク応急修理キット .....	256
冬にそなえて .....	307
ローテーション (位置交換) .....	305
タコメーター .....	160

## チ

チェーン (タイヤチェーン) .....	310
チャイルドシート .....	72
シートの種類 .....	73
選択の目安 .....	19, 75
チャイルドシートの固定 .....	78
チャイルドプルーフ .....	126
駐車するとき	
オートマチック車 .....	200
坂道駐車 .....	34
積雪、寒冷時 .....	310
駐車ブレーキ (パーキングブレーキ)	
警告灯 .....	191
操作方法 .....	190
点検基準値 .....	323
チルトステアリング .....	155

## テ

定期点検 .....	290
ディスチャージヘッドランプ .....	177
ディフュゼンシャルオイル	
交換時期、推奨オイル、容量 .....	320

## テ

手入れ	
アルミホイール .....	302
外装 .....	299
ガラス .....	301
革張り部分 .....	303
シートベルト .....	304
樹脂部品 .....	304
内装 .....	303
布張り部分 .....	303
撥水加工ガラス/ミラー .....	302
ミラー .....	301
テールランプ(尾灯)	
スイッチ .....	176
W(ワット)数 .....	325
電球	
W(ワット)数 .....	325
点検整備について .....	290
電動格納ミラー(ドアミラー) .....	156
電動スライドドア .....	127
電動ミラー(ドアミラー) .....	155
ト	
ドア	
スライドドア .....	124
パワードアロック .....	131
フロントドア .....	122
リヤゲート .....	133
ドアカーテシランプ .....	231
ドアミラー .....	155
曇り取り .....	186
盗難防止システム	
イモビライザーシステム(アドバ ンストキー装備車) .....	150
イモビライザーシステム(アドバ ンストキー非装備車) .....	152
時計 .....	232

## ト

トラクションコントロールシステム (TCS) .....	93
TCS OFFスイッチ .....	94
TCS OFF表示灯 .....	93
TCS/DSC作動表示灯 .....	93
トランスファーオイル	
推奨オイル、容量 .....	321
トリップメーター .....	159

## ナ

ナンバープレートランプ(番号灯)	
スイッチ .....	176
W(ワット)数 .....	325

## ニ

日常点検 .....	291
------------	-----

## ネ

燃料	
使用燃料、容量 .....	318
燃料計 .....	161
燃料残量警告灯 .....	167
燃料補給口 .....	145

## ハ

パーキングブレーキ	
警告灯 .....	191
操作方法 .....	190
点検基準値 .....	323
灰皿 .....	234
ハイビーム(ヘッドランプ上向き)	
W(ワット)数 .....	325
ハイマウントストップランプ	
W(ワット)数 .....	325

## ハ

ハザードランプ(非常点滅灯)	
スイッチ .....	187
W(ワット)数 .....	325
発炎筒 .....	246
バックカメラ .....	203
バックミラー(ルームミラー) .....	157
パッシング合図 .....	180
撥水加工ガラス/ミラー .....	302
バッテリー	
あがったとき .....	264
型式、容量 .....	324
バニティミラー(化粧鏡) .....	229
バルブ(電球)	
W(ワット)数 .....	325
パワーウインドー .....	141
パワーステアリングフルード	
推奨フルード、容量 .....	321
パワーステアリングベルト	
点検基準値 .....	323
パワードアロック .....	131
パワーリヤゲート .....	136
パンクしたとき .....	256
番号灯(ナンバープレートランプ)	
スイッチ .....	176
W(ワット)数 .....	325
半ドア警告灯 .....	168
ハンドル .....	155

## ヒ

非常点滅灯	
スイッチ .....	187
W(ワット)数 .....	325
尾灯(テールランプ)	
スイッチ .....	176
W(ワット)数 .....	325
ヒューズ .....	267

## ヒ

表示灯	
AFS OFF表示灯 .....	173
車幅灯表示灯 .....	174
セキュリティ表示灯 .....	172
セレクトレバー位置表示灯 .....	171
TCS/DSC作動表示灯 .....	172
TCS OFF表示灯 .....	172
ハイビーム	
(ヘッドランプ上向き)表示灯 .....	170
フロントフォグランプ表示灯 .....	174
方向指示/非常点滅表示灯 .....	171

## フ

ブースターケーブルのつなぎ方 .....	264
フォグランプ	
スイッチ .....	181
W(ワット)数 .....	325
フック(けん引) .....	283
踏切内で動けなくなったとき .....	245
フューエルキャップ .....	147
フューエルリッド(燃料補給口) .....	146
冬にそなえて .....	307
冬用タイヤ(スノータイヤ) .....	307
ブレーキ .....	190
警告灯 .....	191
ブレーキ液(フルード)	
交換時期、推奨液 .....	321
ブレーキペダル	
点検基準値 .....	323
ブレーキランプ	
W(ワット)数 .....	325
フロントシート .....	44
フロント吹き出し口(空調) .....	216

## へ

ヘッドランプ (前照灯)	
スイッチ .....	176
W (ワット) 数 .....	325
ベンチシート .....	51

## ほ

ホイール	
サイズ .....	326
手入れ .....	302
方向指示器	
レバー .....	180
W (ワット) 数 .....	325
ホーン .....	186
ボトルホルダー .....	237
ボンネット .....	147

## ま

マップランプ	
スイッチ .....	231
W (ワット) 数 .....	325

## み

ミラー	
手入れ .....	301
ドアミラー .....	155
バニティミラー .....	229
ルームミラー .....	157

## め

メーター .....	158
メーター照度調節ボタン .....	161

## や

## よ

4WD .....	201
警告灯 .....	201

## ら

ライセンスプレートランプ (番号灯)	
W (ワット) 数 .....	325
ライター .....	234
ラゲッジフック .....	239
ラゲッジルームランプ	
スイッチ .....	231
W (ワット) 数 .....	325
ランプ	
消し忘れ防止チャイム .....	179
スイッチ .....	176
点灯しないとき .....	267
W (ワット) 数 .....	325

## り

リバースポジションチャイム .....	174
リヤウインドーデフォッガー	
(曇り取り) スイッチ .....	185
フロントワイパーデアイサー	
(4WD車) .....	186
リヤゲート .....	133
リヤコートフック .....	241
リヤ吹き出し口 (空調) .....	223

## る

ルームミラー .....	157
ルームランプ .....	230

## れ

冷却水	
交換時期、推奨液、容量 .....	322
冬にそなえて (濃度の調節) .....	307


## ワ

### ワイパー

寒冷地用ワイパーブレード .....	311
スイッチ .....	181
ワックスがけ .....	301

お問い合わせ、ご相談はお近くのマツダ販売店または、  
下記へお願いいたします。

マツダ(株)コールセンター  
全国共通フリーダイヤル

 0120-386-919

受付時間

平日 9:00~17:00

土・日・祝日 9:00~12:00 13:00~17:00

携帯電話からもご利用になれます。

弊社における個人情報の取扱いは、  
弊社ウェブサイトに掲載しています。

(<http://www.mazda.co.jp>)

発行元 **マツダ株式会社**

〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3-1

発行 2014年 9月

印刷 2014年 9月

335頁 初版